

# 宮の前遺跡

## 第2次発掘調査報告書

財団法人  
山形県埋蔵文化財センター



6-1995-726-01

1995

1995
726
6

財団法人 山形県埋蔵文化財センター

# 宮の前遺跡 第2次発掘調査報告書

1995

財団法人 山形県埋蔵文化財センター



1995-726



調査区全景空中写真



埋設土器出土状況



人面付土器



岩 偶



S K 138 墓坑



第一捨場出土土器集合写真



石棒・石刀



漆容器拡大写真

## 序

本書は、財団法人山形県埋蔵文化財センターが発掘調査を実施した、宮の前遺跡の調査成果をまとめたものです。

宮の前遺跡は山形県の北部に位置する村山市にあります。村山市は古くから交通の要衝として発展し、北村山地方における中心的な都市として今日に至っています。幕末の北方探検の先駆者蔵上徳内の出身地でもあります。

調査では、村山市街の西約 8km の所にある富並地区の南西方に広がる水田及び畑地から縄文時代の住居跡・土器虎葬場・墓坑・中世の掘立柱建物跡・井戸跡などの遺構が見つかり、縄文土器・中世陶器などの遺物が出土し、縄文時代から中世にわたり断続的に利用された遺跡であることがわかりました。今回の調査は昭和49年の第1次調査に次ぐ第2次調査となります。

埋蔵文化財は祖先が長い歴史の中で創造し育んできた貴重な遺産といえます。私たちは国民的財産の文化財を大切に保護し、さらに郷土の歴史の中で培われた文化を後世に引き継がねばなりません。近年、高速自動車道路やパイパス、農業基盤整備事業など国県等の事業が増加していますが、これに伴い事業区域内で発掘調査を必要とする遺跡が増加の傾向にあります。

事業区域内の遺跡の調査は、埋蔵文化財保護と開発事業実施のため、適切かつ迅速に行われることが今日求められています。こうした要請に適切に対処するとともに埋蔵文化財調査体制の充実を図ることが急務とされ、平成5年4月に財団法人山形県埋蔵文化財センターが設立され本年度は設立2年目を迎えました。職員一同、県民と関係各位の要望に応え本県の埋蔵文化財保護のため一層の努力をいたす所存です。今後とも当センター発足の目的が遂行されるようご支援ご協力を賜りたくお願い申し上げます。

本書が文化財保護活動の啓蒙普及、学術研究、教育活動などにおいて皆様のご理解の一助ともなれば幸いです。

最後になりましたが、調査においてご協力をいただいた地元の方々をはじめ関係各位に心から感謝申し上げます。

平成7年3月

財団法人 山形県埋蔵文化財センター  
理事長 木場 清 耕

## 例 言

- 1 本書は県営ほ場整備事業（富並地区）に係る「宮の前遺跡」の発掘調査報告書である。宮の前遺跡は昭和49年に第1次調査が行われた。今回は第2次調査となる。
- 2 発掘調査は山形県教育委員会の委託により、山形県埋蔵文化財センターが実施した。
- 3 調査要項は下記のとおりである。

遺跡名	宮の前遺跡
所在地	山形県村山市大字富並
調査期間	発掘調査 平成5年4月1日～平成7年3月31日 現地調査 平成5年5月11日～平成5年9月10日 整理 平成6年4月1日～平成7年3月31日
調査主体	財団法人 山形県埋蔵文化財センター
発掘調査担当者	

調査研究課長	佐々木洋治
主任調査研究員	佐藤 庄一
調査研究員	山口 博之
嘱託職員	押切 淳

### 資料整理担当者

調査研究課長	佐々木洋治
主任調査研究員	佐藤 庄一
調査研究員	山口 博之
嘱託職員	押切 淳・黒坂 広美

- 4 発掘調査及び本書を作成するに当たり、山形県村山平野土地改良事務所、大高根土地改良区、村山市教育委員会、など関係諸機関の協力を得た。報告書作成に当たって、高橋龍三郎氏（早稲田大学）からご指導を賜った。ここに記して感謝申し上げる。
- 5 本書の作成・執筆は、山口博之、押切淳、黒坂広美が担当した。編集は尾形興典が担当し、全体については佐々木洋治が監修した。
- 6 本書のうち黒曜石の原産地同定（VI章）については金山喜昭氏（千葉県野田市博物館）からご協力を得た。焼骨（人骨）鑑定（V章）についてはパレオラボ社に委託した。
- 7 出土遺物の分析にあたっては高柳圭一（千葉県教育委員会）、大塚達朗（東京大学）、戸田哲也（玉川文化財研究所）、大槻誠、鈴木正博、鈴木加津子、小林克、会田容弘、中沢道彦の各氏からご指導を賜った。
- 8 現地調査における全体図等の平面図（1/20、1/40、1/100）および、遺物実測図の一部については、株式会社シン技術コンサルに実測業務を委託した。
- 9 出土遺物、調査記録類については、財団法人山形県埋蔵文化財センターが一括保管している。

## 凡 例

- 1 本書で使用した遺構・遺物の分類記号は下記のとおりである。

SK……………土坑	SB……………建物跡	ST……………住居跡
SL……………伊跡	SP……………ピット群	S……………罫
RP……………完形・一括土器・土製品	RQ……………石器・石製品	

- 2 遺構番号は、現地調査段階での番号をそのまま報告書での番号として踏襲した。
- 3 報告書執筆の基準は下記のとおりである。

- (1) 遺跡概要図・遺構配置図・遺構実測図中の方位は磁北を示している。
- (2) グリッドの南北軸は、N-30° -Eを測る。
- (3) 遺構実測図は1/20、1/40、1/80、1/200縮図で採録し、各押図毎にスケールを付した。
- (4) 遺物実測図・拓影図は1/2、1/3、1/4、1/5で採録し、各々スケールを付した。  
遺物図版については任意としたが、重要なものについてはスケールをいれている。  
また、一覧表という形で各々の法量を採録してあるので参照されたい。
- (5) 本文中の遺物番号は、遺物実測図・遺物観察表・遺物図版とも共通のものとした。
- (6) 遺物観察表中の（ ）内数値は、図上復元による推計値、または残存値を示している。
- (7) 遺構覆土の色調の記載については、1987年版農林水産省農林水産技術会議事務局監修の「新版標準土色帖」に拠った。

## 目次

I	調査に至る経過	1
II	調査の概要	
1	調査の概要	1
2	調査の方法と経過	4
3	宮の前遺跡研究小史	7
4	宮の前遺跡の層序	8
III	検出された遺構	
1	遺物と遺構の分布	14
2	縄文時代の遺構	17
3	土坑の種類と性格	22
4	土坑と墓坑について	27
5	埋設土器群について	33
6	中世の掘立柱建物	53
IV	出土した遺物	
1	土器について	55
2	第1捨場の土器	61
3	第2捨場の土器	77
4	第3捨場の土器	85
5	捨場以外の土器	136
6	土製品	145
7	石器	158
8	石製品	173
V	出土した炭骨(人骨)	187
VI	理化学分析	187
VII	まとめ	188

## 表

表1	周辺の縄文時代後期・晩期遺跡一覧	3
表2	縄文時代竪穴住居跡計測表	17
表3	宮の前遺跡土坑一覧(1)	23
表4	宮の前遺跡土坑一覧(2)	24
表5	宮の前遺跡土坑一覧(3)	25
表6	宮の前遺跡土坑一覧(4)	26
表7	埋設土器計測値	52
表8	土器計測値(1)	139
表9	土器計測値(2)	140
表10	土器計測値(3)	141
表11	土器計測値(4)	142
表12	土器計測値(5)	143
表13	土器計測値(6)	144
表14	土製品・石製品計測値(1)	155
表15	石器計測値(1)	156
表16	石器計測値(2)	157
表17	石器計測値(3)	169
表18	石器計測値(4)	170
表19	石器計測値(5)	171
表20	石器計測値(6)	172
表21	石棒・石剣・石刀計測値(1)	185
表22	石棒・石剣・石刀計測値(2)	186

挿 図

第1図	遺跡位置図	2	第35図	埋設土器実測図(6)	50
第2図	宮の前遺跡旧地形図	4	第36図	埋設土器実測図(7)	51
第3図	遺跡全体図	5	第37図	中世遺構分布図	53
第4図	宮の前遺跡出土土器	7	第38図	中世獨立柱建物跡	54
第5図	調査区概念図及び柱状図	8	第39図	土器捨場位置図	63
第6図	第1調査区南壁土層断面図	9	第40図	第1捨場断面図	65
第7図	第1調査区南北壁土層断面図	11	第41図	第1捨場主要遺物分布図(1)	66
第8図	第2調査区北壁土層断面図	12	第42図	第1捨場主要遺物分布図(2)	67
第9図	第2調査区東壁土層断面図	13	第43図	第1捨場出土土器実測図(1)	68
第10図	第3・4・5調査区遺構分布図	16	第44図	第1捨場出土土器実測図(2)	69
第11図	ST4 竪穴住居跡平面図	18	第45図	第1捨場出土土器実測図(3)	70
第12図	ST4 竪穴住居跡出土遺物	18	第46図	第1捨場出土土器実測図(4)	71
第13図	ST1・2・3 竪穴住居跡平面図	19	第47図	第1捨場出土土器実測図(5)	72
第14図	ST1・2・3・5 竪穴住居跡出土遺物	20	第48図	第1捨場出土土器実測図(6)	73
第15図	ST5 竪穴住居跡平面図	21	第49図	第1捨場出土土器拓影図(1)	74
第16図	焼骨(人骨)分布図	21	第50図	第1捨場出土土器拓影図(2)	75
第17図	土坑断面図(1)	28	第51図	第1捨場出土土器拓影図(3)	76
第18図	土坑断面図(2)	29	第52図	第2捨場土層断面図	78
第19図	土坑断面図(3)	30	第53図	第2捨場主要遺物分布図	79
第20図	土坑断面図(4)	31	第54図	第2捨場出土土器実測図(1)	80
第21図	土坑断面図(5)	32	第55図	第2捨場出土土器実測図(2)	81
第22図	埋設土器時間差模式図	34	第56図	第2捨場出土土器実測図(3)	82
第23図	墓坑・埋設土器平面分布図	37	第57図	第2捨場出土土器拓影図(1)	83
第24図	埋設土器断面図(1)	39	第58図	第2捨場出土土器拓影図(2)	84
第25図	埋設土器断面図(2)	40	第59図	第3捨場土層断面図	87
第26図	埋設土器断面図(3)	41	第60図	第3捨場主要遺物分布図	89
第27図	埋設土器断面図(4)	42	第61図	第3捨場実測図	91
第28図	埋設土器断面図(5)	43	第62図	第3捨場遺物集成図	93
第29図	埋設土器断面図(6)	44	第63図	第3捨場出土土器実測図(1)	95
第30図	埋設土器実測図(1)	45	第64図	第3捨場出土土器実測図(2)	96
第31図	埋設土器実測図(2)	46	第65図	第3捨場出土土器実測図(3)	97
第32図	埋設土器実測図(3)	47	第66図	第3捨場出土土器実測図(4)	98
第33図	埋設土器実測図(4)	48	第67図	第3捨場出土土器実測図(5)	99
第34図	埋設土器実測図(5)	49	第68図	第3捨場出土土器実測図(6)	100

第69図	第3捨場出土土器実測図(7)	101	第105図	包含層の土器拓影図	138
第70図	第3捨場出土土器実測図(8)	102	第106図	土製品実測図(1)	147
第71図	第3捨場出土土器実測図(9)	103	第107図	土製品実測図(2)	148
第72図	第3捨場出土土器実測図(10)	104	第108図	土製品実測図(3)	149
第73図	第3捨場出土土器実測図(11)	105	第109図	土製品実測図(4)	150
第74図	第3捨場出土土器実測図(12)	106	第110図	土製品実測図(5)	151
第75図	第3捨場出土土器実測図(13)	107	第111図	土製品実測図(6)	152
第76図	第3捨場出土土器実測図(14)	108	第112図	土製品実測図(7)	153
第77図	第3捨場出土土器実測図(15)	109	第113図	土製品実測図(8)	154
第78図	第3捨場出土土器実測図(16)	110	第114図	石器実測図(1)	159
第79図	第3捨場出土土器実測図(17)	111	第115図	石器実測図(2)	160
第80図	第3捨場出土土器実測図(18)	112	第116図	石器実測図(3)	161
第81図	第3捨場出土土器実測図(19)	113	第117図	石器実測図(4)	162
第82図	第3捨場出土土器実測図(20)	114	第118図	石器実測図(5)	163
第83図	第3捨場出土土器実測図(21)	115	第119図	石器実測図(6)	164
第84図	第3捨場出土土器実測図(22)	116	第120図	石器実測図(7)	165
第85図	第3捨場出土土器実測図(23)	117	第121図	石器実測図(8)	166
第86図	第3捨場出土土器実測図(24)	118	第122図	石器実測図(9)	167
第87図	第3捨場出土土器実測図(25)	119	第123図	石器実測図(10)	168
第88図	第3捨場出土土器実測図(26)	120	第124図	石製品実測図(1)	175
第89図	第3捨場出土土器実測図(27)	121	第125図	石製品実測図(2)	176
第90図	第3捨場出土土器実測図(28)	122	第126図	石製品実測図(3)	177
第91図	第3捨場出土土器拓影図(1)	123	第127図	石製品実測図(4)	178
第92図	第3捨場出土土器拓影図(2)	124	第128図	石製品実測図(5)	179
第93図	第3捨場出土土器拓影図(3)	125	第129図	石製品実測図(6)	180
第94図	第3捨場出土土器拓影図(4)	126	第130図	石製品実測図(7)	181
第95図	第3捨場出土土器拓影図(5)	127	第131図	石製品実測図(8)	182
第96図	第3捨場出土土器拓影図(6)	128	第132図	石製品実測図(9)	183
第97図	第3捨場出土土器拓影図(7)	129	第133図	石製品実測図(10)	184
第98図	第3捨場出土土器拓影図(8)	130			
第99図	第3捨場出土土器拓影図(9)	131			
第100図	第3捨場出土土器拓影図(10)	132			
第101図	第3捨場出土土器拓影図(11)	133			
第102図	第3捨場出土土器拓影図(12)	134			
第103図	第3捨場出土土器拓影図(13)	135			
第104図	包含層の土器実測図	137			

付 図

第1・2調査区遺構分布図

## 図 版

- 図版1 空中写真全景  
 図版2 空中写真第1調査区  
 図版3 空中写真第2・5調査区  
 図版4 空中写真第3拾場(第3~5層)、空中写真第3拾場(第9層)  
 図版5 ST5、伊跡、調査風景、現地説明会風景  
 図版6 ST4、SB1~5  
 図版7 ST1・2・3、ST1発掘状況、ST1発掘状況  
 ST1・2・3透景、ST1伊跡  
 図版8 第1・2・3保存地区捨場調査状況  
 図版9 土器捨場遺物出土状況  
 図版10 第1・2・3捨場土層断面図、第5調査区土層断面図  
 図版11 第1・4・5調査区遺構検出状況  
 図版12 ロームマウンド検出状況、井戸検出状況、土坑発掘状況  
 図版13 墓坑完掘状況(SK524・331・527・222・149)  
 図版14 埋設土器出土状況(B・C群)  
 図版15 埋設土器発掘状況(RP356・357・127・63・123・80・75・389・59・144・131)  
 図版16 埋設土器発掘状況(RP61・237・274・378・140・143・272)  
 図版17 遺物出土状況  
 図版18 第2・3捨場遺物出土状況  
 図版19 遺物出土状況(RP240・116・519・506・382・441・505)  
 図版20 遺物出土状況(RP504・412・463・435・429・448・518・120)  
 図版21 遺物出土状況(RP175・200・537・47・503・521・436・263)  
 図版22 第1捨場出土土器集合写真、安行2式土器拡大写真  
 図版23 土器(V-7・RP454・SK88・E-7・RP107・RP171・RP503・V-7)  
 図版24 土器(E-7・E-7・RP48・V-5・RP22・T-6・F-7・E-7・RP438・X-4・W-3・W-6・RP526・RP529・RP509)  
 図版25 土器(V-5・U-6・I-8・U-6・W-5・V-7・N-8・V-6・RP308・V-7・V-5・RP305・RP473・RP200・RP147)  
 図版26 土器(RP175・V-6・F-7・V-7・RP328・RP199・RP116・RP104・F-7・RP504・V-6・RP519・U-6・V-6・RP358)  
 図版27 製埴土器拡大写真、漆・アスファルト容器、漆付着土器  
 図版28 漆付着土器、同拡大写真、海綿骨針含有土器、同拡大写真  
 図版29 土偶出土状況、石・土製品出土状況(RQ14・181・141、RP268)  
 図版30 石・土製品、SK182出土一括遺物  
 図版31 石棒群、石・土製品、RP286  
 図版32 石刀群、石棒・黒曜石・クルミ、焼骨(人骨)検出状況  
 図版33 宮の前遺跡出土の焼骨(人骨)

## I 調査に至る経過

宮の前遺跡の調査は、平成5年度に行われた県営ほ場整備事業(富並地区)を原因としている。平成4年の秋の詳細分布調査(試掘)の結果を基に調査が重ねられたが、工事の進行止むをえず壊れると判断された部分について、記録による保存を目的とした緊急発掘調査を、財団法人山形県埋蔵文化財センターが主体となって実施することとなった。

宮の前遺跡は主要地方道尾花沢・寒河江線の工事に関わって昭和49年に道路の路線幅部分についての発掘調査がなされ(山形県埋蔵文化財発掘調査報告書第9集)、今回は第2次調査となる。宮の前遺跡が立地する富並地区では、県営ほ場整備事業に關係して県教育委員会による緊急発掘調査が行われ、早房D遺跡(縄文時代後期から晩期)・川口遺跡(縄文時代後期)・西海瀨遺跡(縄文時代中期)、主要地方道尾花沢・寒河江線(現・国道347号線)にかかわって古道中山遺跡(縄文時代中期)などの発掘調査がなされている。

## II 調査の概要

## 1 調査の概要

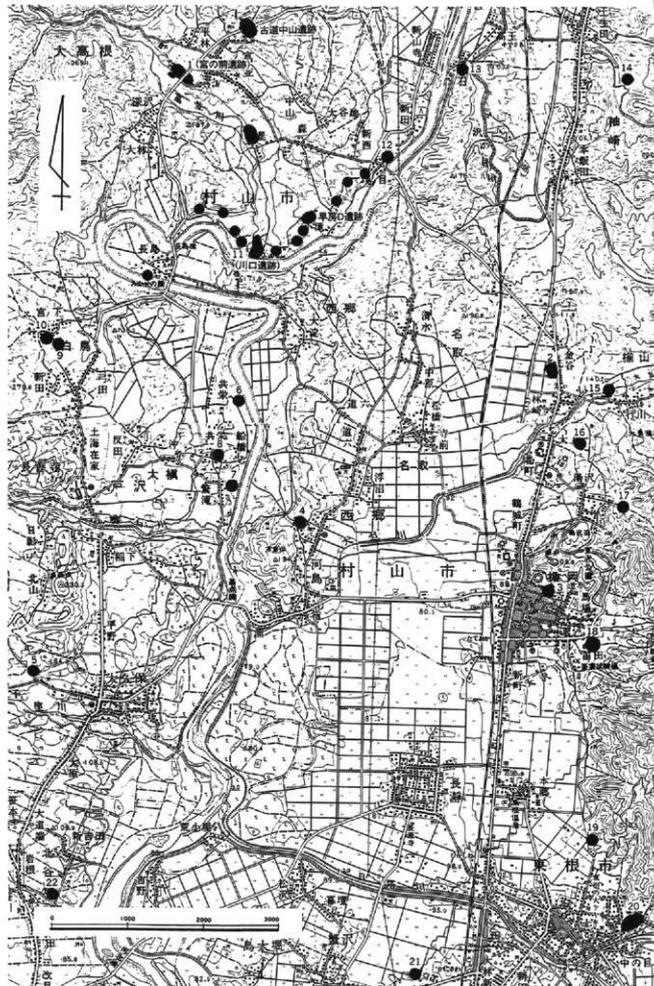
今回の調査は宮の前遺跡の範囲約30,000㎡のうち4,500㎡について実施した。試掘調査の結果をもとにして荷渡神社の東側に第1調査区~第5調査区の5カ所を設定した。一番北側の調査区を第5調査区、そのすぐ南側のトレンチを第4調査区、荷渡神社の正面のトレンチを第3調査区、一番南側の最大の調査区は南北軸線のO軸で切り西側を第1調査区、東側を第2調査区と設定した(第3図)。発掘調査の進め方について関係機関と協議した結果、第1調査区~第3調査区~第4調査区~第5調査区~第2調査区と発掘調査を実施し、調査終了の地区からはほ場整備事業を施行していくことで合意し、5月11日から調査を開始し、9月10日の終了までに1,111箱の遺物が出土した。

水路の切り回しを先行させなくてはならないことから、第1調査区の水路敷きにかかる部分を7月7日、第1調査区の残り部分を8月4日、第2調査区を9月10日の三回にわけて引き渡し、引き渡した地区から工事を施工することとなった。この他に、荷渡神社の周囲に設定された現状保存地区の変更にもない荷渡神社の南側~東側にかけて、水路敷きの遺跡の東側への延長部分の調査も6月20日と9月5日に実施した。

調査期間内に1区の一段下の段丘面から新たな土器捨場が発見されこれを第4捨場と呼ぶこととした。この部分については県文化課の手により試掘調査がなされ工事の計画を協議した結果、砂で埋め戻し、現状で保存されることとなった。

関係公所への現地説明会は引き渡しの都度実施した。遺跡全体にかかわるものとしては8月26日に実施した。また、村山市教育委員会と山形県埋蔵文化財センターの共催による小中学生に向けての現地説明会も8月3日に実施した。

当初発掘調査の終了は9月6日で計画していたが、第3捨場の遺物出土量が多く期間内に終了することが困難となった。そのため6月22日に村山平野土地改良事務所・県文化課・



第1図 遺跡位置図(国土院発行1:50,000「尾花沢」[福岡]を使用)

埋蔵文化財センターとの協議がたれ、9月10日終了となった。また、発掘調査報告書の刊行も平成5年度から平成6年度刊行と了承された。

宮の前遺跡は山形県の中央やや北側に位置する(図1)。この位置は、庄内平野白石地帯のちょうど内側となり、亀ヶ岡式の本格的な地域と見られることもできる。周辺には縄文時代の遺跡が多く縄文時代晩期の遺跡だけでも約20遺跡を数える(表1)。

山形県内の縄文時代晩期の遺跡を整理した佐藤庄一はその総数を253とおさえた(佐藤1980「山形県に見る亀ヶ岡文花の特質と変容」)。村山市の周辺に位置する遺跡をも含めて考えるとすれば、山形県内の縄文時代晩期の遺跡の約20%近くがこの地域に集中する。これはこの地域の縄文時代晩期の優越を示している。このなかでも村山市作野遺跡・東根市花園遺跡・東根市蟹沢遺跡などは注目すべき遺跡としてあげることができる(安孫子1982「村山市史別巻1原始古代編」)。これらの遺跡から出土した土器群を資料化したつ、土器論の立場から阿部明彦が大洞C<sub>2</sub>式の形式内容を整理している(阿部1993「土器文様から見た亀ヶ岡文花の変遷」)。とくに作野遺跡・蟹沢遺跡からは大洞C<sub>2</sub>式を中心とした良好な資料が得られている。

いずれの遺跡とも後期末から晩期終末までの遺物を含み長期にわたる営みをうかがえる。とくに蟹沢遺跡からは遠賀川系の土器も出土している。これはこの地域が最上川などの河川の物資の流通などをとおして、先進的に発展している地域であることを裏付けている。

表1 周辺の縄文時代後期・晩期遺跡一覧

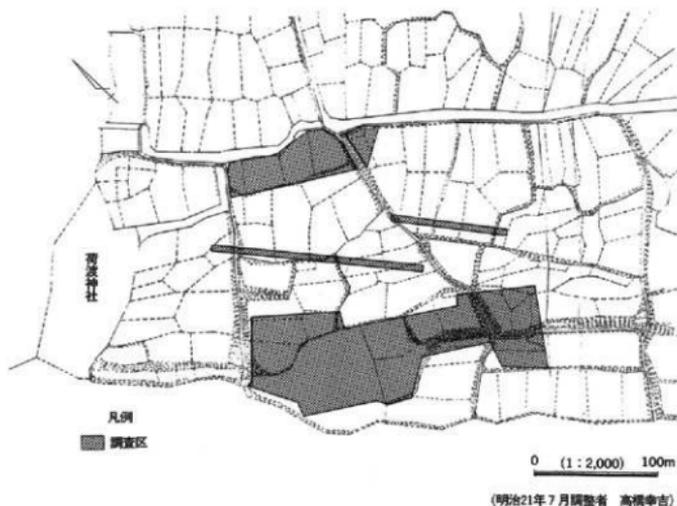
番号	遺跡番号	遺跡名	所在地	種別	時代	出土遺物(そのほか)
1	615	宮の前	富立宮の前	集落跡	大洞C <sub>1</sub> ・C <sub>2</sub> ・A・A <sub>2</sub> 式	大洞(深鉢)B <sub>2</sub> 式(注1・注2)、A <sub>2</sub> 式(注1・注2)、その他(佐藤編、1976)
2	563	位 藤田	福岡林研分	集落跡	大洞C <sub>1</sub> ・C <sub>2</sub> 式	C <sub>2</sub> 式(浅鉢、注口、鉢、台付鉢、深鉢、網)
3	564	福岡小学校	福岡	集落跡	大洞C <sub>1</sub> ・C <sub>2</sub> ・A <sub>2</sub> 式	
4	573	河島山口A	河島乙151の2、1080の1	集落跡	杉の壺式	土鍋
5	579	中山山	湯野沢中山	集落跡	大洞C <sub>2</sub> 式	
6	580	中山子	湯野沢中山	集落跡	大洞C <sub>1</sub> ・C <sub>2</sub> ・A <sub>2</sub> 式(晩期)	
7	598	川口B	大洞	集落跡	大洞C <sub>2</sub> 式	
8	600	鹿の子沢C	大洞鹿の子沢	集落跡	大洞式	
9	603	多佐理A	大洞鹿の子沢	集落跡	里浜式	
10	607	多佐理B	大洞鹿の子沢	集落跡	里浜式?	
11	608	白鳥念仏壇	白鳥念仏壇	集落跡	里浜式?	
12	616	堀ノ目	蟹沢川口	集落跡	里浜式?	後期前半
13	622	上五十沢	上五十沢	集落跡	大洞C <sub>2</sub> 式	
14	625	新入山	上五十沢	集落跡	大洞B <sub>2</sub> 式	
15	626	新入山	上五十沢	集落跡	加曾利B <sub>2</sub> 式	ヒスイ勾玉
16	631	赤南	本飯田赤南	集落跡	大洞C <sub>1</sub> ・C <sub>2</sub> ・A <sub>2</sub> 式	
17	632	赤南	本飯田赤南	集落跡	大洞C <sub>1</sub> ・C <sub>2</sub> ・A <sub>2</sub> 式	
18	644	赤南	石生田赤石	集落跡	大洞C <sub>1</sub> ・C <sub>2</sub> 式	石皿
19	645	大倉小学校	石生田南沢	集落跡	杉の壺式?	
20	649	大倉小学校	福崎上ノ台	集落跡	大洞C <sub>1</sub> ・C <sub>2</sub> 式	石皿
21	652	道	福崎三沢	集落跡	大洞A <sub>2</sub> 式	石椀・石斧 B <sub>2</sub> 式(深鉢)・C <sub>2</sub> 式(浅鉢・鉢・壺)・C <sub>2</sub> 式(蓋・鉢)・A <sub>2</sub> 式(壺) 後期末葉村山市教委発掘(昭54)
22	654	ハバ	湯沢鬼水	集落跡	大洞C <sub>1</sub> ・C <sub>2</sub> ・A <sub>2</sub> 式他	
18	655	作野	福岡田	集落跡	大洞B <sub>2</sub> ・C <sub>1</sub> ・C <sub>2</sub> ・A <sub>2</sub> 式(晩期)	「作野遺跡」山形県教育委員会
19	663	丘 備山	東根松山5319	集落跡	大洞BC <sub>1</sub> ・C <sub>2</sub> 式	芥・皿・栗の実
20	669	東根花園	東根花園281~288、305	集落跡	大洞BC <sub>1</sub> ・C <sub>2</sub> 式	
21	675	大木沢	東根大入	集落跡	大洞(弥生)	
22	712	蟹沢野堂	郡山クノカミ、トヤサキ	集落跡	大洞BC <sub>1</sub> ・C <sub>2</sub> ・A <sub>2</sub> 式	大洞BC <sub>1</sub> ・C <sub>2</sub> ・A <sub>2</sub> 式 東根市教委発掘(昭34・1) 加藤彰(昭40) 佐藤信行(昭38) 渡辺誠(昭37)
21	716	藤ノ木	蟹沢野堂	集落跡	大洞A <sub>2</sub> 式	
22	488	花ノ木	蟹沢野堂	集落跡	大洞A <sub>2</sub> 式	後藤三郎(昭32) 打斧・磨斧・織ノ刀・七・皿・石鏡・石錘・土鍋・石椀・クルミ・骨

村山市史別巻一原始・古代編(昭和57年)一部改題

## 2 調査の方法と経過

調査にあたり遺跡の立地する地形を加味し、諸記録の基準として5m方眼のグリッドを設置した(図3)。南北軸をアラビア数字、東西軸をアルファベットとするグリッドとし、交点を右上に見た位置をそのグリッドのグリッド名としてとらえることとした。調査区全体をグリッドで包括したのちその中を前述の第1～5調査区にさらに細分した。調査区内の環境整備の後、発掘区の確定のため幅1mのトレンチを発掘区全体にわたってめぐらし土の堆積状況を観察した。その後重機により表土を取り除き、次には人手で土の色や土の質に着目しながら、ていねいに面削りを進め少しずつ掘り下げて精査した。発見された遺構と遺物は、記録保存の目的のため写真や図面に記録した。とくに第3捨場は堆積層が明確であったため精査に入った段階で、トレンチ調査の結果をもとに各地層に第1層～第11層までの番号を振り地層毎に遺物を取り上げた。

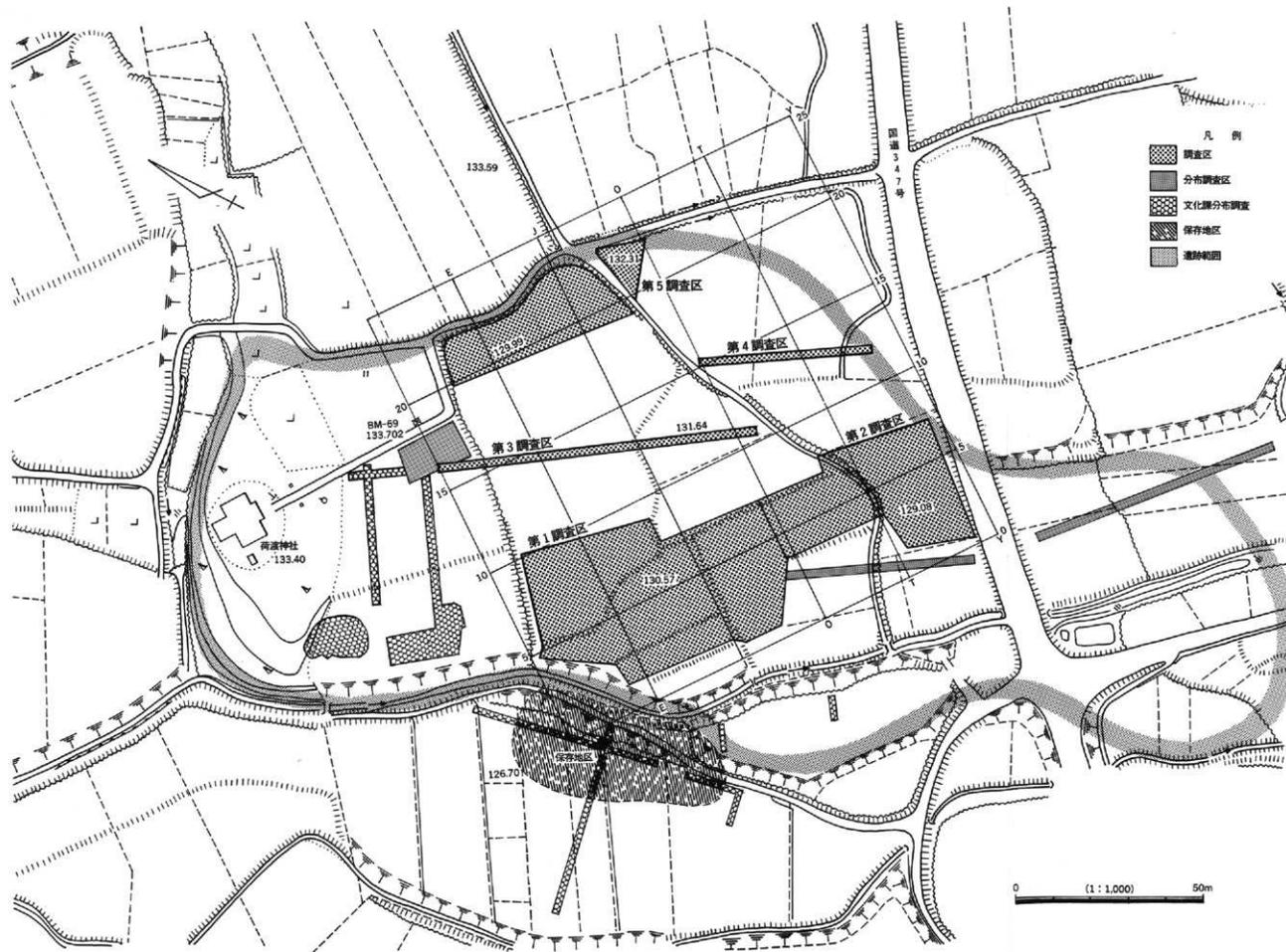
調査の開始にあたり、遺跡付近の字切り図を村山市史編纂室から提供していただいた(図2)。これによれば、第1・3・4・5調査区についてはほとんど明治時代からの地形を残していることが分かる。調査に当たっての聞き取りでは、旧地形がほ場整備などによって改変されているとのことであったが、第2調査区の西側でほ場の西側への拡張があるにすぎないことがわかった。遺跡の遺存は良いことが予想された。尚、遺跡名の「宮の前」は遺跡の西側の村社「荷渡(にわたし)神社」の前に位置することに由来している。



第2図 宮の前遺跡旧地形図

グリッドを設  
 ッドとし、交  
 調査区全体  
 調査区内の  
 めぐらし土の  
 色や土の質に  
 された遺構と  
 層が明確で  
 第11層ま

ただいた(図  
 の地形を残  
 どのように  
 があるにす  
 「宮の前」は  
 いる。



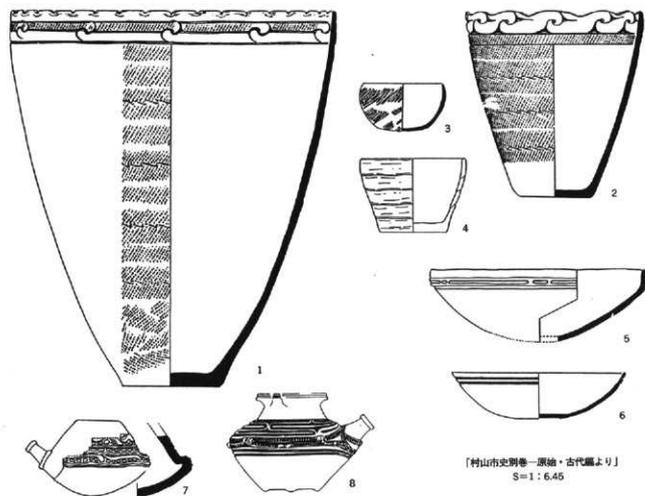
宮の前遺跡(日)地形図

第3図 遺跡全体図

## 3 宮の前遺跡研究小史

宮の前遺跡の資料について言及している文献等を取り上げながら、宮の前遺跡の位置付けについて整理しておきたい。宮の前遺跡について先行する調査として、吉田茂(吉田1963[村山市の土器])や加藤稔(加藤他1982[村山市史考古資料編])らの調査がある。このうち「村山市史」ではそれまで知られていた宮の前遺跡出土土器について集成が行われている(図4)。これらの土器を分類すれば1・2は大洞B式に7は大洞B-C式に5・6・8は大洞A式にそれぞれ当てはまるだろう。3・4は以上の土器群のいずれかの時期に共存すると思われる。これらの土器群を今回検出された土器群の分類に直せば1・2は第VI群土器7は第VI群土器5・6・8は第IX群土器にそれぞれ対応しよう。このように宮の前遺跡の中心的な時期は縄文時代晩期の後半におかれると考えられていた。

しかしこれらの見方は一面的なものであることが判明した。遺跡の営まれた時期については、今回の調査では縄文時代草創期の局部磨製石斧が出土したことから、遺跡の開始は草創期に遡ることがわかった。その後をわたる各期の遺物も縄文時代早期・前期・中期の遺物がやや断片的ながらも出土したことから、約1万年間にわたって営まれる遺跡であることが分かった。遺跡の性格については、単に一地域の中心的な遺跡と理解するのではなく、アスファルトやヒスイそして、安行2式土器の出土などに見るさまざまな物資の交易から描かれる姿はより大きな地域での中心的な遺跡として理解されるであろう。



「村山市史別巻一原典・古代編より」  
S=1:6.45

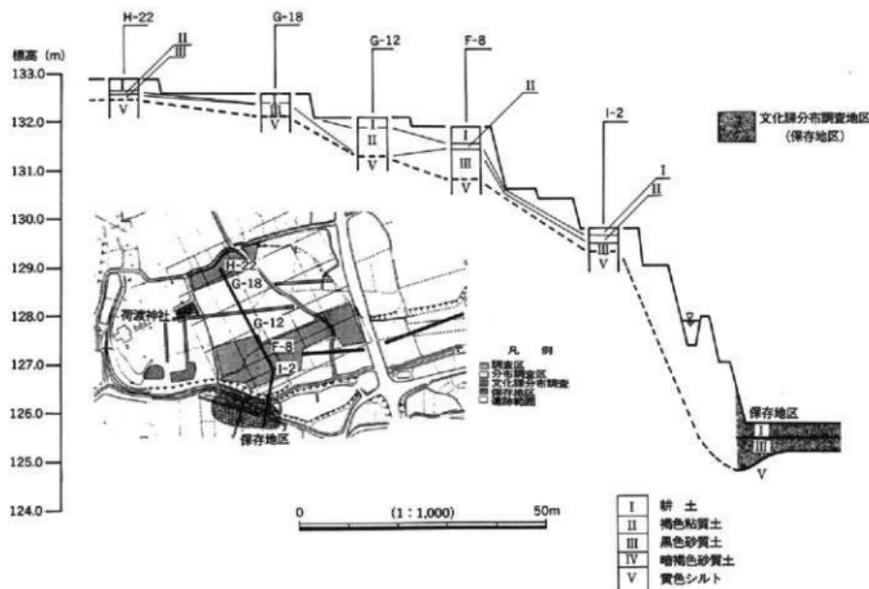
第4図 宮の前遺跡出土土器

## 4 宮の前遺跡の層序

宮の前遺跡は富並川の段丘上に営まれた遺跡である(巻頭写真参照)。このため1~5の各地区毎に若干の段差があり、地区外に発見された第4捨場にはなお一層の段差がある(図5)。1~5区の標高差は約1.7mを測り、さらに第4捨場へは2.5mの比高差がある。また発掘終了後の地形を見れば(第10図・付図)、小さな谷が入り込んでいる状況も見て取れ、微地形は一律ではない。第2調査区では湧水が多く、遺物の保存が良好であった。

層序(図6~9)は、最初に耕作土があり数枚の形成が認められる。これはほ場を数回にわたって形成しているためであろう。次に褐色や黒褐色の層があり遺物が含まれている。地山面として捕らえたのは黄色シルト層である。この層を掘り込んで遺構が構築されている。覆土となるのは褐色あるいは黒褐色の土である。1~5の各地区でこれらの地層の間にやや間層を介在させる。

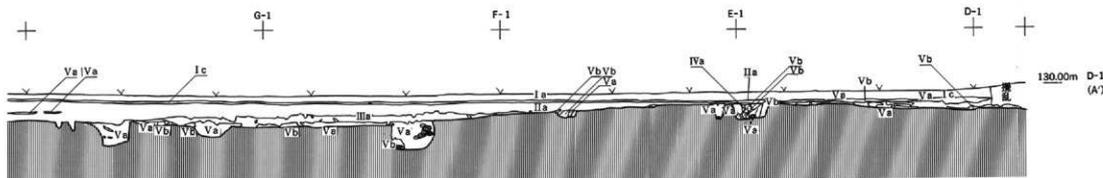
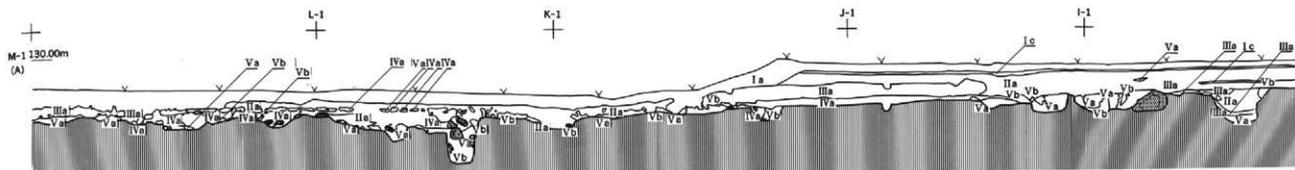
注目すべきこととして、M-1~D-1グリッドのA-A'ラインの土層断面に見られた白色の粘土ブロックがある(図6)。これは火山灰に由来する粘土ブロックと見られたが、同定はされなかった。降下時期も縄文時代晩期の遺構をシールしているためこれ以降と考えられるが判然としない。



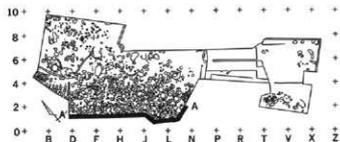
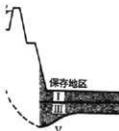
第5図 調査区概念図及び柱状図

め1~5の  
差がある(図  
がある。また  
も見て取れ、  
た。  
:ほ場を数回  
まれている。  
隣り合っている  
の地層の間

に見られた  
見られたが、  
れ以降と考



文化財分布調査地区  
(保存地区)



M-1~D-1 (A-A')

- Ia 10YR4/4 褐色 粘土(粘土) 酸化鉄沈着
- Ic 5YR3/4 暗赤褐色 粘土(粘土)
- IIa 10YR3/3 暗褐色 砂礫混じりシルト
- IIIa 10YR2/7 黒褐色 砂礫混じりシルト 炭化土混じる
- IVa 10YR3/1 黒褐色 砂礫混じりシルト 炭化土混じる
- Va 10YR3/4 におい黄褐色 シルト混じり砂礫
- Vb 10YR7/6 明黄褐色 砂礫

凡例

- 石
- 土層断面位置

0 (1:80) 4m





### III 検出された遺構

#### 1 遺物と遺構の分布

遺物と遺構の分布について第1～第5の各調査区、追加調査された荷渡神社前地区と水路敷延長部分の調査地点について概説する。

第1調査区は平面的には最大の調査区であった(付図)。第1調査区では2回にわたって引き渡しをしたため、全体を認識するには不十分な部分がある。発見されたものは竪穴住居跡5軒(ST1～5)・土坑・伊跡(SL1)・土器捨場2カ所となる。竪穴住居跡はこの地区でしか検出されていない。住居跡として確実なものは5軒のみであった。土坑は多数検出されたが、これは貯蔵穴・墓坑などいくつかの用途に使用されたものが複合しているものと思われた。土坑の分布で興味深いのはA～N-3グリッドに濃密に分布していることである。ここは段丘の縁辺であり遺存が良かったものと考えられる。これに対してA～Nの5～7グリッドには土坑の分布はどちらかというとき少ない。このことはA～Nの5～7グリッドは掘削を受けており自然地形は残っていないことを示しているのだろう。図2と対照すれば明治時代にはほぼこの地形は完成していることがわかる。

第2調査区では大量の土器を中心とする遺物が出土した。第1調査区との間にはP～S-4～7グリッドの空白地帯をもつ。ここには埋設土器群はあるものの、目立った遺構はほとんどない。第1調査区とは隔絶している感がある性格を異にして営まれたものであろう。この調査区では埋設土器と土器捨場が検出された。T～Y-2～4グリッドには土坑の分布が濃密であるが、これは縄文時代のもの中世の掘立柱建物が複合しているものである。土器捨場は南東～北西に向かう鞍部を使用している。この延長の窪地は第5調査区にも検出されている。捨てられる状況は水平ではなく、いわゆる斜面堆積となる。このため層位の確認には注意を要した。第3・4調査区では土坑と埋設土器が検出された。発掘調査中に遺構が濃密に検出された場合には、周囲を拡張する計画であったが、第3調査区の東側で2基の埋設土器を検出したのみであり、遺構の分布は希薄であった。

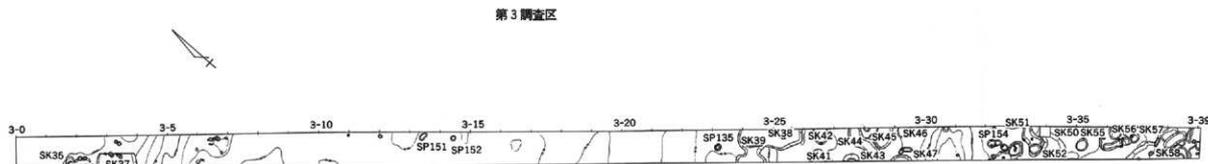
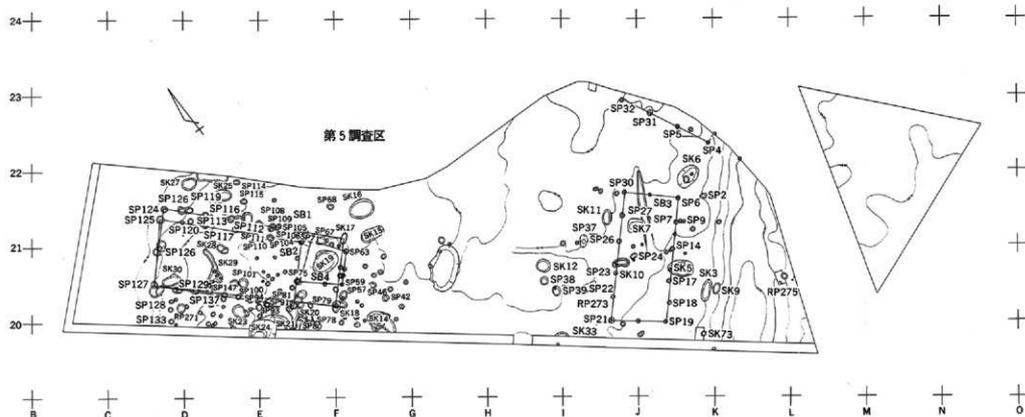
第5調査区では中世の掘立柱建物と埋設土器と土坑が検出された。この地区の区画は既に明治時代には完成している(図2)。また、第2調査区に現れた窪地の延長が調査区の東側に現れている。ここで検出された中世の掘立柱建物は何時期かにわたる切り合いが認められる。またこの住居は一棟で完結するのではなく、同じく検出された井戸やその他の建物と組み合わせられていたものであろう。中世の営みを表す遺構は西海淵遺跡でも確認されている。広くこの地域に分布している状況がある埋設土器と土坑も検出されている。土坑は中世か縄文時代か目立った伴出遺物がないため特定出来ない。追加調査された荷渡神社前地区では、土坑と埋設土器の底部が検出されたのみであり、遺跡の中心ではないと考えられる。水路敷延長部分の調査地区では部分的にバックホーでトレンチを設け遺物の有無について調査したが、目立った遺物はなかった。

土前地区と水

引にわたって  
るのは堅穴住  
で住居跡はこ  
。土坑は多  
複合してい  
布している  
に対してA  
:A~Nの5  
だろう。図

にはP~S  
った遺構は  
ものである  
Dには土坑  
いるもので  
第5調査区  
る。このた  
れた。発掘  
第3調査区

の区画は既  
調査区の東  
合いが認め  
やその他の  
でも確認さ  
ている。土  
きたり荷渡  
ではないと  
受け遺物の



0 (1:250) 10m

第10図 第3・4・5調査区遺構分布図

## 2 縄文時代の遺構

縄文時代の竪穴住居跡はすべて第1調査区から検出され、ST1～5までの5軒がある。各竪穴住居跡の大きさについては表2に詳述した。特徴は次のとおりである。

ST1はC-5グリッドに所在する(第13・14図・図版7)。直径約2m程の小規模な円形の平面形を呈し深さは30cmほどである。中央に石組の炉があり周囲には炭化物が見られた。床面は堅くしまり伊を囲んで偏平な石が7個置かれる。目立った遺物は無い。縄文時代後期～晩期初頭の時期と思われる。注目すべきこととして埋設土器との重複が上げられる。住居跡が廃絶されたあと、土器の埋設が行われている。

ST2はD-4～5グリッドに所在する(第13・14図・図版7)。直径約3mの小規模な円形の平面形を呈し深さは20cmほどである。床面は堅く中央に廃土がある。目立った遺物は無い。縄文時代後期～晩期初頭の時期と思われる。

ST3はD-4～5グリッドに所在する(第13・14図・図版7)。直径約2mの小規模な円形の平面形を呈し深さは50cmほどである。ST1とほぼ同様な大きさである。縄文時代後期～晩期初頭の時期と思われる。ST2→ST3という順序が確認できる。注目すべきこととして、埋設土器との重複が見られる(第23・24図・巻頭図版)。埋設土器はほぼST2・3の直上に設置され東西に向け一列に配置される。住居跡廃絶→埋設土器設置の順序が確認できる。

ST4はG～F-6～7グリッドに所在する(第11・14図・図版6)。輪郭が十分はつきりせず、当初はSK338土坑としてとらえていた。土質並びに土色の微妙な変化に注意し発掘した所、覆土中から貝殻文をもつ一括土器(RP207)が検出され、床面から凹み石などが出土した(第12図)。RP207は波状の口縁部をもつ尖底の土器であり、田戸上層式あるいは物見台式に併行と考えられる。縄文時代早期中葉の長軸2.7m 短軸1.6m 深さ0.5mの楕円形を呈する竪穴住居跡である。

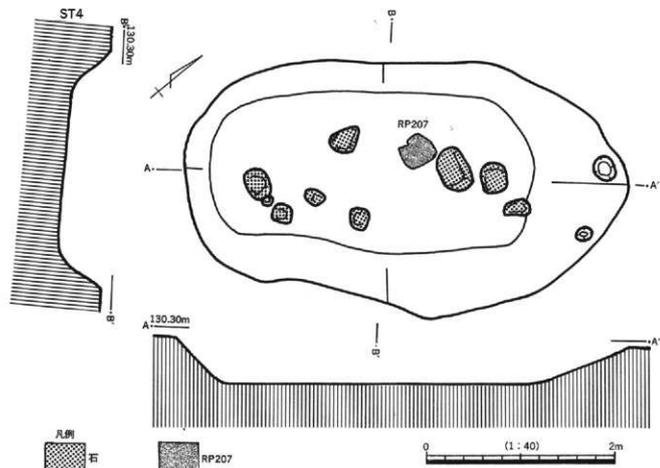
ST5はN-3～6グリッドに所在する(第14・15図・図版5)。輪郭が不明だが、円形を呈する直径約3mほどの竪穴住居跡である。縄文時代後期～晩期初頭の時期と思われる。

表2 縄文時代竪穴住居跡計測表

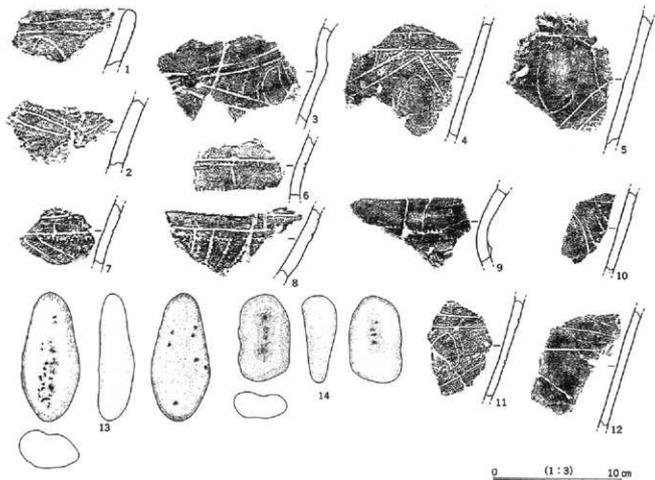
No.	地区	規模 (m)			時期	挿図	備考
		長径	短径	深さ			
ST 1	C-6	2.6	2.6	0.3	縄文時代後～晩期	第13・14図	中央に石組炉
ST 2	D-6・D-5	3.8	(2.1)	0.3	縄文時代後～晩期	第13・14図	廃絶後埋設土器設置・ST 3と切合
ST 3	D-6・D-5	3.1	2.7	0.5	縄文時代後～晩期	第13・14図	廃絶後埋設土器設置・ST 2と切合
ST 4	G-5・G-6	2.7	1.6	0.5	縄文時代早期	第11・14図	
ST 5	N-4・N-3	(2.4)	(2.4)	0.2	縄文時代後～晩期	第15・14図	

凡例

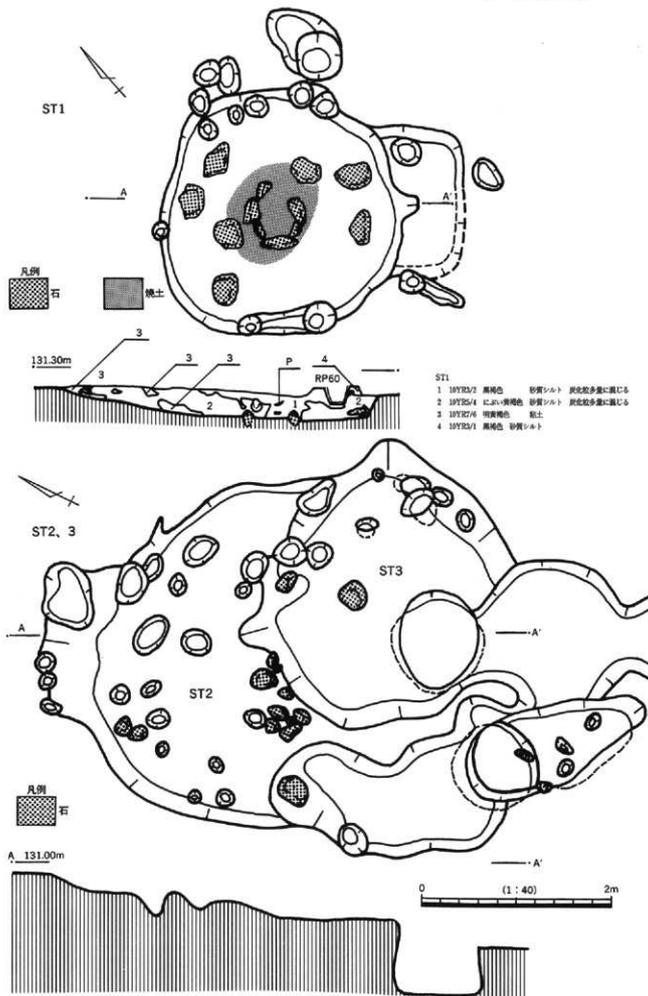
※ ( ) は残存数値を表す。



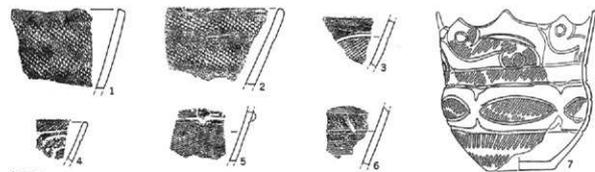
第11図 ST4 竪穴住居跡平面図



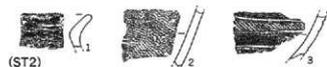
第12図 ST4 竪穴住居跡出土遺物



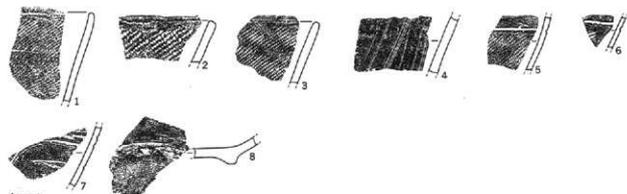
第13図 ST1・2・3 竪穴住居跡平面図



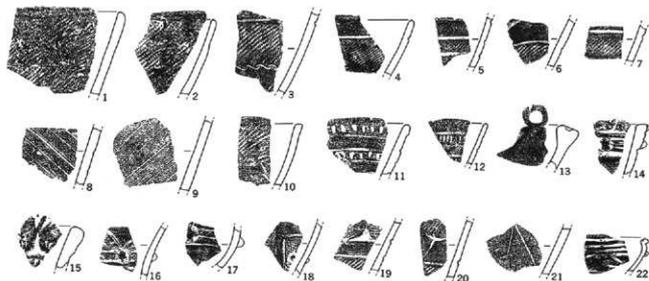
(ST1)



(ST2)



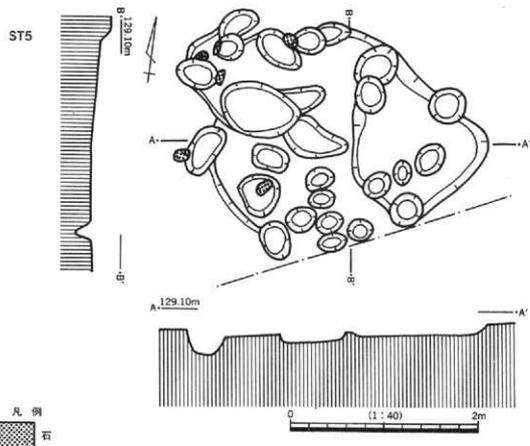
(ST3)



(ST5)

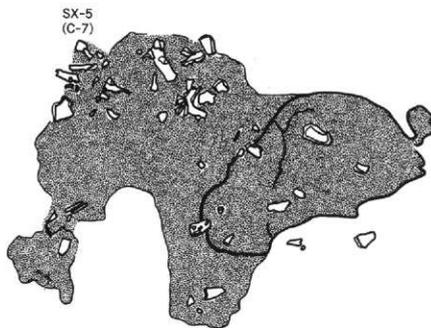
0 (1:3) 10cm

第14図 ST1・2・3・5 竪穴住居跡出土遺物



凡例  
石

第15図 ST5 竪穴住居跡平面図



凡例  
焼骨 (人骨)

第16図 焼骨 (人骨) 分布図

## 3 土坑の種類と性格

調査区全体にわたって土坑が検出された(第10図・付図・第17~21図・図版12~13)。その分布は第1調査区には濃密であり、第2・3・4調査区では分布は薄い。第5調査区では縄文時代のほかに中世に所属する土坑もあると考えられるが分離は出来ない。各々の土坑について、大きさ形態など法量については一覧表にまとめた(表3~6)。

検出された土坑群についてその平面形態に注目すればいくつかに分けることが出来る。

- (1) 平面形が円形のもの。直径が約1m以内であり深さは約20~80cmのものが多い。壁はきちんとしており、断面形態はフラスコ状や袋状になるものがある。
- (2) 平面形が楕円形のもの。長軸が約0.7~1.5mであり、深さが約20cm内外のもの約30~50cm程のものがある。深いものは底面に朱が残っていたり、副葬品の遺物を持つものがある。
- (3) 平面形が不整形のものである。大きさ深さも様々である。これは幾つかの土坑が切り合った結果不整形になったものもある。

(1)は貯蔵穴や墓坑などの用途が考えられよう。炭化物の交じるものや朱が底面に囲まっておいても、などがある。(2)も様々な用途が考えられるが、壁が垂直に落ちるものについては、墓坑と考えられよう。なかには朱が底面に残るものもある。(3)は切り合った結果として最終的にこの形態になったものと、初めから円や楕円などの形態をもたないものであろう。次に各地区の土坑の形態について述べる。

第1調査区の土坑は、ほぼ等高線に沿って分布の濃い部分と薄い部分とにわかれる。これは自然地形の上に営まれた土坑が人為的な掘削を受けた結果であろう。この結果、墓坑や埋設土器の上部施設については亡失しているものもあると考えられる。また時期的にも縄文時代早期(SK4)・前期(SP623)・中期などの数時期にわたる遺物が確認されているため、土坑についても同様な所属時期を求め帰結させることが肝要となるが今回は一部を除いて不可能であった。伴出遺物からみればそのほとんどは、縄文時代後期~晩期の所産と見ることが出来る。1の形態に所属するものうちSK77(図版12)からは、トチの皮とおぼしき炭化物が出土した。2の形態に所属するものうちSK183(巻頭図版)からは石弁とヒスイ製の垂飾品が出土したことから、墓坑と思われる。また埋設土器とこの形態の土坑が、I~K-4~6グリッドでは併存する。N~Q-5~7グリッドでは土坑は伴わず埋設土器のみが分布する。この事実を対比することは興味深いことである。このほかにも出土遺物はないものの墓坑と思われる土坑があるがこれについては次章で触れる。

3の形態に所属するものも多い。

第2調査区の土坑は、T~Y-1~3グリッドに中心的に分布する。この中には中世に所属する柱穴もあったが、建物としての構成を捕えるまでには至らなかった。

第3・4調査区の土坑は、散漫な分布である。全体が掘削を受けているためと思われる。

第5調査区の土坑は中世の時期と縄文時代晩期のものと2時期あると考えられるが、大半は縄文時代晩期に所属するものであろう。

## 凡例

1. 本表は宮の前遺跡検出の土坑の一覧である。
2. SK・noは、各層のSK・noと対応する。
3. 土坑の形状のうち、円、楕円、不整形以外のものについては、その層度表示した。

表3 宮の前遺跡土坑一覧(1)

Sk-no	地区	形状	大きさ(cm)			備考	検出層	Sk-no	地区	形状	大きさ(cm)			備考	検出層
			円	楕円	不整形						長軸	短軸	深さ		
5	K-21	○	170	165	19			64	4区	○	150	86	11		
6	K-22	○	166	110	36			65	4区	○	—	—	39		
7	J-22	○	115	80	42			66	4区	○	—	100	23		
8	K-21	○	142	56	27			67	4区	○	345	—	79		
9	L-21	○	78	46	24			68	4区	○	—	100	5		
10	J-21	○	110	52	31			69	4区	○	65	55	16		
11	J-22	○	102	60	20			70	4区	○	—	130	21		
12	I-21	○	94	90	36			71	4区	○	—	—	15		
13	H-21	○	308	190	52			72	4区	○	70	30	—		
14	G-21	○	125	90	92			73	K-20	○	—	—	—	R P 274	
15	G-22	○	160	75	76			74	E-2	○	95	95	10		
16	G-22	○	168	124	67			75	E-3	○	—	—	32		
17	G-22	○	78	40	42			76	E-2	○	90	50	14		
18	G-21	○	95	78	29			77	E-2	○	110	110	47		21
19	F-21	○	186	120	183	井戸		78	E-2	○	175	65	50		
20	F-21	○	270	45	13			79	E-2	○	—	75	22		
21	F-21	○	—	—	—			80	E-2	○	115	115	80		
22	E-22	○	74	52	29			81	F-2	○	90	90	12		
23	E-21	○	100	70	25			82	E-2	○	50	50	10		
24	E-20	○	—	—	80			83	F-2	○	150	70	10		
25	E-22	○	115	74	16			84	F-2	○	50	35	—		
26	E-22	○	210	—	—			85	F-2	○	95	60	50		
27	E-22	○	100	80	27			86	F-3	○	160	110	14		
28	E-21	○	80	45	30			87	F-3	○	205	145	24		
29	E-21	○	160	25	—			90	F-2	○	180	90	74		
30	D-21	○	125	60	18			91	G-2	○	—	85	62		
31	J-21	—	—	—	17	R P 273		92	G-2	○	65	40	—		
33	I-20	○	—	—	—			93	G-2	○	75	50	—		
34	D-21	○	55	—	—	R P 271		96	G-2	○	180	125	62		
35	3区	○	70	60	53			101	H-3	○	68	30	40		
36	3区	○	—	—	30			102	H-3	○	60	40	30		
37	3区	○	—	—	16			103	H-3	○	—	—	40	R P 44	
38	3区	○	—	—	29			105	I-2	○	160	100	70		
39	3区	○	134	65	22			106	I-3	○	95	95	85		
40	3区	○	30	65	25			109	I-2	方形	140	85	40		
41	3区	○	—	105	21			110	K-2	○	125	80	25		
42	3区	○	—	95	10			112	L-2	○	236	148	70		
43	3区	○	—	100	45			113	M-2	○	122	88	60		
44	3区	○	—	80	48			115	M-2	○	100	98	—		
45	3区	○	—	110	57			116	M-2	○	142	82	—		21
46	3区	○	90	110	28			117	L-2	○	50	34	15		
47	3区	○	—	—	38			118	M-2	○	256	214	40		
48	3区	○	—	—	—			120	M-3	○	86	72	20		
49	3区	○	100	78	25			122	N-3	○	62	46	30		
50	3区	○	—	—	36	R P 299		123	M-3	○	58	50	40		
51	3区	○	—	—	27	R P 298		124	N-4	○	84	56	55		
52	3区	○	75	65	45			125	M-5	○	130	125	80		
53	3区	○	—	—	26			126	L-3	○	94	58	40		
54	3区	○	85	70	33			127	L-3	○	—	—	85		
55	3区	○	78	68	30			128	L-4	○	220	190	65	R P 198	
56	3区	○	—	—	80			129	L-3	○	118	94	120		
57	3区	○	—	—	15			130	L-3	○	—	—	—	S K 127	
58	3区	○	60	20	33			131	L-3	○	184	80	30		
59	3区	○	—	—	36			132	K-3	○	90	90	57		
60	4区	○	—	—	10			133	K-3	○	100	85	35		
61	4区	○	40	30	19	R P 300		135	J-3	○	95	85	50		
62	4区	○	150	85	31			137	J-3	○	130	125	40		
63	4区	○	—	—	22										

表4 室の前遺跡土坑一覽(2)

Sk-no	地区	形状	大きさ (cm)	備考	検出No	Sk-no	地区	形状	大きさ (cm)	備考	検出No
138	円	楕円	長軸 短軸 深さ	R Q37, 38	20	222	H-4	円	160 70 40		
139	J-3	○	120 70 35			224	G-5	○	145 100 40		
142	I-3	○	130 90 51			225	G-4	○	70 70 48		
144	I-3	○	115 50 50		19	226	H-4	○	125 80 61		
145	I-3	○	140 110 55			227	H-4	○	100 75 54		
146	I-3	○	100 100 45			228	H-4	○	110 60 75		
148	I-3	○	185 150 35			229	H-5	○	260 165 20		
149	I-3	方形	100 50 65		19	230	I-4	方形	185 160 52		
150	I-3	○	70 70 83			231	I-4	○	90 55 35		
152	I-3	○	65 50 -			232	I-4	○	- 105 5		
153	H-3	○	160 110 44			234	I-4	○	120 120 93		
154	H-3	○	30 30 -			235	I-4	○	- 40		
157	H-5	○	58 40 48			236	I-4	○	135 90 30		
159	H-3	○	105 100 26			237	I-5	○	90 70 38		
160	H-3	○	50 30 -			238	I-4	○	80 50 16		
161	G-3	○	40 30 -			240	J-4	○	100 100 40		
162	G-3	○	40 40 -			241	J-4	○	- 30		
165	G-3	○	140 90 35			242	J-4	○	55 55 50		
166	G-3	方形	140 85 15			243	J-4	方形	135 85 15		
165	G-3	○	80 80 30			244	J-4	○	70 60 20		
167	G-3	○	180 80 60			245	J-4	○	95 70 38		
168	G-3	○	85 40 43			246	K-5	○	50 20 10	R P39	
169	F-3	○	175 145 29			248	J-4	○	195 - 35		
170	F-3	方形	115 60 20			250	J-4	方形	115 100 15		
171	F-3	方形	125 120 20			251	J-4	○	95 50 50		
172	F-3	○	130 100 14			252	K-4	○	60 50 60		
174	F-3	○	65 50 -			253	K-4	○	190 150 55		
175	D-3	○	75 65 52			254	K-4	○	- 30		
176	F-3	○	50 50 34			255	K-5	○	200 - 53		
177	E-3	○	75 55 -			256	K-4	○	150 90 65		
179	E-3	○	45 45 31			257	K-4	○	100 100 40		
186	C-4	方形	105 90 60			258	K-4	○	65 40 30		
187	B-5	○	435 35 22	S K348		259	K-4	○	60 60 56		
189	C-4	○	90 80 21			261	K-4	○	110 110 55		
190	C-4	○	60 60 25			262	L-4	○	100 100 45		
191	C-4	○	235 70 52			263	L-4	○	100 100 30		
192	D-4	○	- 70 36			264	L-4	○	200 175 70		
193	D-4	○	180 80 82			265	L-5	方形	55 55 24		
196	D-4	○	300 65 16			267	L-4	方形	100 100 50		
197	D-4	方形	125 85 33			268	L-4	○	70 50 90		
198	E-4	○	100 50 10			269	L-5	○	110 70 45		
199	E-3	○	115 80 46			270	M-4	○	55 40 60		
201	E-4	○	55 25 10			272	M-5	○	50 50 36		
202	E-4	○	100 100 10			273	M-5	○	65 65 60		
204	F-4	○	162 110 25			274	M-4	○	60 60 42		
205	E-4	○	160 135 49			275	N-4	○	196 116 30		
206	E-4	○	75 75 23			276	N-4	○	174 142 60		
207	E-4	○	95 75 30			277	N-4	方形	98 86 35		
208	E-4	○	135 130 27			278	N-4	方形	98 86 35		
209	E-5	○	125 100 51			279	N-4	○	74 64 30		
210	E-4	○	90 90 34			280	N-4	○	122 102 40		
211	F-4	○	251 40 13			281	N-4	○	54 30 25		
212	F-4	○	145 80 63			282	O-5	方形	90 84 20	R P68	
213	F-4	○	45 45 41		17	284	N-5	○	90 84 30		
214	F-4	○	60 44 17			285	N-5	○	80 46 27		
215	F-4	○	200 80 26			286	M-5	方形	95 70 44	R P146	
216	G-5	○	110 120 10			289	M-5	○	420 310 72	R P146	
217	G-4	○	125 70 31			290	M-5	○	85 85 30		
218	G-4	○	95 75 26			291	M-5	○	140 110 54	R Q26	
220	G-4	○	180 110 56		17	292	L-5	○	140 115 36	R Q27, R P142	
221	H-4	○	70 70 48		17	293	L-5	方形	130 120 20		

表5 宮の前遺跡土坑一覽(3)

Sk-no	地区	形状	大きさ (cm)	備考	検出No	Sk-no	地区	形状	大きさ (cm)	備考	検出No
284	L-5	○	136 100 45			369	H-6	○	95 45 20 <th> <th> </th></th>	<th> </th>	
285	L-5	○	115 115 36			370	I-6	○	115 65 30		
286	L-5	○	105 105 26			369	H-6	○	95 45 20		
297	L-5	○	60 35 15			371	I-6	○	135 80 26		
298	L-5	○	125 120 34			372	I-6	○	95 30 20		
299	L-5	○	150 150 30			373	I-6	○	190 80 -	R P201, R P130	18
300	K-6	○	145 100 53		20	374	I-6	○	85 55 45		
301	K-5	○	100 50 10			375	B-7	○	60 50 15		
302	K-5	方形	100 100 20			376	B-7	○	110 85 54		
303	K-5	○	160 120 25			377	C-7	方形	190 110 33		
304	K-5	○	165 135 43			378	C-7	○	150 110 37	R P12, R P206	21
305	K-5	○	35 25 43			379	G-7	○	30 30 33		
307	K-5	○	70 55 20	R P143		380	H-7	○	210 - 63		
308	K-5	○	80 70 30			381	I-7	○	125 100 75		
309	J-5	○	90 40 23			382	I-7	○	190 85 12		
310	J-5	○	65 55 15			383	I-7	○	400 250 21		
312	J-6	○	135 90 30		19	385	J-6	○	70 40 -	R P36	
313	J-6	○	140 100 15	R P35, R P139	21	386	K-6	○	80 40 -	R P37	
316	J-5	○	290 155 20	R P204	20	387	K-6	○	50 40 -	R P55	
317	J-5	○	290 120 20	R P140	20	390	L-6	○	100 20 26	R P96	
318	J-5	○	-			391	L-6	○	160 85 50		
319	J-5	○	260 120 20	R P141, S K318	20	392	M-6	方形	140 85 20		
320	I-5	○	220 90 50		18	393	M-6	○	85 45 10		
321	I-5	○	80 60 35			394	N-6	○	120 110 25		
322	I-5	○	45 45 30			396	L-7	方形	- 90 30		
323	J-5	○	85 50 33			397	L-7	○	95 80 26		
327	I-5	○	190 70 40		18	398	K-7	○	260 190 62		
328	I-5	○	118 60 30		18	399	K-7	○	120 80 20		
329	I-5	○	105 90 30		18	400	K-7	○	170 160 -		
330	H-5	○	165 90 35		18	401	C-9	方形	400 130 92		
331	H-5	○	105 70 47			403	B-9	○	140 80 34		
332	H-5	○	175 110 62			404	C-10	○	- 145 53		
333	H-5	方形	100 70 28			405	J-2	○	45 45 25		
334	H-5	○	- 27	S K332		407	J-2	○	75 75 10		
335	G-5	○	110 85 38			408	J-3	○	80 -		
336	G-5	○	140 60 20			409	J-3	○	160 45 30		
337	G-5	○	80 70 28			411	J-3	○	85 85 35		
338	G-5	○	470 260 52	R P207		414	J-3	○	60 40 35		
339	F-5	○	110 80 33			415	J-3	○	70 40 20		
341	E-5	○	120 120 40			417	J-3	○	160 110 105		
342	E-5	○	330 70 20	S K485		420	K-3	○	80 80 50		
343	E-5	○	133 240 53	R P24, R P208	17	421	K-3	○	130 120 35		
344	D-5	○	410 100 22			423	L-2	○	30 24 13		
346	C-5	○	80 80 15			424	L-3	○	80 70 40		
347	C-5	○	80 70 28			426	M-4	○	50 50 40		
348	B-5	○	435 35 22	S K187に含		427	M-4	○	45 45 55		
349	B-5	○	70 70 43			428	M-4	方形	170 75 69		
350	B-5	○	80 70 39			429	M-4	方形	65 45 42		
351	C-5	○	70 70 26			430	M-4	○	50 50 68		
353	B-4	方形	110 65 39			431	L-3	○	126 60 45		
354	B-5	○	490 50 28			432	I-2	○	- 135 55		
355	B-5	○	50 25			435	H-2	○	120 60 45		
356	B-5	○	100 100 18			436	I-2	○	100 70 65		
360	B-6	方形	120 120 58			438	K-2	○	110 100 15		
361	B-6	○	90 80 20			439	K-3	○	125 75 64	R Q23	20
362	C-6	○	125 65 20			440	K-2	○	110 40 30		
363	F-6	○	90 55 27			441	K-2	○	- 80 80		
365	H-6	○	210 60 30			442	K-2	○	- 70 35		
366	H-7	○	110 80 43			443	L-4	○	130 110 70		
367	H-6	方形	70 50 5			444	L-5	○	- 26	S K269	
368	H-6	方形	100 60 10			446	H-6	方形	80 80 25		

表6 宮の前遺跡土坑一覧(4)

Sk-no	地区	形状 円 楕円 不規則	長さ (cm)	幅 (cm)	深さ (cm)	備考	検出 No	Sk-no	地区	形状 円 楕円 不規則	長さ (cm)	幅 (cm)	深さ (cm)	備考	検出 No
450	L-2	○	98	82	30			529	G-5	○	156	80	49		
451	L-2	○	198	96	63			530	K-3	○	130	110	55		17
452	K-2	○	30	30	32			531	J-3	○	180	80	60		
454	I-4	○	140	70	68		19	533	L-3	○	260	-	45		
458	E-5	○	330	70	20	S K342		534	K-3	○	150	80	30		
461	K-5	○	140	115	48			535	B-4	方形	115	65	39		
462	F-3	○	130	120	16			536	C-4	方形	100	60	40		
463	G-8	○	90	55	30			537	H-2	○	60	60	60		21
465	G-9	○	80	60	32			543	E-5	方形	60	55	34		
466	G-9	○	40	40	4			544	F-5	○	75	60	20		
467	G-9	○	70	60	5			545	H-2	○	105	95	80		
468	F-9	○	90	60	10			547	L-2	○	72	58	55		
469	F-9	○	65	44	5			548	L-2	○	114	94	70		
470	F-7	○	70	60	35			549	J-3	○	55	50	20		
471	E-10	○	155	80	35			551	E-5	○	170	80	35		17
473	C-10	○	100	67				554	D-4	○	130	120	33		
474	D-9	○	80	62	30			556	G-4	○	80	60	33		
475	D-9	○	400	300		ルームアウンド		557	I-5	方形	145	62	35		19
477	E-8	○	180	170	-	ルームアウンド		558	I-4	○	240	80	5		
480	F-8	○	45	30	10			559	H-4	○	-	10			
481	G-8	○	55	50	35			562	H-2	○	-	80	40		
482	G-8	○	60	60	32			563	K-3	○	55	50	20		
483	E-7	○	145	135	38			564	M-3	○	160	112	85		
484	E-8	方形	110	80	39			566	D-9	○	75	40	10		
485	E-8	○	125	48	34			569	L-2	○	120	110	55		
486	E-8	○	65	40	16			570	L-2	○	80	50	90		
487	E-7	○	50	50	44			571	L-2	○	106	70	20		
488	D-8	○	95	80	20			573	K-2	○	80	65	40		
489	D-8	○	80	80	15			574	J-3	○	150	90	90		
490	D-8	○	60	35	17			575	J-3	○	75	75	20		
491	D-8	○	70	60	13			576	J-2	○	95	85	40		
492	D-8	方形	65	60	23			577	I-3	○	85	55	60		
493	D-8	○	45	45	43			578	I-3	○	-	85	25		
494	D-8	○	40	40	22			579	K-2	○	70	50	25		
495	D-8	○	95	60	26			580	L-2	○	92	-	40		
497	C-8	○	80	40	15			583	T-3	○	264	208	50		
498	C-8	○	400	35	31			584	U-3	○	78	70	30		
499	D-7	○	320	125	57	R P145		585	U-3	○	220	102	58		
500	D-6	○	110	100	37			588	U-3	方形	184	94	60		
501	D-6	○	70	35	42			589	V-3	○	100	100	25		
502	D-6	○	75	38	21			590	W-3	○	58	58	45		
503	C-6	○	270	270	27	S L2、R P60		591	V-3	○	112	80	25		
504	E-7	○	110	90	31			592	W-3	○	56	44	45		
505	M-3	○	65	55	70			593	W-2	○	120	108	40		
507	M-5	○	70	60	67	R Q28		595	W-3	○	90	84	45		
508	M-5	○	220	140	73	R Q29		596	X-2	○	60	54	30		
510	L-6	○	75	75	58			597	V-3	○	42	36	20		
513	G-7	○	110	80	35	R P204		598	V-3	○	50	48	20		
514	E-10	○	-	-	73			599	V-3	○	58	56	20		
515	E-7	方形	140	100	39			600	V-4	○	70	62	45		
516	D-7	○	70	25	9			601	X-3	○	-	200	30		
517	J-7	○	260	180	10			602	X-7	○	176	96	30		
518	L-2	○	140	-	30			604	W-6	○	108	80	20		
519	M-2	○	174	-	-			610	X-7	○	218	100	40		
522	D-3	○	160	75	58			611	X-8	○	162	94	20		
523	E-7	○	80	50	34			612	X-8	○	100	74	30		
524	C-7	○	110	100	20	R P13		613	Y-8	○	-	116	40		
525	C-7	○	195	145	15	S X-5		614	X-7	○	410	96	40		
526	C-7	○	150	110	19	R P131、R P144		616	U-7	○	110	18	20		
527	I-4	○	145	70	40		19	630	X-6	○	60	48	20		
528	M-2	○	72	24	-										

## 4 土坑と墓坑について

ここでは墓坑を中心に述べる(図17・21、図版12~13)。縄文時代晩期の墓坑についての山形県の調査事例は多くない。「虫内I遺跡」「虫内III遺跡」あるいは「湯出野遺跡」「柏子所貝塚」など秋田県内での墓坑の検出例のような、しっかりした掘り込みをもち、底面には朱を施したり、副葬品が埋納されるような事例は少ない。わずかに羽黒町にある「玉川遺跡」では副葬品と思われる多量のヒスイ製品が出土し注目を集めた。

墓坑を埋葬という観点からみれば、ここでは3種類の遺体の処理方法が見られる。

I 地面に穴を掘り、そこに埋葬する方法。

II 土器に埋葬する方法。

III 遺体を焼却する方法。

I類は更に細別できる。1、円形の土坑をなす場合、2、楕円形の土坑をなす場合。さらにa、朱を底面に施す。b、副葬品をもつ。c、何も検出されない。d、礫が入る。e、その他。cは木製品などが腐食して残らない場合もあり、「虫内III遺跡」など場合には木製の椀などの副葬があったので、宮の前遺跡の場合にも木製品の副葬は十分考えられることである。なお各土坑からは伴出遺物も出土しているので表3~6を参照されたい。

I・1・aタイプはS K182であり、円形土坑の北東の位置に小児頭大の朱のかたまりが置いてあった。これを頭位とすれば約東北となろう。

I・1・dタイプは注目できる(図版12)。これは礫を埋葬に際して埋めたか、墓上装置としての役割が考えられる。S K77、S K312、などはこの類であろう。

I・1・eタイプはS K343などがある。土坑の壁から横に埋設土器を納めたもの。

I・1・cタイプは横儀的に同定できるものはない。

I・2・aタイプの土坑(図版13)はS K529である。副葬品はなかった。朱の置いてある位置が頭位とすれば、約北西とみることができよう。

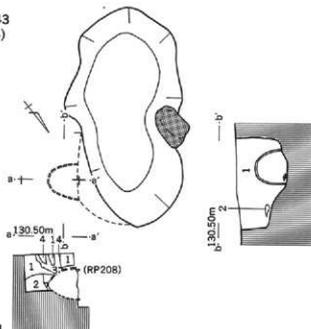
I・2・bタイプは二つがある。S K138で(巻頭図版)はヒスイ製の垂飾品と磨製石斧が副葬されていた。この位置を頭位と考えれば北西となろう。S K318では小型の磨製石斧が出土しているが出土位置は不明である。

I・2・cタイプはS K551、S K212、やや不整ながらもS K222、S K327、S K328、S K557、S K231、S K527、S K144、S K149、S K316、S K317、S K166、S K313、があげられよう。この類の特徴としてS K231、S K527、S K144、S K149、のように50cm~1mほどもある深い掘り込みをもつしっかりとしたものが多いということがある。S K316、S K317、S K318は先に述べたものよりも一回り大きくかつ浅い。これは標高が高い地点にあるため掘削を受けているということも一因であろう。しかしこの類は埋設土器と伴している(第23図・図版11参照)。特殊な要因がこの差異には求められるのだろうか。

I・2・dタイプ(図版12)としてS K320などはこの類とできようか、しかし円形土坑ほど掘り込みは明確ではない。

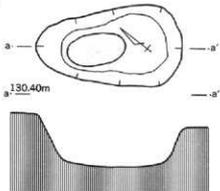
III 検出された遺構

SK343  
(E-5)

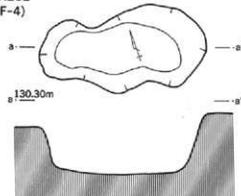


- SK343
- |          |        |       |           |
|----------|--------|-------|-----------|
| 1 MYR2/1 | 黒褐色    | シルト質砂 | 炭化粒多量に混じる |
| 2 MYR5/6 | 黄褐色    | 砂礫    | 炭化粒含む     |
| 3 MYR4/6 | 褐色     | 粘土    | ゆるい       |
| 4 MYR4/3 | にぶい黄褐色 | 砂礫    | 炭化粒含む     |

SK551  
(E-5)



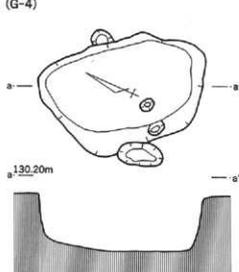
SK212  
(F-4)



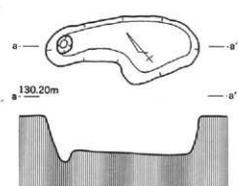
SK529  
(G-5)



SK220  
(G-4)



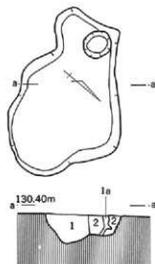
SK222  
(H-4)



第17図 土坑平衡面図(1)

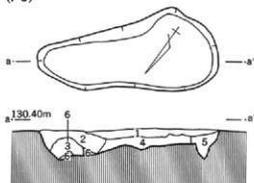
III 検出された遺構

SK330  
(H-5)



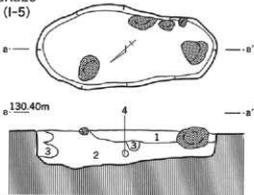
- SK330
- |            |        |       |      |
|------------|--------|-------|------|
| 1 MYR2/1   | 黒褐色    | 砂質シルト | 黒泥状  |
| 1a 25YR4/2 | 暗灰黄色   | 砂     |      |
| 2 10YR5/4  | にぶい黄褐色 | 砂     | 小礫混入 |

SK327  
(I-5)



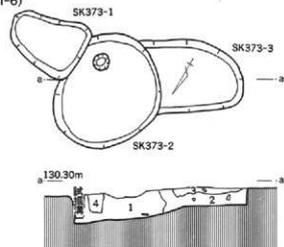
- SK327
- |          |        |       |               |
|----------|--------|-------|---------------|
| 1 MYR4/3 | にぶい黄褐色 | 礫混り粘土 | 炭粒多量混在        |
| 2 MYR4/4 | にぶい黄褐色 | 礫混り粘土 | 炭粒多量混在        |
| 3 MYR2/3 | 黄褐色    | 砂礫    |               |
| 4 MYR4/6 | 暗黄褐色   | 砂     | シルト質土ブロック状に凝結 |
| 5 MYR2/6 | 暗黄褐色   | 砂     |               |
| 6 MYR4/6 | 黄褐色    | 砂礫    |               |

SK320  
(I-5)



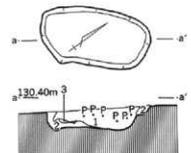
- SK320
- |           |        |    |          |
|-----------|--------|----|----------|
| 1 10YR4/4 | にぶい黄褐色 | 砂礫 | 炭化粒少量混じる |
| 2 10YR4/2 | 黄灰褐色   | 砂礫 | 炭化粒少量混じる |
| 3 10YR2/3 | 黒褐色    | 砂  |          |
| 4 10YR1/4 | 褐色     | 砂  |          |

SK373  
(I-6)



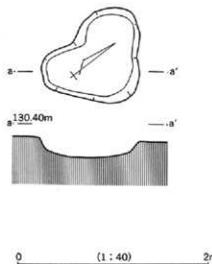
- SK373
- |           |        |       |              |
|-----------|--------|-------|--------------|
| 1 10YR2/2 | 黒褐色    | 砂質シルト | 炭化粒多量に混じる    |
| 2 MYR4/6  | 暗黄褐色   | シルト質砂 | 炭化粒多量に混じる    |
| 3 10YR5/3 | にぶい黄褐色 | 砂質シルト | 炭化粒多量に混じる    |
| 4 MYR1/1  | 黒色     | 砂質粘土  | 粘性あり・炭石少量混じる |

SK328  
(I-5)



- SK328
- |           |      |       |                               |
|-----------|------|-------|-------------------------------|
| 1 25Y4/2  | 暗灰黄色 | シルト質砂 | 炭化粒ブロッコ状に混じり土質軟多く<br>炭灰・礫少量混在 |
| 2 25Y5/6  | 黄褐色  | 砂     | 跡残り中位                         |
| 3 7.5B2/3 | 暗赤褐色 | シルト質砂 |                               |

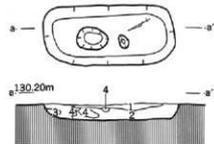
SK329  
(I-5)



第18図 土坑平衡面図(2)

III 検出された遺構

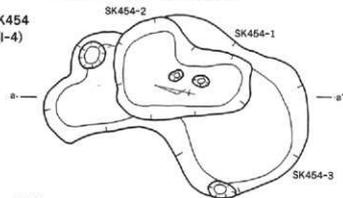
SK557  
(I-5)



SK557

- 1 10YR4/3 におい黄褐色 粗砂 炭化粒混じる
- 2 10YR4/4 褐色 砂礫
- 3 10YR3/3 におい黄褐色 粗砂
- 4 10YR6/4 におい黄褐色 砂礫 炭化粒混じる

SK454  
(I-4)

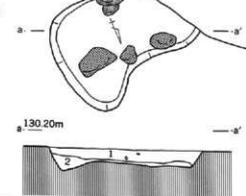


130.00m

SK454

- 1 10YR2/2 黒褐色 シルト質砂 炭化粒混じる
- 2 10YR3/3 暗褐色 砂礫 黒褐色 10YR2/2 シルト質砂混入
- 3 10YR4/3 におい黄褐色 砂礫 炭化粒混じる
- 4 10YR4/6 褐色 砂礫 炭化粒混じり土器片点在
- 5 10YR5/6 黄褐色 粗砂 炭化粒混じる
- 6 10YR7/6 明黄褐色 粗砂 炭化粒混じる

SK312  
(J-5)



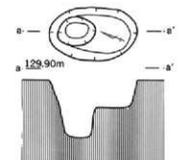
130.20m

SK312

- 1 10YR3/2 黒褐色 シルト質砂
- 2 10YR7/6 明黄褐色 シルト質砂

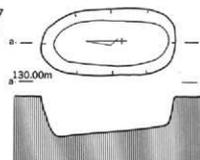
凡例  
■ 石

SK231  
(I-4)



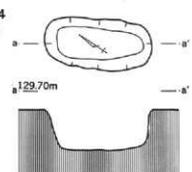
129.90m

SK527  
(I-4)



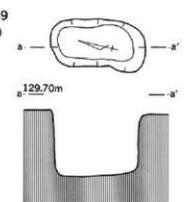
130.00m

SK144  
(I-3)



129.70m

SK149  
(I-3)



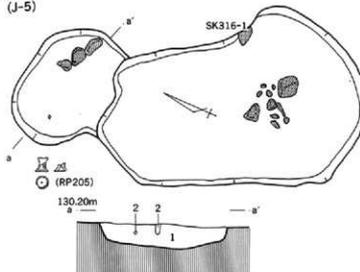
129.70m

0 (1:40) 2m

第19図 土坑平断面図(3)

III 検出された遺構

SK316  
(J-5)

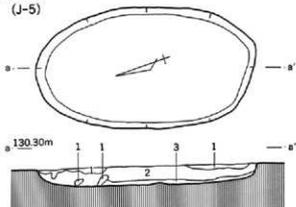


130.20m

SK316

- 1 10YR4/3 におい黄褐色 シルト質砂 炭化粒少量・磁石に混じる
- 2 10YR2/2 黒褐色 シルト質砂 炭化粒混入

SK317  
(J-5)

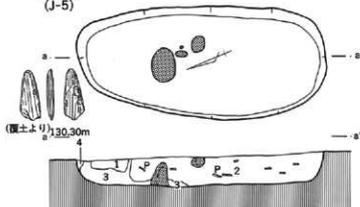


130.30m

SK317

- 1 10YR2/2 黒褐色 シルト質砂 炭粒土混入
- 2 10YR4/3 におい黄褐色 炭化粒ブロック状に混入・礫は炭化粒
- 3 10YR4/4 褐色 粗砂

SK318  
(J-5)



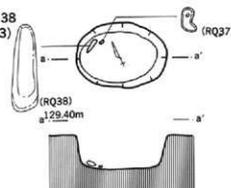
130.30m

SK318

- 1 10YR5/6 におい黄褐色 砂礫 炭化粒少量混入
- 2 10YR4/2 灰黄褐色 砂礫 炭化粒多量混入・土器片点在
- 3 10YR2/2 黒褐色 粗砂
- 4 10YR4/4 褐色 砂

凡例  
■ 石

SK138  
(J-3)



129.40m

SK439  
(K-3)

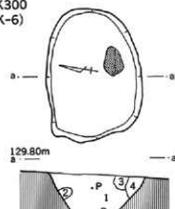


129.90m

SK439

- 1 10YR5/4 におい黄褐色 砂礫 炭化粒混入礫は炭化粒
- 2 10YR5/6 黄褐色 砂
- 3 10YR2/2 黒褐色 砂礫
- 4 10YR5/6 黄褐色 砂
- 5 10YR6/6 黄褐色 砂

SK300  
(K-6)



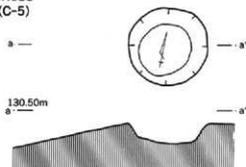
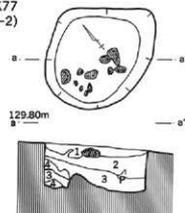
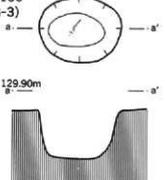
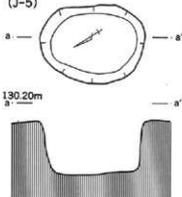
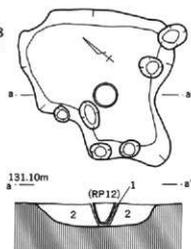
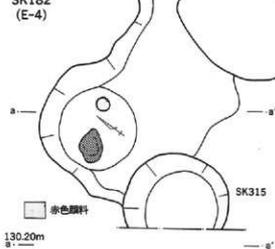
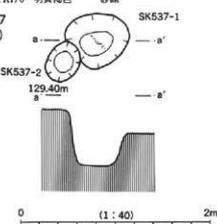
129.80m

SK300

- 1 10YR2/2 黒褐色 シルト質砂 炭化粒多量混入
- 2 10YR4/2 灰黄褐色 シルト質砂
- 3 10YR3/3 暗褐色 砂
- 4 10YR5/4 におい黄褐色 砂

0 (1:40) 2m

第20図 土坑平断面図(4)

SK188  
(C-5)SK77  
(E-2)SK77  
1 10YR5/2 黒褐色 シルト層り砂礫 炭化粒少量混入  
2 10YR5/4 暗褐色 砂礫 炭化粒少量  
3 10YR3/4 暗褐色 砂礫 炭化粒混入  
4 10YR2/2 灰黄褐色 砂礫 炭化粒少量SK166  
(G-3)SK313  
(J-5)SK378  
(C-6)SK378  
1 10YR3/3 暗褐色 砂質シルト  
2 10YR7/6 明黄褐色 粘土SK182  
(E-4)SK182  
1 10YR6/6 明黄褐色 砂礫  
2 10YR4/3 に近い黄褐色 砂礫 炭化粒少量混入  
3 10YR7/6 明黄褐色 砂礫SK537  
(H-2)凡例  
□ 赤色顔料  
■ 石

0 (1:40) 2m

## 5 埋設土器群について

調査区の全体にわたって埋設土器が検出された。これらは幾つかのまとまりを持って分布する。これをA～F群の6群にまとめた(第23図・図版14～16)。埋設土器は深鉢型土器でありその他の器形はない。大きさは20cm～50cm以上のものまで様々であり、底部穿孔のものや蓋石をもつものなどがある。

A群はA～D-5～8グリッドを中心としている。分布は散漫であるがSX5とした火葬遺構もこの中に含まれる。すぐ東側に第1捨場の遺物の分布地点があるが一部は第1捨場と重複する。この中にはRP131・144(第24図)のように連接するものもある。

B群はC～D-4～5グリッドを中心として分布する。この群で注目すべきことは、RP285～RP206までの9個の埋設土器が一列に並ぶことである(第24図・巻頭図版・図版14)。この埋設土器群はST2・3住居跡が廃絶されたあとその直上に営まれていた。RP165・203・160もこの群に含めれば、12個の埋設土器群が一列に並ぶこととなる。埋設状況からすれば、9個の埋設の同時性を指摘出来る。また、RP165の直下にはRP287があり、RP287を取り除いてRP165を埋設した状況が伺える(第24図)。こうしたことを勘案すれば少なくとも2時期にわたる造営を伺える。RP61は埋設した状況をよく示している。埋設される土器よりも4～5cm程大きい穴を穿ち埋設しており、設置の際の掘り方の余裕はほとんどない。RP237のように大きい掘り方をもつ場合もあるが、掘り方に余裕のない状態は全体に支配的である。

C群(図版14)は墓坑と共存するものである。時期的な確実さはないが、位置的な関係からは共存すると考えられる。ただし墓坑群と埋設土器群と共存するのはこのみである。

D群は他の遺構を伴わず埋設土器群のみの構成となる。ここで興味深いのは、埋設土器の埋設時期的差異を埋設土器の口縁部のレベル差から追うことが出来ることである。最も「虫内III遺跡」では、口縁部を欠いた深鉢型土器が埋設されており、蓋には土器の破片が利用されているものがある。このような事象も勘案すれば第22図は埋設の時間差を示すものとは見えないであろう。埋設土器各個の口縁部のレベル差を図としたのが第22図である。これでは①RP353→②RP354～352の3個体→③RP88～74の11個体→④RP75→⑤RP77となろう。E群は3個体のみであるが土器捨場に伴って検出された。

F群は土器捨場の範囲外である。このほかにD-2、X-5グリッドあるいは第3・4・5調査区には、埋設土器群が分布する。

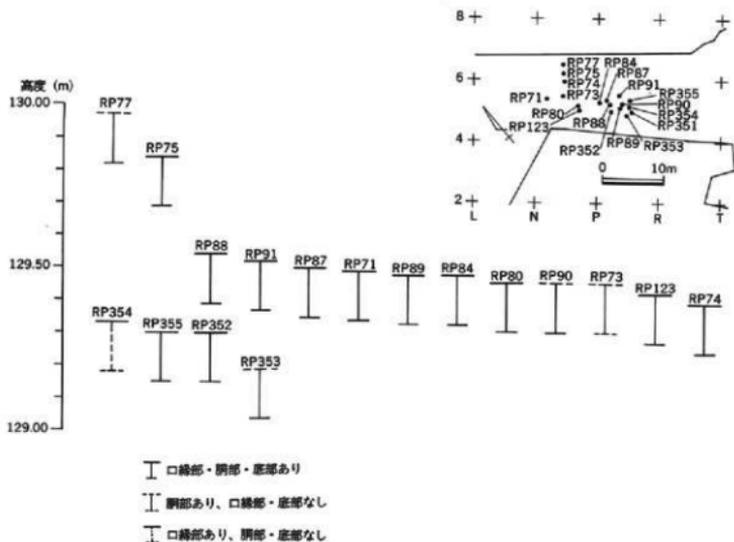
埋設されている土器は深鉢のみである。発掘時点で完全なものと破損しているものがあった。この相違は当初のものかどうかは判然としない。墓上装置と思われる蓋石をもつものがあった(図26-RP63、図27-RP123・344・355、図28-356・357)。蓋石はほぼ円形の平らな石を深鉢の真上に乗せている。RP489では深鉢が入れ子になっていた(第35図)。RP73は倒立していた。倒立の状態で見出されたのはこの個体だけである(第27図)。RP208は横位で土坑の側面に埋設されていた(第25図)。

RP202・237(第28図)などでは、土器はやや斜めに埋設される場合もある。しかし全体的には垂直を意識して埋設されていると思われる。基本的に埋設土器内には副葬品と思われるような遺物は伴わない。また、底部穿孔の個体は4、14、25、26、27、30などである。埋設された深鉢は次の各類に分類出来よう(図30~36)。

- 1 何らかの装飾をもつもの。(21、26、27、31)
- 2 縄文のみが施文されているもの。(1、2、3、4、5、6、7、9、10、14、15、16、17、20、36、37)
- 3 綾絡文をもつもの。(8、11、12、13、18、19、22、23、24、25、28、29、30、32、33、34、35)

となる。

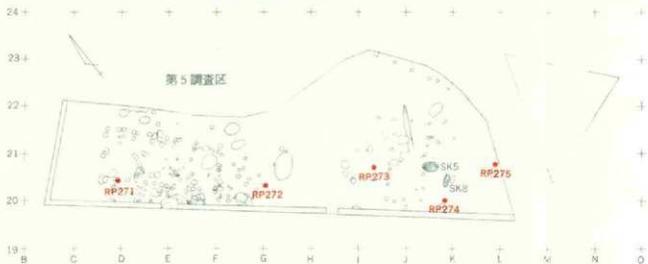
1、2、3の土器群はA~Fの埋設土器のまとまりの中で共伴している。その中で時期差に言及出来るのは少数である。それらから宮の前遺跡の埋設土器の開始と終末を追うことが出来る。21は入組文と貼り瘤の様相から縄文時代後期中葉の時期となる。26もこの時期となる。30は縄文が帯状に施文されており、また施文の状態も浅いことなどの特徴は、晩期初頭の土器群に共通するので、晩期初頭と考えられる。31も晩期初頭と考えたい。そして埋設土器の終末は27では波状の口縁と沈線という組み合わせがあり、2でも同様な波状口縁があることから大洞C<sub>2</sub>式に併行しよう。2、3の土器群も縄文時代晩期と考える。宮の前遺跡の埋設土器群は縄文時代後期中葉に始まり、晩期中葉にかけて営まれたものである。粗製深鉢型土器の晩期のなかでの細かな時期差は、先行する研究はあるがここでは活用出来なかった。



第22図 埋設土器時間差模式図

検出された埋設土器

III 検出された遺構



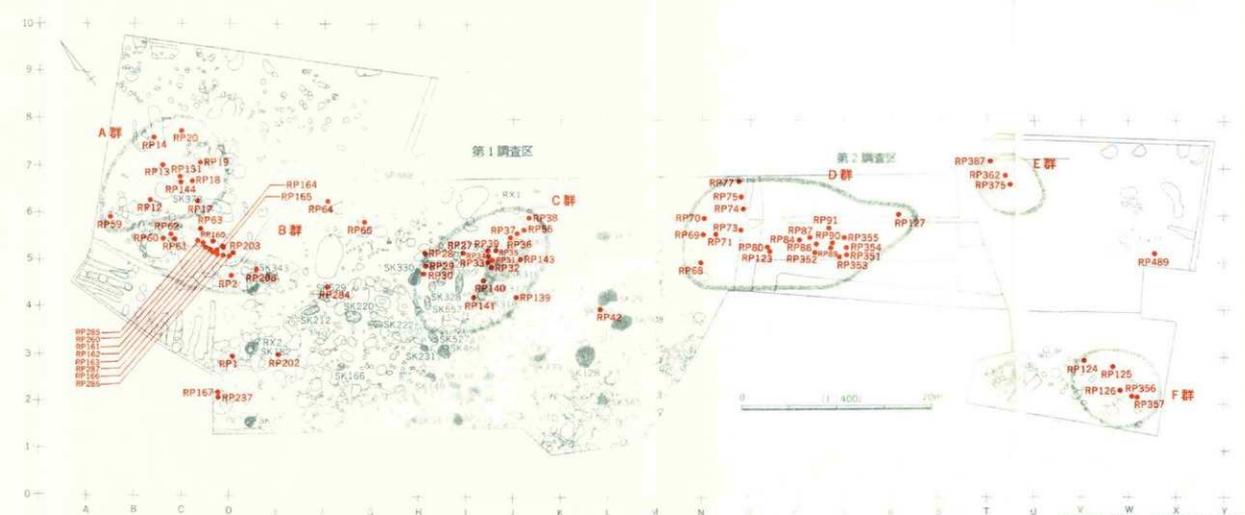
第4調査区



第3調査区



第1調査区



第23図 墓坑・埋設土器平面分布図

しかし全  
副葬品と思  
30などであ

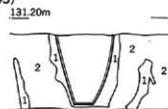
0、14、15、  
3、30、32、

り中で時期  
終末を追  
う。26も  
ことなどの  
頂と考え  
、2でも  
代晚期と  
て営まれ  
はあるが



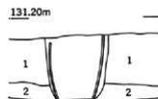
時間差模式図

RP59  
(B-6 SK343)



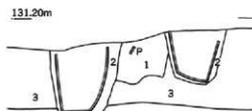
RP59  
1 10YR5/4 に近い黄褐色 砂質シルト  
2 10YR7/8 黄褐色 粘土

RP13  
(C-7)



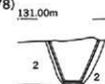
RP13  
1 10YR2/1 黒色 砂質シルト 炭化粒混じる  
2 10YR3/2 黒褐色 砂質シルト 炭化粒混じる

RP131, RP144  
(C-7)



RP131, RP144  
1 10YR2/1 黒色 砂質シルト 炭化粒少量混じり土層片点在  
2 10YR2/2 黒褐色 粘質土 粘粒あり腐植土混じる  
3 10YR6/8 明黄褐色 細砂

RP12  
(C-7 SK378)



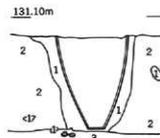
RP12  
1 10YR3/3 暗褐色 砂質シルト  
2 10YR7/6 明黄褐色 粘土

RP62  
(C-6)



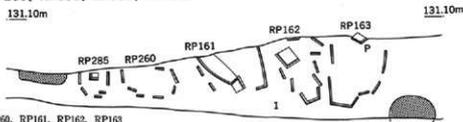
RP62  
1 10YR7/6 明黄褐色 粘土  
2 10YR4/3 に近い黄褐色 砂質シルト  
3 10YR2/2 黒褐色 砂質シルト 炭化粒混じる

RP61  
(C-6)



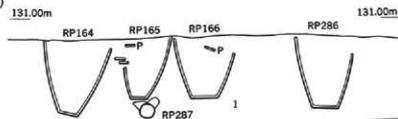
RP61  
1 10YR4/3 に近い黄褐色 細砂  
2 10YR7/6 明黄褐色 粘土 砂少量混じる  
3 10YR7/8 明黄褐色 腐植土混じり粘土 炭化粒混じる

RP285, RP260, RP161, RP162, RP163  
(D-5)



RP285, RP260, RP161, RP162, RP163  
1 10YR3/2 黒褐色 砂質シルト

RP164, RP165, RP166, RP286, RP287  
(D-5 SK4)



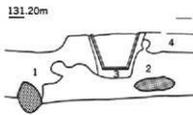
RP164, RP165, RP166, RP286, RP287  
1 10YR3/2 黒褐色 砂質シルト 炭化粒少量に混じる

凡例  
石

0 (1:20) 1m

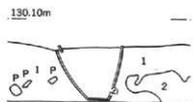
III 検出された遺構

RP60  
(C-6 SK503)



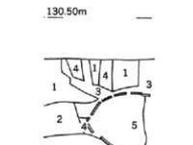
- RP60
- 1 10YR3/2 黒褐色 砂質シルト 炭化粒少量混じる
  - 2 10YR5/4 におい黄褐色 砂質シルト 炭化粒少量混じる
  - 3 10YR7/6 明黄褐色 粘土
  - 4 10YR3/1 黒褐色 砂質シルト

RP160  
(D-6)



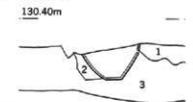
- RP160
- 1 10YR3/2 黒褐色 砂質シルト 炭化粒少量混じる
  - 2 10YR7/6 明黄褐色 砂

RP208  
(E-5 SK343)



- RP208
- 1 10YR5/4 におい黄褐色 砂
  - 2 10YR4/4 褐色 砂 炭化粒少量混じる
  - 3 10YR7/6 明黄褐色 砂
  - 4 10YR3/6 黄褐色 砂
  - 5 10YR4/3 におい黄褐色 砂 炭化粒少量混じる

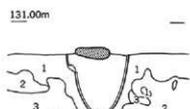
RP141  
(J-5 SK319)



- RP141
- 1 10YR3/2 黒褐色 シルト質砂 炭化粒少量・軽石混じる
  - 2 10YR2/2 黒褐色 シルト質砂 炭化粒混入
  - 3 10YR4/4 褐色 砂

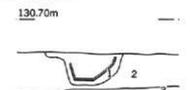
凡例  
石

RP63  
(D-6)



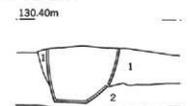
- RP63
- 1 10YR4/3 におい黄褐色 シルト質砂 炭化粒少量混じる
  - 2 10YR7/6 明黄褐色 粘土
  - 3 10YR5/4 におい黄褐色 硬質リリ砂

RP203  
(E-5 SK459)



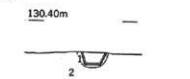
- RP203
- 1 10YR5/4 におい黄褐色 粗砂
  - 2 10YR4/4 褐色 砂 炭化粒少量混じる
  - 3 10YR7/6 黄褐色 粘土

RP140  
(J-5 SK317)



- RP140
- 1 10YR3/2 黒褐色 シルト質砂 炭化粒少量混じる
  - 2 10YR5/4 におい黄褐色 粗砂

RP139  
(J-6)



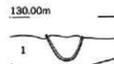
- RP139
- 1 10YR3/1 黒褐色 シルト質砂 炭化粒少量混じる
  - 2 10YR7/6 明黄褐色 粗砂

0 (1:20) 1m

第25図 埋設土器断面図(2)

III 検出された遺構

RP128  
(J-6 SP542)



- RP128
- 1 10YR3/3 暗褐色 シルト質砂

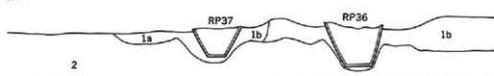
RP39  
(K-5 SK246)



- RP39
- 1 10YR3/2 黒褐色 シルト質砂 炭化粒少量混じる
  - 2 10YR7/6 明黄褐色 粗砂

RP37, RP36  
(K-6 SK386)

130.30m



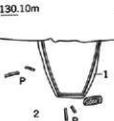
- RP37, RP36
- 1a 10YR4/2 灰黄褐色 シルト質砂 炭化粒少量混じる
  - 1b 10YR3/2 黒褐色 シルト質砂 炭化粒少量混じる
  - 2 10YR5/6 黄褐色 粗砂

RP68  
(O-5 SK282)



- RP68
- 1 10YR5/6 明黄褐色 シルト質砂

RP77  
(O-7)



- RP77
- 1 10YR2/1 黒褐色 シルト質砂
  - 2 10YR3/2 黒褐色 シルト質砂 炭化粒混じり土器片点在

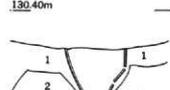
凡例  
石

RP35  
(J-6)



- RP35
- 1 10YR3/1 黒褐色 シルト質砂 炭化粒少量混じる
  - 2 10YR7/6 明黄褐色 粗砂

RP143  
(K-5 SK307)



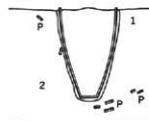
- RP143
- 1 10YR3/2 黒褐色 シルト質砂 炭化粒少量混じる
  - 2 10YR5/4 におい黄褐色 粗砂

RP71  
(O-6)



- RP71
- 1 10YR2/2 黒褐色 シルト質砂 炭化粒混じり土器片点在

RP75  
(O-7)



- RP75
- 1 10YR2/1 黒褐色 シルト質砂
  - 2 10YR3/1 黒褐色 シルト質砂 炭化粒混じり土器片点在

0 (1:20) 1m

第26図 埋設土器断面図(3)

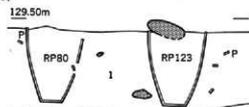
III 検出された遺構

RP74  
(O-6)



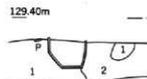
- RP74  
1 10YR3/2 黒褐色 シルト質砂  
2 10YR2/2 黒褐色 シルト質砂 炭化粒混じり土層片点在

RP80、RP123  
(P-6)



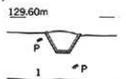
- RP80、RP123  
1 10YR3/1 黒褐色 シルト質砂 炭化粒混じり土層片点在

RP352  
(Q-5)



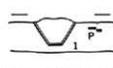
- RP352  
1 10YR5/4 に近い黄褐色 硬質シルト 炭化粒混じる  
2 10YR3/2 黒褐色 砂質シルト 炭化粒少量混入

RP91  
(Q-6)



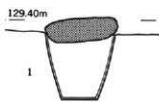
- RP91  
1 10YR2/2 黒褐色 シルト質砂 炭化粒混じり土層片点在

RP90  
(Q-6)



- RP90  
1 10YR3/1 黒褐色 シルト質砂 炭化粒混じり土層片点在

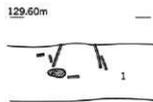
RP354  
(R-6)



- RP354  
1 10YR2/1 黒色 シルト質砂 炭化粒多量に混じる

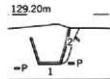


RP73  
(O-6)



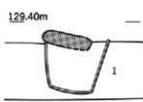
- RP73  
1 10YR2/2 黒褐色 シルト質砂 炭化粒混じり土層片点在

RP88  
(Q-6)



- RP88  
1 10YR3/2 黒褐色 シルト質砂 炭化粒混じり土層片点在  
2 10YR3/2 黒褐色 シルト質砂

RP355  
(Q-6)



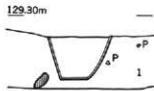
- RP355  
1 10YR3/2 黒褐色 砂質シルト 炭化粒少量混入

RP89  
(Q-6)



- RP89  
1 10YR3/2 黒褐色 シルト質砂 炭化粒混じり土層片点在

RP353  
(Q-5)



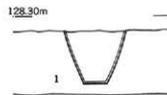
- RP353  
1 10YR2/2 黒褐色 砂質シルト 炭化粒少量混入



第27図 埋設土器断面図(4)

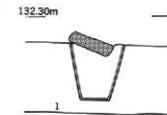
III 検出された遺構

RP124  
(W-3)



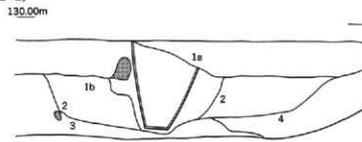
- RP124  
1 10YR2/1 黒色 砂質シルト

RP356  
(X-3)



- RP356  
1 10YR3/1 黒褐色 砂質シルト

RP237  
(D-2)



- RP237  
1a 10YR3/1 黒褐色 砂質シルト 炭化粒多量混入・散らかり  
1b 10YR3/2 黒褐色 砂質シルト 炭化粒多量混入  
2 10YR4/2 に近い黄褐色 砂質シルト 炭化粒少量混じる  
3 10YR2/2 黒褐色 砂質シルト  
4 10YR1/6 明黄褐色 砂 炭化粒混じり粘土

RP202  
(F-3 SK455)



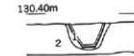
- RP202  
1 10YR2/2 黒褐色 シルト質砂 (粘土)  
2 10YR4/2 灰黄褐色 シルト質砂 黒褐色シルト片点在  
3 10YR5/4 黄褐色 砂 炭化粒少量混じる  
4 10YR5/6 に近い黄褐色 砂 粗砂混じる  
5 10YR6/6 明黄褐色 砂

RP65  
(G-6)



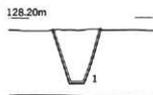
- RP65  
1 10YR5/6 明黄褐色 砂  
2 10YR2/2 黒褐色 シルト質砂 炭化粒少量混じる

RP64  
(G-7 SP479)



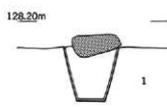
- RP64  
1 10YR2/2 黒褐色 シルト質砂 炭化粒多量混入  
2 10YR6/6 明黄褐色 砂

RP126  
(W-3)



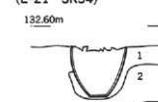
- RP126  
1 10YR2/1 黒色 砂質シルト

RP357  
(X-3)



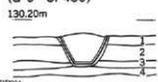
- RP357  
1 10YR3/1 黒褐色 砂質シルト

RP271  
(E-21 SK34)



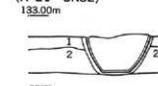
- RP271  
1 10YR5/4 に近い黄褐色 砂質シルト  
2 10YR7/6 明黄褐色 砂

RP284  
(G-5 SP430)

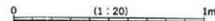


- RP284  
1 10YR5/4 に近い黄褐色 砂 炭化粒多量に混じる  
2 10YR5/6 黄褐色 粗砂  
3 10YR2/4 黒褐色 粗砂  
4 10YR7/8 明黄褐色 粘土

RP272  
(H-21 SK32)

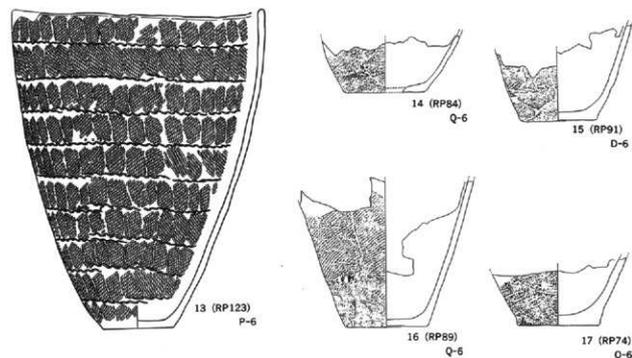
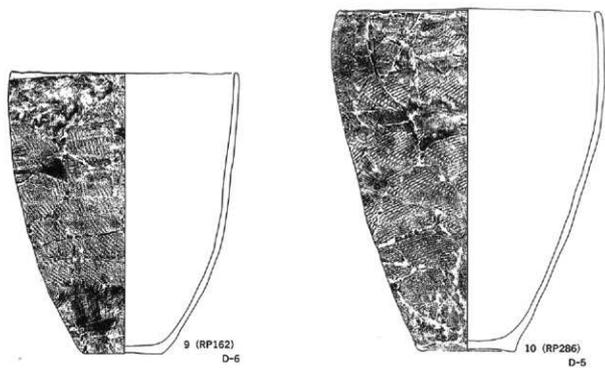
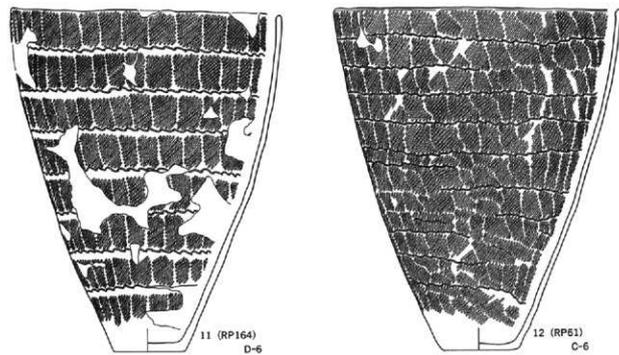
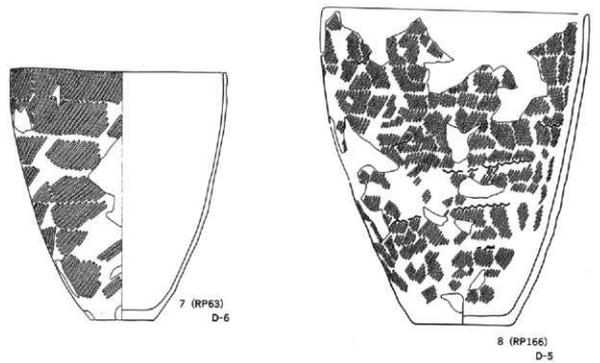


- RP272  
1 10SP7/2 暗褐色 砂質シルト  
2 10YR3/1 に近い黄褐色 粗砂



第28図 埋設土器断面図(5)



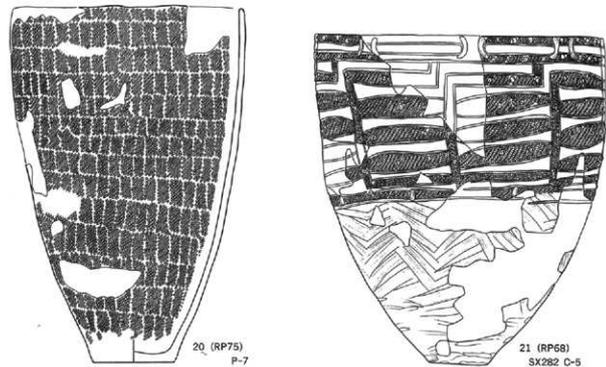
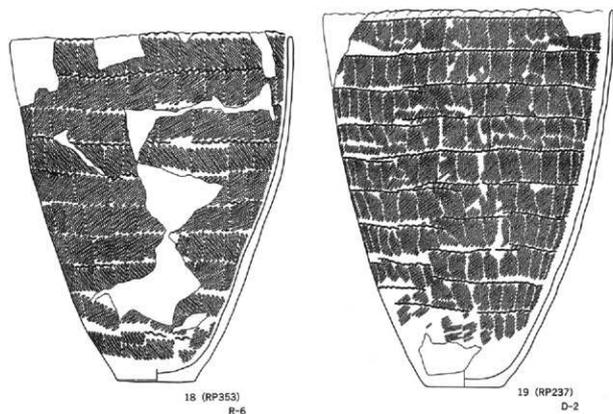


0 (1:5) 10cm

第31図 埋設土器実測図(2)

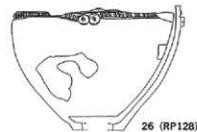
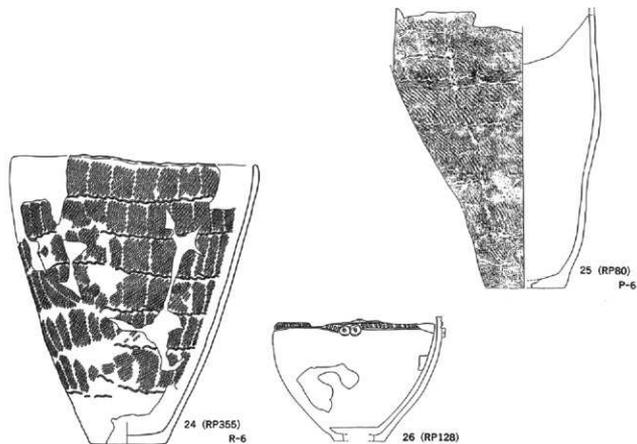
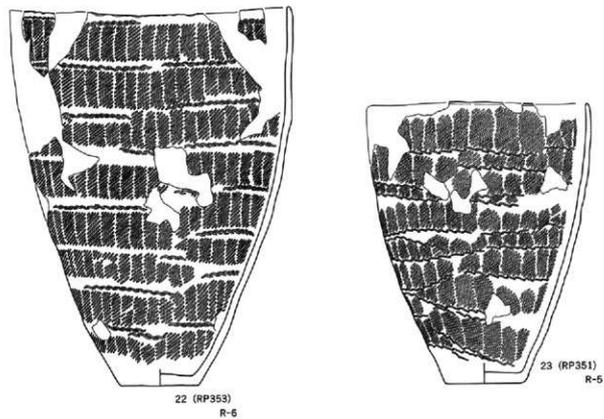
0 (1:5) 10cm

第32図 埋設土器実測図(3)



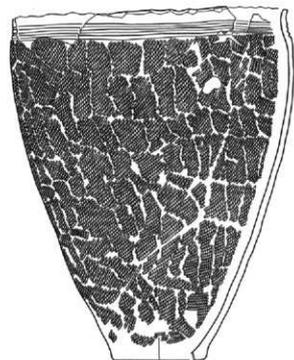
0 (1:5) 10cm

第33図 埋設土器実測図(4)

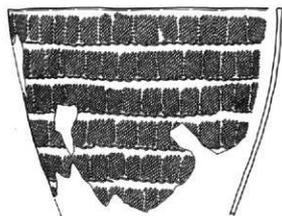


0 (1:5) 10cm

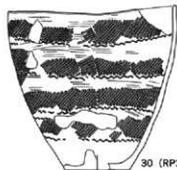
第34図 埋設土器実測図(5)



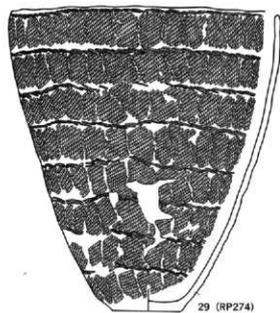
27 (RP299)  
3区34



28 (RP272)  
SK32 H-21



30 (RP352)  
Q-5



29 (RP274)  
K-20



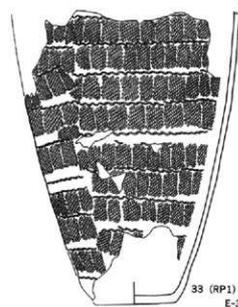
31 (RP489)  
X-6

0 (1:5) 10cm

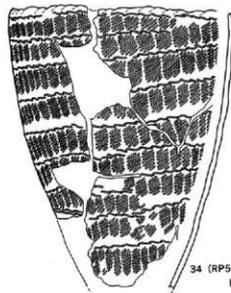
第35図 埋設土器実測図(G)



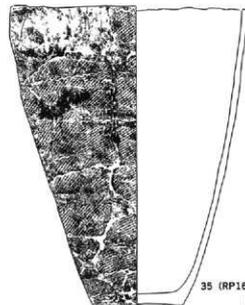
32 (RP13)  
C-7



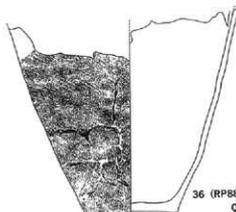
33 (RP1)  
E-3



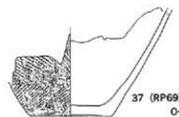
34 (RP59)  
B-6



35 (RP160)  
D-6



36 (RP88)  
Q-6



37 (RP69)  
O-6

0 (1:2) 10cm

第36図 埋設土器実測図(7)

## 凡例

1. ( ) は各土器の残存値を表す。  
 2. 群は、埋設土器のまとまりを表し、図3のA～Fの各群に対応する。  
 2. その他の編区から出土した埋設土器については、外と表示した。

表7 埋設土器計測値

No	出土区	群	RP	計測値 (cm)			底部穿孔	基石	挿固
				器高	最大幅	底径			
1	3区	外	269	47.7	38.7	12.2	○	—	35-27
2	B-5	A	59	37.0	23.2	—	底部なし	—	36-24
3	C-5	B	68	43.6	40.2	8.2	—	—	33-21
4	C-6	B	61	44.3	38.2	—	—	—	32-12
5	*	B	62	41.8	34.0	10.0	底部なし	—	30-1
6	C-7	A	13	—	25.6	10.8	—	—	36-32
7	D-2	外	237	49.9	33.4	10.3	—	—	33-19
8	D-5	B	156	40.9	33.3	13.4	—	—	31-8
9	*	B	286	45.8	36.0	12.3	—	—	31-10
10	D-6	B	164	44.8	34.3	10.1	—	○	32-11
11	*	B	165	33.5	36.3	10.9	—	—	30-5
12	*	B	63	33.6	27.8	8.4	—	○	31-7
13	*	B	160	39.0	31.1	12.0	—	—	36-35
14	*	B	162	37.5	30.5	10.5	—	—	31-9
15	E-2	B	2	—	—	9.2	—	—	30-3
16	E-5	B	203	—	—	10.2	○	—	30-4
17	*	B	208	—	—	11.2	—	—	30-6
18	H-21	外	272	—	36.2	—	底部なし	—	35-28
19	J-6	C	128	16.1	22.0	7.6	—	—	34-26
20	K-20	外	274	39.3	36.0	9.0	—	—	35-29
21	O-6	E	69	—	—	11.0	—	—	36-37
22	*	E	74	—	—	10.8	—	—	32-17
23	P-6	D	123	41.3	32.1	9.4	—	○	32-13
24	*	D	80	—	—	10.0	—	○	34-25
25	P-7	D	75	46.4	32.6	10.5	—	—	33-20
26	Q-5	D	352	21.4	22.1	8.3	—	—	35-30
27	Q-6	E	84	—	—	10.2	○	—	32-14
28	*	E	88	—	—	12.0	—	—	36-36
29	*	E	89	—	—	10.6	—	—	32-16
30	*	E	91	—	—	9.8	—	—	32-15
31	12.5	D	351	36.7	30.0	10.5	—	—	34-23
32	R-6	D	356	32.6	31.8	10.0	—	○	34-24
33	*	D	354	50.6	37.3	10.4	—	○	34-22
34	*	D	353	46.4	36.6	10.3	—	—	33-18
35	D-3	外	1	—	30.0	10.4	—	—	36-33
36	O-7	D	114	34.2	26.3	8.0	—	—	30-2
37	X-6	外	489	31.1	24.4	—	—	—	35-31
38	F-4	外	25	(10.5)	—	5.3	—	—	—
39	L-6	外	66	(6.3)	—	9.7	—	—	—
40	N-6	D	70	(10.2)	—	11.3	—	—	—
41	D-5	B	267	(7.9)	—	11.8	—	—	—
42	C-6	A	12	(26.3)	—	8.9	—	—	—
43	D-2	外	267	(16.7)	—	8.5	—	—	—
44	3区	外	298	(19.1)	—	10.2	○	—	—
45	J-5	C	141	(26.0)	—	10.7	—	—	—
46	J-6	C	35	(7.2)	—	10.5	—	—	—
47	C	35	(15.1)	—	—	11.0	—	—	—
48	E-7	外	64	(9.8)	—	9.5	—	—	—
49	J-5	C	32	(13.2)	—	9.5	—	—	—
50	F-3	外	202	(7.4)	—	9.7	—	—	—
51	Q-6	D	87	(14.6)	—	10.2	—	—	—
52	K-5	C	39	(15.0)	—	10.7	—	—	—
53	K-5	C	143	(31.6)	—	10.1	—	—	—
54	K-5	C	36	(19.0)	—	9.0	—	—	—
55	*	C	36	(30.7)	—	10.3	—	—	—
56	E-5	B	—	(19.1)	—	11.5	○	—	—
57	E-7	外	—	(29.6)	—	11.8	—	—	—
58	J-5	C	29	(14.1)	—	11.2	—	—	—
59	K-6	C	37	(18.7)	—	11.2	—	—	—
60	X-0	外	387	36.3	27.5	10.0	—	—	—
61	W-5	外	—	35.5	27.0	10.1	—	—	—
62	X-0	外	—	(17.5)	22.9	—	底部なし	—	—
63	X-3	F	—	(33.0)	29.0	—	底部なし	—	—
64	J-5	C	27	(10.0)	—	11.0	—	—	—
65	J-6	C	139	(14.7)	—	9.5	—	—	—
66	P-7	D	76	(5.0)	—	8.5	—	—	—

## 6 中世の掘立柱建物

第5調査区全域(第37回・図版6)と第2調査区の南東T-Y-1~4グリッドで、中世の掘立柱建物が検出された。第2調査区の南東地区の掘立柱建物については明確にすることが出来なかった。第5調査区ではSB1~SB4の4棟の掘立柱建物を検出することが出来た(第38回)。各々の掘立柱建物の規模は以下の通りである。

SB1、梁間5間×桁間2間

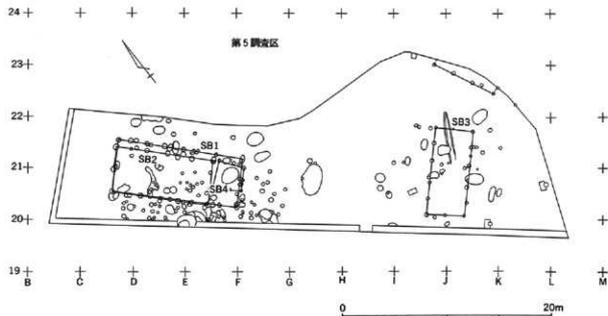
SB2、梁間5間×桁間2間

SB3、梁間5間×桁間2間

SB4、梁間1間×桁間1間

SB1とSB2は重複しており、南側に1間の隙がつく可能性がある。しかし明確な柱穴列は確認できなかった。SB3はSB1、2と方向を異にするが、全体的な方向は同一であるため、同一の時期と見ることが出来よう。建替は認められない。SB4は中央に井戸をもつた井戸の被覆施設であると考えられる。いずれの建物も柱間は約2mであり、掘り方は30cm内外である。これらの掘立柱建物の他に調査区の東端に一列の柱穴群が見られる。これらは掘立柱建物の一部をなしているものと思われるが、建物として検出することは出来なかった。

この掘立柱建物群の所属時期であるが、SB1、2建物跡の周囲から珠洲系の中世陶器が出土している(第38回下図)。灰白色をなす壺の破片である。12~15世紀頃の陶器と考えられよう。この建物もこの時期に所属しよう。



第37回 中世遺構分布図



### 第III群土器 縄文時代中期の土器 (図・228、644~647)

渦巻や磨り消しによって文様を施す土器。調査区全体にわたって少量検出されている。遺物はまんべんなく出土した。この時期の遺構は明確ではなかった。周辺地域には西海潮遺跡・山ノ内遺跡・古道中山遺跡などがあり、この時期の遺跡は大きな集落遺跡をいくつか数えることができる。

### 第IV群土器 縄文時代後期中葉の土器 (図・229、648~655)

入組文や張瘤によって文様を構成するもの。調査区全体にわたって少量検出されている。遺構などは明確ではない。

### 第V群土器 縄文時代後期末~晩期初頭の土器

入組文や三叉文によって文様を構成するもの。特徴によってさらに各群に細別されるものであり、第1拾場でまとまった資料が出土した。

第1類 くびれのある鉢型土器にきざみによる入組文によって文様が構成されるもの。

(図・75~84、86、656~659)

第2類 くびれのある鉢型土器に縄文による入組文によって文様が構成されるもの。

(図・1~3、85、87~89、667)

第3類 くびれのある鉢型土器にきざみと縄文の入組文によって文様が構成されるもの。

(図・101、668)

第4類 くびれない鉢型土器にきざみによる入組文とが施されるもの。(図・4~6、102)

第5類 くびれない鉢型土器に縄文による入組文によって文様が構成されるもので、入組文の中に三叉文があるもの。(図・103、104)

第6類 くびれない鉢型土器にきざみと縄文の入組文によって文様が構成されるもので、入組文の結合部に三叉文があるものもある。

(図・8、90、105~108、231、233、235、236、306)

第7類 口縁部の突起に三叉文をもち体部には入組文をもつもの。

(図・110~113、116、117、232、234、227)

第8類 口縁部の突起に三叉文をもち体部には文様帯をもたないもの。

(図・114、115、118~123、159~163、238~241、669~671)

第9類 入組文の系譜を引くと思われる円文や楕円文をかこむ三叉文をもつもの。

(図・19、124~153、246~251、673~677、680~686、761、762)

第10類 入組文の系譜を引くと思われるもの。

(図・20、154~156、164、242~245、384、480、481、483、678、679)

第11類 大きい円を中心に弧線と三叉文により文様をつくるもの。

(図・54、55、165、167、168、117~180、252~256、258、876)

第12類 玉抱き三叉文をもつもの。(図・169~176、307、390、484、687~689)

第13類 入組三叉文をもつもの。(図・181~190、257、259~264、308、690~697、874)

第14類 波状口縁をもち、頸部に無文帯を作り体部には縄文をもつもの。

(図・7、191~194、266~269、698~701)

第15類 皿型土器であり、高台をもつものが多い。沈線などが併用され、透かしをもつ。

(図・50~53)

第16類 壺型土器 (図・384~387、760)

第17類 注口土器

a 裝飾突起をもつもの。(図・35~37、609)

b 平縁をなし、頸部から体部下半分に肩がある器形や卵円状を呈するもの。

(図・33、34、39、44~46、877)

c 平縁をなし、体部下に最大径をもつもの。

(図・21、38、40~43、610~614、875、879)

第18類 人面裝飾付土器 (図・642)

第19類 香炉型土器 (図・639)

第20類 その他の土器 (図・265、270、790~795、799)

### 第VI群土器 縄文時代晩期初頭~中葉の土器

文様帯や区画帯に連続した戳痕をもち、曲線的な磨消縄文や浮き彫りの手法の曲線的な文様をもつものであり、数量的には多くない。

第1類 羊歯状文をもつもの、器種は深鉢・鉢・壺・皿・椀・浅鉢・注口土器などがあり、文様は口縁部に施されるもの。

(図・11、12、28、47~49、195~198、271~278、309、310、313、395、396、702~724、763、783)

第2類 口縁部に数珠文など連続した戳痕をもつものであり、皿、あるいは椀に多い。

(図・215、489)

第3類 第1類と第2類などの文様を区画帯とし、曲線的な磨消縄文の文様をもつもの。

(図・9、59、279、394、782、801、803、807)

第4類 第3類と同様な区画帯をもち、浮き彫りの手法の曲線的な文様をもつもの。

(図・56~58、222~225、280~282、388、389、391~393、615、617~620、765~766、781)

第5類 無文のもの。箱形などの特殊器形がある。(図・427、430、431、435~438)

第6類 その他の土器 (図・200、375、460)

### 第VII群土器 縄文時代晩期中葉前半の土器

突起・陰刻に富み、曲線的な体部文様の大髀骨文、K字文、雲形文をもつものであり、深鉢・鉢・台付鉢・壺・皿・椀・浅鉢・注口土器などの器形がある。

第1類 深鉢・鉢・台付鉢などの器形。大腿骨文、K字文、雲形文などが施され口唇には特徴的な浮き彫りの装飾が施されるもの。

(図・15、17、18、61、64、284、297、315~320、726~735)

第2類 壺などの器形。胴部は丸く、肩が張る上に小さい口がのる。頸部にはねじられた截痕のある突起がつくものが多い。広口壺も見受けられる。

(図・29、206、397、401、403、767~770)

第3類 皿・椀・浅鉢などの器形。口縁部には連続した截痕をもち、体部文様は雲形文・大腿骨文あるいはK字文があるが、独立的でかみ合わせ大きく配置されるもの。

(図・60、804~806、808、811)

第4類 第3類と同様な器形。雲形文・大腿骨文やK字文がかみ合い、複雑な文様構成をもつもので口縁部は装飾突起が配置され山形の突起がのるものがある。

(図・65、68、214、216、285、286~291、293~285、485~488、490~493、586、806~827)

第5類 注口土器など。くの字型に反する器形で曲線的な文様が施され底部は丸い。

(図・621~623)

第6類 その他の土器。(図・199、201、202、217、258、259、283、296、311、312、314、866)

第7類 番付型土器。(図・640)

#### 第VII群土器 縄文時代晩期中葉後半の土器

##### 第1類

縄文帯や無文帯あるいは沈線でC字文などの平滑な雲形文を構成する。C字文の中に爪状に短沈線が複数施されることもある。雲形文・大腿骨文あるいは、K字文から変化した横に展開する入組文の一部には見られる。深鉢・鉢・台付鉢・壺・皿・椀・浅鉢・注口土器などの器形がある。

a 深鉢・鉢・台付鉢などの器形。(図・205、321~323、404、409)

b 椀・浅鉢などの器形。前段階より器形が大形化し口唇の装飾は交互に押された波状の沈線あるいは平線である。体部文様はC字文などがほどこされ、沈線の区画がある。底部は丸底と平底がある。(図・62、63、494~513、828~840)

c 壺などの器形。ややつぶれたような球形をなし広い頸部がのる。肩の部分に文様があり、縄文帯や無文帯あるいは沈線でC字文や入組文を構成する。(図・402、405、750、751、771、772)

d 注口土器である。(図・624~635、784)

e その他の土器。(図・210、218、226、227、443~456、458、459)

##### 第2類土器

第1類と同様縄文帯や無文帯あるいは沈線でC字文など平滑な雲形文を構成するものである。クランク状沈線、幾何形文、平行する沈線を縦に割る短沈線などをもち、沈線間に

縄文による構文や入り組み状態の文様をもつ。深鉢・鉢・台付鉢・壺・皿・浅鉢・注口土器などの器形がある。主な器形は小型浅鉢・壺・鉢・台付鉢などがある。

a 深鉢・鉢・台付鉢などの器形。口唇は連続した刻みとなる。A突起あるいはA突起とB突起の組み合わせや、連続山型突起あるいは眼鏡状浮文による口縁部文様などをもち、体部文様には入組状文などをもち、

(図・203、207、299、301、304、325、326、352、360、361~364、376、38~736~740、744~749、752、753、871)

b aと同様の器形。体部に縄文による工字文をもつ。(図・302、754、755)

c 壺などの器形。ややつぶれた球形の体部とやや広い口縁部からなりクランク状沈線、幾何形文、平行する沈線を縦に割る短沈線などをもち、

(図・406~408、410、411、413、432、434、756、757、773~776、777)

d 壺などの器形。沈線間に縄文による構文や入り組み状の文様をもつもの。

(図・466~468)

e 壺などの器形。縦割り沈線や沈線間に縄文または沈線による横位置に展開する工字文を施すもの。(図・412、414~429、428、433、469、470)

f 浅鉢などの器形。口唇にはA突起とB突起の組み合わせを持つものや、連続山形の突起を持ち、頸部は眼鏡状浮文や連続山型小突起となる。体部文様は構文や横に展開する入組文がある。また文様帯には上下に沈線の区画がある。丸底と平底がある。

(図・221、300、521~540、560~563、565、567~582、590、595、841~850、872)

g 注口土器である。底部は平底あるいは丸底をなし、頸部は直立する。頸部には鉢巻状の縄文帯などが施される。(図・636~638、779、780、785~787)

h その他の土器。(図・303、439~442、462~465、867)

#### 第IX群土器 縄文時代晩期後葉の土器

##### 第1類土器

浮き彫り状の工字文をもつものであり、工字文には殆ど縄文は付加されない。文様帯は第2類に比較して幅広である。深鉢・鉢・台付鉢・壺・皿・浅鉢・注口土器などの器形がある。

a 深鉢・鉢・台付鉢などの器形。A突起とB突起の組み合わせを持つ、頸部に連続截痕をめぐらす場合もある。体部には浮き彫り状の工字文を施す。底部は平坦となる。(図・345~348)

b 壺型などの器形。口端にA突起とB突起の組み合わせを持ちやや外反する。体部は球形か「く」の字につぶれる。脚がつくことがある。(図・471、476~479、778)

c 浅鉢などの器形。A突起とB突起の組み合わせや、連続山形の口縁部装飾があり、頸部に連続截痕を巡らすものもある。波状の口縁は連続した截痕をもつことがある。(図・554~558、564、566、851~857、873)

- d 蓋型土器 (図・641)  
e その他の土器 (図・349、351、353)

## 第2類土器

第1類と同様の文様構成である。文様帯は口縁部に向かって圧縮され、描線は細くなり、変形工文字も施される。深鉢・鉢・台付鉢・壺・皿・浅鉢・注口土器などの器形がある。

- a 壺などの器形。肩の部分が張り、文様帯もこの部分に集中する。工字文のほかには矢羽根状沈線も施される。(図・910～922)  
b 浅鉢・台付鉢などの器形。浮き形り状の工字文をもち、体部は縄文あるいは無文となるものもある。(図・305、559)  
c 注口土器 (図・472、475)

## 第X群土器

粗製土器である。縄文のみもの・練操をもつものなどがみられる。施文原形も違う。

## 第1類 鉢型土器

(図・13、14、16、204、209、292、365、366～374、377～379、381、743、758、759、868)

## 第2類 壺型土器 (図・22～27、30～32、208、211、212、869、870)

## 第3類 皿型あるいは台付皿型土器

(図・66、67、69、70、219、220、583、585、589～589、591～594、596～605、607、858～865)

## 第XI縄文時代に属する、その他の土器

## 第1類 製塩土器 (図・769)

## 第2類 安行2式土器 (図・788)

## 第3類 関東地方、信越地方や仙台湾周辺など他地域に分布の中心があると思われる土器。(図・789、800、802、880)

## 第4類 擬似縄文をもつもの (図・798)

## 第5類 有孔土器 (図・584、606、608、878)

## 第XII群土器 平安時代の土器 (図・792)

第3拾場の堆積層の中から一点だけ出土した。須恵器杯の口縁部破片である。この資料のみが本遺跡での出土である。

## 第XIII類土器 中世陶器 (図・797、923、924)

第5調査区、第2調査区から出土した。797はすり鉢の底部破片、おろし目が粗く12C～13C頃かと考えられる。923もすり鉢の底部破片、924は壺の体部破片と考えられる。全部が一時期に集約されるか判断しない。

## 2 第1拾場の土器

宮の前遺跡の発掘調査では、第1調査区に第1・第2拾場、第2調査区に第3拾場、文化財課の試掘の箇所にも第4拾場、と合計4カ所の土器拾場を検出することができた(図39)。第5調査区は最も標高の高い箇所に位置するが、ここでは拾場の形成は見られなかった。また第3調査区と第4調査区は斜面の中ほどに位置するが、ここでも拾場の形成は見られなかった。このように拾場は第2調査区からと地区外の低い部分からのみ検出されている。これらの拾場の状況について簡単にまとめておきたい。その後各拾場ごとに出土した遺物群について述べたい。

第1拾場は第1調査区のD-6・D-7・E-6・E-7・F-6・F-7グリッドを中心とし、範囲は約100m<sup>2</sup>南北にやや長い楕円形を呈している。この拾場の平均の遺物堆積層の厚さは60cmほどであり、周辺ではだんだんと薄くなっている。第2拾場とのあいだには約50cmほどの無遺物地帯があり区別できる。遺物の分布状況はほぼ円形の分布状況を呈する。特に分布の中央よりやや南側に位置するE-7グリッドからは壺・浅鉢・台付鉢・皿・注口土器などの土器、遺物の出土があり集中する状況が見られ、遺物の所属時代的にも縄文時代後期終末～晩期初頭のまとまりを呈している。第1拾場の主な出土土製品は、鉢・壺・浅鉢・台付鉢・皿・注口土器などの土器。石器、石棒・石剣・岩偶などの石製品。土偶などの土製品などが得られた。縄文時代後期～晩期初頭の遺物を中心としている。

第2拾場は第1調査区のG-7・H-7のグリッドを中心とし、広さは約30m<sup>2</sup>で平均の遺物堆積層の厚さは約60cmほどであり周囲にいくにしたがって堆積は薄くなった。約東西に広がる不整形楕円形の分布状況を呈する。この拾場が5カ所ある拾場の中でいちばん小さい。出土した遺物としてG-7グリッドからは、特に遺物の出土量が多かった。主な出土遺物は、鉢・壺・浅鉢・皿・注口土器などの土器。石器、石棒・石剣などの石製品。土製品などが得られた。また最下層から石刀(第129図・67)が出土した。各の量は長さ32.2cm、幅2.8cm、厚さ1.9cmを計り、背と身の部分には敲打痕があり、長方形の握りがつく。この石刀以外に下層からの出土遺物はなく状況が特殊である。第2拾場は縄文時代晩期初頭～晩期中葉の遺物を中心とし、第1拾場とは状況を違えており、第1拾場から廃棄が第2拾場へと移って来たことが分かる。

第3拾場は第1調査区のU-4・U-5・U-6・U-7・V-4・V-5・V-6・V-7・W-4・W-5・W-6・W-7・X-4・X-5・X-6・X-7・Y-4・Y-5・Y-6・Y-7グリッドを中心とし広さは約700m<sup>2</sup>、南北に広がる小さな谷にそって形成されている。分布の形状は南北に長軸をもつほぼ楕円形を呈する。幅は最大で5m、長さは30m以上である。宮の前遺跡では最大の拾場であった。地層は土器の層と無遺物層とがあり、一部では互いに整然と堆積している部分が見受けられた。しかし大半は斜面堆積であるため、途中で包含層が消えたりする場合もあり堆積状況は一様ではなかった。遺物包含層は11枚をかぞえたが、さらに下には遺物包含層がひろがっていた。V-5グリッド付近では約1.4mほどの土器を中心とする遺物の堆積が観察された。特にU-4・U-5・

U-6・U-7・V-4・V-5・V-6・V-7・W-4・W-5・W-6・W-7グリッドからは、遺物の出土量が多かった。主な出土遺物は、鉢・壺・浅鉢・台付鉢・皿・注口土器・異形土器などの土器。石器、石棒・石剣・岩偶などの石製品。土偶などの土製品などが多量に得られた。完形の石剣1本(第129図、67)が出土した。遺物は時期毎にまとまって出土する傾向がある。縄文時代後期～晩期後半までの遺物を中心としている。

第4捨場は今回の発掘地点とは直接関係のない箇所から、ほ場整備の水路を確保するため深掘した工事に伴って検出されたものである。えぞ堰といわれる農業用水路の直下に位置し、斜面の部分と水田の平坦部からなる。南北に長い楕円形を呈し南北の長軸方向で約60m、東西の短軸方向で約30mをはかる。とくにえぞ堰から水田にかけての斜面からは良好な遺物包含層が検出され、もっとも残りのよい地点では約1.6mの土器を中心とする遺物の堆積が見られた。この地点については調査をするべきかどうかを協議したが、県文化財課の手により範囲確認の試掘調査が行われ、工事に直接影響されないとの判断から、砂で埋め戻し現状での保存が図られることとなった。このため第4捨場については試掘以上の調査はなされていない。ここからは、鉢・壺・浅鉢・台付鉢・皿・注口土器・異形土器などの土器。石器、石棒・石剣・岩偶などの石製品。土偶などの土製品などが多量に得られた。縄文時代後期～晩期初頭の遺物を中心とし、分布の範囲は約1,500m以上かとおもわれる。

第1捨場の土器について以下に述べたい。

第1捨場の遺物の分布(図版8～10)について説明したい。図41、42分布図は遺物の主要な遺物の分布状況について表したものである。グリッドナンバーはその左下のグリッドを指し示している。この分布図から遺物はいくつかのまとまりをもって分布していることが分かる。D-7グリッドの中央部付近(図・34、40)、E-7グリッドの中央よりやや西側付近(図・4、19、33、34、37、50、51、54、53)、F-7グリッドの東側付近(図・25、28、29、65)などをあげることができる。D-7グリッドの中央部付近のまとまりは縄文時代後期～晩期初頭の時期の廃棄と考えられよう。E-7グリッドの中央よりやや西側付近のまとまりも縄文時代後期～晩期初頭の廃棄と考えられよう。従来この時期は土器の様相について意見が分かれているが、このまとまりは新たな資料を提供することとなる。F-7グリッドの東側付近は晩期中葉の廃棄と考えられよう。特筆すべきこととして石棒の出土(第131図)があげられる。第1捨場付近のF-7・G-7・G-8グリッドからおのおの破片となった石棒が出土したが、接合の結果このうち石棒2本が完形となり、もう一本は先端の一部が欠損するもののほぼ完形の状態で接合した。熊登型とよばれる石棒はこの時期に伴うものとおもわれる。

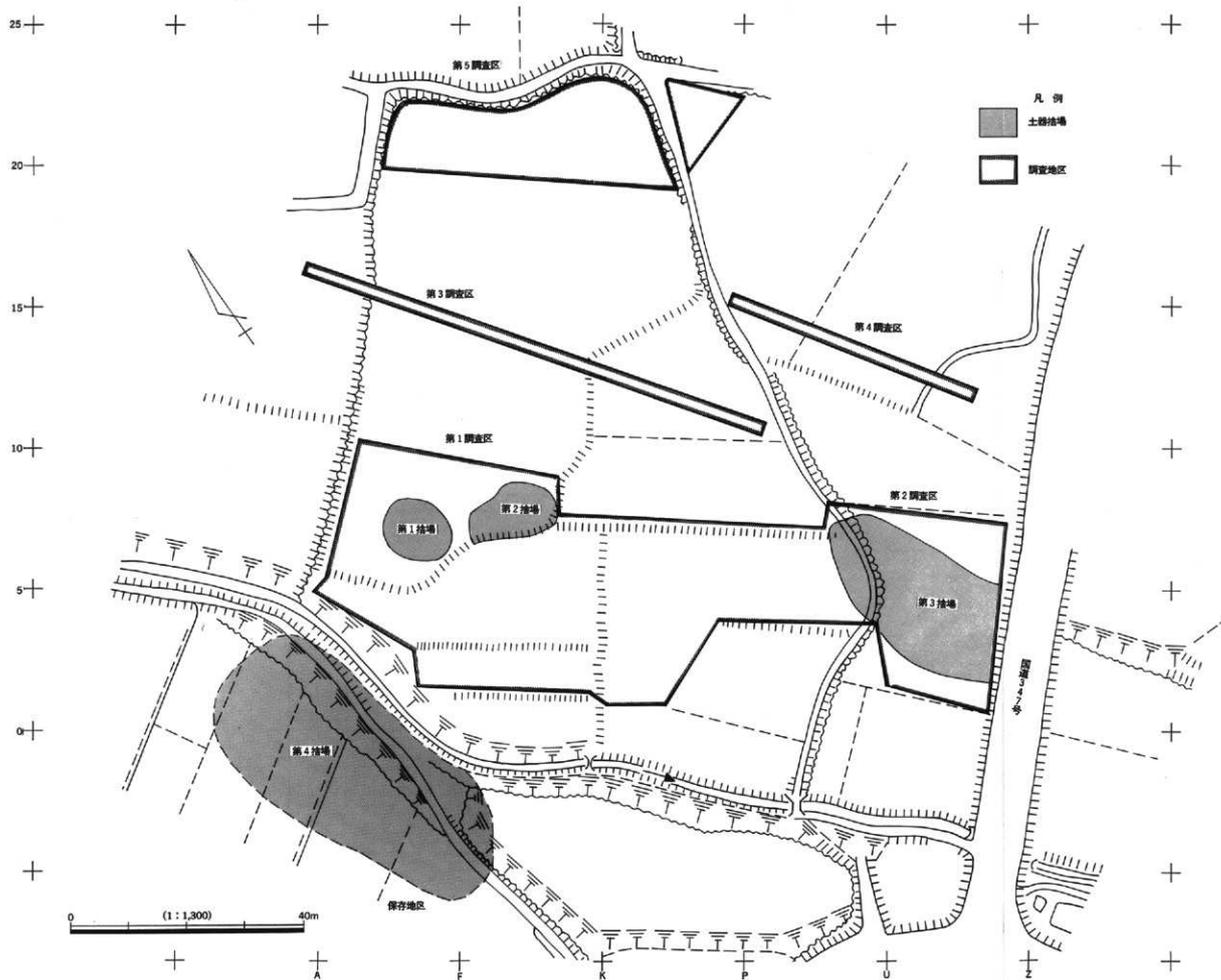
これらの状況はその土器群を表す時期毎の廃棄を表すものと考えられよう。第1捨場の土器の廃棄は一時期ではなく、地点を変えながら継続されている状況を見ることが出来る。これらの状況は、貝塚の堆積の状況とも一致する。

もうひとつ、単純に土器の時期差のみを指標とした見たとき、土器はE-7グリッドの

・W-7ダ  
寸鉢・皿・  
などの土製  
寺期毎にま  
ている。  
重保するた  
り直下に位  
由方向で約  
百からは良  
とする遺物  
果文化財  
行から、砂  
礫以上の  
形土器な  
に得られ  
おもわれ

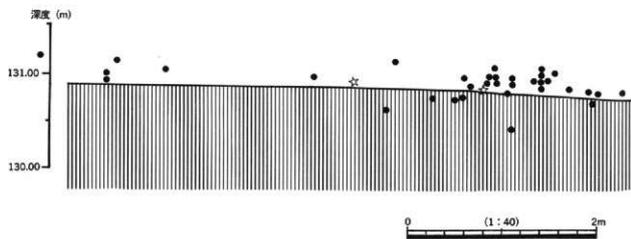
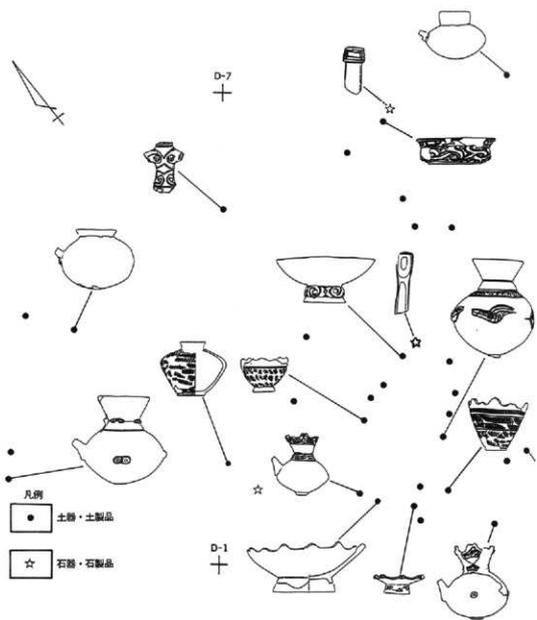
遺物の主  
グリッド  
いること  
りやや西  
(図・25、  
りは縄文  
や西側付  
土器の様  
なるう。  
て石棒の  
からおの  
、もう一  
石棒はこ  
1捨場の  
'できる。

リッドの

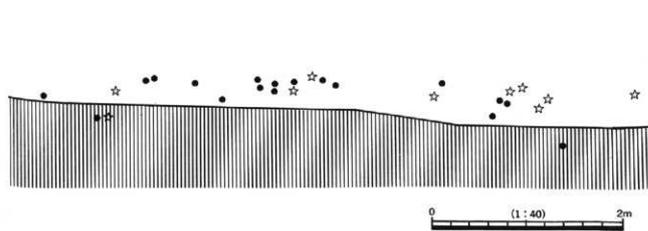
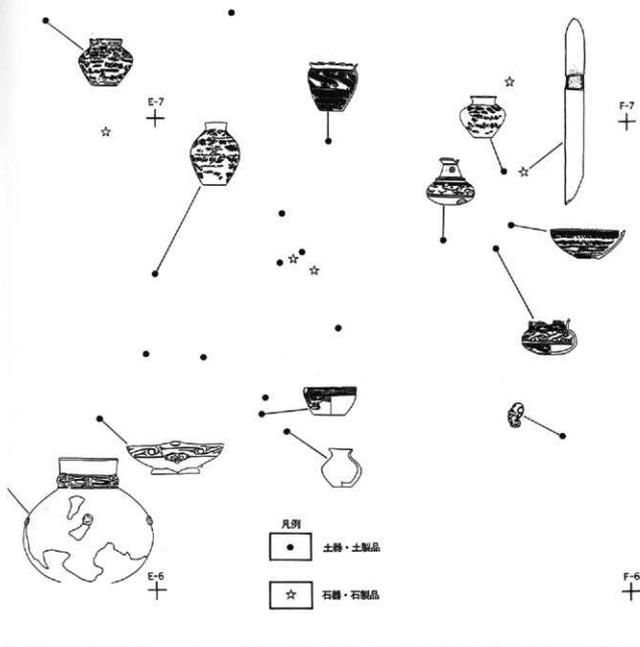


第39図 土器捨場位置図



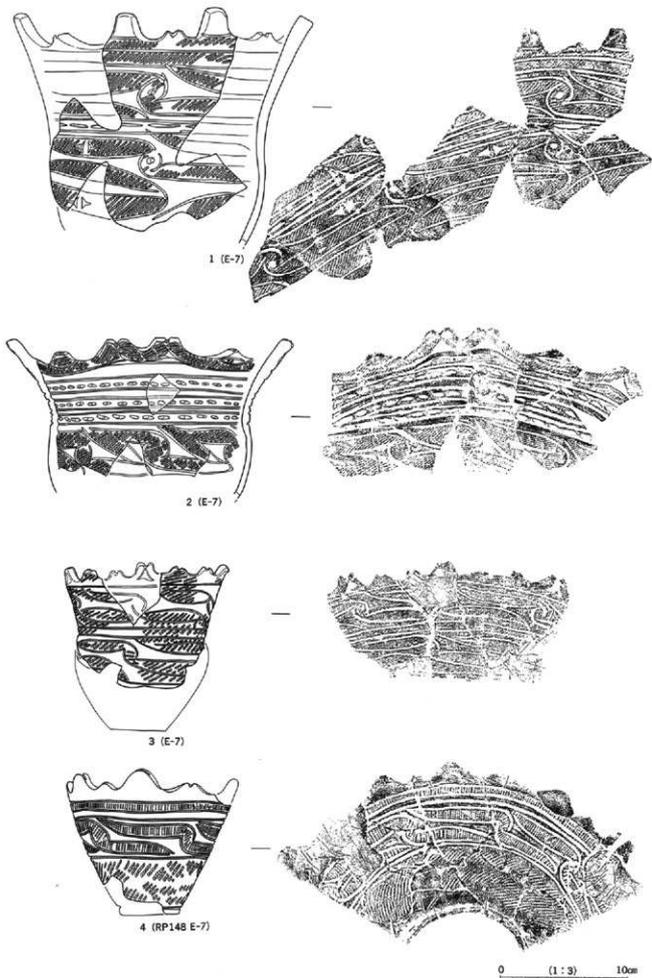


第41図 第1捨場主要遺物分布図(1)



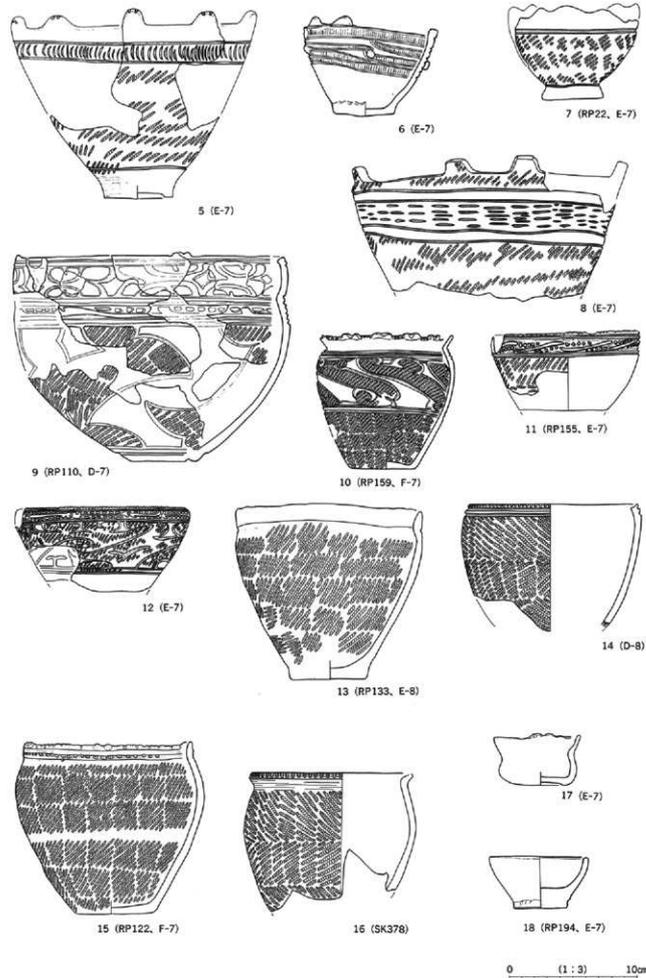
第42図 第1捨場主要遺物分布図(2)

IV 出土した遺物

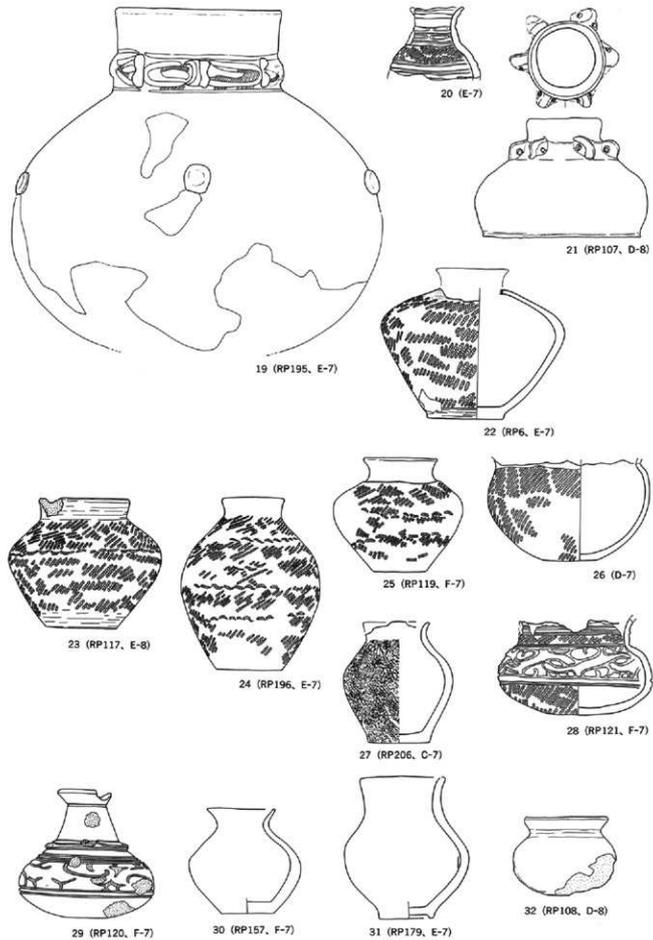


第43図 第1捨場出土土器実測図(1)

IV 出土した遺物

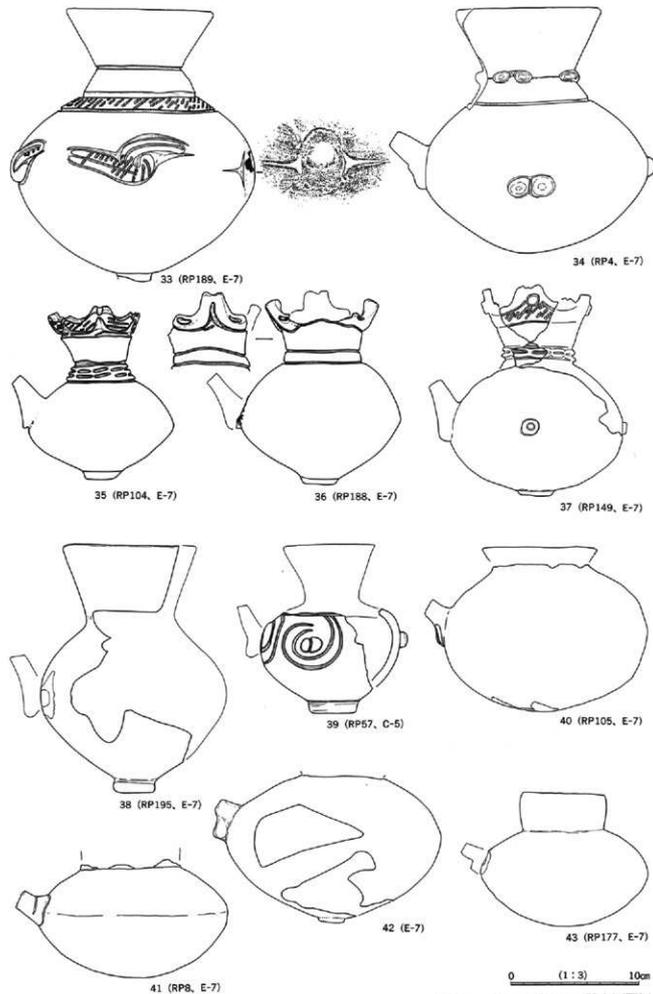


第44図 第1捨場出土土器実測図(2)



0 (1:3) 10cm

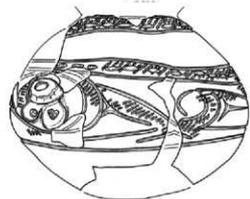
第45図 第1 捨場出土土器実測図(3)



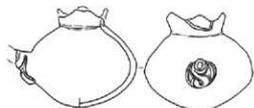
0 (1:3) 10cm

第46図 第1 捨場出土土器実測図(4)

IV 出土した遺物



44 (E-7)



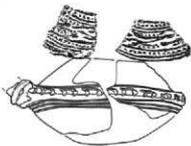
45 (RP191, E-7)



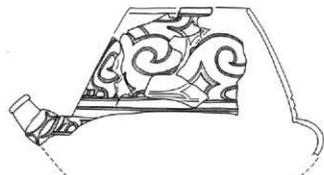
46 (C-7)



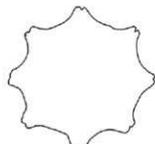
47 (C-7)



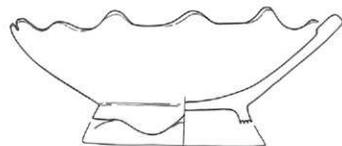
48 (E-7)



49 (C-7)



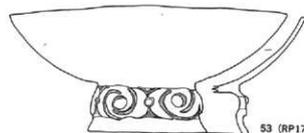
50 (RP187, E-7)



51 (RP132, E-7)



52 (E-7)



53 (RP175, E-7)

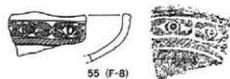


54 (RP200, E-7・3)

0 (1:3) 10cm

第47図 第1拾場出土土器実測図(5)

IV 出土した遺物



55 (F-8)



56 (RP178, E-7)



57 (E-7)



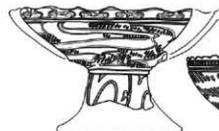
58 (F-7)



61 (F-7)



60 (E-8)



64 (F-7)

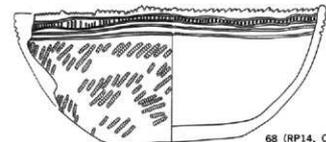


65 (RP158, F-7)



66 (G-7)

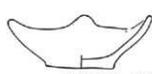
67 (E-7)



68 (RP14, C-8)



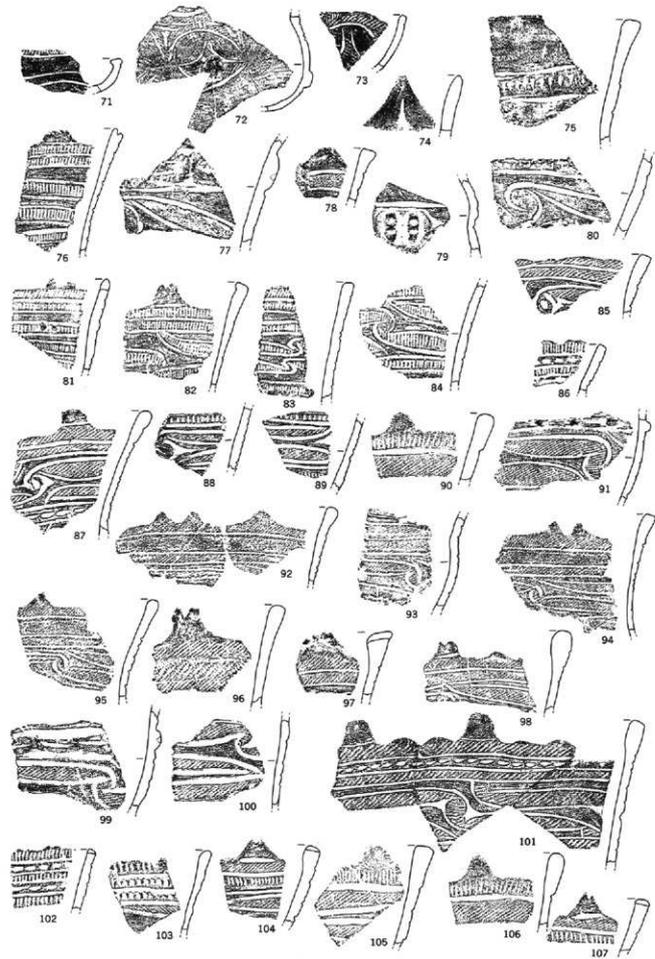
69 (O-7)



70 (RP151, E-7)

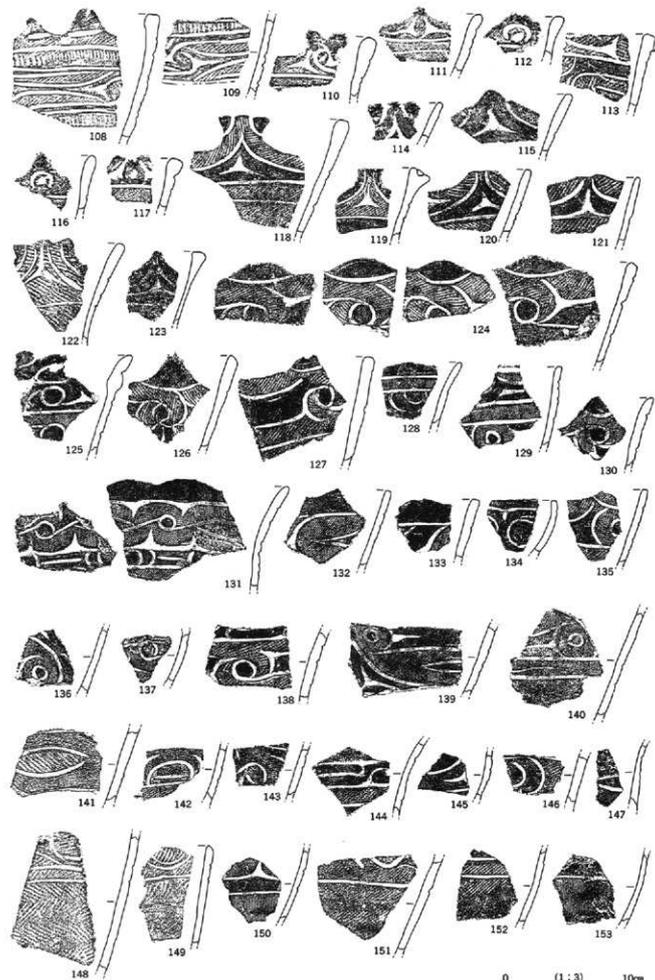
0 (1:3) 10cm

第48図 第1拾場出土土器実測図(6)



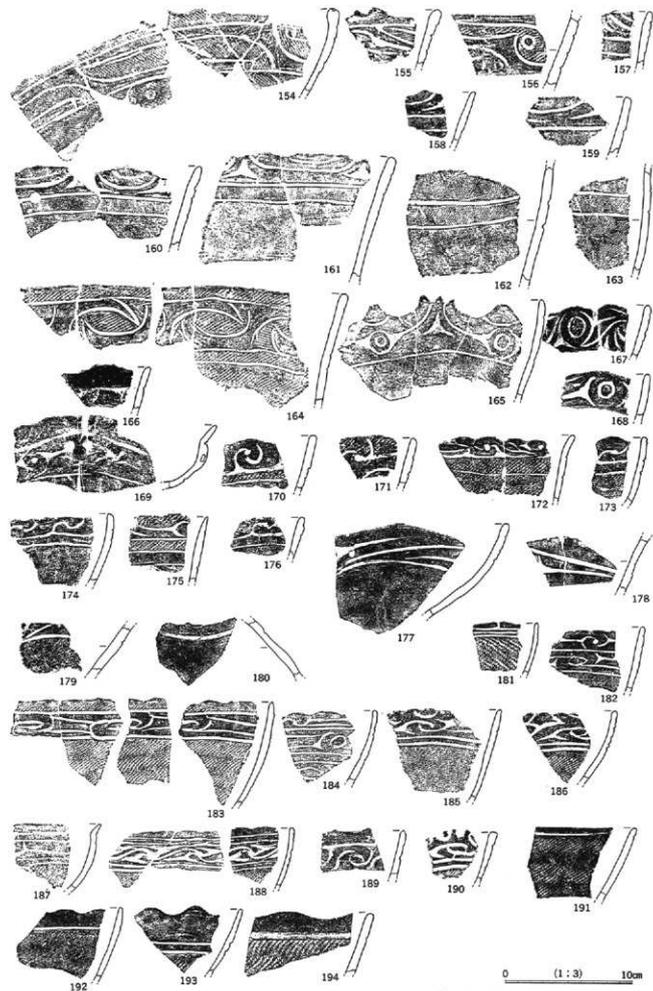
0 (1:3) 10cm

第49図 第1拾場出土土器拓影図(1)



0 (1:3) 10cm

第50図 第1拾場出土土器拓影図(2)



第51図 第1拾場出土土器拓影(3)

## 3 第2拾場の土器

第1調査区第2拾場から出土した遺物について、土器群を中心としながら述べたい。第1調査区第2拾場から出土した土器は、第54～58図まで主に重要なものを掲載した。

最初に第2拾場主要遺物分布図について検討しよう。この拾場は第1拾場のすぐ東側に位置する(第33図)。第1拾場とはG-7グリッドを挟んで、遺物の少ない部分があったため、この部分を第1拾場と第2拾場を区画する空白部分と捕らえた。このため第2拾場は小規模ながらも第1拾場の一部とはみせないと考えた。

第53図は第2拾場の主要な遺物の分布状況について表したものである。この分布図から、遺物は大きく分けて二つの大きなまとまりをもって分布していることがわかる。一つはH-7グリッドの東側のまとまりであり、もう一つはH-7グリッドの中央より西側G-7グリッドにかけてのまとまりである。

H-7グリッドの東側のまとまりは、鉢・壺・皿・注口土器などが出土している。時期としては第VIII群土器などがみられるため、このまとまりの廃棄の時期は縄文時代晩期中葉後半と考えられよう。もう一つのH-7グリッドの中央より西側G-7グリッドにかけてのまとまりは、鉢・壺・皿・注口土器・異形土器などが出土している。これらの土器群は第VI群土器が主体をなすため、縄文時代晩期中葉前半の廃棄と考えられよう。とくにG-7グリッドとの境界付近から出土した、石刀は完全な形であると同時に堆積している遺物を取り上げた後の最下層から出土したものであり、これもまた拾場の形成を知るうえで貴重な資料となろう。

第52図に第2拾場の土層断面図をのせた。これによれば、後世の擾乱の影響は被っていないことがわかる。2～3枚の耕作土層がありさらにその下に、遺物が集中してブロック状態になっている箇所があることがわかる。このブロックこそが第1調査区第2拾場の遺物の集中状況である。この土層断面図に現れた部分の堆積している厚さは、約20～30cm程しかないが、最大厚はG-7グリッド付近で約40cmほどあった。

次に、この拾場の堆積していく状況であるが、先程も述べたように自然地形としてはそんなに傾斜や谷状の入り組みがあるわけではない。なだらかに南側に向かって傾斜している箇所、先程の遺物の年代を加味すれば、北東側から廃棄が行われ継続していったものと考えられる。

第2拾場では、縄文時代晩期中葉前半にこの地点に土器の廃棄が開始され、順次G-7グリッドからH-7グリッド東側にむかって移動していったものと思われる。

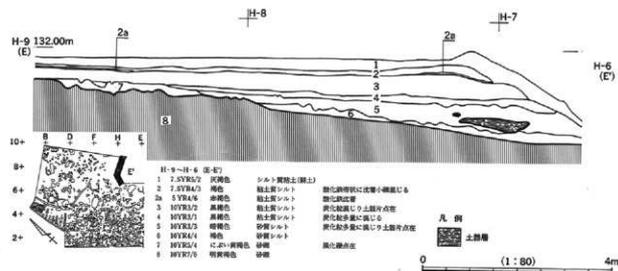
第1拾場の土器の構成も興味深いところである。挿図43～挿図51として図示した資料のうち完全な形として復元されたものは70点。このうち注口土器が17点と約1/4を占めている。このうち(図・44～49)は縄文時代晩期初頭から中葉にかけての時期であろうが、(図・33～43)は縄文時代後期末から晩期初頭の時期と考えられ、まとまりをもっている。特定の器種だけが優越するという事実は、廃棄にともなう祭祀などの状況を考えるうえで重要であろう。

出土土器の各群毎の構成を見てみよう。鉢型土器は縄文時代後期末から縄文時代晩期初

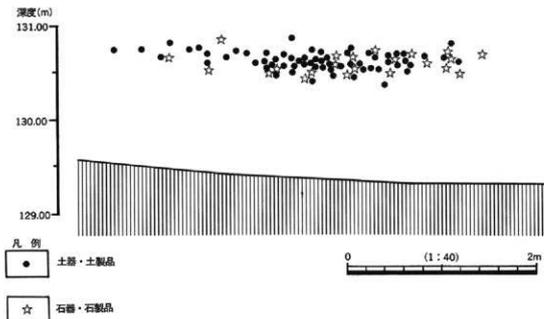
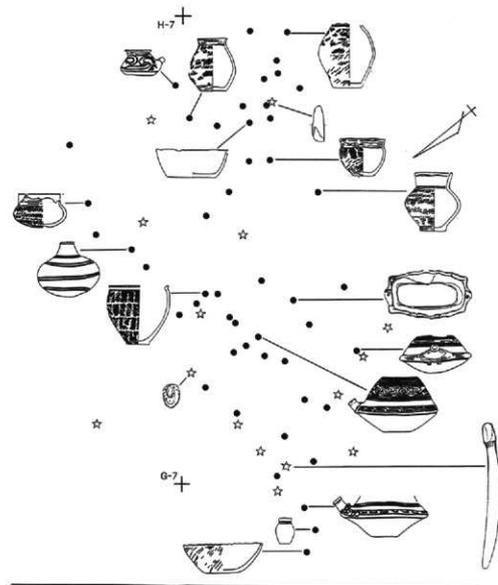
頭の第V群土器と縄文時代晩期中葉の第VI群土器が多い。壺型土器も縄文時代後期末から縄文時代晩期初頭の第V群土器が多い、注口土器は先にも述べたが、第V群土器が多数を占めている。皿型土器は第V群土器、第VI群土器と第VII群土器をふくむ。第V群土器の皿型土器は縄文時代後期末から晩期初頭の一群として注目できよう。第VI群土器は縄文時代晩期中葉の一群であり、一部には縄文時代晩期中葉前半の第VII群土器を含んでいる。第VII群土器は多くはない。このような状況からすれば、この拾場は縄文時代後期末から縄文時代晩期初頭頃の遺物を中心としていることが分かる。

第40図に第1拾場の一部分の断面図を載せた。すべて黒褐色土であり間に間層を挟むことはなく、堆積の様相について分層はできなかった。

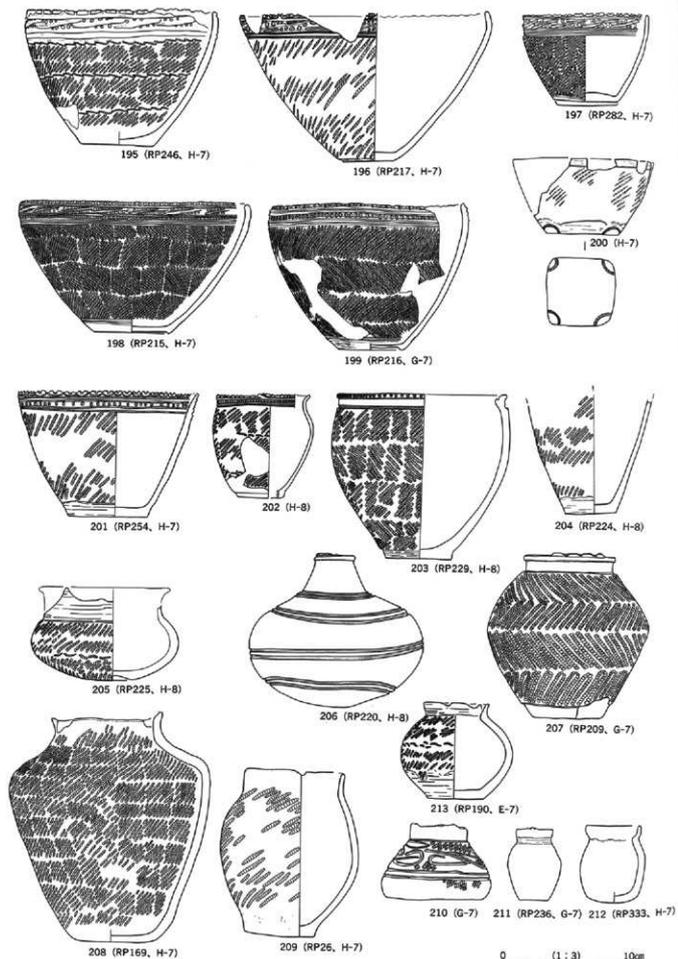
以上のことをまとめれば、つぎのようになる。第1拾場は縄文時代後期末から晩期初頭を中心とした時期に営まれ、縄文時代晩期中葉まで廃棄されていた。土器組成では器種に偏りがあることが分かった。



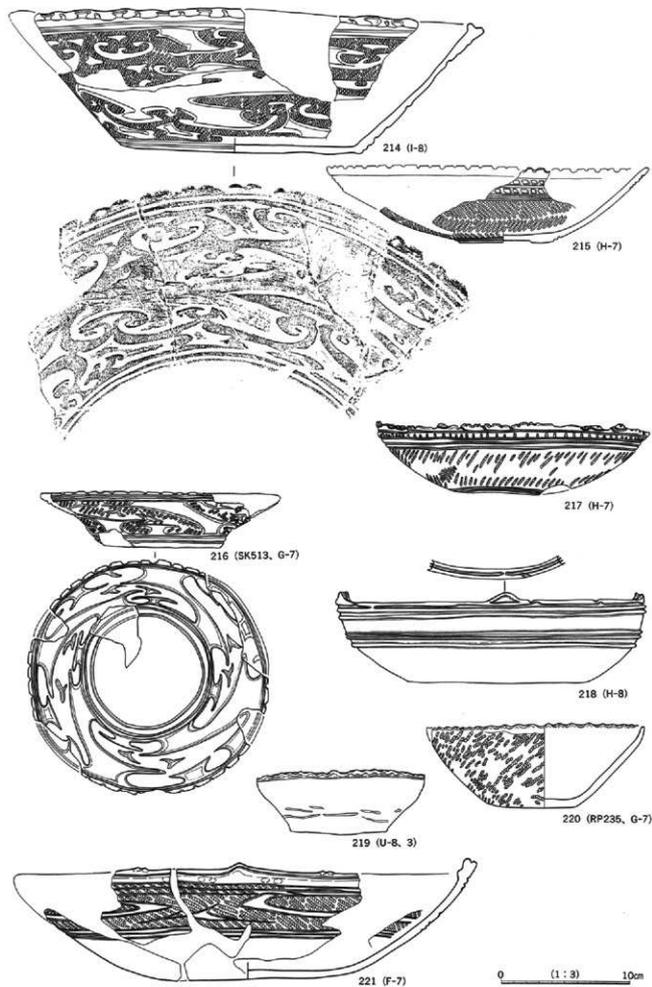
第52図 第2拾場土層断面図



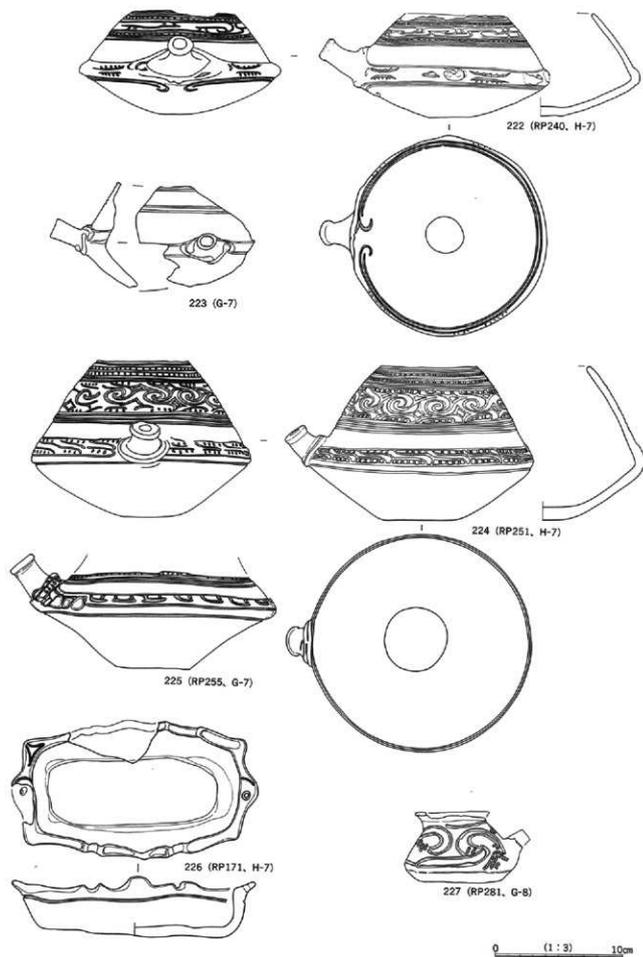
第53図 第2拾場主要遺物分布図



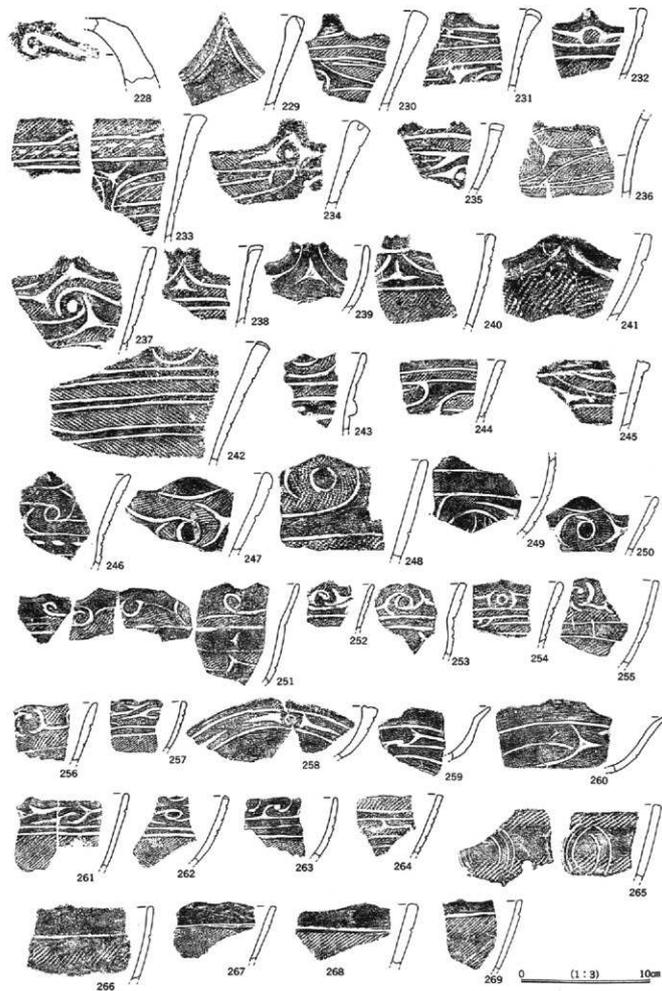
第54図 第2発掘出土土器実測図(1)



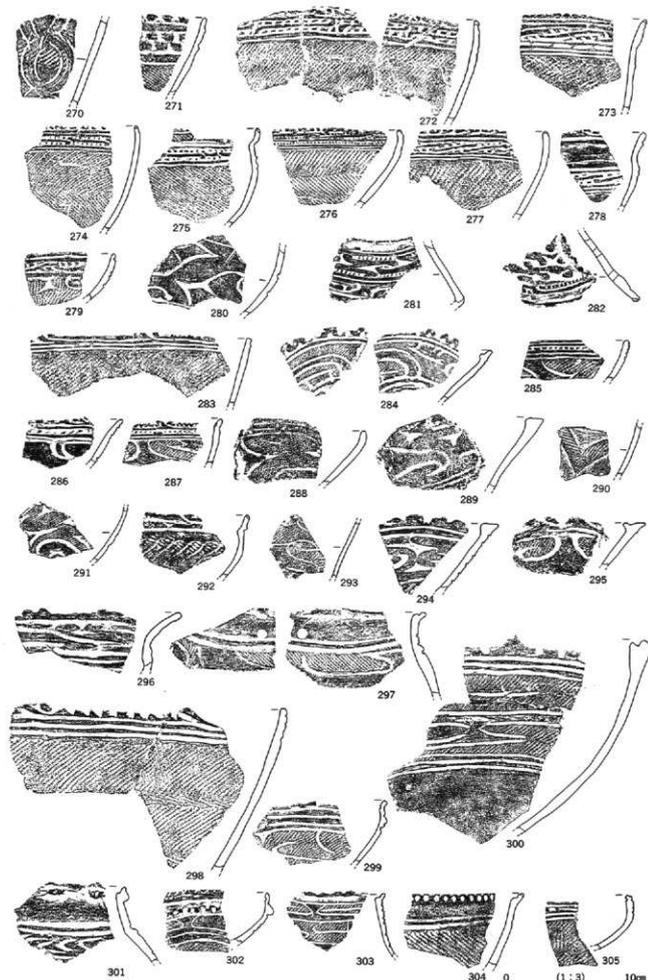
第55図 第2発掘出土土器実測図(2)



第56図 第2捨場出土土器実測図(3)



第57図 第2捨場出土土器拓影図(1)



第58図 第3拾場出土土器拓影図(2)

## 4 第3拾場の土器

第3拾場は第2調査区の東端に位置している(第39図)。ここでは第3拾場の調査の状況と土器群を中心とした遺物の出土状況について、特徴的な点をまとめていきたい(第63～第103図・図版8、10、17～21、29)。

主な遺物集中地点は、U・V・W・X・Yの4・5・6グリッドを中心としている(第60図)。特に遺物が多かったのは、V-5グリッド・W-5グリッド・X-5グリッド・V-6グリッド・W-6グリッド・X-6グリッドであり、これらのグリッドでは約1.4mほどの土器の堆積層から層位的に、遺物が出土した。

第3拾場の調査状況について述べながらまとめていきたい。第2調査区の表土除去にさいしてV-5グリッドとW-6グリッド付近でおびただしい土器の集積を見た。周囲の状況を見るために精査したところこの遺物の広がりは拡大することが予想された。そのため、調査日程の後半に集中的にこの第3拾場を調査することとした。

範囲確認のために、グリッド配置基準のT軸にほぼ沿ったかたちで南北方向の遺跡の状況を調査する試掘トレンチを設定した(第59図)。また、その結果をもとに東西方向の遺跡の状況を調査するためグリッド配置基準の6軸に添えてトレンチを設定した。この結果第59図の土層断面図を得ることができた。これ以前取り上げ遺物もあったがこれらについては包含層から出土したこととして取り扱うこととした。土層は均一ではなかった。ある箇所では、掘り上げられた地山の土と思われる黄色土のブロックが混在していたし、ある箇所では炭化したトチ・クルミなどがブロック状に入っていた。また、全体的に炭化した物が多量に混在し、この中に土器もまた多量に混在していた。

土層断面図によれば、第1層～第11層までの層位ごとの遺物の地積が確認された。このため各層位ごとに遺物を取り上げることにした。このため第63図～第103図までの挿入中にある土器に対する注記のうち層位が明記してあるものは、第59図の層位と一致する。しかしながら、断面図59図のU-6・V-6・W-6ラインの堆積をみてもわかるように、北側方向からの谷間に対する遺物の廃棄がみうけられるため、斜面堆積を水平に発掘していくという状況になりがちであった。このため、比較的安定して堆積しているところを探した所、V-5グリッド・W-5グリッド・X-5グリッド、V-6グリッド・W-6グリッド・X-6グリッドについては比較的水平的な堆積であり、あるていど各層位ごとの遺物も厚く堆積している状況がうかがえたのでこの地区を精査の中心として取り扱うこととした。

上記の地域の層位は比較的安定していたため、これらV-5グリッド・W-5グリッド・X-5グリッド、V-6グリッド・W-6グリッド・X-6グリッドから出土した遺物について、第62図に第3拾場遺物集成図としてまとめた。これは遺物と出土層位毎の関係を一覧としたものである。ただし、このなかで層位の記述に第4層・第5層の中間に第4～5層という表記がある。これについては部分的に第4層・第5層の中間にはいる層位があったために、このような表記になってしまったものである。この集成図から次のような変化を見ることができる。

第10層 第V群土器と第VI群土器があり、所属時期は縄文時代後期～縄文時代晩期前半までの、やや時期的幅がある様相も見受けられ混在しているようである。

第9層 鉢・壺・皿などの器形がある。この中でも第VIII群のC字文をもつ皿が目を引く。

第8層 鉢・壺・台付鉢・注口土器などの器形がある。いずれも第VIII群の土器として理解されよう。

第7層 鉢・壺・皿などの器形がある。いずれも第VIII群の土器であろう。

第6層 鉢・壺・皿・注口土器などの器形がある。いずれも第VIII群の土器であろうが、皿がC字文から楕円文へと変化してきていることが分かる。

第5層 鉢・壺・皿などの器形がある。いずれも第VIII群の土器であろう。

第4～5層 この層位が検出された部分は小さかったが割合とまとまった資料が得られている。鉢・壺・台付鉢・注口土器などの器形がある。いずれも第VIII群の土器として理解されよう。壺には縄文による工字文や沈線による工字文が出現する。皿には大型の物の器形がより大型化し、直立してくる。より新しい、縄文時代晩期後半の様相をもった土器もみられるため、一部には混在の可能性もあるが、大半の土器群は第VIII群の土器群として理解できるであろう。

第4層 鉢・壺・台付鉢・注口土器などの器形がある。壺は縦割り短線をもつもののほかに、集合沈線の細身の壺もある。第VIII群の土器として理解されよう。

第3層 鉢・壺・注口土器などの器形がある。鉢では第VIII群の土器と第IX群の土器とがみうけられる。壺では第VI群土器と第VII群土器とがみうけられる。注口土器では、第VI群土器と第VIII群土器とがみうけられる。皿では第VIII群がある、この中でも集合沈線による工字文が施された土器は注目される。この層でまとめられた遺物は、縄文時代晩期初頭から晩期末にかけての様相をもち、時期的に同一と見なすことは適当ではない。混在しているものと思われる。

第1～2層 鉢・壺・皿・注口土器などの器形がある。鉢では第IX群の土器がある。縄文で工字文を施したものは注目できる。壺でも第IX群の土器がある、沈線でしっかりとした工字文を施文したのもでてきている。台付皿でも沈線でしっかりとした工字文を施文したものがみうけられる。注口土器などの器形もあるがこれは第VII群のものを見た。

以上概観したが、第10層の第V群土器から第1～2層の第IX群土器へというおおまかな変遷はいえそうである。この中でも第VIII群土器はいくつかの段階に細分することができそうである。とくに皿型土器に注目したときその文様の変化は興味深い。さらにこの変遷に、平滑な雲形文をもつ一群の土器(第77図)を加えれば、縄文時代晩期中葉の皿型土器の変遷の資料として有効なものとなる。

次に平面分布について述べたい。平面分布をあらわしたものは、第60図と第61図である。第61図は第3捨場測量図であり、捨場の遺物の堆積状況の実際について詳細な実測図としたものである。これによれば多くの土器はあるまとまりをもって廃棄されていることがわかる。なかには、縄文土器一個体が無傷のまま捨てられ、そしてそのままつぶれてしまっ

6ライン

U-6

V-6

W-6

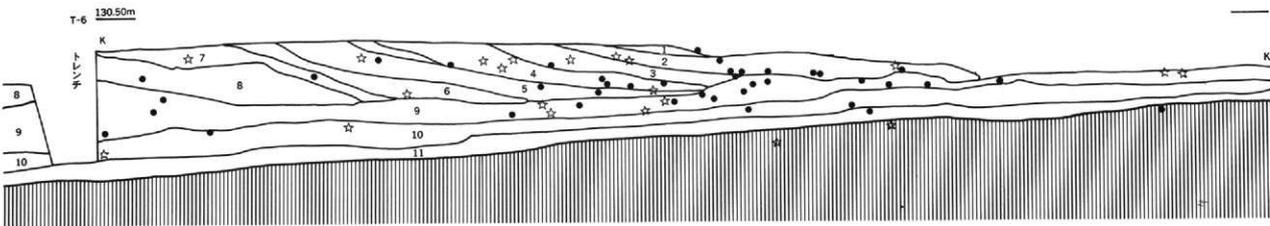
埴土晩期前半

1が目を引く。  
土器として理

てあろうが、

資料が得られ  
骨として理解  
て型の物の器  
った土器も  
群として理

つものほ

の土器とが  
は、第VI群  
線による工  
期初頭から  
在しているがある。縄  
つかりとし  
字文を施文  
見たい。  
おおまかな  
とができそ  
この変遷に、  
型土器の変11図である。  
実測図とし  
ることがわ  
れてしまっ

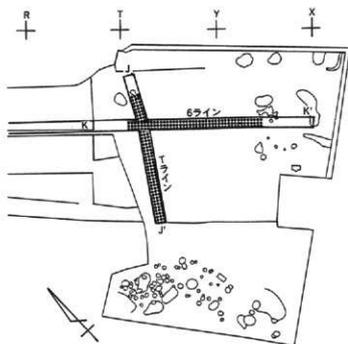
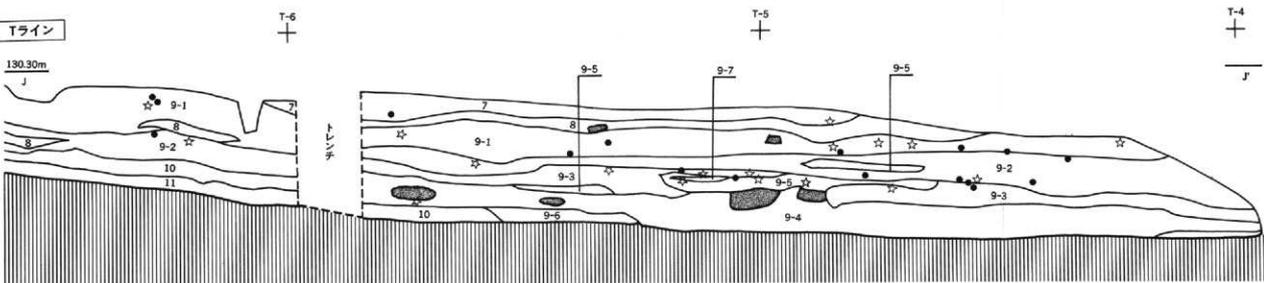
Tライン

T-6

T-5

T-4

130.30m

がある。縄  
つかりとし  
字文を施文  
見たい。おおまかな  
とができそ  
この変遷に、  
型土器の変11図である。  
実測図とし  
ることがわ  
れてしまっ

Z

8

6

4

2

T-6~W-6 (6ライン) (K-K)

- |                      |        |        |                                 |
|----------------------|--------|--------|---------------------------------|
| 1                    | MYR4/4 | 褐色     | 砂礫                              |
| 2                    | MYR5/4 | にぶい黄褐色 | 砂礫                              |
| 3                    | MYR4/2 | 灰黄褐色   | 砂礫                              |
| 4                    | MYR4/2 | 灰黄褐色   | シルト質砂 砂礫レンズ状に散在                 |
| 5                    | MYR4/2 | 灰黄褐色   | MYR4/2砂礫10YR3/2シルト質砂互層 炭化粒土層片点状 |
| 6                    | MYR4/3 | にぶい黄褐色 | 砂礫 炭化粒土層片多量混じる                  |
| 7                    | MYR4/1 | 褐色     | 砂礫 炭化粒土層片多量混じる                  |
| 8                    | MYR4/3 | にぶい黄褐色 | 砂礫 炭化粒土層片多量混じる                  |
| 9                    | MYR4/1 | 褐色     | 砂質シルト 炭化粒土層片多量混じる               |
| 10                   | MYR2/2 | 黒褐色    | 砂質シルト                           |
| 11                   | MYR1/8 | 黄褐色    | 細砂 地下未掘出                        |
| T-7~T-4 (Tライン) (U-U) |        |        |                                 |
| 7                    | MYR4/1 | 褐色     | 砂礫 炭化粒土層片多量混じる                  |
| 8                    | MYR4/1 | にぶい黄褐色 | 砂礫 炭化粒土層片多量混じり土層片点状する           |
| 9-1                  | MYR4/3 | 暗褐色    | シルト混じり砂礫 炭化粒土層片多量混じる            |
| 9-2                  | MYR4/6 | 褐色     | シルト混じり砂礫 炭化粒土層片多量混じる            |
| 9-3                  | MYR5/2 | 黒褐色    | 砂質シルト 炭化粒土層片多量混じる               |
| 9-4                  | MYR2/1 | 黒色     | 砂質シルト 炭化粒土層片多量混じり部分的に土層片レンズ状に散在 |
| 9-5                  | MYR5/4 | にぶい黄褐色 | 砂質シルト 炭化粒土層片混じる                 |
| 9-6                  | MYR2/2 | 黒褐色    | 砂質シルト 5YR4/6暗褐色砂質シルト点状する        |
| 9-7                  | MYR5/4 | にぶい黄褐色 | 砂質シルト 10YR3/4暗褐色砂質シルト混じる        |
| 10                   | MYR2/2 | 黒褐色    | 砂質シルト                           |
| 11                   | MYR6/6 | 黄褐色    | 砂質シルト                           |

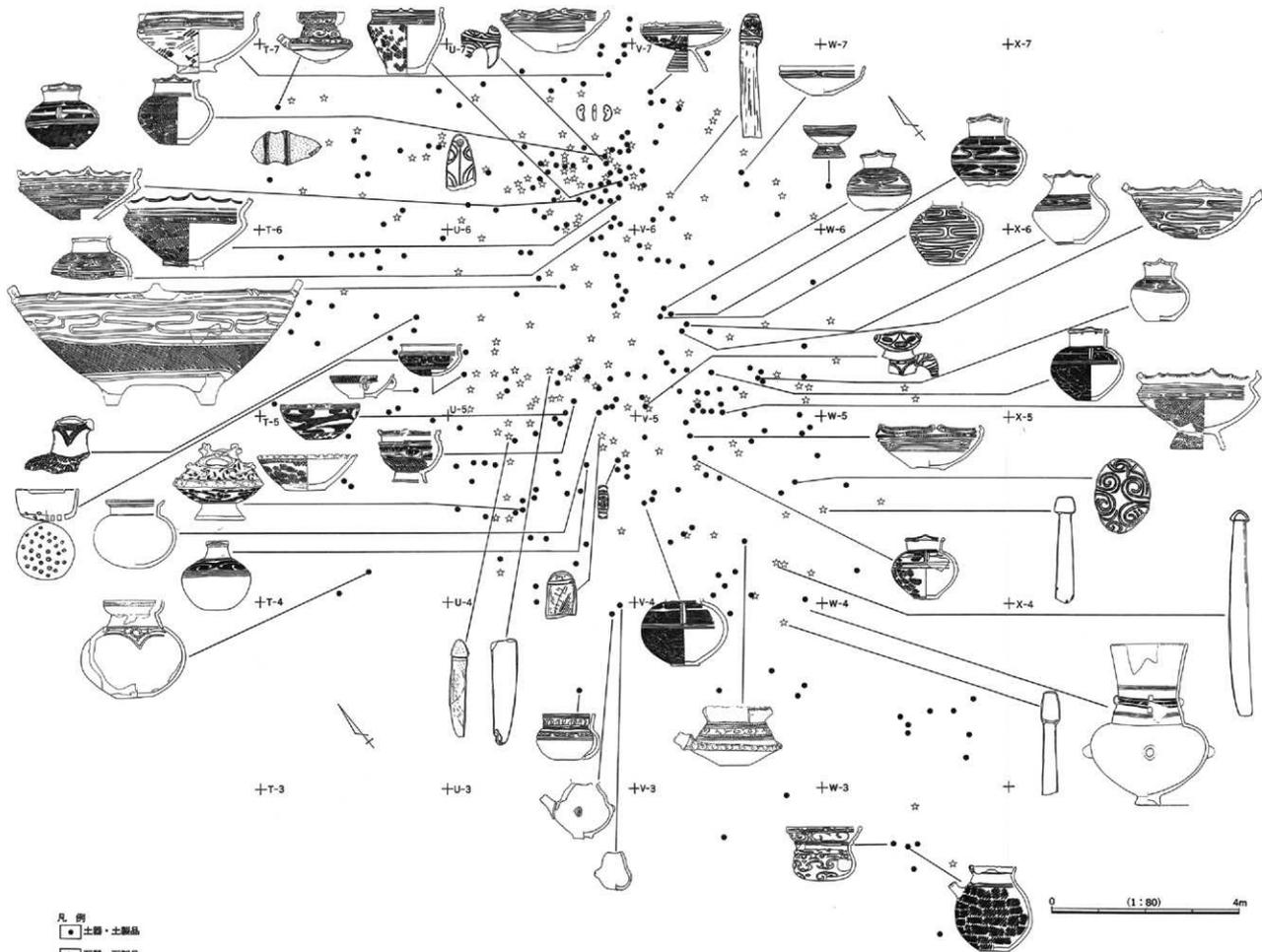
凡例

石

土器・土製品

石器・石製品

0 (1:40) 4m

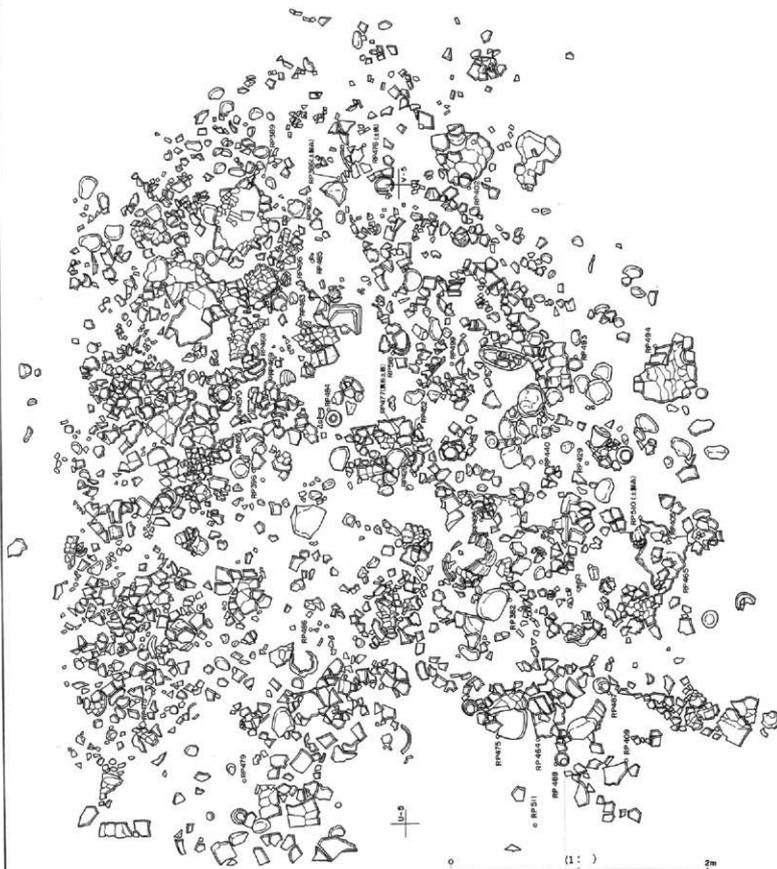


第60図 第3拾場主要遺物分布図

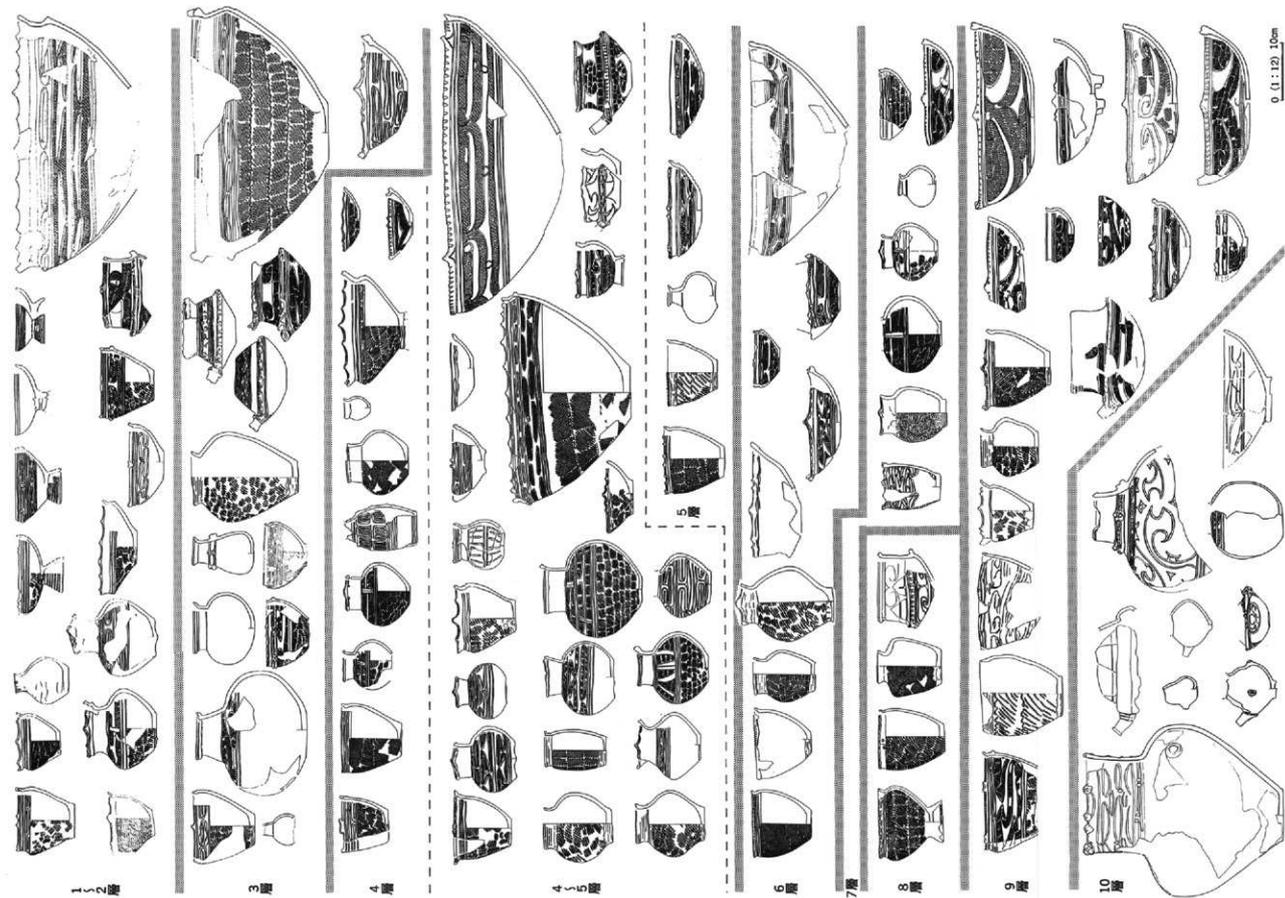


(トレンチ)

(作業用通路)

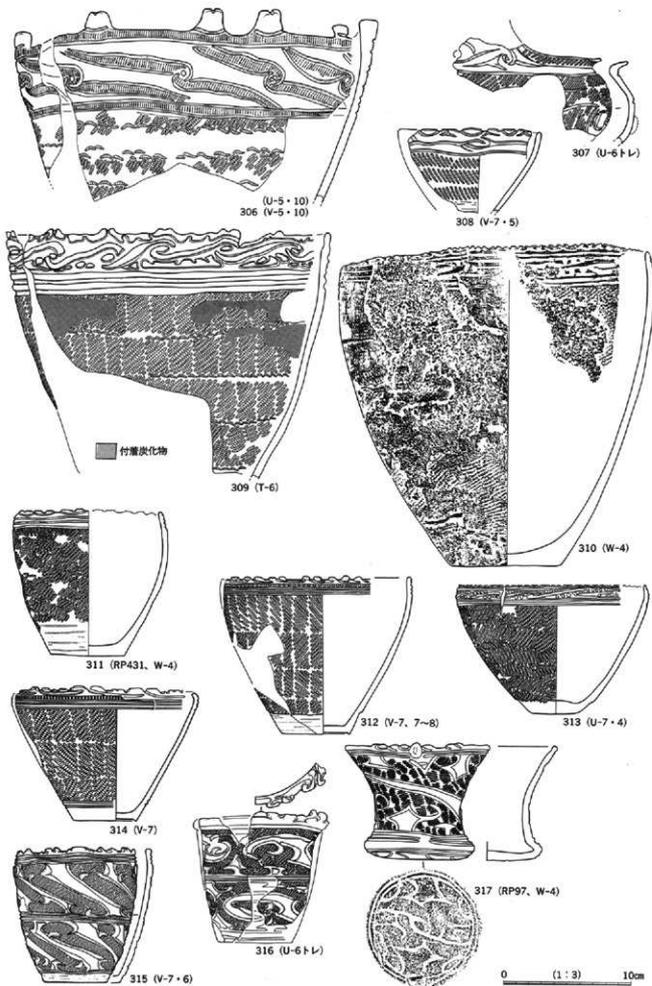


第61図 第3 拾場実測図

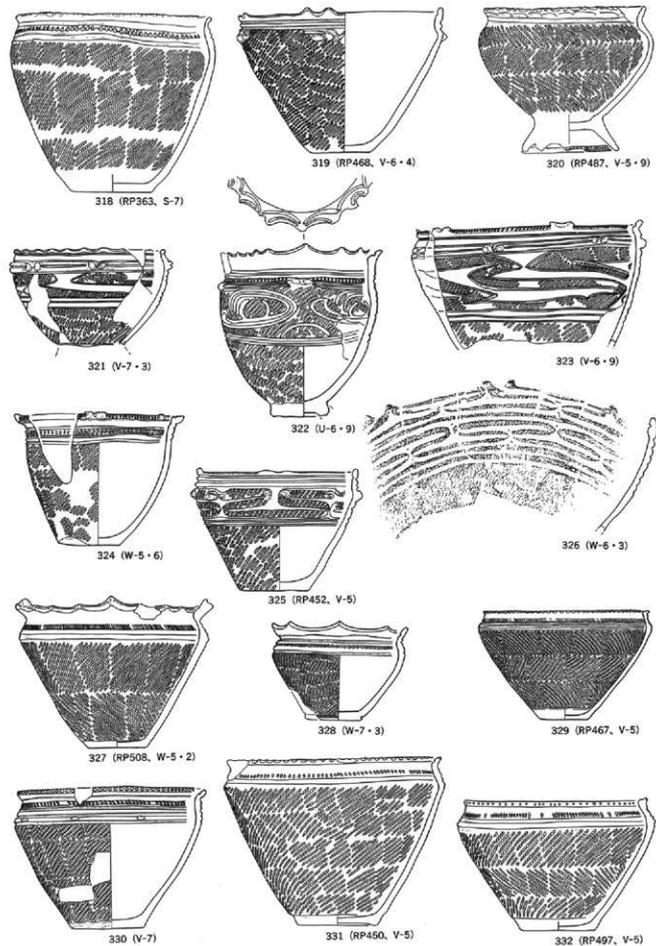


0 (1:12) 10m

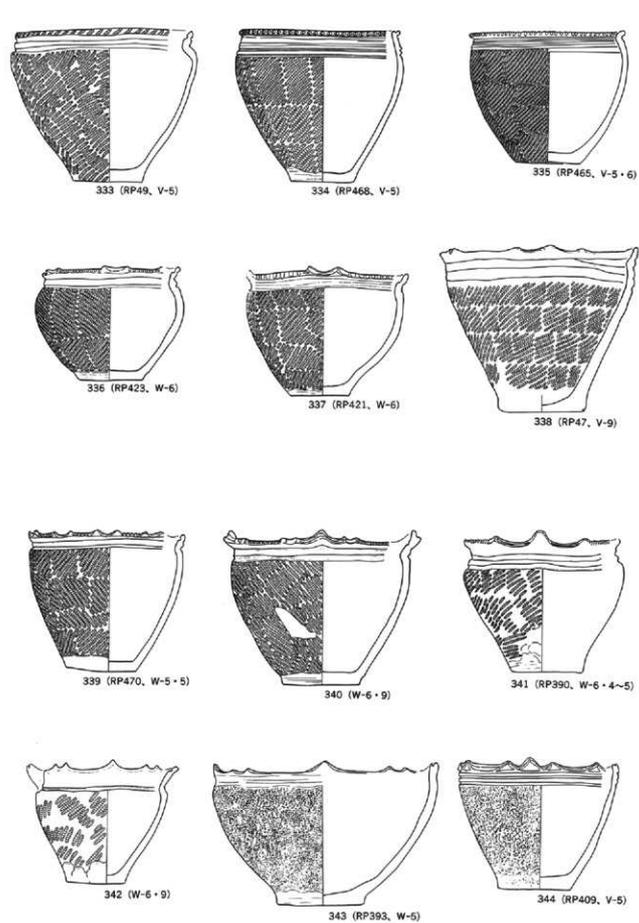
第62図 第3発掘遺物集成図



第63図 第3発掘出土土器実測図(1)

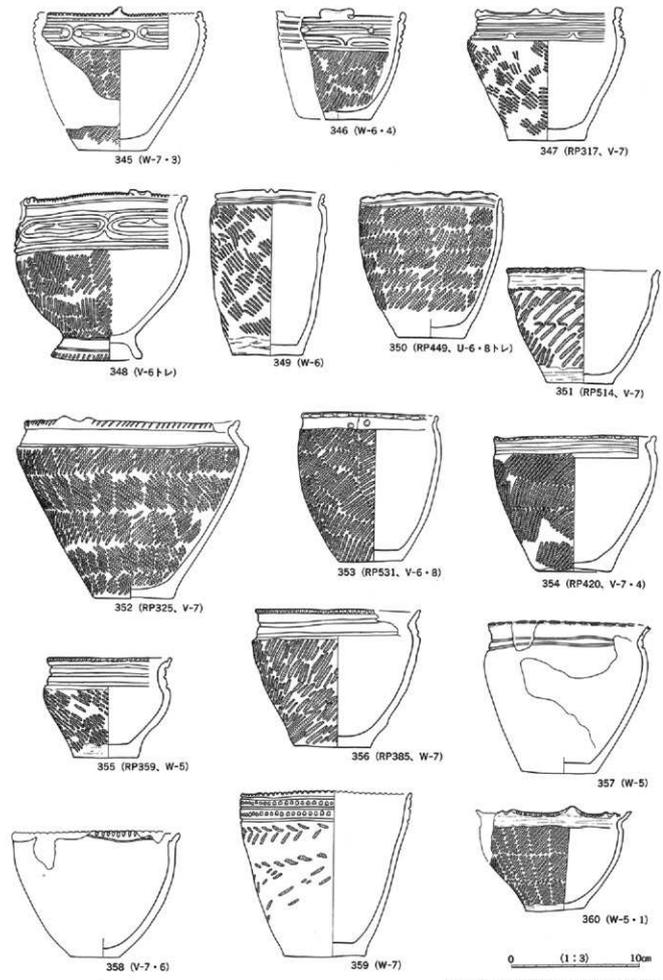


第64図 第3発場出土土器実測図(2)



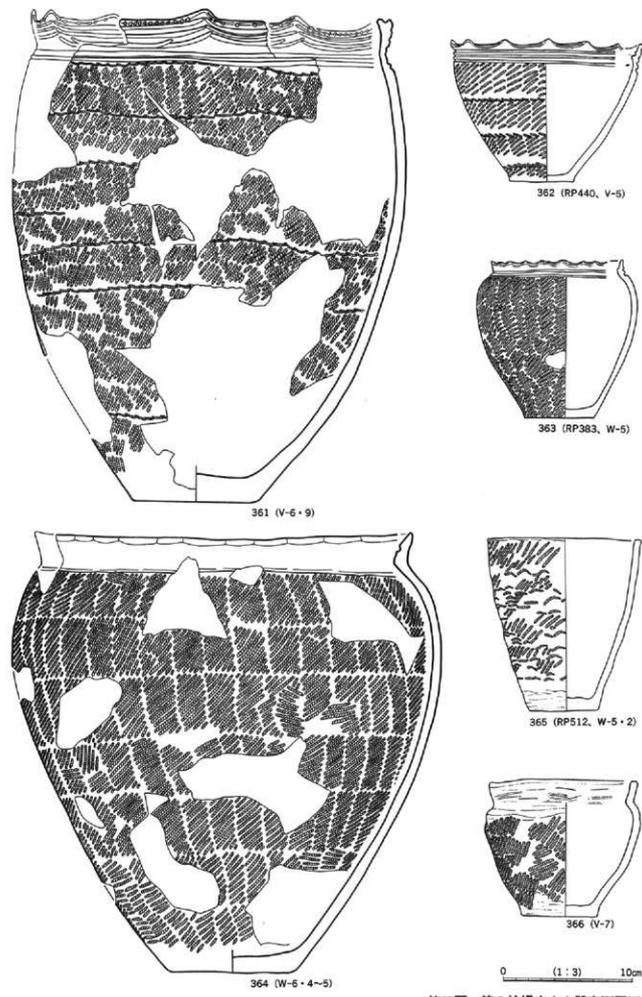
第65図 第3発場出土土器実測図(3)

IV 出土した遺物

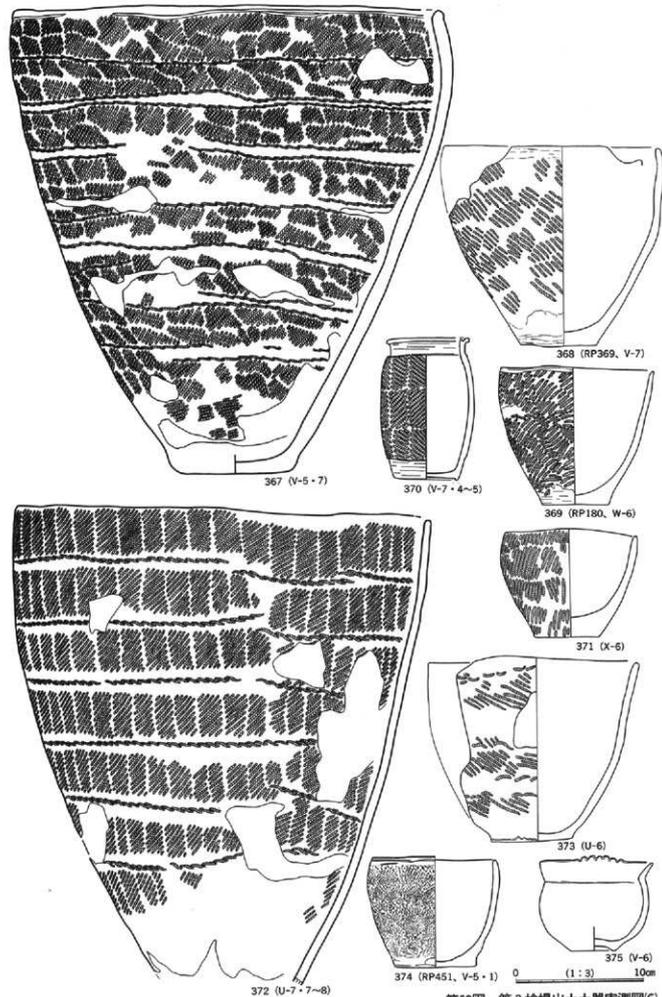


第66図 第3 埴場出土土器実測図(4)

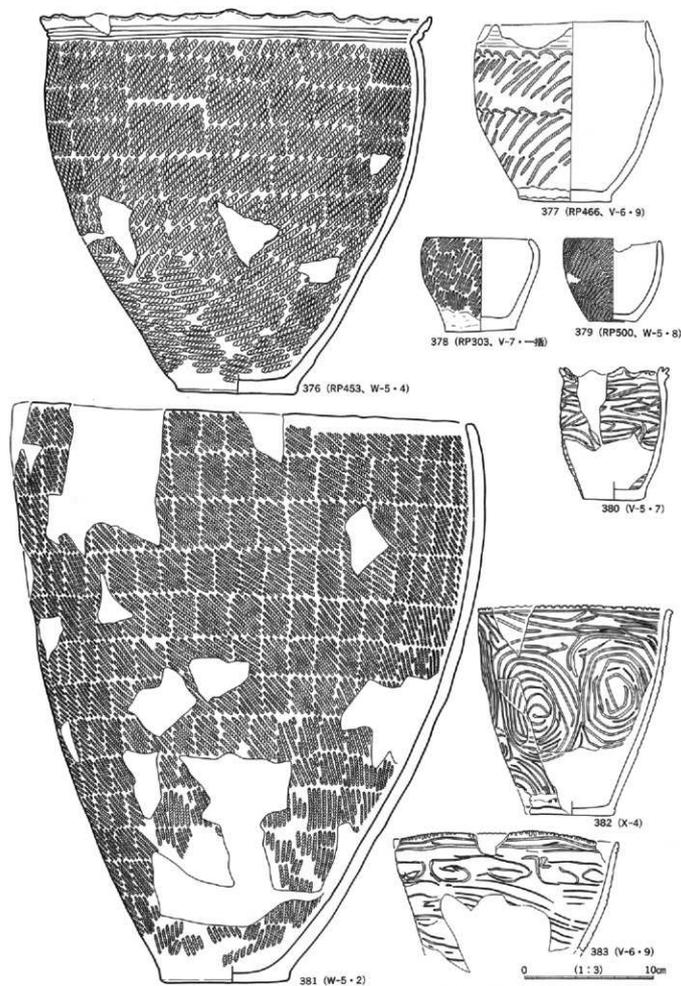
IV 出土した遺物



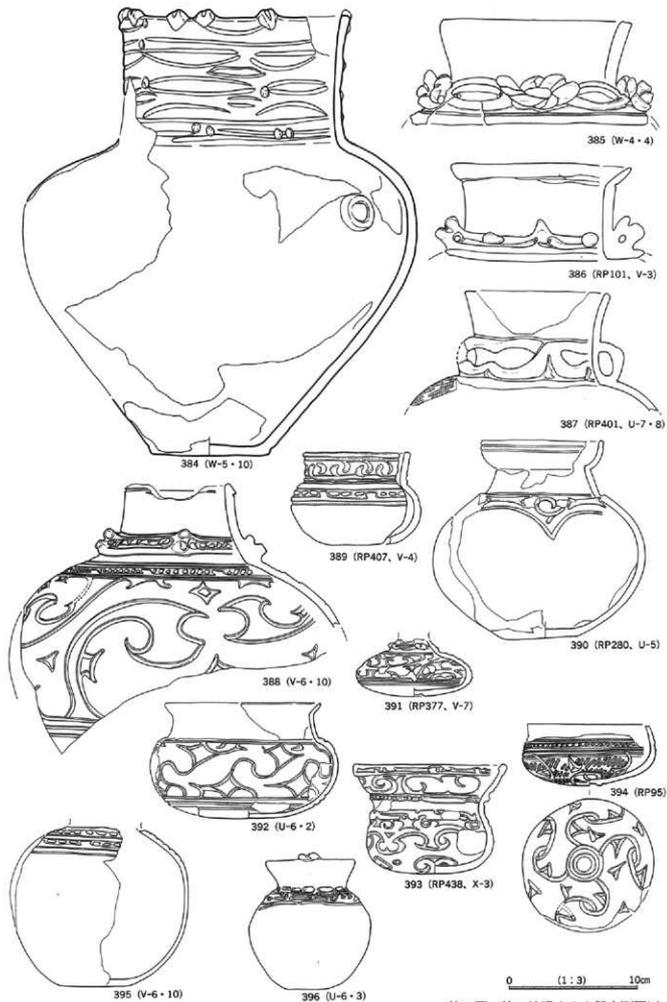
第67図 第3 埴場出土土器実測図(5)



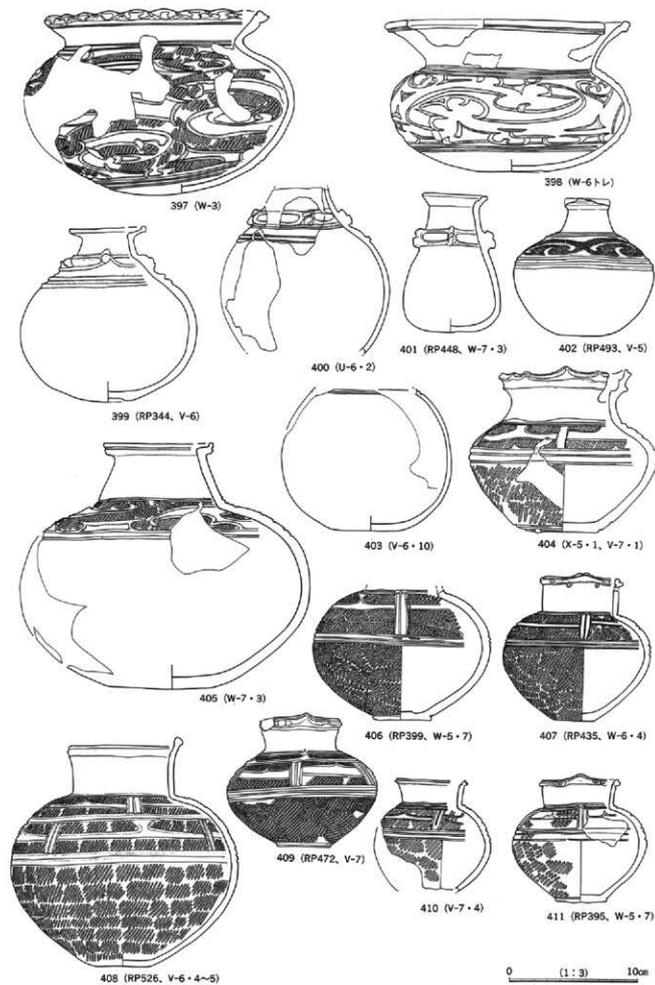
第58図 第3 捨場出土土器実測図(6)



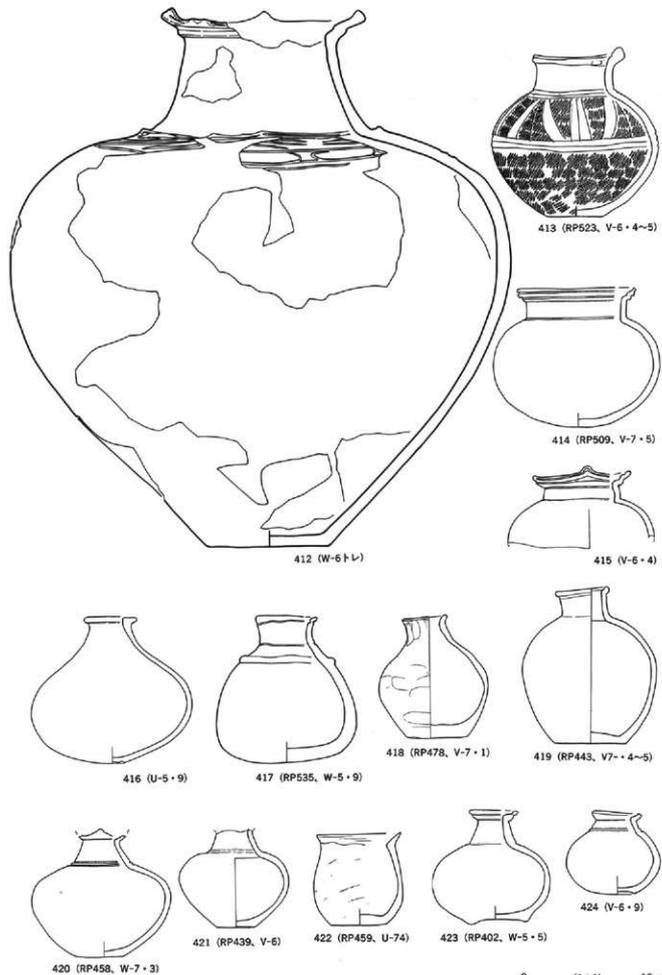
第59図 第3 捨場出土土器実測図(7)



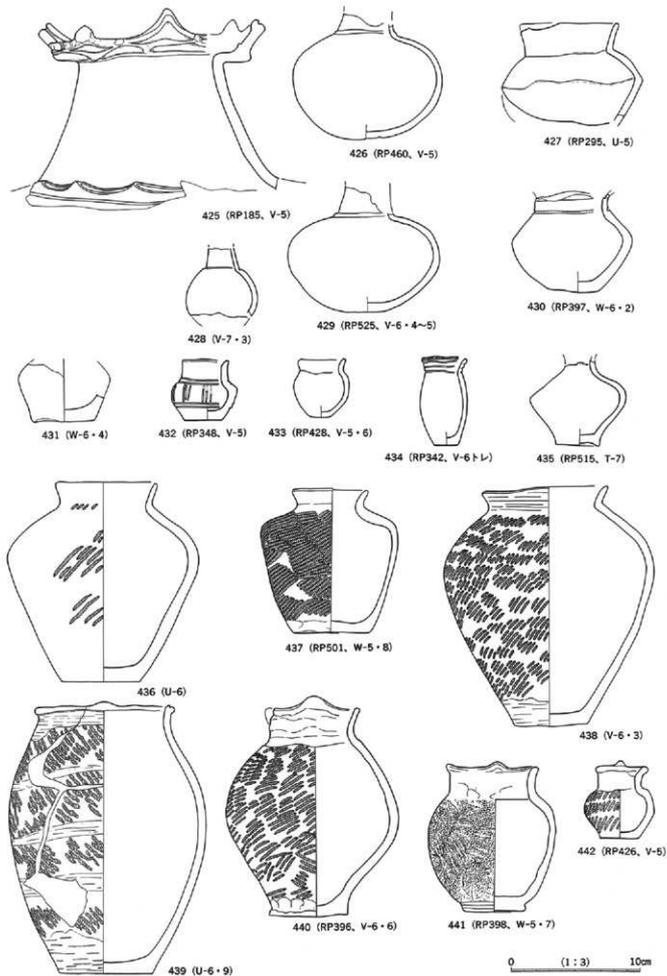
第70図 第3拾場出土土器実測図(8)



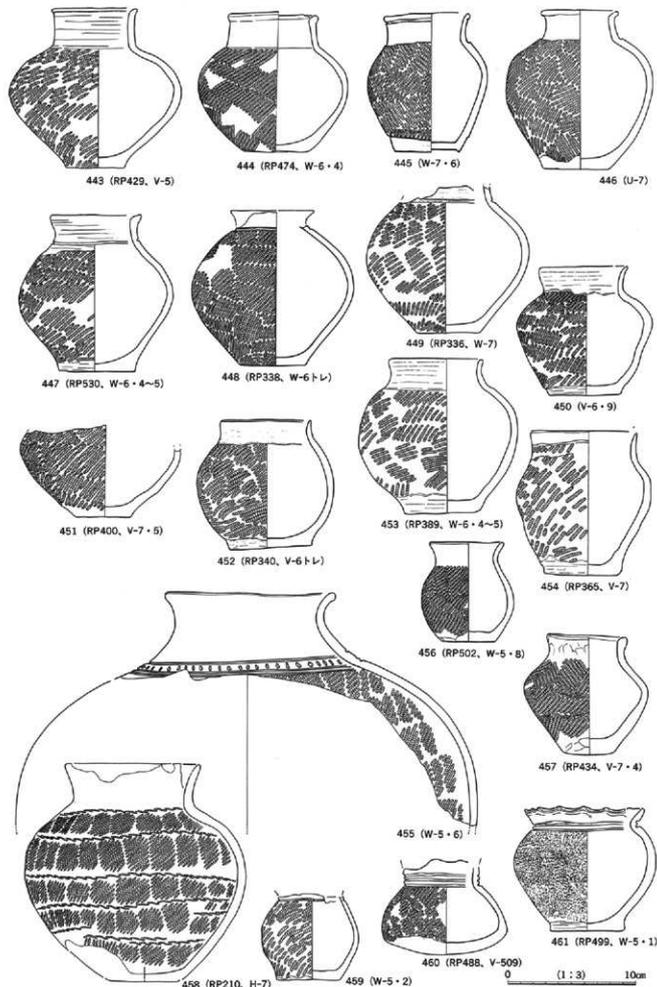
第71図 第3拾場出土土器実測図(9)



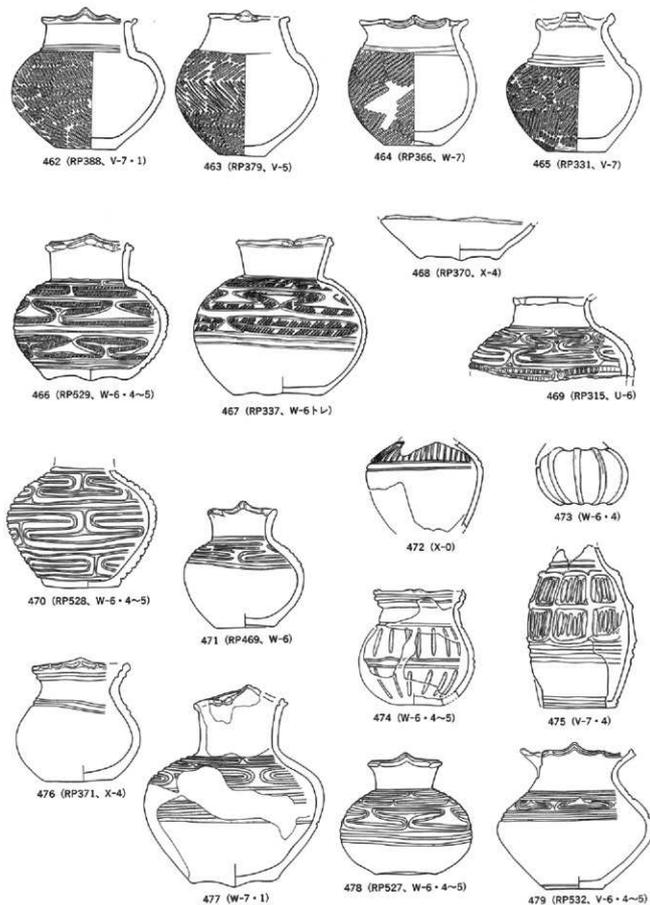
第72図 第3拾場出土土器実測図①



第73図 第3拾場出土土器実測図②

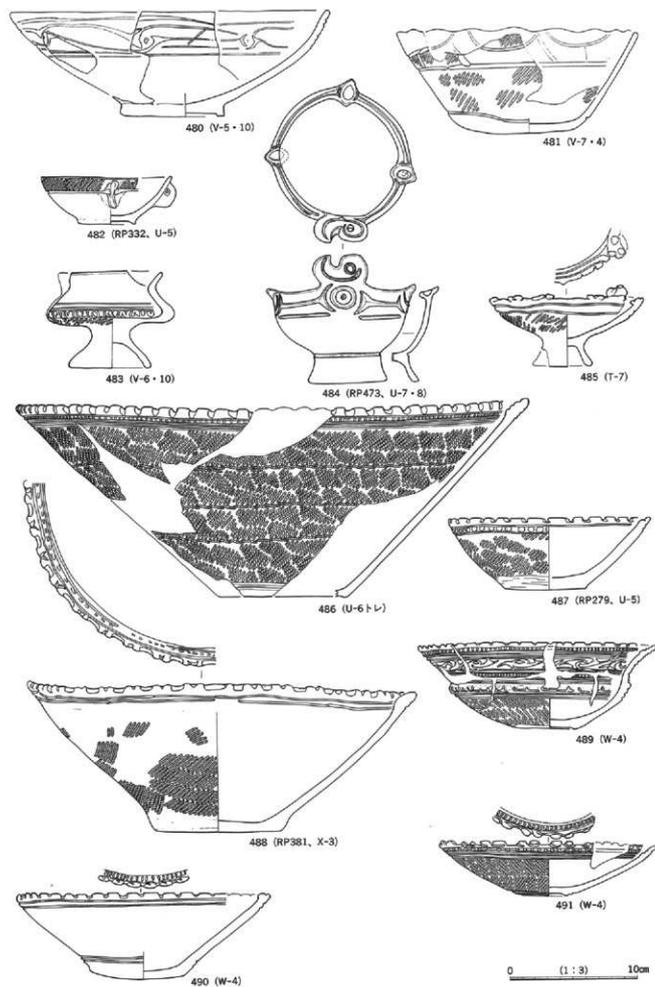


第74図 第3発掘出土土器実測図④



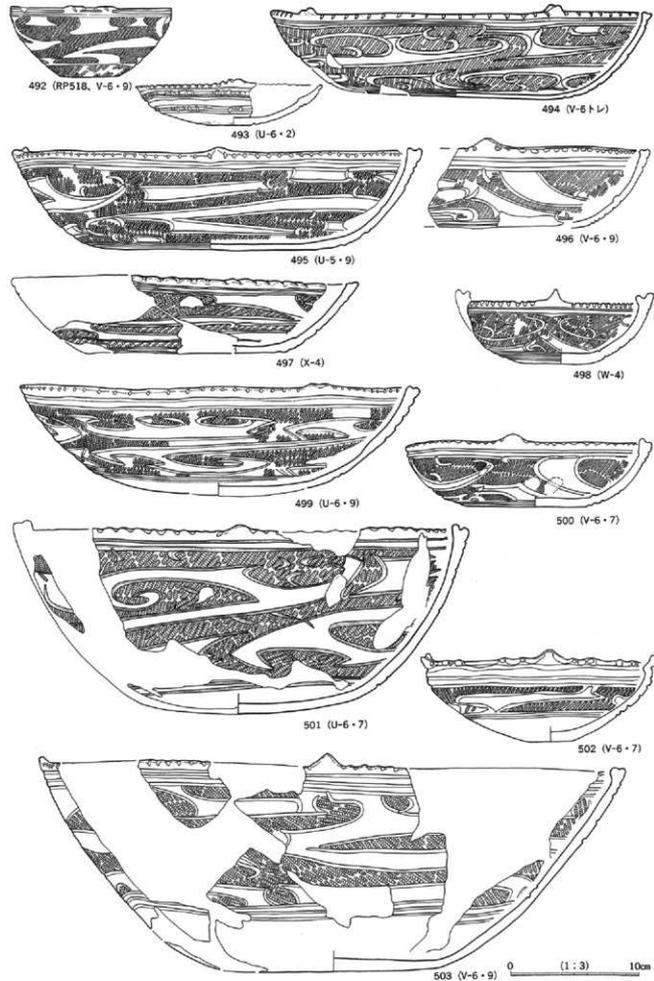
第75図 第3発掘出土土器実測図⑤

IV 出土した遺物

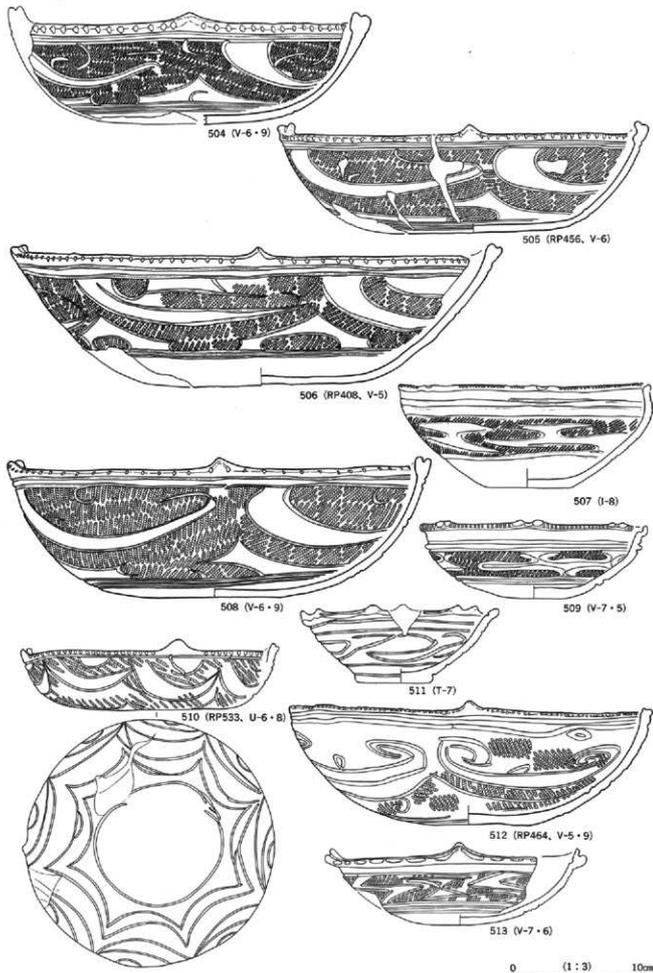


第76図 第3 捨場出土土器実測図(4)

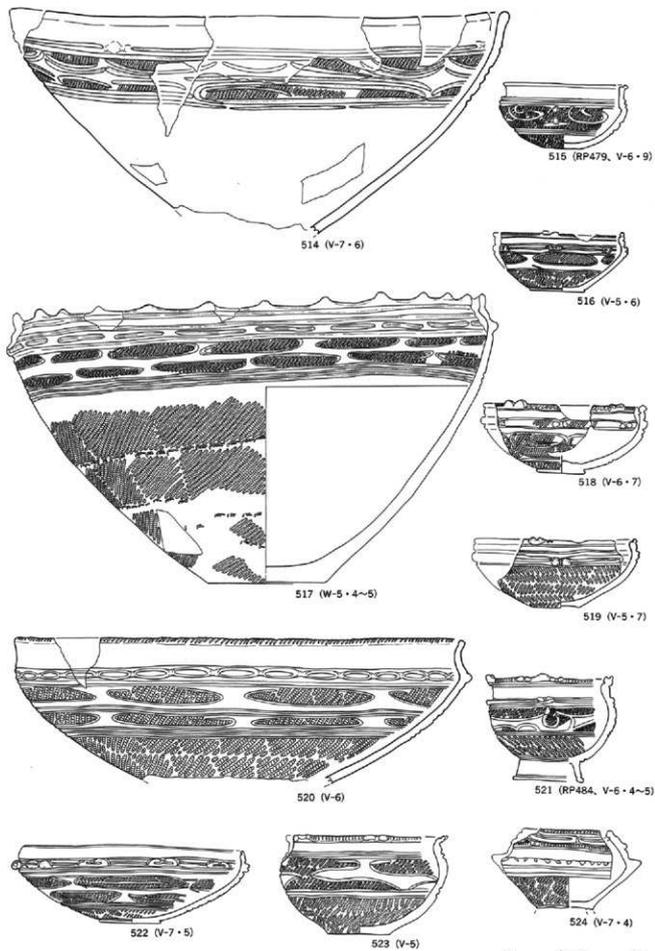
IV 出土した遺物



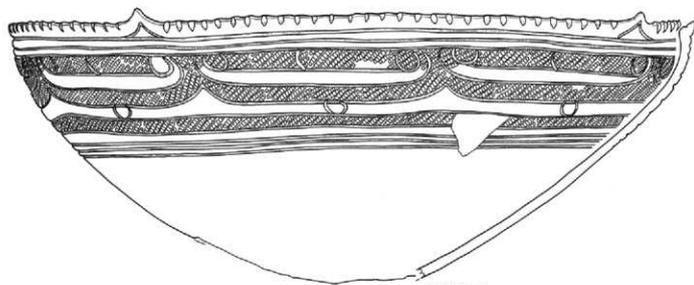
第77図 第3 捨場出土土器実測図(5)



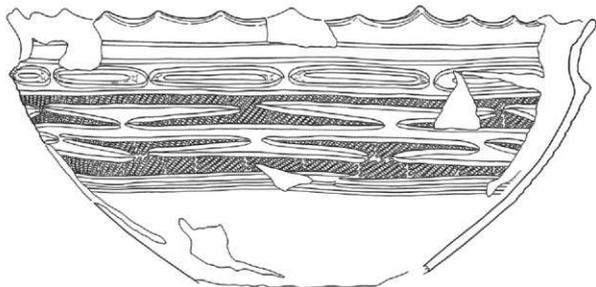
第78図 第3 埴場出土土器実測図(IV)



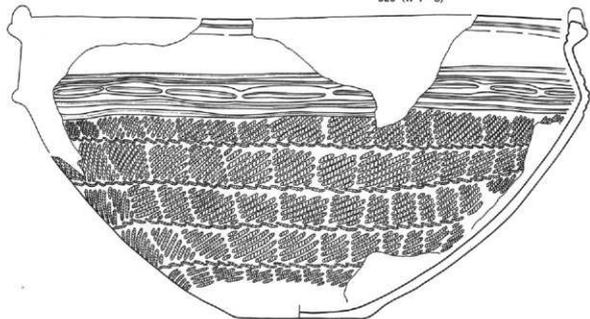
第79図 第3 埴場出土土器実測図(IV)



525 (W-6・4)



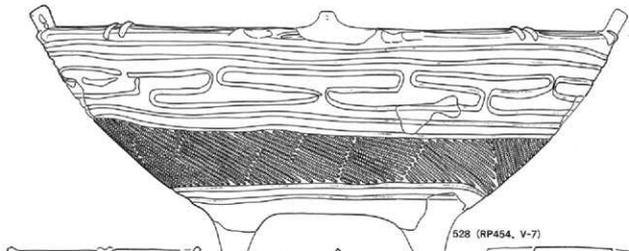
526 (W-7・3)



527 (W-7・3~4)

0 (1:3) 10cm

第80図 第3拾場出土土器実測図⑩



528 (RP454, V-7)



529 (W-7・1)



530 (V-7・3)



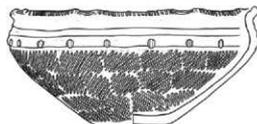
531 (V-7)



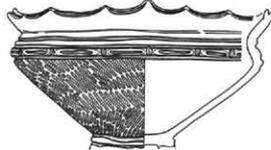
532 (RP462, W-6・3)



533 (W-7・1)



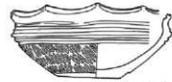
534 (RP325, V-7)



535 (RP419, V-7・4)



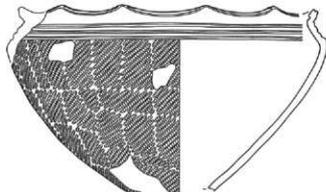
536 (V-6・4~5)



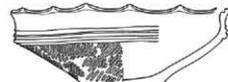
537 (V-6トレ)



538 (V-6・4)



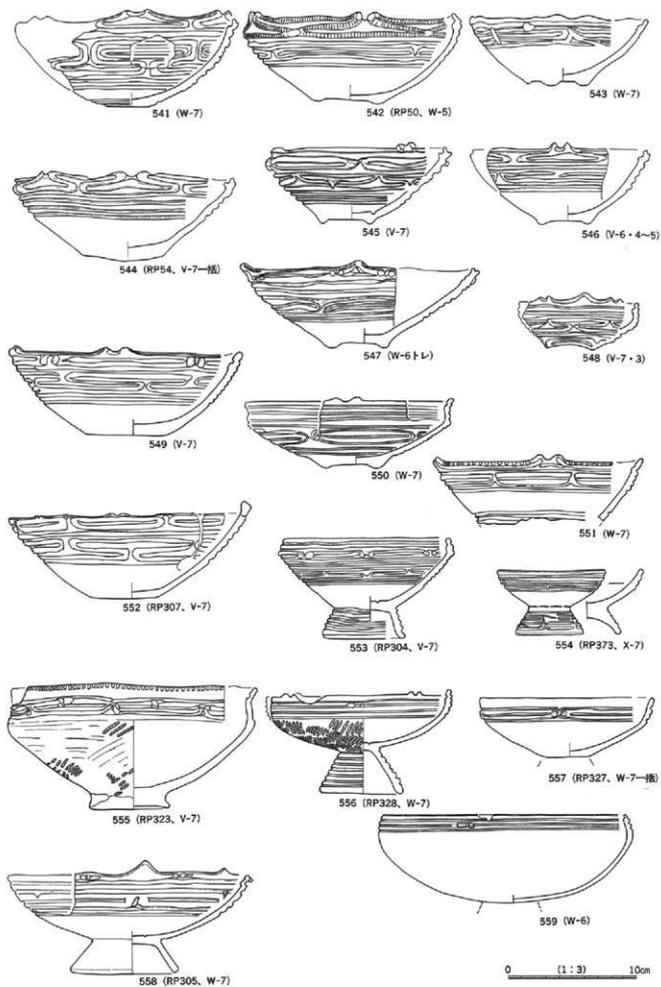
539 (RP424, W-5)



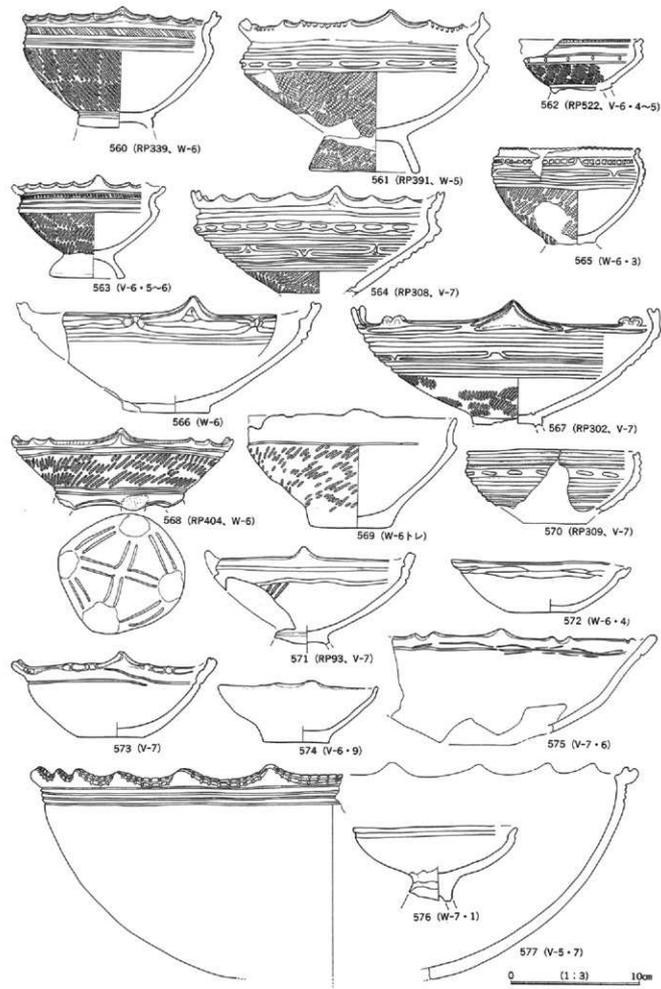
540 (V-7・1)

0 (1:3) 10cm

第81図 第3拾場出土土器実測図⑪

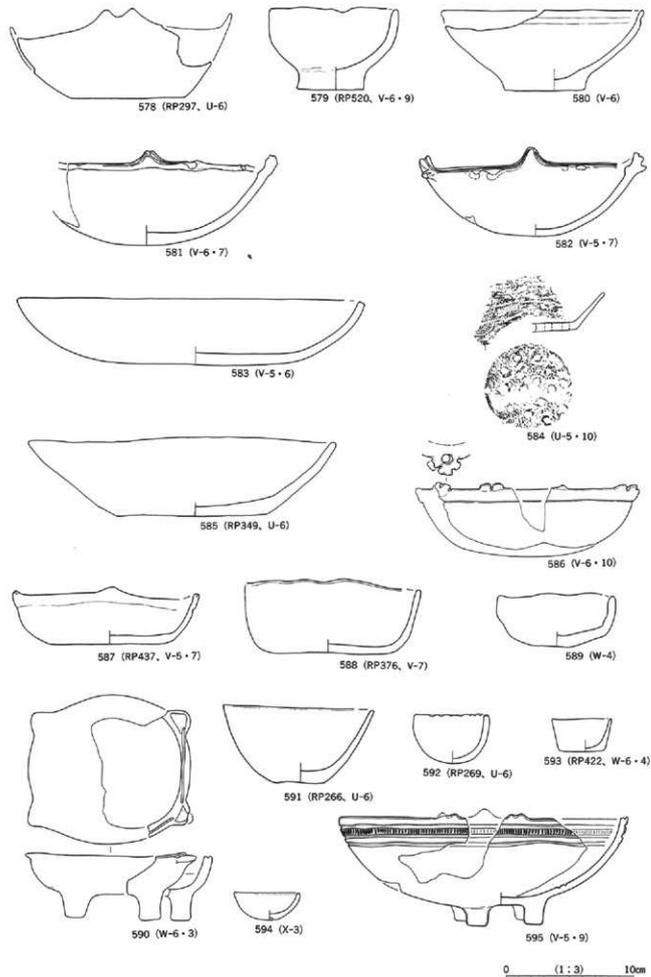


第82図 第3発掘出土土器実測図(2)



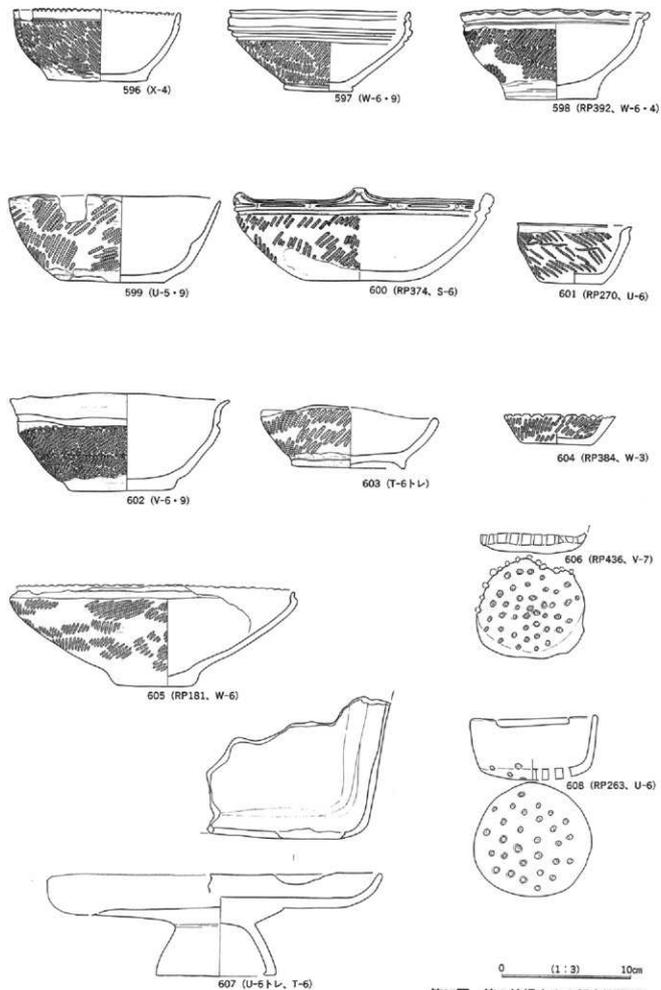
第83図 第3発掘出土土器実測図(2)

IV 出土した遺物

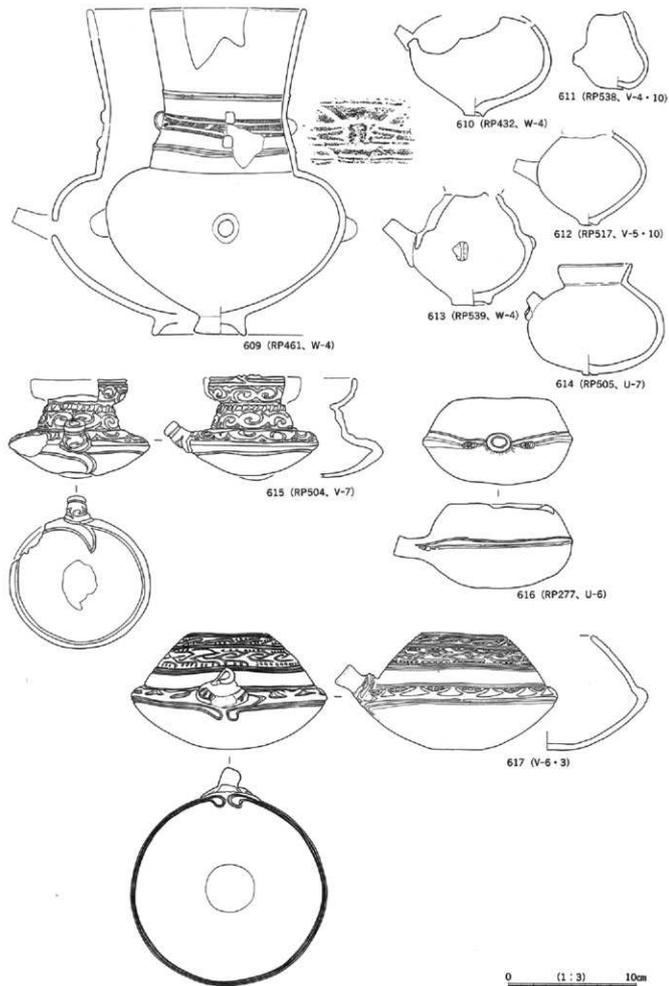


第84図 第3拾場出土土器実測図②

IV 出土した遺物

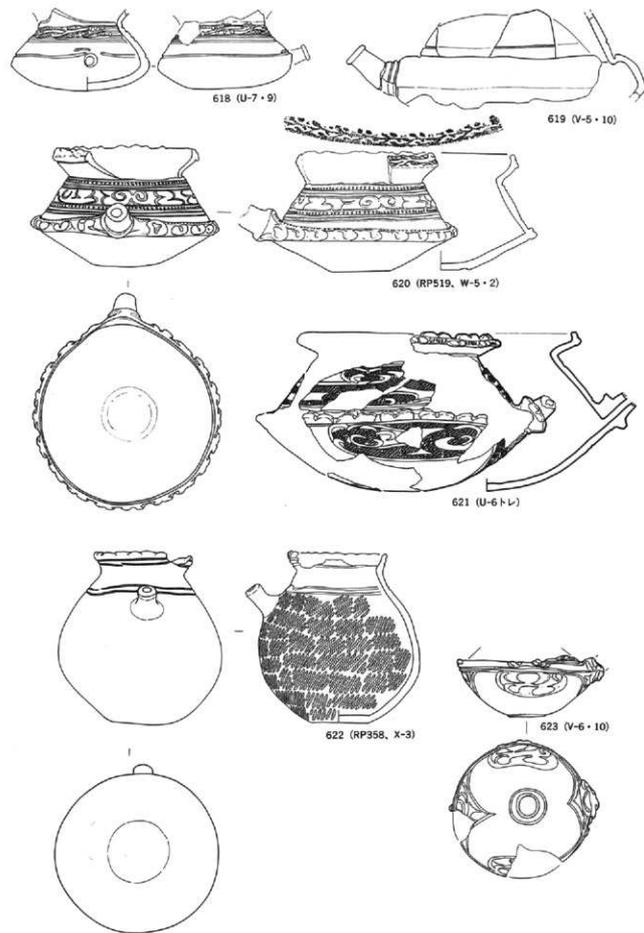


第85図 第3拾場出土土器実測図③



0 (1:3) 10cm

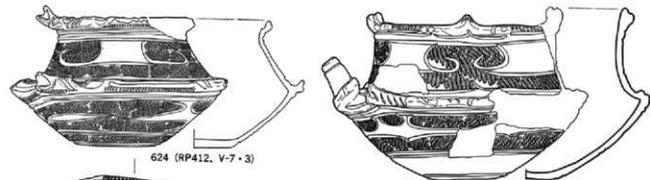
第86図 第3 拾場出土土器実測図(2)



0 (1:3) 10cm

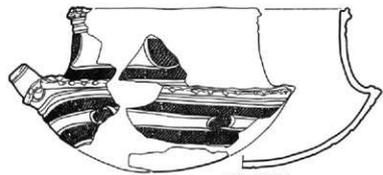
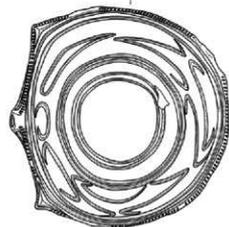
第87図 第3 拾場出土土器実測図(2)

IV 出土した遺物

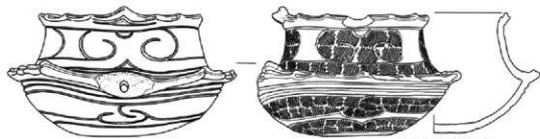


624 (RP412, V-7・3)

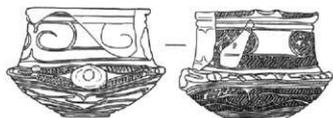
625 (V-6トレ)



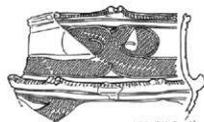
626 (V-6・9)



627 (RP463, V-6)



628 (RP343, V-6トレ)

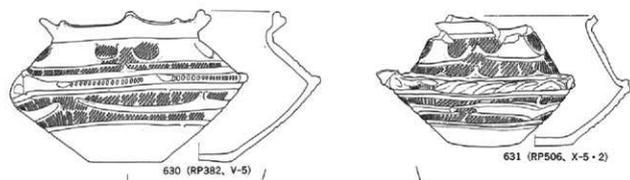


629 (W-5・1)

0 (1:3) 10cm

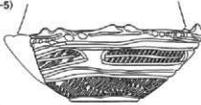
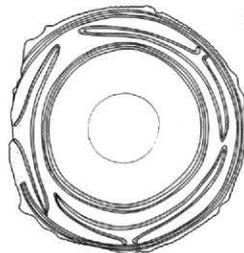
第88図 第3 捨場出土土器実測図②

IV 出土した遺物



630 (RP382, V-5)

631 (RP506, X-5・2)



632 (V-6・6)



634 (V-6・8)



633 (W-6・4)



635 (RP524, V-6・4-5)



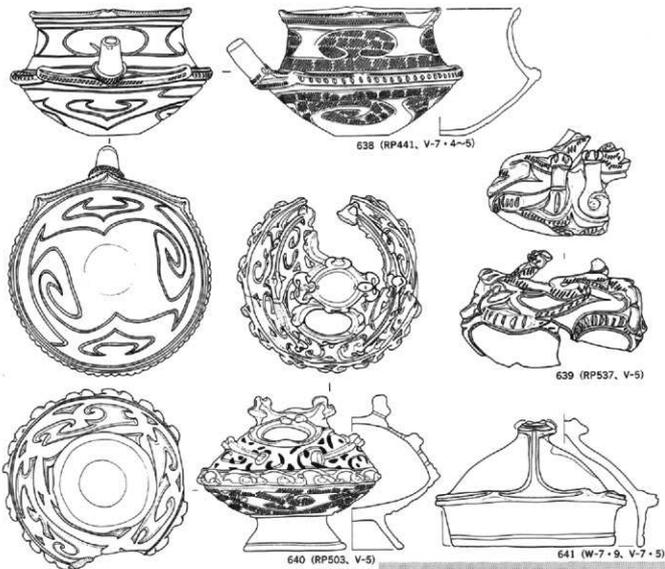
636 (RP471, V-7)



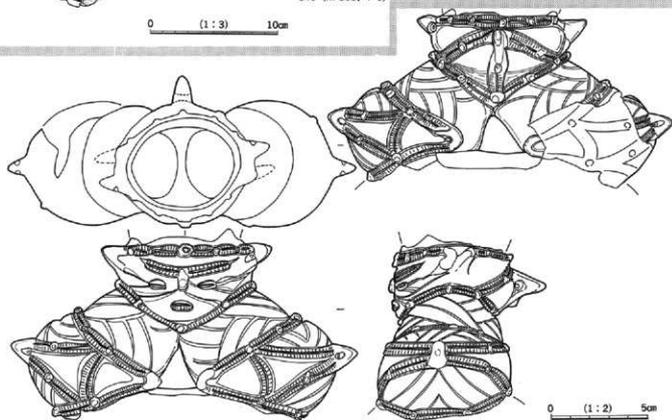
637 (V-6・8)

0 (1:3) 10cm

第89図 第3 捨場出土土器実測図②

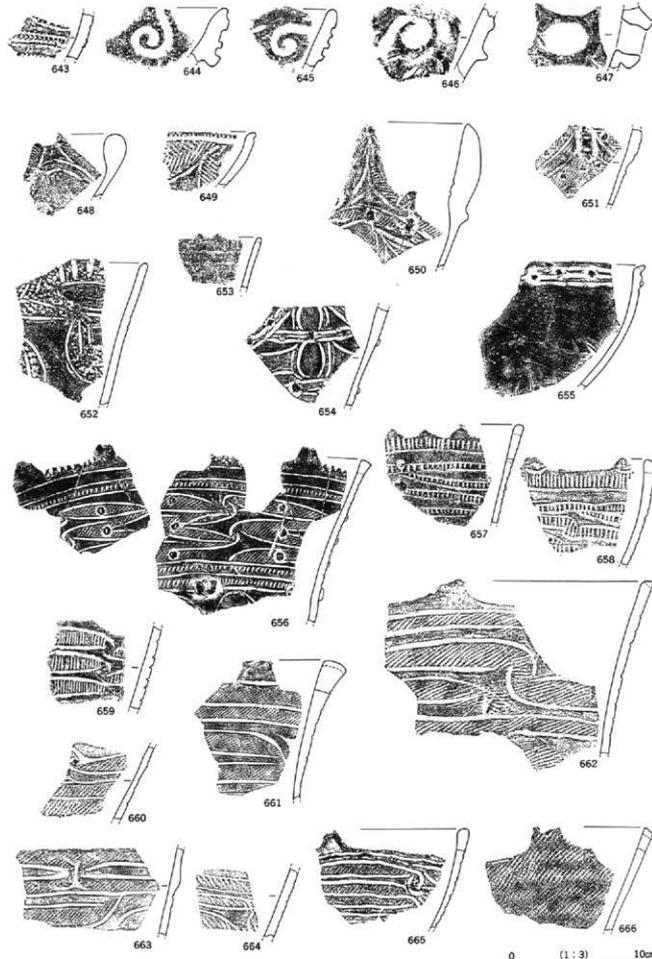


0 (1:3) 10cm



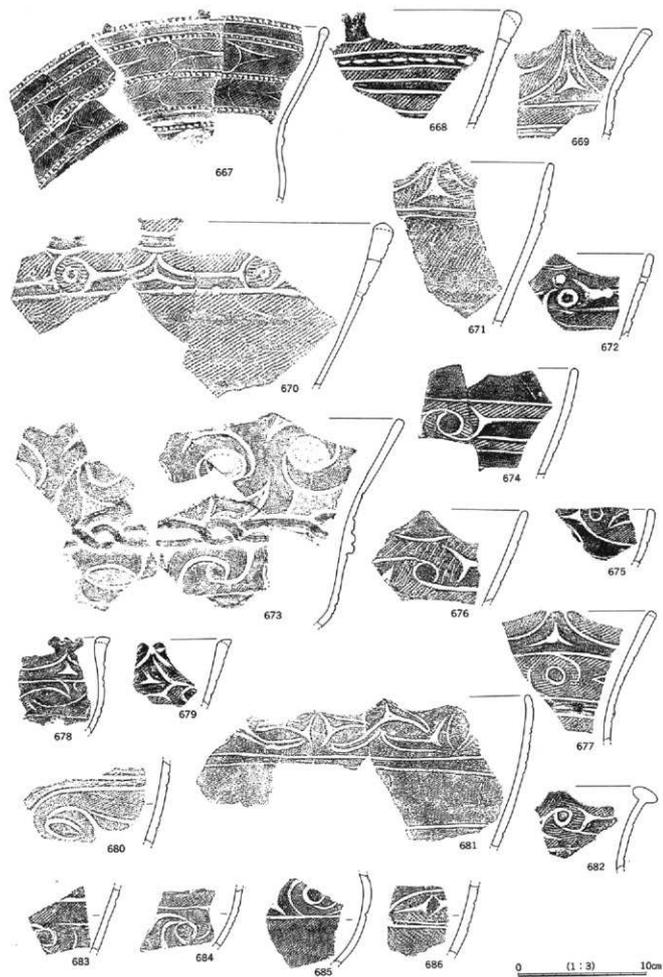
0 (1:2) 5cm

第90図 第3捨場出土土器実測図(2)

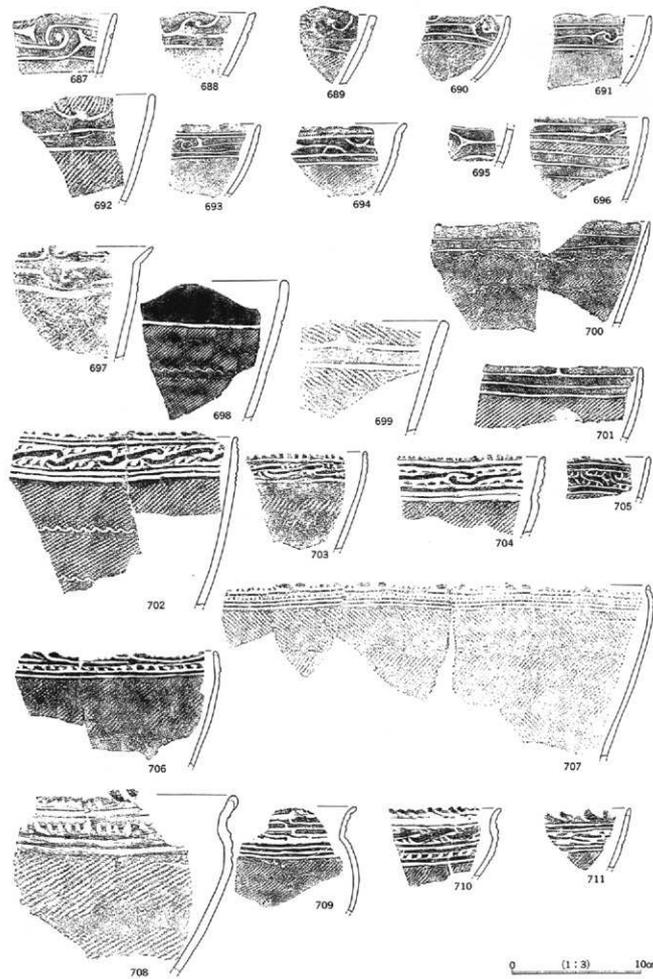


0 (1:3) 10cm

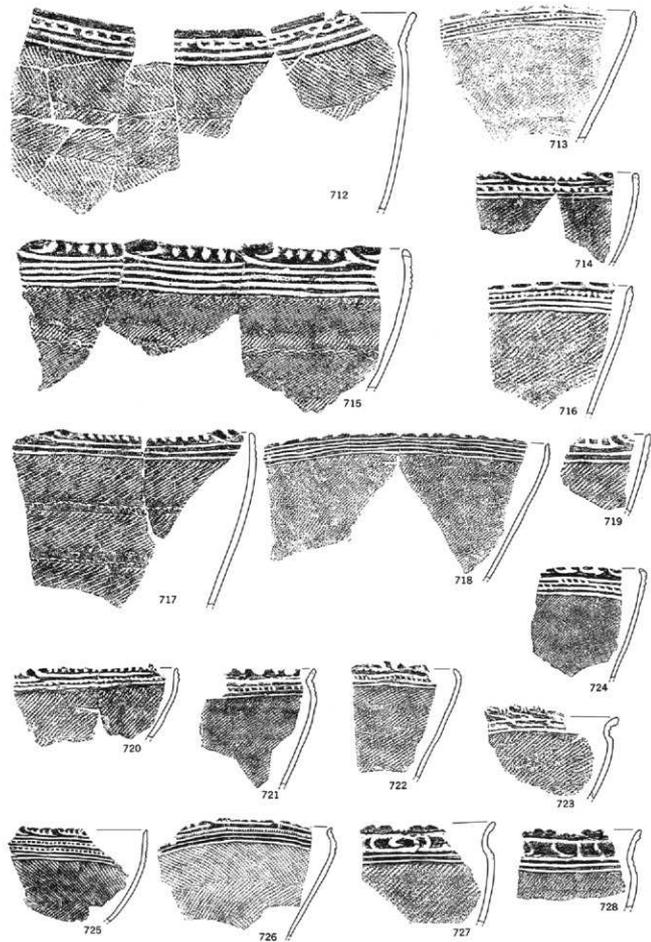
第91図 第3捨場出土土器拓影図(1)



第92図 第3発掘出土土器拓影図(2)

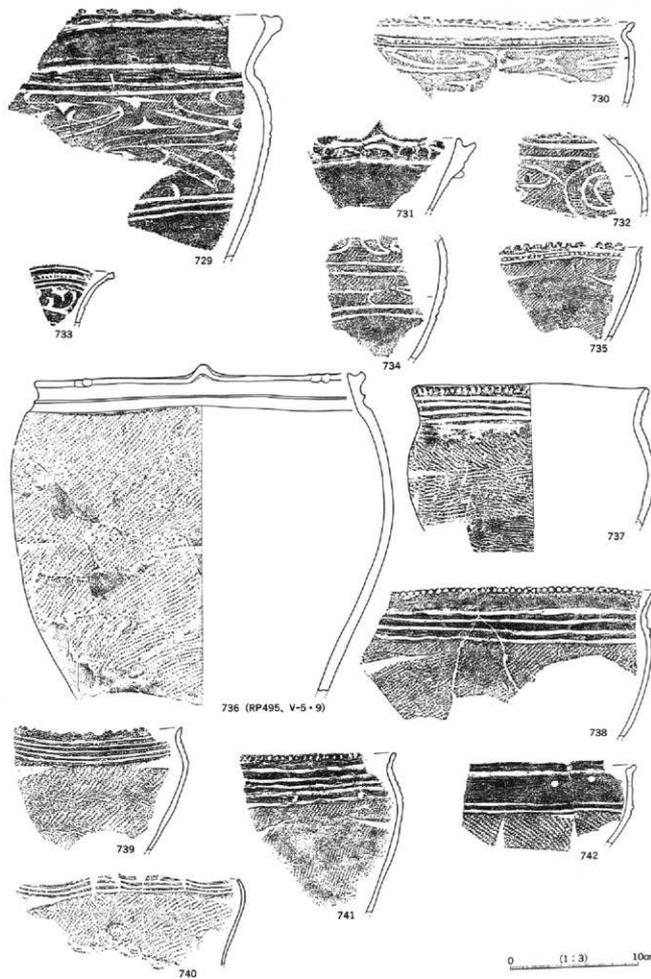


第93図 第3発掘出土土器拓影図(3)



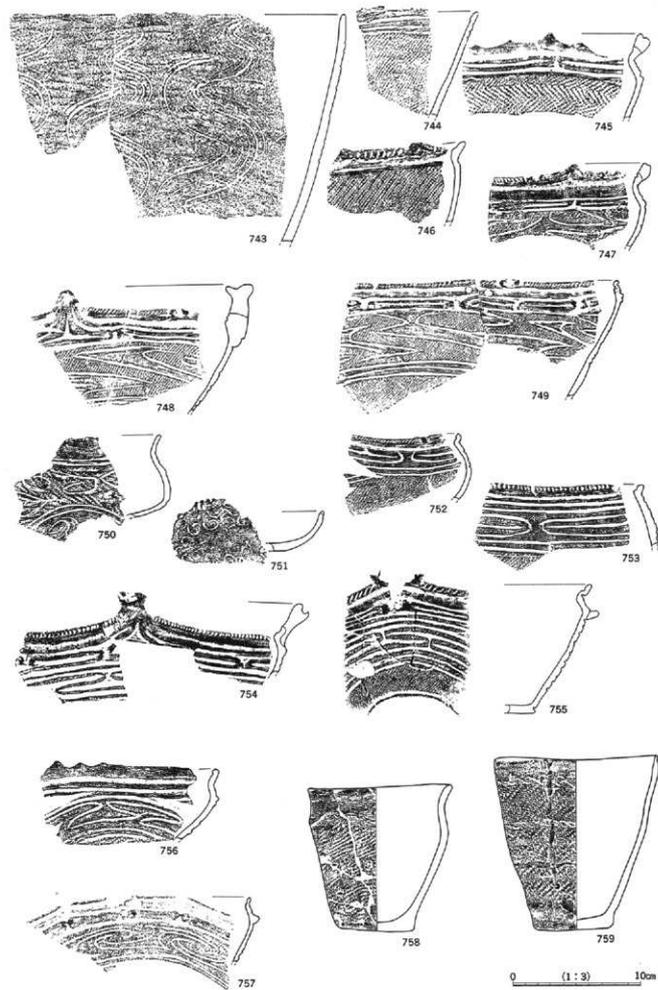
0 (1:3) 10cm

第94図 第3拾場出土土器拓影(4)

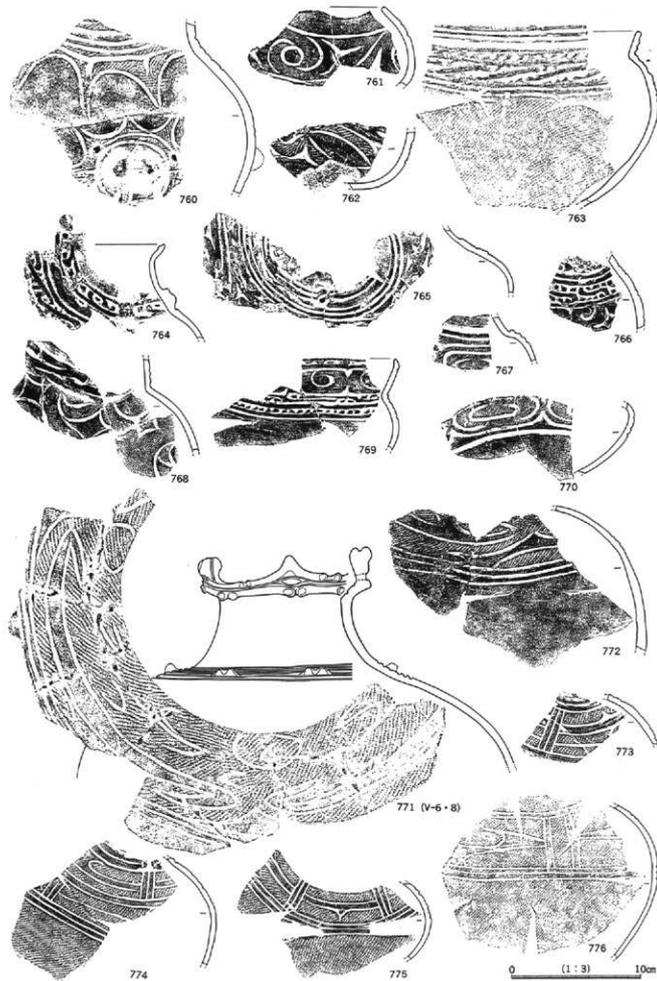


0 (1:3) 10cm

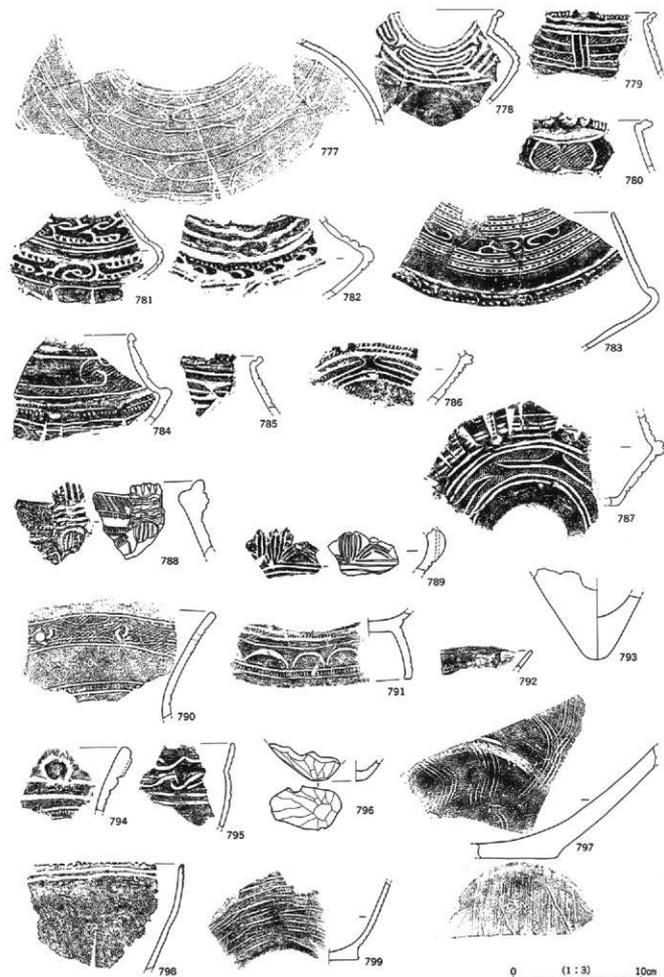
第95図 第3拾場出土土器拓影(5)



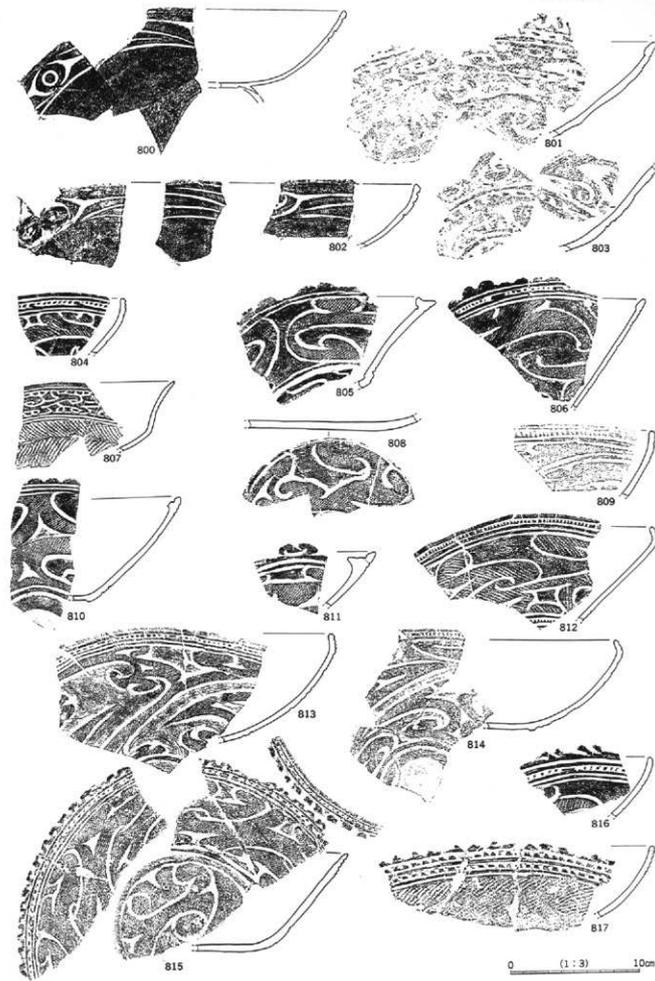
第96図 第3拾場出土土器拓影図(6)



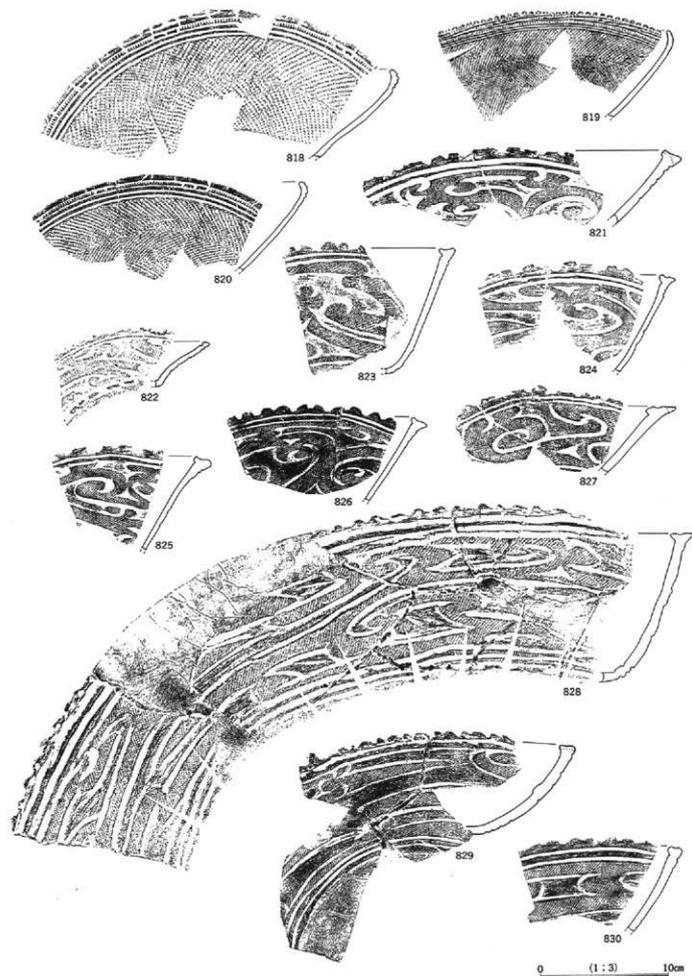
第97図 第3拾場出土土器拓影図(7)



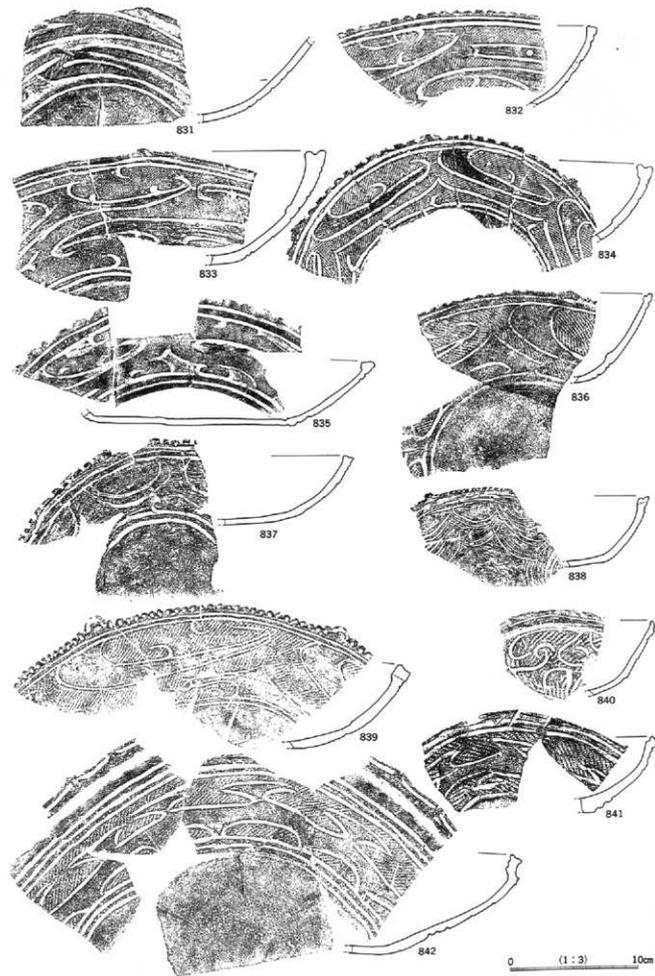
第98図 第3 捨場出土土器拓影図(8)



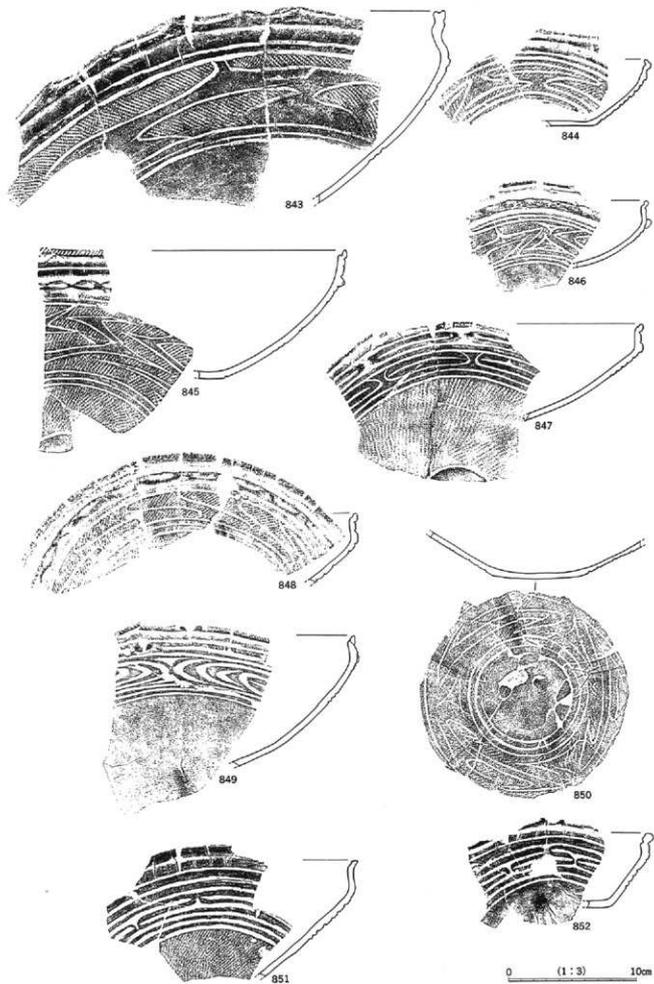
第99図 第3 捨場出土土器拓影図(9)



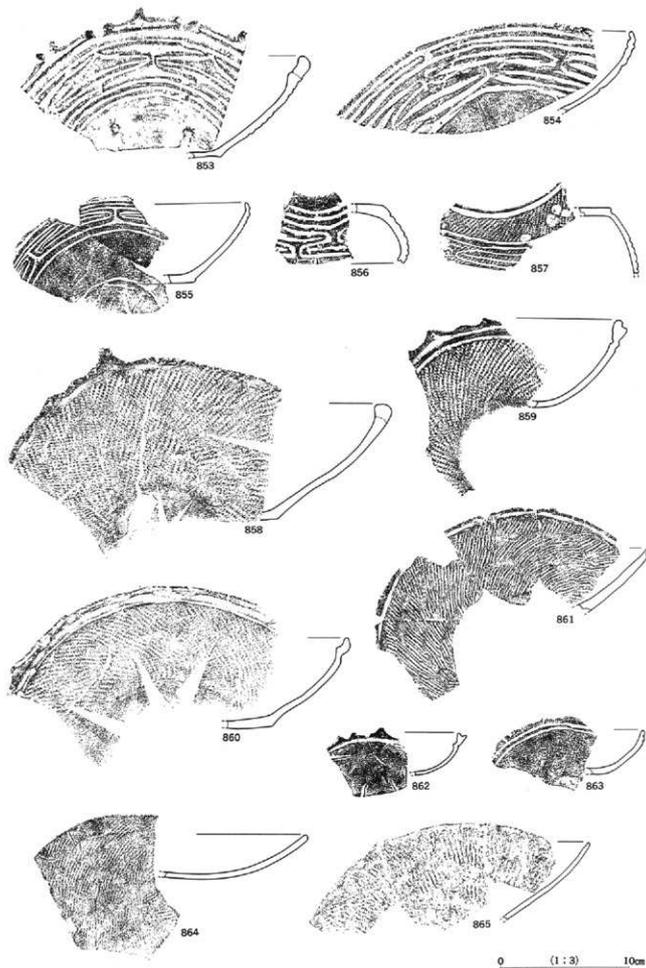
第100図 第3 捨場出土土器拓影図(加)



第101図 第3 捨場出土土器拓影図(加)



第102図 第3 拾場出土土器拓影図(12)



第103図 第3 拾場出土土器拓影図(13)

ように見えるものもある。この状況を第60図と組み合わせると、この第3捨場でも多くの土器はあるままとりをもって廃棄されていることがわかる。単に「ゴミ」捨場とは理解できない、何らかの意図がそこにはあるものと思われる。ただし、全部が全部そういう意図があるのではないであろう。このままとりのなかには「安行2式」や「製塩土器」破片が単品で捨てられていたし、炭化したクルミやトチもあった。これらは捨てられたものと思われる。

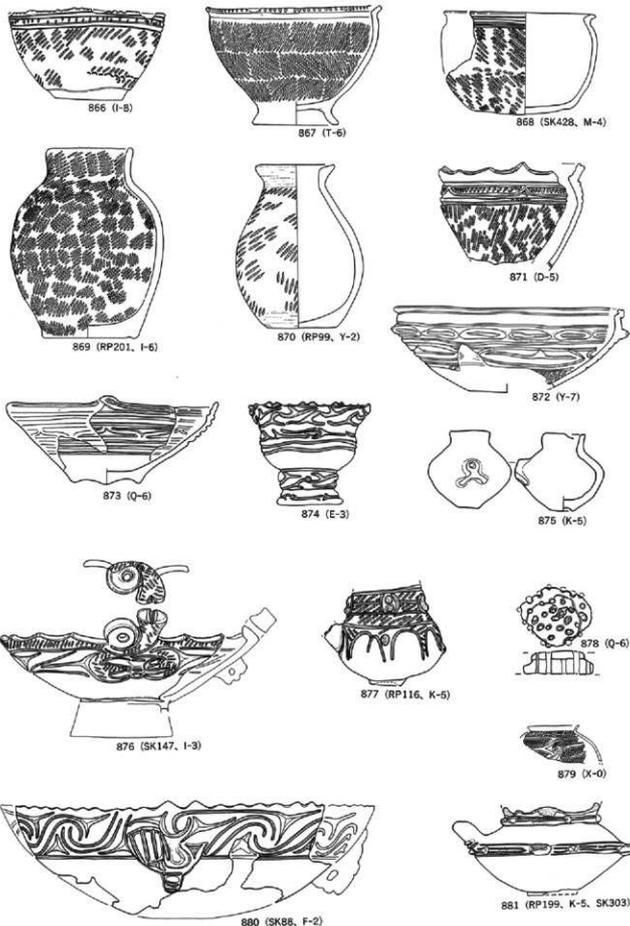
廃棄のままとりを重視したときに、W-6グリッドの中央よりやや北西のままとりが注目できよう。ここでは、工字文を施した鉢、壺、皿、台付皿などが、土偶とともに検出されている。工字文には縄文によるものと、沈線による工字文と種類があり、第VIII群、第IX群と分類したが、平面分布からこれらを追いかけてみると、実に近接した時期である可能性がある。V-5グリッドでも鉢、壺、皿、台付皿などが、石刀、装飾品、土偶など出土した。V-7グリッドでも同様のままとりが見られた。このほかにもいくつかの小さなままとりを見受けることができる。

#### 5 捨場以外の土器

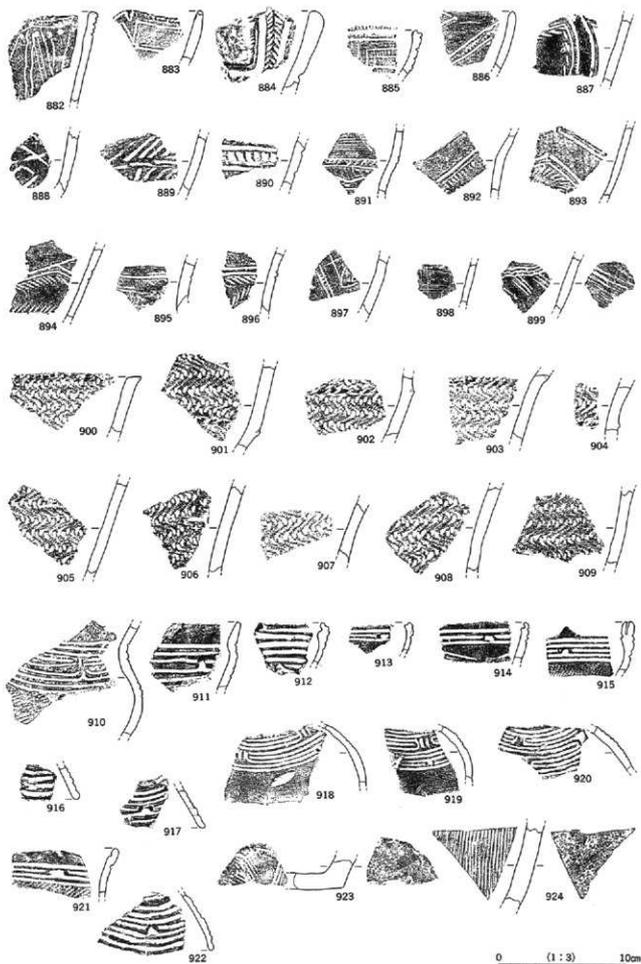
ここでは、第1調査区、第2調査区、第3調査区、第4調査区、第5調査区から出土した遺物のうち、第1捨場、第2捨場、第3捨場あるいはその他の遺物として説明した以外の土器について述べたい(第104図・第105図)。

これらの土器は調査区の全体にわたって出土したものである。第V群土器・第VI群土器・第VII群土器・第VIII群土器などが中心となる。これはこの遺跡の主体をなす時期である。第1～3捨場の時期とも一致する。特徴的な土器は、第I群土器と第II群土器がある。第I群土器(図・882～889)の時期に伴う明確な遺構は住居跡があるのみであるが、調査区の全体にわたって少量出土した。第II群土器(図・900～909)は第1捨場のすぐ近くにあるSP623から一括状態で出土した。第IX群土器(図・910～912)は第1調査区の全体から少量出土した。各捨場の時期よりもやや新しい遺物と考えられる。第X群土器は中世のすり鉢(図・923)と壺の破片(押図・924)である。

遺構にともなうものとしては、SK147、SK88にもなった土器がある。特にSK88にもなった皿型土器(図・88)は、北陸地方か信州地方の土器と類似する特徴をもっている。口縁部は連続した小波状をなし、頸部にははっきりと彫り込まれた三叉文がある。末端が長く伸びて絡み合いながら連続する様子は特徴的である。大きい突起について底部は丸くなる。平面形は楕円形を成すらしい。



0 (1:3) 10cm



第105図 包含層の土器拓影図

凡例

1. 本表は、宮の前遺跡で出土した土器のうち押印とて扱ったものを中心として採録した。  
 2. 器種は次の欄に表している。1→深鉢 2→浅鉢 3→皿 4→注口土器 5→異形土器 6→その他の器形 7→不明  
 8→定号となる。  
 3. 土器の大きさのうち( )で表した数値は推定値である。

表8 土器計測値(1)

No.	地区	R	Pno	器種	単位	計測値 (cm)			押印
						器高	最大幅	底径	
1	-	95	2	-	5.1	11.4	1.7	70-394	
2	C-5	57	4	-	10.7	3.3	46-39		
3	C-7	-	4	-	(11.2)	24.8	-	47-49	
4	C-7	-	4	-	9.8	14.0	-	47-45	
5	C-7	-	4	-	8.2	12.1	-	47-47	
6	C-7	206	1	-	9.3	8.6	4.9	45-27	
7	C-8	14	1	-	10.3	24.8	11.3	48-68	
8	D-7	-	2	-	4.7	9.0	4.0	48-69	
9	D-7	-	1	-	8.2	12.2	4.5	45-26	
10	D-7	110	1	-	15.9	22.0	7.2	44-9	
11	D-8	-	2	-	6.7	28.3	9.0	48-59	
12	D-8	108	8	-	5.8	8.1	3.5	45-32	
13	D-8	107	8	-	9.6	13.5	12.2	45-21	
14	E-3	-	1	-	7.6	9.4	5.2	104-874	
15	E-6	-	2	-	2.7	(7.5)	6.9	48-62	
16	E-7	-	1	-	4.9	6.8	-	44-17	
17	E-7	179	8	-	11.2	9.8	4.4	45-31	
18	E-7	-	1	-	13.5	13.7	5.4	44-5	
19	E-7	-	4	-	(16.5)	21.5	-	47-44	
20	E-7	-	1	-	11.7	-	-	43-3	
21	E-7	-	1	-	23.0	-	-	43-1	
22	E-7	194	2	-	4.1	7.6	4.1	44-18	
23	E-7	-	1	-	-	(20.0)	-	43-2	
24	E-7	22	2	-	7.4	10.0	4.7	44-7	
25	E-7	-	4	-	11.4	16.7	2.0	46-42	
26	E-7	-	2	-	12.1	16.0	8.4	47-52	
27	E-7	-	1	-	6.5	13.0	-	44-12	
28	E-7	-	1	-	13.0	10.5	5.0	48-57	
29	E-7	187	3	-	13.9	12.1	5.3	47-30	
30	E-7	132	3	-	6.2	25.5	(12.6)	47-51	
31	E-7	178	2	-	5.3	18.1	11.9	48-56	
32	E-7	177	4	-	10.6	(14.8)	-	46-43	
33	E-7	-	1	-	9.2	21.7	-	44-8	
34	E-7	-	2	-	5.4	19.2	10.2	48-63	
35	E-7	148	1	-	11.1	14.2	(4.4)	43-4	
36	E-7	8	4	-	(9.8)	17.4	(4.1)	46-41	
37	E-7	191	4	-	7.1	8.9	(10.6)	47-45	
38	E-7	175	3	-	9.2	21.4	9.0	47-53	
39	E-7	189	4	-	20.7	19.3	2.7	46-33	
40	E-7	104	4	-	14.7	12.7	2.9	46-35	
41	E-7	4	4	-	18.7	20.7	-	46-34	
42	E-7	149	4	-	16.7	15.3	2.2	46-37	
43	E-7	105	4	-	13.2	17.9	-	46-40	
44	E-7	195	4	-	20.4	15.3	3.2	46-38	
45	E-7	-	2	-	3.6	8.1	3.8	48-67	
46	E-7	196	8	-	13.8	11.0	5.5	45-24	
47	E-7	190	8	-	8.8	3.8	4.1	54-213	
48	E-7	6	8	-	10.7	14.2	5.9	45-22	
49	E-7	200	3	-	6.5	21.8	10.9	47-54	
50	E-7	151	2	-	4.3	11.5	5.5	48-70	
51	E-7	188	4	-	15.6	13.3	2.1	46-36	
52	E-7	-	1	-	7.6	10.6	4.5	44-6	
53	E-7	-	8	-	-	-	-	45-20	
54	E-7	-	4	-	(7.1)	(14.0)	-	45-19	
55	E-7	195	8	-	-	29.0	-	45-19	
56	E-7	155	1	-	6.1	11.3	-	44-11	
57	E-8	133	1	-	13.5	13.2	6.0	44-13	
58	E-8	-	2	-	4.1	14.0	6.2	48-60	
59	E-8	117	8	-	10.3	12.0	5.5	45-23	
60	F-2	-	2	-	9.0	30.4	4.6	104-880	
61	F-7	122	1	-	13.7	13.0	6.3	44-15	
62	F-7	121	8	-	7.6	12.3	-	45-28	
63	F-7	-	2	-	6.2	13.0	9.0	48-58	
64	F-7	-	2	-	9.7	17.5	10.0	48-64	
65	F-7	158	2	-	5.9	17.2	4.5	48-65	
66	F-7	-	2	-	4.5	18.2	3.5	48-61	
67	F-7	119	8	-	9.5	10.5	4.2	45-25	
68	F-7	120	8	-	10.0	10.7	-	45-29	
69	F-7	157	8	-	8.1	8.7	3.8	45-30	
70	F-7	159	1	-	10.6	10.9	5.4	44-10	
71	F-7	-	2	-	9.5	35.0	15.0	55-221	
72	G-7	-	8	-	5.9	8.8	7.7	54-210	
73	G-7	236	8	-	5.7	4.0	2.3	54-211	
74	G-7	255	4	-	9.0	21.1	5.2	56-225	
75	G-7	235	2	-	6.7	16.8	6.7	55-220	
76	G-7	-	4	-	-	-	-	56-223	
77	G-7	216	1	-	11.6	15.8	5.2	54-199	
78	G-7	-	2	-	4.5	18.5	9.8	55-216	
79	G-7	-	2	-	3.7	5.7	3.1	48-66	
80	G-7	209	8	-	13.2	12.5	5.5	54-207	
81	G-8	281	4	-	6.3	9.4	7.0	56-227	
82	H-7	169	8	-	18.7	15.8	6.5	54-208	
83	H-7	171	3	-	5.3	19.3	14.5	56-226	
84	H-7	26	1	-	13.2	11.0	5.7	54-209	
85	H-7	240	4	-	8.5	15.5	3.2	56-222	
86	H-7	246	1	-	10.4	15.0	5.8	54-195	
87	H-7	-	2	-	5.8	24.8	9.3	55-215	
88	H-7	210	8	-	16.9	17.5	7.8	74-458	
89	H-7	251	4	-	12.4	17.4	5.5	56-224	
90	H-7	-	2	-	5.1	10.7	5.7	54-200	

表9 土器計測値(2)

No	地区	R	P	器種	部位	計測値 (cm)			挿図
						器高	最大幅	底径	
91	H-7	282	1	-	6.7	9.5	4.9	54-197	
92	H-7	215	1	-	10.3	17.7	6.0	54-198	
93	H-7	333	8	-	6.0	5.2	2.8	54-212	
94	H-7	217	1	-	13.0	20.4	5.0	54-196	
95	H-7	254	1	-	9.7	13.8	6.0	54-201	
96	H-7	-	2	-	5.8	21.6	(5.4)	55-217	
97	H-8	225	6	-	7.4	11.0	4.0	54-205	
98	H-8	224	1	-	8.8	9.4	3.9	54-204	
99	H-8	-	2	-	5.2	13.2	7.5	55-219	
100	H-8	-	8	-	12.2	14.3	-	54-206	
101	H-8	-	2	-	8.0	7.8	(3.7)	54-202	
102	H-8	229	1	-	13.5	13.0	5.2	54-203	
103	H-8	-	2	-	6.4	25.7	14.4	55-218	
104	I-3	-	2	-	8.8	22.4	6.7	104-876	
105	I-8	-	1	-	7.2	12.4	4.2	104-866	
106	I-8	-	2	-	8.2	19.8	7.4	87-507	
107	I-8	-	2	-	12.0	36.2	18.4	55-214	
108	K-5	-	4	-	6.1	7.2	1.8	104-875	
109	K-5	199	4	-	13.6	4.2	1.4	104-881	
110	K-5	116	4	-	8.2	2.3	1.0	104-877	
111	M-4	-	1	-	8.0	12.2	6.0	104-868	
112	Q-6	-	2	-	6.8	16.8	6.0	104-873	
113	S-6	374	2	-	6.6	20.3	8.9	85-600	
114	S-7	363	1	-	13.9	15.3	6.5	64-318	
115	T-6	-	1	-	10.0	13.4	6.6	104-867	
116	T-6	-	1	-	18.3	25.0	-	63-309	
117	T-6	-	2	-	4.3	13.9	8.9	85-603	
118	T-7	515	8	9	6.8	7.6	3.1	73-435	
119	T-7	-	3	-	5.3	12.5	4.6	76-485	
120	T-7	-	2	-	5.4	15.3	6.0	78-511	
121	U-5	279	2	-	5.8	15.9	6.5	76-478	
122	U-5	332	2	-	3.8	10.2	4.4	76-482	
123	U-5	295	8	-	-	10.5	-	73-427	
124	U-5	280	8	-	15.8	17.1	6.0	70-390	
125	U-5	-	8	-	9.2	12.0	2.5	72-416	
126	U-5	-	7	10	-	27.0	-	63-306	
127	U-5	-	2	9	6.3	16.6	8.2	85-599	
128	U-5	-	2	9	8.0	32.0	19.5	77-495	
129	U-5	-	6	10	2.9	10.4	6.2	84-584	
130	U-6	263	6	-	5.4	10.7	-	85-608	
131	U-6	269	7	-	4.1	6.1	-	84-592	
132	U-6	277	4	-	6.3	14.1	-	86-616	
133	U-6	270	2	-	5.1	8.8	5.0	85-601	
134	U-6	266	2	-	6.2	12.0	4.2	84-591	
135	U-6	-	8	-	15.3	15.0	6.0	73-4436	
136	U-6	-	1	-	13.1	16.2	6.4	68-373	
137	U-6	297	2	-	6.5	16.6	9.0	84-578	
138	U-6	449	1	8	1.5	11.0	5.5	66-350	
139	U-6	349	3	-	5.9	20.6	9.0	84-585	
140	U-6	-	1	9	12.7	12.7	3.8	64-322	
141	U-6	-	2	9	9.0	31.7	18.9	77-499	
142	U-6	533	3	-	4.9	19.6	10.5	78-510	
143	U-6	-	8	3	11.0	10.0	4.5	70-396	
144	U-6	-	2	2	2.8	14.5	3.7	77-493	
145	U-6	-	8	9	20.7	15.3	7.5	73-439	
146	U-6	-	8	2	(12.2)	13.1	-	71-400	
147	U-6	-	7	14.9	35.8	19.0	77-501		
148	U-6	-	8	2	9.0	14.4	6.0	70-392	
149	U-6	-	3	3	6.1	(26.9)	9.1	85-607	
150	U-6	-	1	-	9.8	11.2	-	63-516	
151	U-6	-	5	-	-	(18.5)	-	63-307	
152	U-6	-	2	-	14.8	39.8	9.6	76-486	
153	U-6	-	4	-	12.5	23.6	4.5	87-621	
154	U-7	401	8	8	-	-	-	70-387	
155	U-7	-	1	4	9.9	15.2	4.4	63-313	
156	U-7	473	2	8	10.2	12.1	6.5	76-473	
157	U-7	-	8	-	12.5	11.8	5.0	74-446	
158	U-7	505	4	-	9.0	11.0	1.6	86-614	
159	U-7	459	8	4	7.5	7.2	4.8	72-422	
160	U-7	-	4	9	5.7	10.6	4.4	87-618	
161	U-7	-	1	7	-	32.3	-	68-372	
162	V-3	101	7	-	-	-	-	70-386	
163	V-4	407	8	-	7.3	10.3	(3.1)	70-389	
164	V-4	538	4	10	6.1	6.2	3.0	86-611	
165	V-5	537	6	-	15.0	14.6	-	90-639	
166	V-5	-	2	-	7.9	13.1	4.8	79-523	
167	V-5	493	8	-	11.0	11.0	3.0	71-402	
168	V-5	429	8	-	12.3	13.2	4.6	74-443	
169	V-5	441	1	-	11.2	15.0	5.0	67-362	
170	V-5	452	1	-	9.5	13.5	5.3	64-325	
171	V-5	517	4	10	7.5	9.3	1.8	86-612	
172	V-5	426	8	-	6.1	5.6	2.8	73-442	
173	V-5	-	2	7	5.6	13.0	4.4	79-519	
174	V-5	-	4	10	-	22.0	-	87-619	
175	V-5	-	2	10	7.3	23.7	7.5	76-480	
176	V-5	-	2	6	4.4	10.4	4.1	79-516	
177	V-5	-	1	7	36.9	34.8	8.5	68-367	
178	V-5	185	8	-	-	-	-	61.7	73-425
179	V-5	-	2	7	17.4	-	4.4	84-582	
180	V-5	432	2	7	14.4	8.9	4.8	84-587	
181	V-5	348	8	-	5.2	3.0	4.2	73-432	
182	V-5	-	3	6	25.2	13.0	13.3	84-583	
183	V-5	450	1	8	17.3	6.3	8.7	64-331	
184	V-5	451	1	-	9.7	6.6	10.3	68-374	
185	V-5	497	1	-	15.4	5.3	11.5	64-332	
186	V-5	379	8	-	10.8	4.2	10.7	75-463	
187	V-5	465	1	6	12.1	5.2	12.6	65-335	
188	V-5	503	6	-	14.5	8.2	4.7	90-640	
189	V-5	428	8	6	4.4	1.5	10.4	73-433	
190	V-5	-	1	7	8.6	4.9	8.5	69-380	

表10 土器計測値(3)

No	地区	R	P	器種	部位	計測値 (cm)			挿図
						器高	最大幅	底径	
191	V-5	467	1	9	13.7	3.8	10.1	64-329	
192	V-5	409	1	-	12.8	5.8	7.5	65-344	
193	V-5	488	8	9	9.7	-	9.9	74-460	
194	V-5	460	8	-	11.4	2.5	11.2	73-426	
195	V-5	487	1	9	12.8	7.6	12.0	64-320	
196	V-5	382	4	-	20.1	5.7	11.5	89-630	
197	V-5	468	1	-	13.1	5.2	8.7	65-334	
198	V-5	-	2	9	22.8	5.8	11.3	84-595	
199	V-5	408	2	-	38.6	15.0	9.5	78-506	
200	V-5	-	3	9	28.8	9.5	-	78-512	
201	V-5	495	1	9	-	30.0	-	95-736	
202	V-5	-	2	7	-	47.5	-	83-577	
203	V-6	-	2	9	7.0	18.5	4.0	77-502	
204	V-6	522	3	4-5	4.2	9.8	4.7	83-562	
205	V-6	-	2	9	5.0	13.6	5.0	84-584	
206	V-6	525	8	4-5	10.0	11.7	-	73-429	
207	V-6	-	6	10	7.8	11.2	6.2	76-483	
208	V-6	524	4	4-5	6.2	10.0	4.8	89-635	
209	V-6	523	8	4-5	13.4	13.1	5.0	72-413	
210	V-6	526	8	4-5	18.1	18.0	6.0	71-408	
211	V-6	-	1	9	-	19.1	-	64-323	
212	V-6	-	2	6	5.7	17.1	4.8	89-632	
213	V-6	-	4	3	9.3	15.1	3.7	86-617	
214	V-6	518	1	9	5.6	12.8	4.5	77-492	
215	V-6	484	14	-5	8.6	10.3	5.4	79-521	
216	V-6	-	1	9	7.2	9.0	3.8	68-375	
217	V-6	396	8	6	16.7	12.3	6.0	73-440	
218	V-6	-	1	3	18.7	15.6	6.0	73-438	
219	V-6	468	1	4	10.3	16.4	4.5	64-319	
220	V-6	439	8	1	8.2	8.6	2.8	72-421	
221	V-6	-	2	4-5	7.5	12.0	6.0	83-563	
222	V-6	-	2	4-5	5.8	14.1	4.0	82-564	
223	V-6	-	3	4	3.0	11.5	3.5	81-538	
224	V-6	-	8	4	-	-	-	72-415	
225	V-6	463	4	-	10.2	17.9	6.6	88-627	
226	V-6	-	2	4-5	5.2	13.8	6.0	81-536	
227	V-6	-	2	-	6.8	16.0	6.4	84-580	
228	V-6	-	2	7	5.7	13.3	3.8	79-518	
229	V-6	-	1	9	7.5	20.0	8.3	85-602	
230	V-6	479	2	9	5.6	9.4	1.5	79-515	
231	V-6	466	1	9	14.5	12.8	7.0	69-377	
232	V-6	-	2	9	7.1	22.0	-	77-496	
233	V-6	-	2	7	5.8	19.2	10.4	77-500	
234	V-6	-	4	10	4.5	11.5	2.5	87-623	
235	V-6	-	8	10	(12.5)	14.0	4.4	70-395	
236	V-6	-	8	10	-	-	-	70-388	
237	V-6	456	2	-	9.0	29.0	16.9	78-505	
238	V-6	-	2	9	8.3	28.5	13.5	78-504	
239	V-6	-	2	-	11.0	-	-	79-520	
240	V-6	-	2	9	11.8	32.2	19.5	78-508	
241	V-6	-	4	9	12.9	22.1	2.0	88-526	
242	V-6	-	1	9	39.0	30.0	10.0	67-403	
243	V-6	-	8	10	10.4	13.3	6.4	71-403	
244	V-6	-	1	10	5.2	(12.0)	-	84-586	
245	V-6	-	4	8	10.1	14.4	4.3	89-637	
246	V-6	-	8	8	-	-	-	97-771	
247	V-6	531	1	8	12.4	12.2	5.1	66-353	
248	V-6	520	2	9	6.4	9.8	5.0	84-579	
249	V-6	-	8	9	10.0	10.3	5.6	74-450	
250	V-6	-	8	9	6.3	7.4	2.9	72-424	
251	V-6	-	1	9	-	17.6	-	69-383	
252	V-6	-	2	9					

## IV 出土した遺物

表11 土器計測値(4)

No	地区	R	P	No	器種	層位	計測値 (cm)			挿図
							器高	最大幅	底径	
291	V-7	420	1	4	10.9	12.9	5.3	66-354		
292	V-7	514	1	5	9.4	12.0	5.2	66-351		
293	V-7	509	8	5	11.3	12.9	1.0	72-414		
294	V-7	365	8	-	11.3	10.2	5.8	74-454		
295	V-7	388	8	-	10.7	11.6	4.9	75-462		
296	V-7	445	8	3	6.1	4.6	4.0			
297	V-7	478	8	1	9.5	8.3	4.8	72-418		
298	V-7	419	2	4	10.4	20.3	6.0	81-535		
299	V-7	-	2	3	4.0	10.0	5.3	82-548		
300	V-7	-	2	-	5.8	14.6	4.0	82-545		
301	V-7	-	2	5	5.7	19.0	5.0	79-522		
302	V-7	454	2	-	19.5	46.8	-	81-528		
303	V-7	-	1	3	10.7	14.8	5.2	63-314		
304	V-7	-	1	5	6.7	11.8	-	63-308		
305	V-7	-	8	3	-	5.7	-	73-428		
306	V-7	-	2	4-5	5.3	13.0	3.7	81-530		
307	V-7	377	8	-	4.5	9.0	2.0	70-391		
308	V-7	-	8	4	12.6	8.7	5.8	75-475		
309	V-7	-	2	6	6.2	21.0	-	78-513		
310	V-7	-	6	4	6.8	11.8	-	79-524		
311	V-7	441	4	4-5	10.5	19.0	4.5	90-638		
312	V-7	400	8	5	7.1	12.3	4.5	74-451		
313	V-7	-	1	6	10.0	13.1	4.5	66-358		
314	V-7	-	2	-	4.1	12.0	4.7	81-531		
315	V-7	-	8	4	9.9	9.6	-	71-410		
316	V-7	-	2	6	-	-	-	83-575		
317	V-7	-	1	6	10.2	9.6	5.0	63-315		
318	V-7	471	4	-	9.4	14.8	8.0	89-366		
319	V-7	-	2	-	6.0	16.0	5.0	83-573		
320	V-7	-	8	4-5	11.5	7.1	5.0	68-370		
321	V-7	-	1	4-5	25.0	45.5	10.5	80-527		
322	V-7	-	2	6	17.9	39.8	-	79-514		
323	V-7	304	4	-	7.7	12.2	5.0	86-615		
324	V-7	599	1	-	14.1	17.1	5.4	68-368		
325	V-7	376	2	-	6.2	13.7	9.5	84-588		
326	V-7	93	3	-	7.1	16.8	4.1	83-571		
327	V-7	-	1	7-8	12.2	14.7	5.5	63-312		
328	V-7	-	1	4	7.7	18.3	7.0	76-481		
329	V-9	47	1	-	13.4	15.0	6.7	65-338		
330	W-3	384	3	-	2.4	8.3	5.7	85-604		
331	W-3	-	8	-	14.4	20.7	5.5	71-397		
332	W-4	-	7	4	(8.4)	(19.0)	-	70-385		
333	W-4	-	2	-	6.6	18.4	5.5	76-489		
334	W-4	-	2	-	5.4	15.7	8.8	77-498		
335	W-4	431	1	-	10.7	12.7	5.6	63-311		
336	W-4	539	4	-	(8.8)	12.0	3.2	66-613		
337	W-4	432	4	-	(8.3)	11.0	1.7	86-610		
338	W-4	-	2	-	4.3	9.6	3.6	84-589		
339	W-4	461	4	-	26.5	20.0	4.2	86-609		
340	W-4	-	2	-	5.2	19.8	7.6	76-490		
341	W-4	-	3	-	3.9	16.5	3.5	76-491		
342	W-4	97	6	-	9.1	12.3	8.0	63-317		
343	W-4	-	1	-	25.1	24.0	-	63-310		
344	W-5	500	1	8	6.7	7.5	3.8	69-379		
345	W-5	499	8	1	10.6	11.1	5.6	74-461		
346	W-5	508	1	2	11.3	14.7	4.5	64-327		
347	W-5	-	8	2	(6.7)	7.7	5.0	74-459		
348	W-5	-	2	4-5	22.9	38.0	9.4	79-517		
349	W-5	424	1	-	14.3	24.4	-	81-539		
350	W-5	519	4	2	9.5	17.0	4.2	87-620		
351	W-5	535	8	9	11.3	10.6	-	72-417		
352	W-5	-	4	1	-	-	-	88-629		
353	W-5	-	1	7	40.6	37.7	10.1	69-381		
354	W-5	453	1	4	30.3	30.7	9.4	69-376		
355	W-5	-	1	1	7.0	12.0	4.4	66-360		
356	W-5	393	1	-	11.8	18.5	6.6	65-343		
357	W-5	383	1	-	12.3	12.5	5.7	69-363		
358	W-5	-	1	-	11.3	12.4	5.9	66-357		
359	W-5	391	2	-	12.2	20.0	8.2	83-561		
360	W-5	398	8	7	11.8	10.0	4.6	73-441		
361	W-5	49	1	-	12.3	14.7	5.2	65-333		
362	W-5	399	8	7	-	13.9	4.4	71-406		
363	W-5	402	8	5	8.7	9.1	6.2	72-423		
364	W-5	395	8	7	10.2	10.5	4.0	71-411		
365	W-5	470	1	5	10.7	12.1	5.4	65-339		
366	W-5	359	1	-	8.0	9.8	5.0	66-355		
367	W-5	512	1	2	14.0	12.0	5.3	67-365		
368	W-5	501	8	8	11.3	10.2	6.2	73-437		
369	W-5	502	8	8	8.0	5.7	4.5	74-456		
370	W-5	50	2	-	7.1	16.8	5.3	82-542		
371	W-5	-	1	6	9.9	13.4	4.8	64-324		
372	W-5	-	8	10	35.8	30.8	9.5	70-384		
373	W-5	-	8	6	-	-	-	74-455		
374	W-5	521	6	1	(9.9)	18.0	-	90-642		
375	W-6	-	1	-	12.8	9.2	5.5	66-349		
376	W-6	-	2	-	8.2	23.0	6.9	83-566		
377	W-6	-	2	-	-	21.0	-	82-559		
378	W-6	-	8	4	3.0	4.7	2.5	75-473		
379	W-6	369	8	4	7.1	6.0	4.5	75-469		
380	W-6	-	1	4	8.3	12.4	7.0	66-346		
381	W-6	-	1	3	7.9	12.0	3.7	83-565		
382	W-6	422	1	4	2.9	4.7	3.3	84-593		
383	W-6	-	2	4	4.2	13.3	3.8	89-653		
384	W-6	421	1	-	10.1	12.8	4.5	65-337		
385	W-6	392	2	4	7.4	15.8	6.9	85-596		
386	W-6	389	8	4-5	12.0	12.6	5.5	74-453		
387	W-6	390	1	4-5	10.9	12.3	5.5	65-341		
388	W-6	180	1	-	10.7	12.8	5.0	68-369		
389	W-6	397	8	2	7.6	9.5	4.1	73-430		
390	W-6	423	1	-	8.6	11.5	5.2	65-336		

## IV 出土した遺物

表12 土器計測値(5)

No	地区	R	P	No	器種	層位	計測値 (cm)			挿図
							器高	最大幅	底径	
391	W-6	404	2	-	6.5	18.0	8.0	83-568		
392	W-6	-	7	4-5	4.7	7.2	4.7	73-431		
393	W-6	474	8	4-5	7.8	7.0	5.5	74-444		
394	W-6	462	2	3	7.6	22.3	6.0	81-532		
395	W-6	435	8	4	11.3	11.5	3.8	71-407		
396	W-6	-	3	4	4.0	14.0	5.0	83-572		
397	W-6	-	3	3	5.3	12.6	7.4	84-590		
398	W-6	-	2	4	-	55.0	-	80-525		
399	W-6	-	1	4-5	34.6	33.7	9.7	67-364		
400	W-6	181	2	-	7.8	22.3	5.8	85-605		
401	W-6	-	2	9	6.4	14.5	5.1	85-597		
402	W-6	527	8	4-5	9.2	10.5	7.0	75-478		
403	W-6	-	1	9	11.6	15.4	5.8	65-340		
404	W-6	529	8	-	11.4	11.7	7.3	75-466		
405	W-6	530	8	4-5	12.3	12.2	5.8	74-447		
406	W-6	532	8	4-5	11.5	12.1	5.2	75-479		
407	W-6	528	8	4-5	(10.6)	11.8	5.7	75-470		
408	W-6	-	1	9	8.6	11.8	4.4	65-342		
409	W-6	-	8	4-5	9.5	9.2	3.9	75-474		
410	W-6	-	2	-	6.6	18.4	5.7	82-547		
411	W-6	-	1	-	8.4	16.7	5.9	83-569		
412	w-6	337	8	-	12.8	13.7	7.8	75-467		
413	W-6	-	8	-	12.3	29.8	-	71-398		
414	W-6	338	8	-	12.5	5.0	74-448			
415	W-6	-	8	-	42.6	37.4	9.5	72-412		
416	W-7	-	2	4	16.2	-	-	82-551		
417	W-7	328	2	-	7.6	14.8	6.6	82-556		
418	W-7	327	2	-	5.0	13.7	3.4	82-557		
419	W-7	305	2	-	8.4	19.7	8.4	82-558		
420	W-7	313	1	-	-	31.6	-	-		
421	W-7	-	1	-	13.2	13.8	6.4	66-359		
422	W-7	-	2	-	7.0	17.1	4.4	82-541		
423	W-7	368	8	-	8.0	8.4	3.6	-		
424	W-7	-	2	-	5.4	16.4	7.3	82-550		
425	W-7	-	8	1	15.0	13.7	4.5	75-47		
426	W-7	-	8	6	10.7	9.5	5.6	74-445		
427	W-7	-	1	3	10.9	13.6	5.7	66-345		
428	W-7	448	8	3	11.0	7.9	2.1	71-401		
429	W-7	366	8	-	10.3	10.1	(4.5)	75-464		
430	W-7	336	8	1	-	-	-	74-449		
431	W-7	366	8	-	10.3	10.1	4.5	-		
432	W-7	385	1	-	11.2	13.5	6.0	66-356		
433	W-7	458	8	3	9.7	11.0	3.8	72-420		
434	W-7	-	7	1	5.7	12.8	3.5	83-576		
435	W-7	-	8	3	19.2	22.6	6.2	71-405		
436	W-7	-	2	1	6.1	15.0	6.0	81-529		
437	W-7	-	1	3	7.6	11.1	4.3	64-328		
438	W-7	-	2	3	22.5	48.2	-	80-526		
439	W-7	-	2	1	11.4	24.1	8.5	81-533		
440	W-7	-	2	-	5.1	14.0	3.8	82-543		
441	X-3	438	8	-	8.8	12.0	3.7	70-393		
442	X-3	381	2	-	11.9	30.3	10.2	76-488		
443	X-3	358	4	-	14.2	13.1	-	86-622		
444	X-3	-	2	1	2.3	5.2	1.0	84-594		
445	X-4	370	2	-	3.0	11.9	5.0	75-468		
446	X-4	371	8	-	9.4	9.8	5.1	75-476		
447	X-4	-	2	-	5.5	12.8	7.4	85-596		
448	X-4	380	8	-	6.8	11.9	3.4	-		
449	X-4	-	1	-	16.0	15.1	7.0	69-382		
450	X-4	-	2	-	6.0	27.3				

表13 土器計測値(6)

No	地区	R	Pno	器種	層位	計測値 (cm)			挿図
						器高	最大幅	底径	
492	V-5	-	1	-	-	-	36.0	-	
493	V-5	409	1	-	10.1	12.8	5.8		
494	V-5	-	7	9	-	-	22.2	8.0	
495	V-5	-	1	-	12.7	19.7	11.2		
496	V-5	-	1	2	18.5	17.4	6.8		
497	V-5	405	1	-	14.5	17.5	7.0		
498	V-5	496	1	-	16.6	21.5	6.3		
498	V-5	496	1	-	16.6	21.5	6.3		
499	V-6	-	1	9	3.5	5.1	2.3		
500	V-6	-	1	9	18.0	20.5	6.1		
501	V-6	-	2	4	6.4	24.5	11.1		
502	V-6	-	8	9	-	-	23.3	-	
503	V-6	-	1	6	7.5	8.4	3.6		
504	V-6	-	3	3	6.0	29.3	8.8		
505	V-6	-	2	-	8.6	24.4	-		
506	V-6	-	2	4	3.6	10.7	4.0		
507	V-6	-	2	-	4.8	13.9	4.9		
508	V-7	415	2	3	7.9	19.3	5.7		
509	V-7	-	2	3	7.8	19.6	6.5		
510	V-7	-	1	1	8.8	11.8	5.0		
511	V-7	-	8	4~5	13.0	12.9	7.1		
512	V-7	-	2	3	8.6	28.0	3.0		
513	V-7	-	1	5	8.0	10.5	4.9		
514	V-7	-	1	5	13.5	15.5	7.0		
515	W-4	-	8	-	-	-	17.0	-	
516	W-5	-	2	4~5	12.9	31.2	8.0		
517	W-5	-	1	1	15.5	22.9	-		
518	W-5	-	1	-	21.5	19.1	6.0		
519	W-5	-	2	4~5	6.5	23.7	5.0		
520	W-5	-	1	-	(19.1)	(24.2)	10.1		
521	W-5	-	1	6	7.1	11.3	6.0		
522	W-5	425	1	4	10.3	10.9	6.3		
523	W-5	-	1	6	13.1	13.3	6.0		
524	W-5	-	1	4~5	13.8	13.5	6.5		
525	W-6	-	1	9	11.3	13.6	5.5		
526	W-6	-	2	1	6.1	10.2	4.9		
527	W-6	-	8	4	9.0	13.7	-		
528	W-6	-	2	4	10.5	26.0	4.0		
529	W-6	-	3	-	8.7	28.5	9.3		
530	W-7	-	7	1	-	-	4.0		
530	W-7	-	1	-	14.8	13.3	4.9		
531	X-3	357	1	-	29.5	27.7	9.2		
532	X-5	-	1	4	11.0	13.2	5.4		
533	X-5	-	1	1	15.1	20.3	7.0		
534	X-0	-	1	-	11.4	14.5	6.0		
535	X-0	-	1	-	12.4	15.1	5.3		

## 6 土製品

ここでは、土器・石器・石製品以外の土製の遺物を取り扱う(第106~113図・図版29~31)。今回の調査では、調査区の全体にわたって土製品の出土がみられた。特に出土が多かったのは、第1第2第3の各捨場であった。墓坑や土坑に関係しての出土はなかった。

出土した土製品は次のとおりである。なお遺物についてのナンバースは(第106~113図)の挿図中では通し番号とした。

## 土偶 (図・1~42)

土偶は調査区の全体から出土したが第1捨場、第2捨場、第3捨場の各捨場から出土したものが多く、ここには約50点の出土例のうちから42点のみ図示することができた。

全身が完全な状態で残されているものはなかった。残されている部分の関係を図示されている資料から説明すれば次のようになる。体幹が残されているのは1、6であり、四肢が取れた状態である。8も頭部と体幹の遺存と考えられる。体幹の下半分のみは遺存は30などである。34、35は胴部の遺存例であるが右半分と左半分であり、両者は接合する。36と37も接合はしないが同一個体のものであろう。一方、四肢のみは遺存も多い。2、3、7、24などは頭部のみであり、11~20は足部の例である。とくに19、20は透光器土偶の足の例であろう。22~24は手の例である。このうち21と22は透光器土偶の手の例であろう。27~29は土偶の肩の部分と思われる。

つぎに特徴的な点についていくつか述べたい。30はなにかのポーズをとっている土偶の一例であろうが、底部から穴が穿けられており盲穴となっている。また、32と33は20~30cmの距離を置いて出土したが接合した。32は33の頭部になじする髪飾りと考えられる。同一個体で離れて出土し髪飾りと頭部が接合するのは興味深い。39と40も接合する。40は39の左足である。これはW-4グリッドとU-5グリッドという約8m離れて出土し接合した。40、41は足が足首側と腰側で接合した例である。

時期的なものは、次のようにならう。1、2は縄文時代後期の土偶。5や30などもこの時期に近い部分があろう。出土点数は少ない。3、4、6は縄文時代晩期初頭の土偶であろう。この土偶の出土点数も少ない。4の三叉文は特徴的であろう。19、20、21、22、24などは縄文時代晩期初頭の土偶に後続する土偶であろう。いわゆる透光器土偶である。この土偶の出土点数も少ない。32~41は縄文時代晩期中葉の土偶であろう。この出土は最も多い。36、37などの例はこれに後続するものなのであろう。8については類例が少なく判然としない。

なお、この挿図のうち挿図107のナンバース24に表した透光器土偶の頭部は天童市在住の高橋良一氏の保管品である。同氏のご理解によりここに参考品として提示することができたものである。

## 土版 (図・43~50、70~75)

土版は11点を図示することができた。このうち、43はC字文をもつものである。44、45は同じくC字文から発達した弧線をもつものであり、中央に縦に区画線を描いている。47、

48、49、50はコの字状の沈線を密集して描いている。とくに50は連続した刺突文をもつものである。このほかに、70、71、72、75は土版であると思われるが、無文である。70は回りを成型しているが、71~75はただ平らに延ばしたような状態であり粗雑である。

#### 耳飾り (図・51~60、64、77)

縦長でくびれのあるものと、円形のドーナツ状のもの、円形で中央が貫通していないものがある。縦長でくびれのあるものは、53、54、56~60である。このうち59と60は第3捨場から一対の状態出土した。埋葬に係わるものである可能性もあったが、骨片などの遺存がなかったため詳細は不明である。61は楕円形土坑からの出土であり、副葬品と思われる。円形のドーナツ状のものは51、52、55である。円形で中央が貫通していないものは77である。

#### 土冠 (図・84)

##### 動物型土製品 (図・86~88)

86、88はアシカなどの動物を模した、土製品であると考えられる。類別としては、「村山市作野遺跡」出土のものがある。

##### ミニチュア土器 (図・90、94、95)

##### 腕輪 (図・79~83)

腕輪は79~83の5個体出土した。完形になるものはなかった。79には第V類の文様があり、縄文時代晩期初めのもと思われる。

##### 腕飾り (図・67、68)

腕飾りは2個体出土したが、68は香炉型土器の位置部を転用したものであると思われる。出土したのはこの2点のみである。

##### 男性性器型土製品 (図・91)

##### スプーン状土製品 (図・96、97)

スプーン状土製品は2点出土した。遺存状態は良くない。

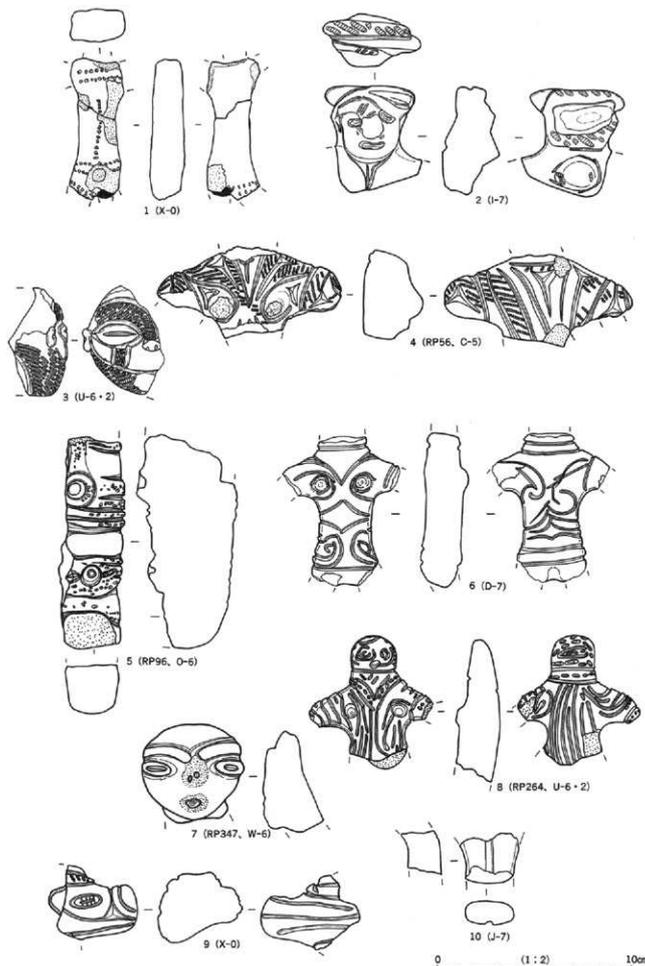
##### 土製円盤 (図・101~139)

土製円盤は39点を図示した。厚さは大体一定であるが、大ききには大・中・小の三種類がある。なかには中央に貫通孔があるもの (107) もある。

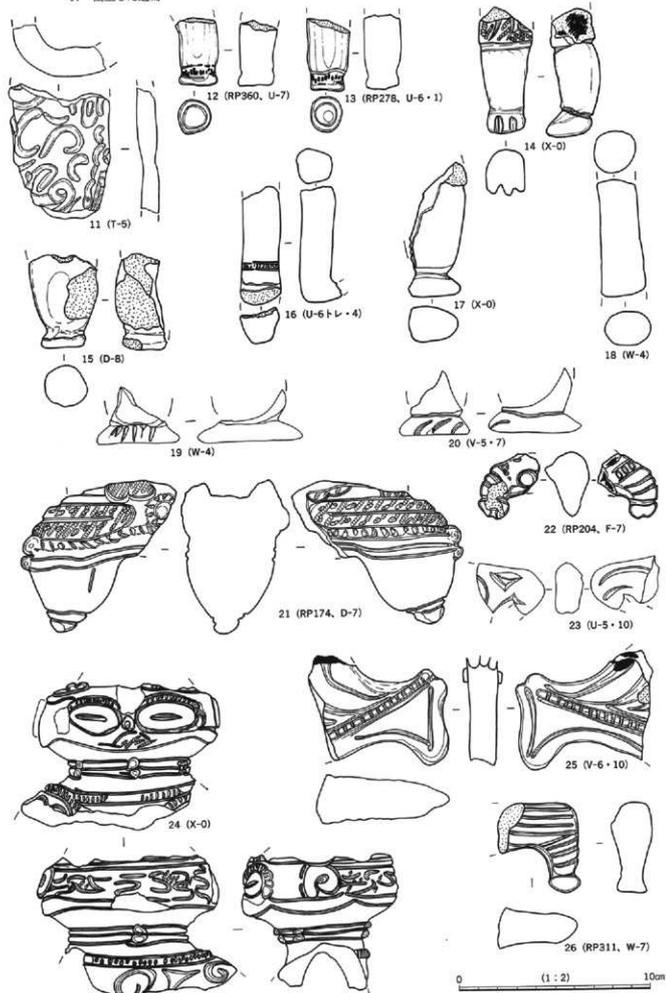
##### その他 (図・62、63、69、85、89、93、92、98~100)

これらのその他の類に分類した遺物は、土偶の一部であるとか全体の形状を推定するのが困難な資料、あるいは以上の分類に入らないものの中から、重要であると思われるものを図示した。

73、74は土製の球である。73には井桁状の圧痕が残っている。66は人面付土器の破片を転用した土製品である。破片の回りを丁寧に打ち欠いて人面の部分を楕円形に残している。69は第IX群土器の口縁部分にある装飾である。

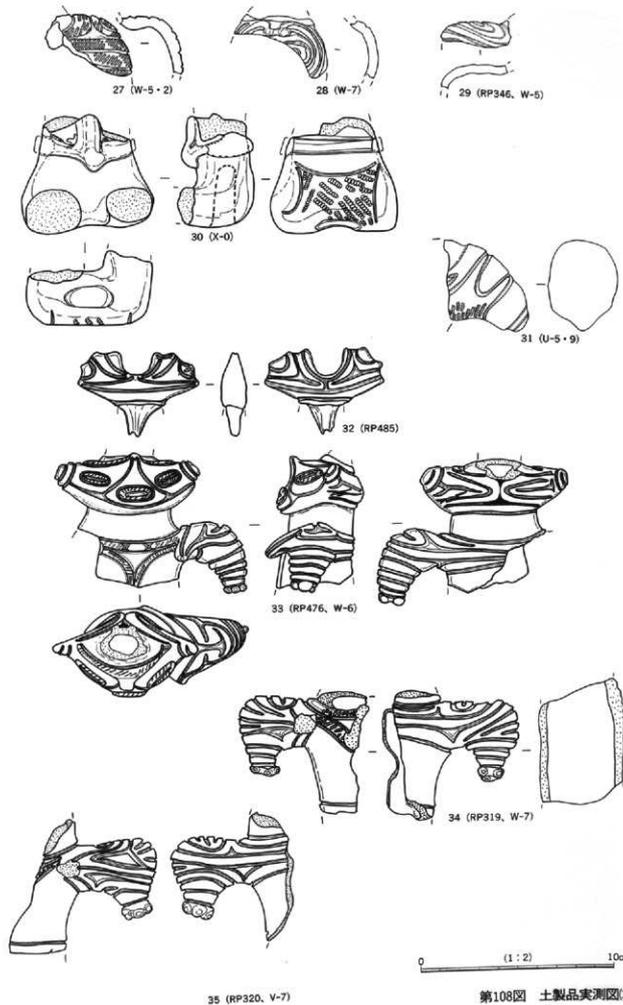


IV 出土した遺物

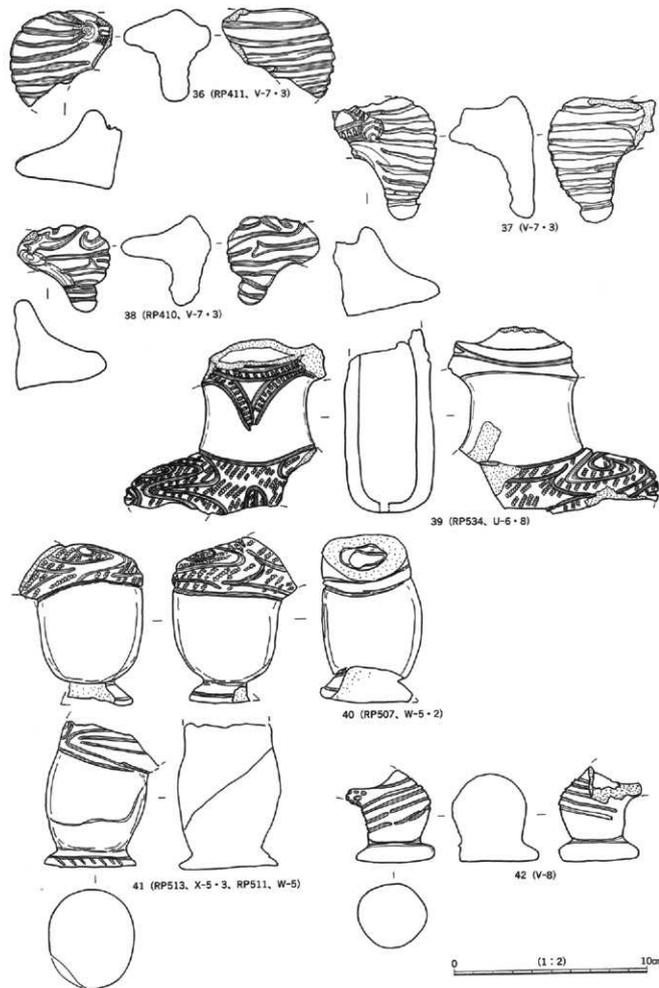


第107図 土製品実測図(2)

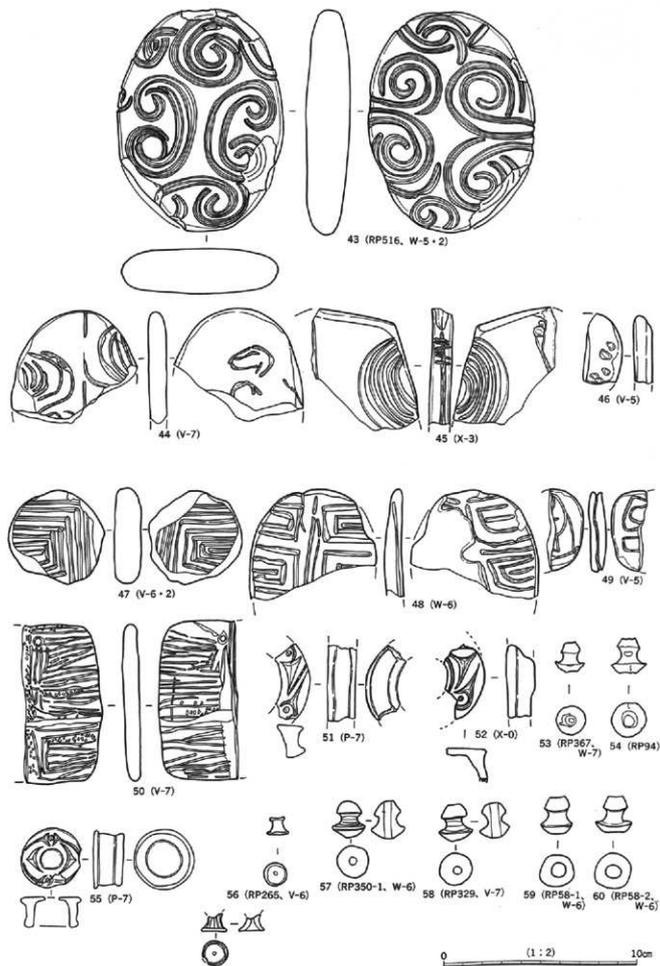
IV 出土した遺物



第108図 土製品実測図(3)



第109図 土製品実測図(4)



第110図 土製品実測図(5)

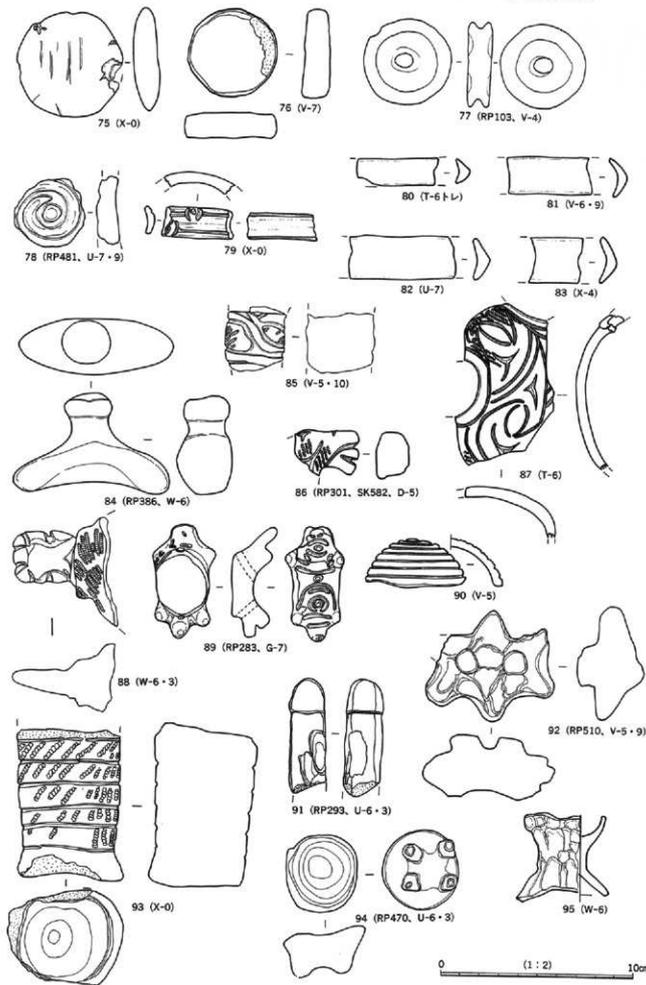
IV 出土した遺物



0 (1:2) 10cm

第111図 土製品実測図(6)

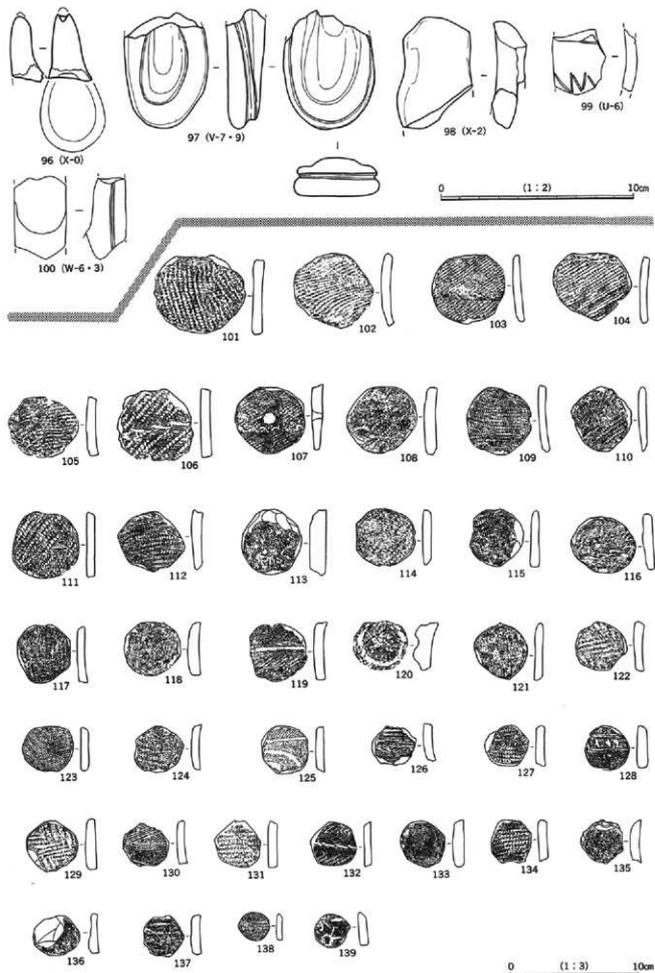
IV 出土した遺物



0 (1:2) 10cm

第112図 土製品実測図(7)

IV 出土した遺物



第113図 土製品実測図(8)

IV 出土した遺物

凡例

1. 宮の前遺跡で出土した土製品・石製品について本表を作製した。  
2. ( )内は残存数を表す。

表14 土製品・石製品計測値

No	種類	出土区	大きさ (cm)		重量 (g)	押印	備考	No	種類	出土区	大きさ (cm)		重量 (g)	押印	備考			
			長	幅							長	幅						
1	土	溝	0.97	2.7	1.8	33	106	丸	穴	X-0	4.3	3.1	4.4	33	111-63	R P447		
2	*	U-6	1.5	4.2	1.9	32	106-3	72	耳	W-7	1.6	1.0	0.4	2	110-53	R P367		
3	*	U-6	1.5	2.1	1.2	106-7	74	耳	W-5	0.8	1.3	0.3	1	110-61	S K324 R P265			
4	*	W-6	1.5	1.3	0.56	7	R Q347	74	*	U-6	4.9	1.9	0.3	1	110-56	R P265		
5	*	U-6	1.6	1.7	0.51	106-8	R P264	75	*	U-6	0.9	1.7	0.5	3	110-57	R P266		
6	*	O-6	1.0	4.4	2.9	135	106-5	R P96	76	*	W-6	1.9	1.7	0.5	3	110-57	R P266	
7	*	X-0	3.5	(3.8)	0.7	37	106-9	77	*	V-7	1.8	1.7	0.4	2	110-58	R P266		
8	*	J-7	1.2	3.0	1.6	12	106-10	78	*	X-0	1.9	1.8	0.3	2	110-54	R P264		
9	*	D-7	(1.9)	(6.0)	2.4	76	106-6	79	*	X-0	2.0	11.7	4	2	110-59-60	R P264		
10	*	X-0	(6.0)	(8.6)	1.3	89	106-4	R P566	80	D-7	7.1	2.0	0.6	1	111-61	S K198		
11	*	U-7	(3.4)	2.2	1.8	115	107-12	R P360	81	*	G-8	6.3	5.3	0.8	40	111-65	R P268	
12	*	T-5	6.4	(5.2)	1.5	63	107-11	82	人面土器	U-6	(8.5)	(10.0)	1.2	89	111-66	R P268		
13	*	V-4	(5.3)	1.7	1.4	13	-	83	*	T-6	(8.6)	(5.6)	0.5	37	112-87	-		
14	*	U-6.1	(3.3)	2.3	1.9	16	107-13	R P278	84	動物形土器	D-5	(2.5)	(3.7)	1.8	15	112-86	S K382 R P261	
15	*	X-0	(6.4)	2.8	2.5	45	107-14	85	*	W-6	(5.8)	(5.3)	0.4	38	112-88	-		
16	*	U-6	(8.0)	1.9	1.9	30	107-16	86	ヒメツブ	V-5	2.5	0.5	0.3	13	112-89	-		
17	*	X-4	(6.2)	(2.6)	1.0	47	107-17	87	*	G-7	6.0	3.0	2.4	27	112-89	R P283		
18	*	W-4	(6.0)	2.4	2.0	37	107-18	88	土	穴	X-0	(7.9)	(5.5)	0.9	219	112-93	-	
19	*	D-8	(5.1)	(2.2)	1.2	29	107-15	89	男性器土製品	U-6	(6.8)	1.1	2.2	20	112-91	R P283		
20	*	W-4	(2.8)	5.4	0.4	36	107-19	90	*	X-0	5.6	6.6	3.2	69	112-92	R P510		
21	*	V-5	(3.3)	4.7	0.4	21	107-20	91	ヒメツブ	X-0	4.1	3.9	0.5	20	112-94	R P499		
22	*	D-7	(7.0)	(7.0)	1.6	100	107-21	R P174	92	ヒメツブ	X-0	(3.7)	2.2	0.8	13	112-96	-	
23	*	U-5	(2.5)	(3.4)	1.4	13	107-23	93	ヒメツブ	V-7	(5.9)	4.7	1.4	46	113-97	-		
24	*	F-7	(2.2)	(3.7)	2.4	11	107-22	R P204	94	*	X-2	(5.8)	(3.5)	1.2	36	113-98	-	
25	*	W-7	4.7	(4.2)	2.0	21	107-26	R P311	95	*	W-6	(4.5)	4.8	0.5	37	112-95	-	
26	*	V-6	(5.3)	(7.2)	2.3	61	107-25	96	*	U-6	(3.4)	(2.2)	0.6	6	113-99	-		
27	*	W-5	(3.0)	(3.0)	0.2	21	108-27	97	*	W-4	(2.8)	2.9	0.2	25	113-100	-		
28	*	W-7	(3.0)	(4.9)	0.7	18	108-28	98	土	穴	V-5	(4.4)	(1.7)	0.8	7	110-49	-	
29	*	W-5	(1.8)	(3.8)	0.6	7	108-29	R P346	99	円盤状石製品	V-6	4.4	4.4	1.9	31	-	-	
30	*	3区	(6.1)	6.7	3.9	158	108-30	100	*	V-6	3.3	4.1	1.4	30	-	-		
31	*	U-5	(4.4)	(5.0)	(1.2)	51	108-31	101	*	V-6	3.9	4.2	1.4	21	113-120	-		
32	*	X-0	4.6	5.4	1.6	24	108-32	R P485	102	*	V-7	3.9	3.9	0.6	13	113-122	-	
33	*	X-0	(7.2)	(6.7)	1.1	113	108-33	R P476	103	*	W-7	3.9	3.6	0.9	8	113-124	-	
34	*	V-7	(7.1)	(6.0)	0.5	76	108-35	R P320	104	*	W-7	3.4	3.4	0.8	6.8	113-128	-	
35	*	X-0	(6.3)	(7.1)	0.8	80	108-34	R P319	105	*	V-6	3.4	3.2	0.7	6.8	113-135	-	
36	*	V-7	(5.1)	(6.2)	4.0	46	109-36	R P411	106	*	U-5	3.3	3.2	0.6	6.6	113-137	-	
37	*	V-7	(6.3)	(5.6)	4.2	80	109-37	107	*	W-5	3.0	3.5	0.6	0.7	113-126	-		
38	*	V-7	(4.8)	(6.3)	4.4	37	109-38	R P410	108	*	X-0	5.1	5.4	0.7	28	113-107	-	
39	*	X-0	(8.0)	(6.0)	0.6	151	109-40	R P534	109	*	X-0	2.2	5.8	0.9	8	113-103	-	
40	*	X-0	(7.7)	(6.2)	0.9	132	109-40	R P507	110	*	X-0	4.4	4.8	0.7	18	113-116	-	
41	*	X-0	(7.4)	(5.0)	0.5	102	109-41	R P511.513	111	*	H-7	4.1	4.2	0.7	13	113-121	-	
42	*	V-8	(4.7)	(4.2)	0.6	51	109-42	112	*	N-3.7	3.5	0.9	32	113-133	-			
43	土	穴	X-0	11.6	8.6	2.3	225	110-43	R P516	113	*	G-7	4.9	4.8	0.6	15	113-114	-
44	*	V-7	(5.3)	(4.3)	0.5	40	110-44	114	*	H-7	3.6	5.7	0.6	14	113-129	-		
45	*	X-0	(7.2)	(4.8)	1.3	53	110-45	115	*	X-0	8.8	4.0	0.8	14	113-129	-		
46	*	W-6	(5.0)	(5.0)	1.5	36	110-47	116	*	X-0	3.7	3.6	0.6	10	113-125	-		
47	*	V-5	(3.8)	(2.0)	1.1	9	110-46	117	*	I-6	3.5	3.6	0.6	6.8	113-132	-		
48	*	V-7	8.5	(4.1)	1.0	45	110-50	118	*	D-5	3.4	3.3	0.6	0.9	113-130	-		
49	*	W-6	(5.3)	(6.7)	1.3	38	110-48	119	*	F-7	3.2	3.1	0.7	0.5	113-134	-		
50	*	V-5	9.3	(5.9)	2.9	140	111-70	120	*	F-8	3.6	3.2	0.8	0.5	113-136	-		
51	*	V-6	(6.3)	(6.3)	1.5	54	111-71	121	*	F-7	3.2	3.5	0.7	0.5	113-137	-		
52	*	W-7	7.5	6.7	2.5	114	111-72	122	*	X-0	2.6	2.9	0.6	0.5	113-139	-		
53	*	X-0	5.5	5.5	1.4	41	111-75	123	*	V-6	5.3	5.2	0.7	24	113-111	-		
54	*	V-7	4.7	4.7	1.3	35	111-76	124	*	X-5	5.1	5.6	0.9	30	113-108	-		
55	土	玉	W-7	2.2	2.2	9	111-78	125	*	V-7	4.4	5.3	0.9	20	113-112	-		
56	*	V-5	3.2	3.2	1.2	25	111-74	126	*	W-6	6.0	5.6	0.6	20	113-109	-		
57	耳	耳	V-4	4.6	4.6	1.0	13	112-77	R P103	127	*	V-7	3.7	3.5	0.8	12	113-131	-
58	土	器	U-7	(3.4)	(3.5)	1.0	13	112-78	R P481	128	*	W-7	3.6	3.8	0.6	12	113-123	-
59	陶	輪	X-0	(3.3)	1.5	0.6	6	112-79	129	*	T-7	5.0	4.3	0.6	13	113-119	-	
60	*	T-6	(4.0)	1.0	0.7	6	112-80	130	*	T-6	4.5	4.0	0.6	13	113-115	-		
61	*	V-5.9	2.0	2.0	0.4	7	112-81	131	*	V-5	2.3	2.4	0.2	22	113-118	-		
62	*	U-7	2.2	(3.3)	(0.9)	14	112-82	132	*	U-7	5.6	6.3	0.7	31	113-102	-		
63	*	X-4	(2.4)	0.6	0.6	-	112-83	133	*	W-7	7.5	6.0	0.7	38	113-101	-		
64	陶	輪	X-0	5.4	1.7	1.5	14	111-67	R P483	134	*	V-7	6.0	6.5	0.9	36	113-106	-
65	*	G-7	3.2	(5.4)	9	14	111-68	135	*	X-5	5.1	4.7	0.7	22	113-104	-		
66	土	器	W-6	4.7	8.2	2.9	73	112-84	R P386	136	*	V-7	5.5	5.5	0.4	22	113-105	-
67	耳	耳	V-4	3.2	3.2	3.2	35	112-85	137	*	U-7	5.2	4.7	1.3	33	113-113	-	
68	耳	耳	F-7	(4.0)	1.6	0.8	11	110-51	138	*	U-5	4.6	4.3	0.9	17	-	-	
69	耳	耳	X-0	(3.8)	1.8	0.6	8	110-52	139	*	V-7	4.7	4.3	0.6	13	113-117	-	
70	*	F-7	3.0	2.9	0.7	11	110-55	140	*	W-7	4.5	4.4	0.8	19	113-119	-		

## IV 出土した遺物

凡例

1. 出土の表示に層位の明瞭なるものは層位を付記した。V-6・4はV-6グリッドの4層目出土であることを意味している。  
2. 出土石のうち主要なものについて、計測値を掲載した。

表15 石器計測値(1)

№	種別	出土区	計測値 (cm)	重量 (g)	採種	備考
№	種別	出土区	計測値 (cm)	重量 (g)	採種	備考
1	石 槌	C-6	11.1 2.1 0.9 2.1	114-2	RQ 6	
2	*	E-7	16.3 2.0 0.9 3.1	114-1		
3	石 鏟	V-6・4	3.6 1.7 0.6 3			
4	*	V-7	4.3 1.7 0.7 5		RQ 130	
5	*	V-5	4.0 2.3 1.3 11			
6	*	V-6	4.4 2.0 1.0 6			
7	*	V-6	4.3 1.4 0.9 3		RQ 123	
8	*	N-7	3.5 1.6 0.6 3			
9	*	V-7・5	2.6 1.5 0.4 1			
10	*	T-9	3.3 1.1 0.5 1			
11	*	V-5・8	2.8 1.5 0.7 3		RQ 178	
12	*	W-7・3	2.8 1.1 0.5 2		RQ 139	
13	*	V-6	2.9 1.0 0.7 2			
14	*	W-6	2.7 1.5 0.8 2		RQ 79	
15	*	X-6	3.9 1.2 0.6 2		RQ 88	
16	*	V-5	2.4 1.2 0.4 2			
17	W-6・9	3.8 1.1 0.4 2			RQ 179	
18	M-5	2.5 1.1 0.3 1			S K 261	
19	W-6・2	2.1 1.0 0.5 1			RQ 158	
20	X-0	2.9 1.0 0.4 1			RQ 83	
21	X-0	2.5 1.0 0.5 1				
22	V-5・9	2.5 1.4 0.6 1			RQ 177	
23	X-0	2.9 1.1 0.5 1				
24	X-0	2.5 1.0 0.5 1				
25	X-0	2.2 1.3 0.4 1				
26	V-8	4.9 1.3 0.9 6			RQ 174	
27	V-6・9	4.1 1.8 1.3 4			RQ 152	
28	V-7・5	5.1 1.4 1.3 5				
29	X-0	4.5 1.0 0.7 3			S K 288	
30	W-6・2	4.0 1.3 0.7 4			RQ 159	
31	X-6	6.2 3.8 1.4 0.5 3			RQ 187	
32	X-0	3.5 0.8 0.7 1				
33	V-6	4.3 1.8 0.6 4				
34	W-6・9	6.9 0.7 0.8 5				
35	D-6	4.7 1.9 0.7 7			RQ 162	
36	H-7	4.7 1.5 0.5 4			RQ 49	
37	X-0	3.6 1.1 0.5 2				
38	X-0	4.0 1.4 0.9 5			RQ 196	
39	X-3	2.6 1.2 0.5 1				
40	X-0	3.3 1.1 0.6 3				
41	M-4	3.0 1.2 0.6 2			RQ 28	
42	S-5	4.0 1.3 0.5 2				
43	W-6・2	2.7 1.0 0.6 2			RQ 157	
44	X-0	3.8 1.0 0.6 3			RQ 83	
45	V-7	2.4 1.1 0.5 1				
46	T-6	3.6 0.9 0.6 2				
47	H-7	3.9 1.6 0.5 3			RQ 96	
48	V-6・9	2.3 1.6 0.6 2			RQ 173	
49	W-5	3.3 1.0 0.4 2				
50	H-7	2.5 1.4 0.5 2			RQ 155	
51	H-7	3.9 1.2 0.4 1			RQ 54	
52	V-5	3.7 1.4 0.7 3			RQ 168	
53	D-6	4.5 1.1 0.8 4				
54	X-3	6.3 1.3 1.0 9				
55	V-6	4.6 1.1 0.6 3				
56	G-3	4.9 1.6 1.1 7				
57	X-0	4.3 1.2 0.9 4				

表16 石器計測値(2)

№	種別	出土区	計測値 (cm)	重量 (g)	採種	備考
№	種別	出土区	計測値 (cm)	重量 (g)	採種	備考
115	石 鏟	V-7	3.0 1.7 0.7 1			
116	*	I-2	3.6 1.9 0.6 3			
117	*	U-6	4.7 1.3 0.5 2			
118	*	X-0	5.6 2.2 0.6 6	114-27		
119	*	V-6	2.7 1.0 0.6 1			
120	*	W-6	2.9 0.9 0.4 1			
121	*	C-8	2.6 1.0 0.6 1			
122	*	W-6	3.9 1.2 0.7 1			
123	*	D-5	2.6 1.3 0.6 1			
124	*	H-7	4.5 1.5 0.5 1			
125	*	H-7	3.4 1.3 0.5 1			
126	*	M-3	3.0 1.3 0.6 1			
127	*	W-6	2.7 1.0 0.5 1			
128	*	V-7	3.4 1.3 0.4 1			
129	*	V-6	3.4 1.0 0.7 1			
130	X-0	4.2 1.2 0.5 1				
131	C-8	3.8 1.4 0.6 1				
132	Q-6	2.6 1.4 0.6 1				
133	X-0	3.2 1.3 0.6 1				
134	W-6・4・3	4.7 2.3 0.9 8			RQ 170	
135	I-8	3.6 1.7 0.8 3				
136	X-0	4.1 1.8 0.7 3				
137	E-7	4.6 1.0 0.8 8				
138	X-0	4.1 1.9 0.8 6				
139	X-0	4.0 1.9 0.9 5				
140	V-9	4.0 1.4 0.7 2				
141	W-5	3.3 0.9 0.4 2			RQ 89	
142	D-9	2.2 1.1 0.5 1				
143	W-5	2.1 1.1 0.4 1			RQ 87	
144	Y-5	2.3 1.1 0.5 1				
145	X-9	4.8 2.9 1.2 34				
146	V-7・4	4.4 1.5 0.9 7			RQ 142	
147	V-6・7	3.4 1.7 0.7 3			RQ 156	
148	石 鏟	X-0	4.8 1.2 0.9 4			
149	L-2	3.8 0.9 0.6 2			S K 548	
150	L-5	4.0 1.0 0.8 3			RQ 27	
151	G-3	2.7 1.0 0.5 1				
152	X-0	2.5 2.1 0.3 1				
153	G-3	3.8 1.3 0.9 4				
154	V-7	7.0 2.5 0.9 11	114-37		RQ 88	
155	V-5	4.9 3.4 1.1 12	114-38			
156	V-6・4・3	5.7 2.4 0.7 6	114-36			
157	V-6	5.9 2.4 1.2 15	114-40			
158	D-7	6.9 2.2 1.1 12	114-35			
159	G-7	4.1 5.3 2.0 26	114-41			
160	E-7・2	4.6 1.1 0.9 5	114-33			
161	F-7	4.2 1.4 1.1 7	114-32			
162	D-8	4.9 1.3 1.1 7	114-20			
163	X-0	4.8 3.5 0.8 23				
164	V-7	3.7 3.1 0.7 10				
165	E-3	2.5 2.3 0.6 2				
166	D-7	4.4 1.4 1.1 6				
167	V-7	2.1 0.7 0.5 1				
168	D-7	4.6 4.4 1.2 18				
169	X-0	2.8 3.0 0.8 5				
170	E-8	5.7 2.6 1.4 18				
171	Y-2	6.8 2.3 1.5 13				
172	H-7	4.1 2.0 0.9 7				
173	U-6	4.3 2.2 0.6 4				
174	X-0	5.5 4.5 0.8 17				
175	石 鏟	V-6	4.1 1.1 0.6 2	114-39	RQ 129	
176	*	V-7	4.0 1.8 0.9 4			
177	*	U-6	4.9 1.3 1.2 6			
178	*	H-7	4.1 2.0 0.8 4			
179	*	W-3	5.0 2.0 0.5 5			
180	*	D-7	3.0 1.6 0.5 1			
181	*	X-0	4.8 1.6 0.9 6			
182	*	X-4	2.6 1.2 0.5 1			
183	*	H-3	2.4 1.2 0.5 1			
184	*	D-5	2.5 1.8 0.6 1			
185	*	X-0	2.5 1.4 0.5 1			
186	石 鏟	X-0	4.9 4.1 0.6 13	117-78	S K 357	
187	*	D-5	4.9 5.1 0.9 20	115-51	RQ 166	
188	*	E-7	5.3 7.0 1.1 25			
189	E-3	4.4 6.6 1.1 24	115-50			
190	U-6	5.1 8.6 1.1 35	116-63			
191	V-6・7	4.1 5.8 0.9 17	116-58		RQ 153	
192	V-7・4	5.2 6.4 0.8 23	116-62			
193	U-6・3	5.4 6.7 1.4 35	116-61			
194	V-5・9	5.9 6.4 1.0 36	115-46			
195	V-6・10	4.6 5.1 0.6 14	116-57			
196	X-0	3.8 7.3 0.8 18	115-47			
197	V-6・5	5.4 7.0 1.1 30	116-68		RQ 138	
198	X-5・2	5.6 5.9 1.2 30	117-74			
199	W-7	7.1 7.9 1.5 52	116-59			
200	V-7	5.8 6.1 1.2 31	116-60			
201	V-6	9.3 4.5 1.2 51	117-72		RQ 84	
202	V-6	9.6 3.1 0.9 27	117-73		RQ 172	
203	V-5	9.1 5.2 1.0 38	117-71		RQ 166	
204	E-7	5.4 6.9 1.0 38				
205	T-7	4.5 5.8 1.3 29				
206	E-7	3.7 5.2 1.0 16				
207	V-7	4.0 3.7 0.7 10				
208	R-7	4.1 5.7 0.7 16				
209	W-5	5.1 7.0 1.3 38				
210	T-5	5.9 6.6 0.8 31				
211	V-6・5	11.6 4.2 2.3 93				
212	X-4	10.1 4.8 1.7 61				
213	X-0	8.0 4.5 1.6 60				
214	W-7	7.2 4.5 1.2 43				
215	V-6・10	7.9 6.3 1.7 76				
216	U-7	8.6 5.8 1.3 80				
217	K-2	7.7 4.3 0.9 33	117-79			
218	U-6	8.6 4.9 0.7 26				
219	V-6・9	6.3 6.8 1.2 43				
220	U-6・3	5.7 8.1 1.7 46	116-64			
221	U-6・2	5.2 8.9 0.9 33	115-56			
222	Y-3	5.6 6.2 1.5 59	117-75			
223	V-7	6.2 4.5 1.1 28			RQ 77	
224	U-6	6.7 8.1 1.3 58				
225	X-0	4.6 5.8 1.1 27				
226	V-7・6	4.3 7.9 0.7 24				
227	X-0	5.4 8.0 1.5 56				
228	V-7	5.9 5.7 1.2 29			RQ 115	
229	W-5	5.7 6.3 1.1 35			RQ 125	
230	V-6・5	3.9 7.0 1.8 24				
231	V-6	4.5 7.1 1.0 28	116-70			
232	X-6・4	4.2 6.1 1.6 40				
233	U-6	3.4 6.4 0.9 19				
234	G-3	5.7 5.2 0.9 21				

## 7 石器

出土した石器は大小数千点を数えるが、概して土器に比べれば石器の出土量は少ない。この中で図示できるのは、紙数の関係で挿図114～123とごく一部に限られる。石器の文中のナンバーは挿図と一致する。

出土した石器の種類は次のようになる。種類毎にその特徴について簡単に述べたい。なおアスファルトが付着している石器がある。これについてはアスファルト付着部分にスタリーントーンで表示した。

**石槍** (図・1、2) 石槍は2点のみ出土した。1、2とも縄文時代後期後半～晩期前半の遺物ともなった。いずれも頁岩製である。

**石鏃** (図・3～31) 石鏃は茎のあるもの、茎のないものという大きな分類が可能である。19、あるいは27のように縄文時代晩期に特徴的なものと、26のように縄文時代早期に所属するであろう石鏃とがある。ほかの大多数のものは、縄文時代晩期に所属するのであろう。6、27には着柄のためと思われる、アスファルトの付着が認められる。材質は、頁岩、鉄石英、黒曜石、メノウなど多形であり、頁岩製が多い。

**石鏃** (図・32～41) 棒状・丁字型の形態のものがある。いずれも頁岩製である。

**石匙** (図・43～80) 石匙は縦型 (43～70) のものと、横型 (71～80) の2種類がある。大きさは5～6cmのものが多い。いずれも頁岩製である。59～63、72～74の石匙は着柄のためともわれる、アスファルトの付着が認められる。

**石筥** (図・82～99) 筥状の形態をし5～6cmの大きさのものである。パチ型や短冊型などの形式がある。材質は頁岩製が多いが、石英製もある。

**尖頭石器** (図・100～107) 頭部が尖っているものである。頁岩製である。

**石鏃** (図・108～123) 石鏃は石筥よりも大きく、掘り具として使用されたものであろうものである。パチ型 (108) や短冊型 (116) の形式がある。材質は頁岩製である。108、113などは先端に破損部分がある。また、116、123では細かい、縦の線が無数に観察され、土を掘る際にできる使用痕と考えられる。

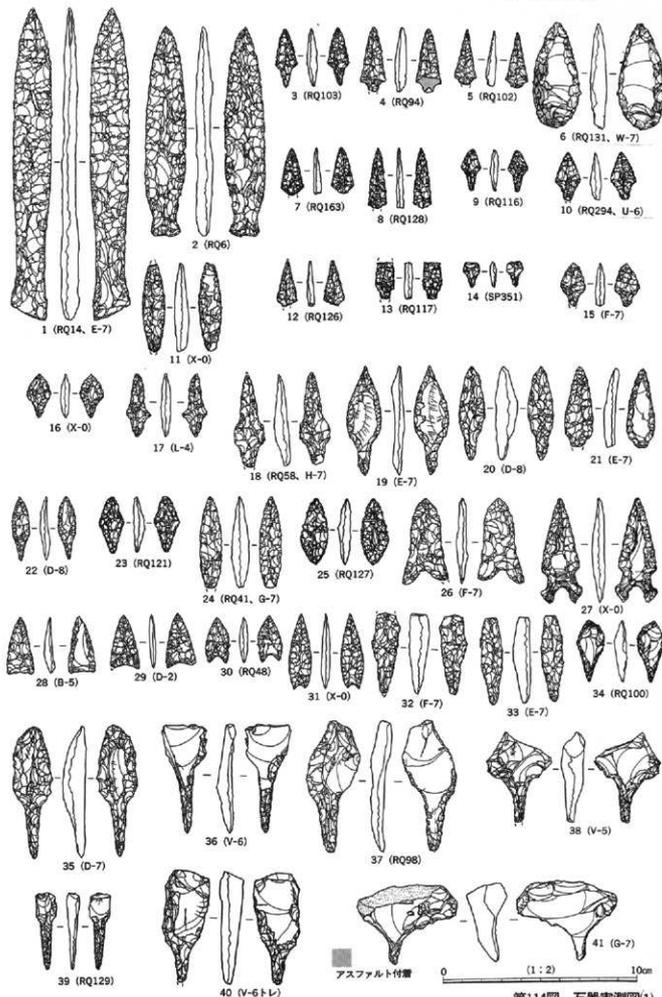
**局部磨製石斧** (図・124) 縄文時代早期前期に所属する遺物と考えられる。

**小型磨製石斧** (図・125～128) 小型の石斧であり粘板岩、蛇紋岩製のものがある。125は蛇紋岩製であり墓坑に副葬されたものと考えられる。

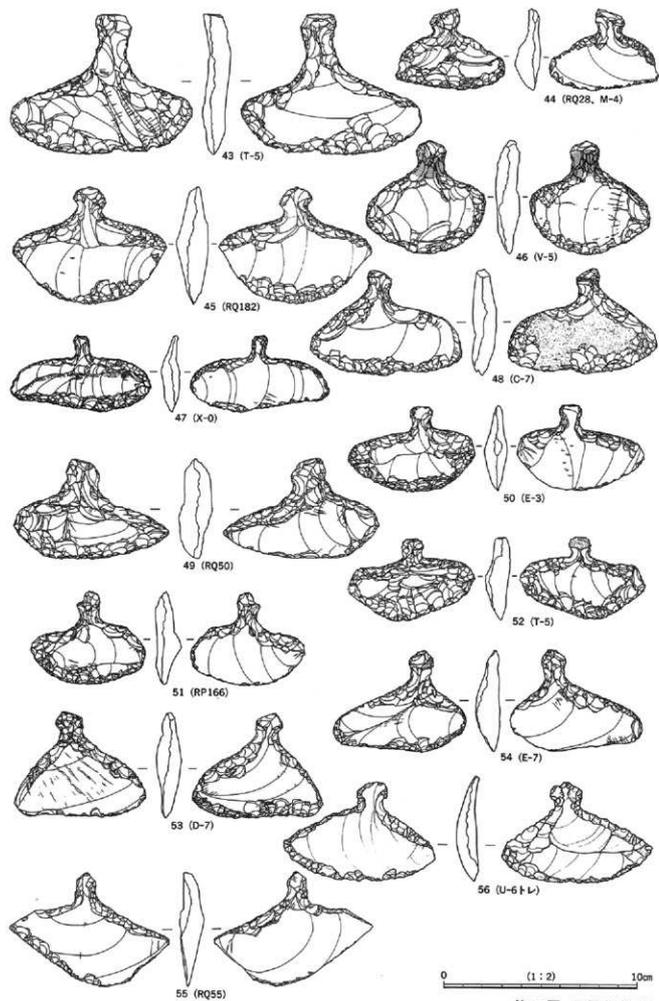
**磨製石斧** (図・129、130) 全て安山岩製品であり完形品は少ない。129は副葬品である。

**円盤状石器** (図・131～168) は大 (7～8cm) 中 (5～6cm) 小 (4～5cm) の3種類があり、材質は砂岩、安山岩、頁岩である。周囲を打ち欠くことにより形態を整え、平坦面のどちらか一面を磨いている。

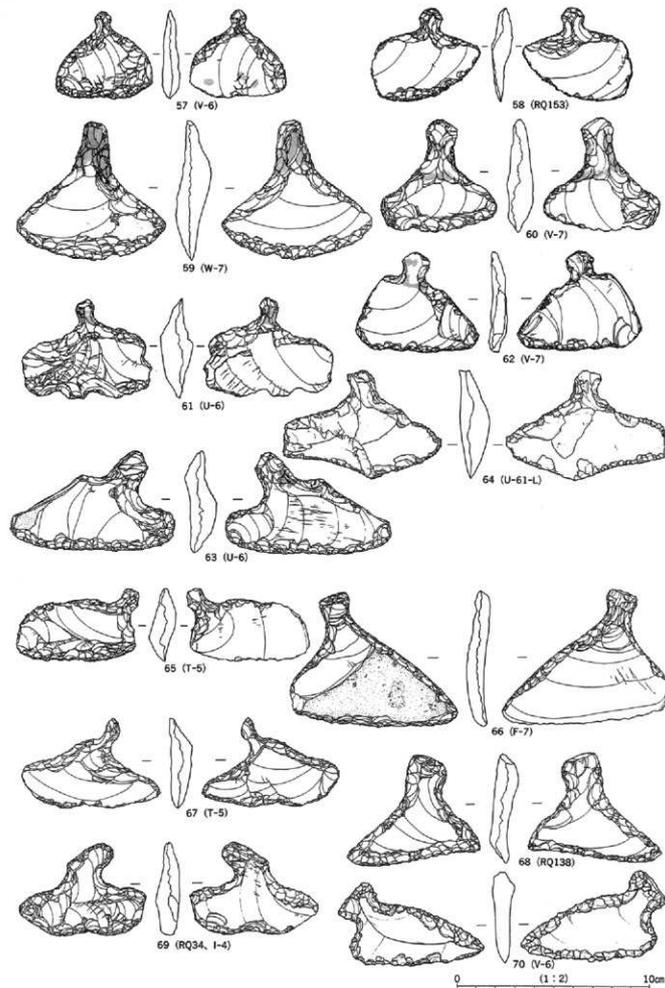
その他の石器として、凹石 (図・169～178)、石鏃 (図・179)、磨石 (図・180～183)、石皿 (図・184)、石槌 (図・81) がある。



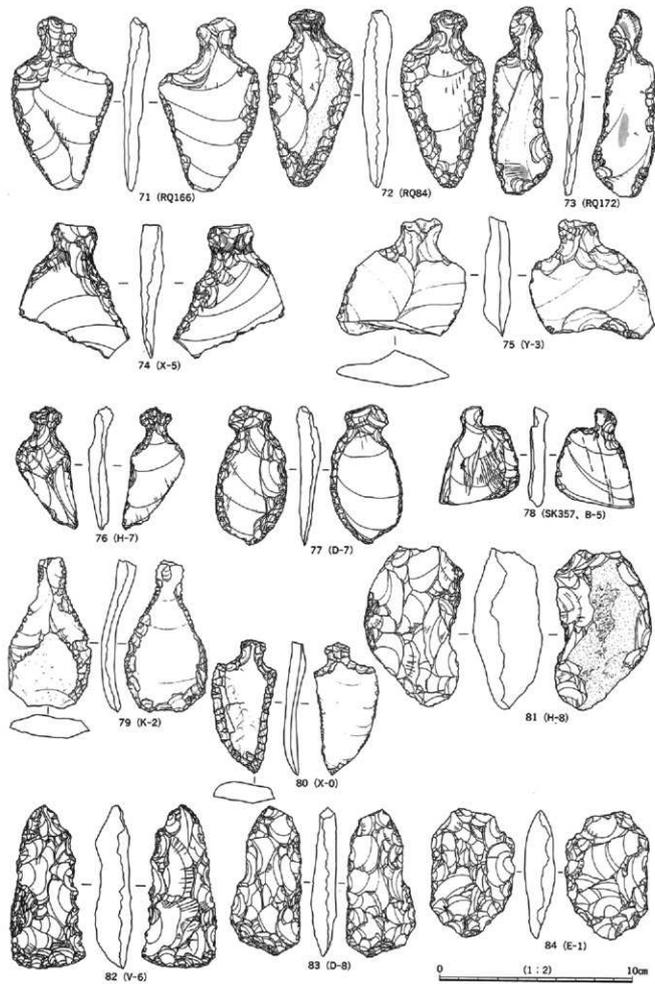
第114図 石器実測図(1)



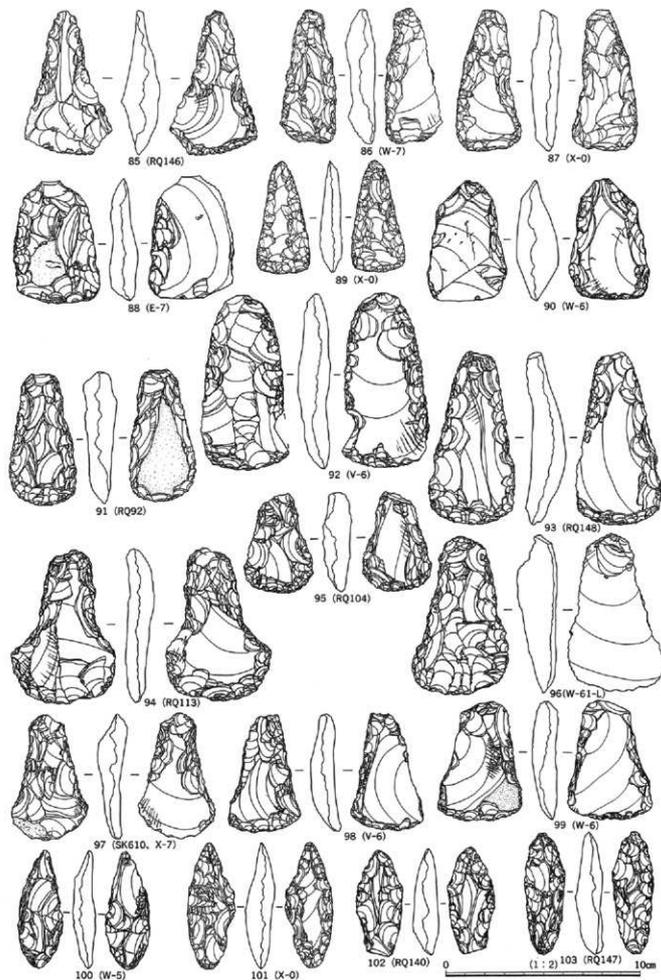
第115図 石器実測図(2)



第116図 石器実測図(3)

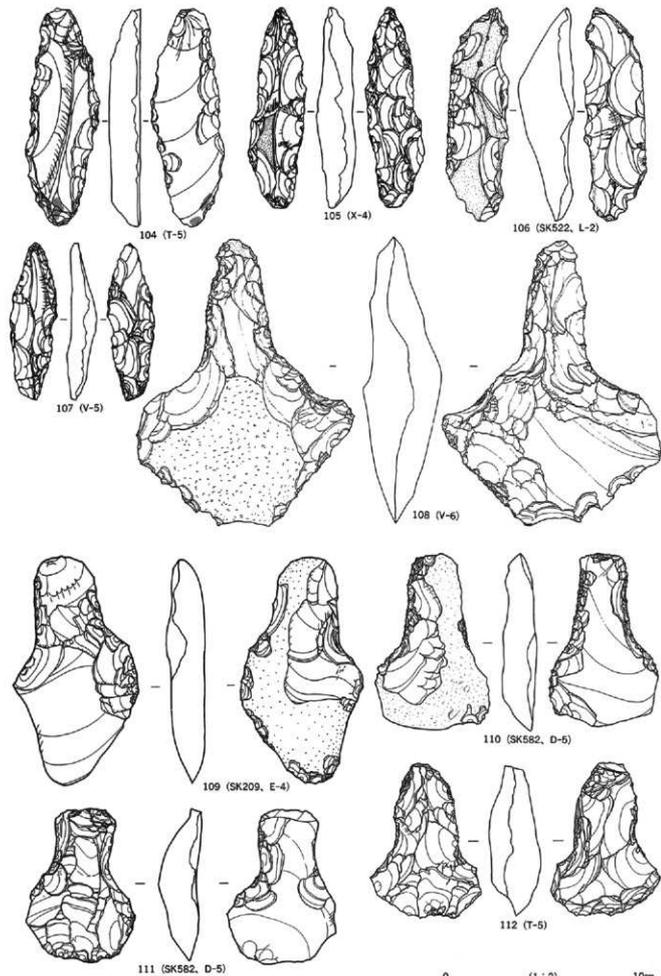


第117図 石器実測図(4)



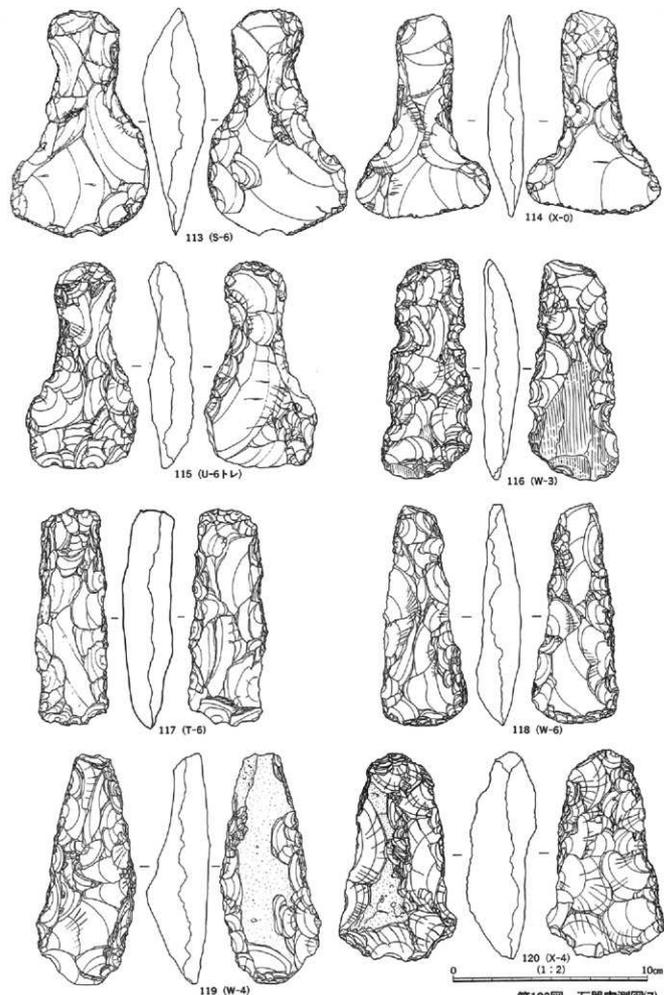
第118図 石器実測図(5)

IV 出土した遺物

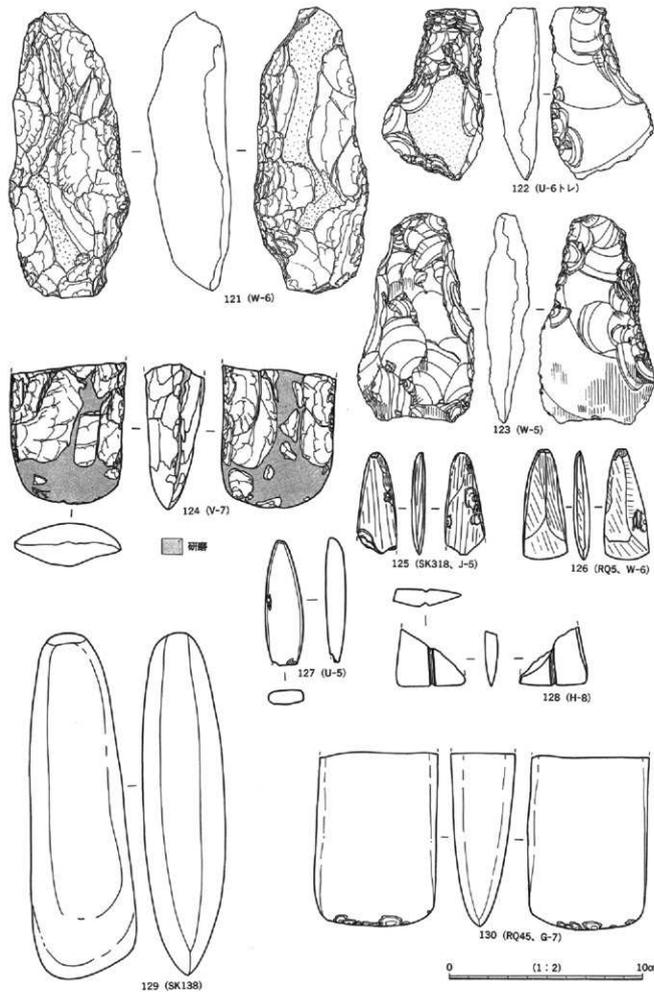


第119図 石器実測図(6)

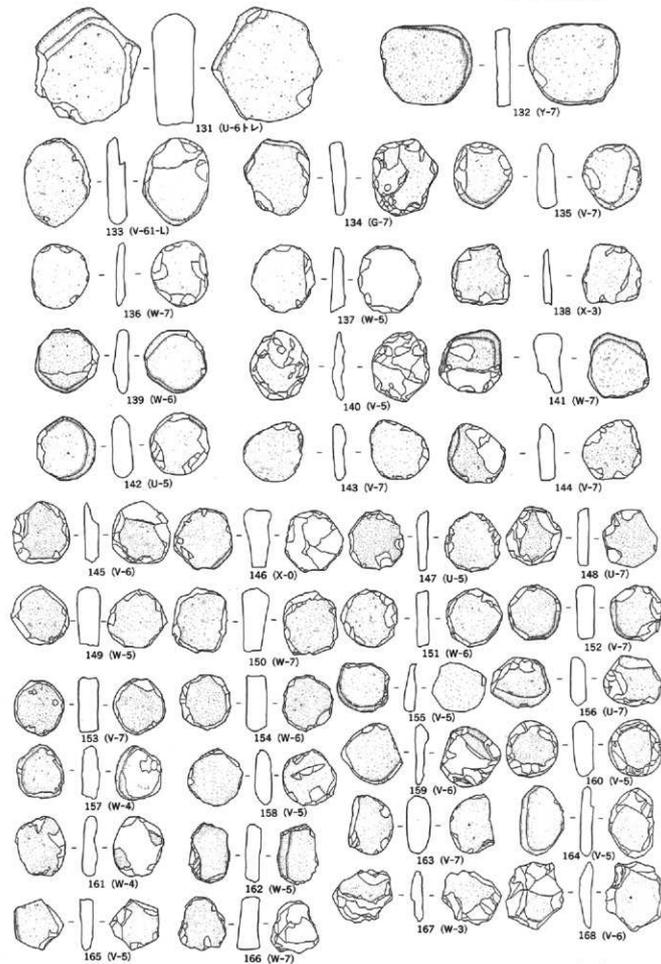
IV 出土した遺物



第120図 石器実測図(7)



第121図 石器実測図(8)



第122図 石器実測図(9)

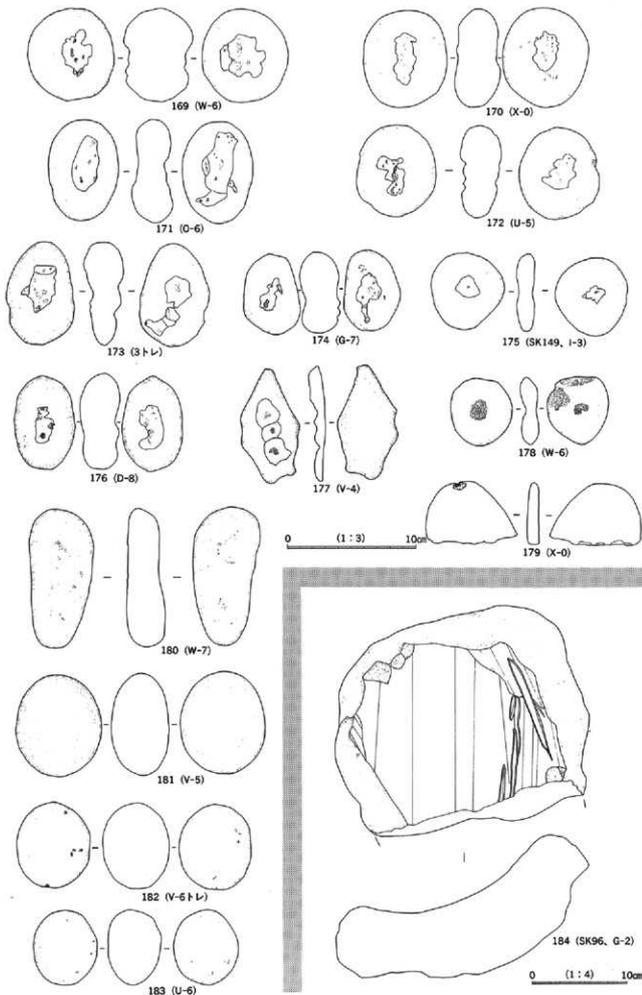


表17 石器計測値(3)

No.	種別	出土区	計測値 (cm)	重量 (g)	押切	備考	
			長	幅	厚		
225	石 匙	V-6-10	3.9	5.4	0.8	12	
226	*	X-0	4.1	7.1	1.1	23	
227	*	V-6	3.6	6.0	0.9	15	
228	*	X-0	7.0	3.3	0.8	21 117-80	
229	*	V-7	8.3	2.4	1.1	18	
240	*	W-7	5.2	3.3	0.9	13	
241	*	W-5-9	4.8	3.9	1.3	17	
242	*	D-7	5.4	6.9	1.2	33 115-53	
243	*	H-8	5.5	8.4	1.1	27 115-55	
244	*	T-6	4.1	6.7	1.2	27 115-52	
245	*	C-7	5.4	8.9	1.2	42 115-48	
246	*	T-5	7.3	8.5	1.1	66 115-43	
247	*	W-5-1	6.1	8.0	1.6	59 115-45	
248	*	T-5	3.3	6.2	0.9	24 116-67	
249	*	M-4	4.1	5.6	1.2	21 115-44	
250	*	F-7	6.9	8.2	0.9	46 116-66	
251	*	I-4	4.9	6.8	1.0	29 116-69	
252	*	H-7	6.6	2.9	0.9	12 117-76	
253	*	D-7	7.3	3.7	0.9	26 117-77	
254	*	H-8	5.0	8.2	1.3	51 115-49	
255	*	T-5	4.6	7.4	1.0	20 116-65	
256	*	V-7-4	7.2	4.4	1.0	21	
257	*	V-7-3	8.0	3.8	0.9	35	
258	*	V-6	7.6	3.8	1.8	44	
259	*	V-6-6	7.3	6.7	1.1	41	
260	*	V-7-6	5.5	4.8	1.3	20	
261	*	V-6	5.3	4.1	1.0	13	
262	*	E-7	5.6	6.8	1.4	37 115-54	
263	*	X-0	4.3	6.5	0.9	21	
264	*	W-4	3.6	4.9	0.9	15	
265	*	P-5	3.9	4.7	0.9	14	
266	*	X-0	3.9	5.1	1.2	18	
267	*	U-6	5.2	4.5	1.6	26	
268	*	X-0	3.2	3.8	0.7	6	
269	*	X-0	4.4	5.4	0.6	17	
270	*	X-0	2.0	5.9	0.6	9	
271	*	X-0	3.2	5.1	1.0	16	
272	*	X-0	4.4	4.3	0.7	11	
273	*	W-6	7.6	4.2	1.6	42	
274	*	U-6-8	7.7	3.8	1.4	37	
275	*	W-4	7.8	3.5	1.4	29	
276	*	V-6-4	9.8	5.5	1.2	78	
277	*	W-6	7.4	3.8	0.8	21	
278	*	W-5	5.9	3.4	1.4	26	
279	*	X-4	8.2	5.5	1.5	50	
280	*	W-4-5	8.0	4.5	1.0	22	
281	*	V-7	6.3	5.9	0.9	15	
282	*	W-4	5.5	2.9	0.6	9	
283	*	U-6	5.7	5.1	1.4	30	
284	*	U-6	5.2	3.4	0.5	10	
285	*	V-7	4.7	5.6	1.2	23	
286	*	V-6	6.8	5.1	1.3	39	
287	*	U-6	4.5	6.6	1.6	32	
288	石 匙	3区	8.2	4.2	1.6	52	
289	*	W-7	8.2	4.2	2.1	65	
290	*	W-6-3	5.2	2.7	1.2	16	
291	*	V-6-4	8.4	4.2	1.8	62	
292	*	V-7-3	7.1	4.2	1.3	32	
293	*	V-7	6.9	3.3	1.4	32	
294	*	X-0	6.5	4.2	1.7	43	
285	No.	種別	出土区	計測値 (cm)	重量 (g)	押切	備考
286	*	石 匙	W-7	7.3	3.4	1.5	40
287	*	*	W-5-6	7.4	4.6	2.3	71
288	*	*	W-6-2	7.6	3.3	1.3	30
289	*	*	W-7	5.4	2.8	2.1	28
290	*	*	X-0	6.2	2.8	1.8	38
291	*	*	V-6	7.5	3.3	1.5	37
292	*	*	W-7	5.6	3.3	1.5	32
293	*	*	V-6	6.3	3.8	1.6	24
294	*	*	V-6	7.5	3.7	1.7	48
295	*	*	X-0	7.4	4.3	1.5	34
296	*	*	W-6	8.9	4.7	1.4	57
297	*	*	W-7	8.1	3.6	1.9	46
298	*	*	X-0	7.8	4.0	1.4	49
299	*	*	W-7	7.1	3.0	1.5	20 118-86
300	*	*	V-6-4-5	8.6	3.9	1.7	66 118-82
301	*	*	W-7	8.1	5.6	1.2	50 118-94
302	*	*	W-6	8.4	4.8	2.1	74 118-96
303	*	*	V-6-4	9.3	4.6	1.6	71 118-92
304	*	*	V-7	9.2	4.5	1.8	72 118-93
305	*	*	V-7	6.9	3.3	1.6	39 118-88
306	*	*	V-7-3	7.6	4.6	2.0	44 118-85
307	*	*	V-7	5.3	3.6	1.4	25 118-95
308	*	*	X-7	6.6	4.1	1.4	26 118-97
309	*	*	W-6	6.3	4.4	1.3	33 118-99
310	*	*	W-6	6.4	4.2	1.6	50 118-90
311	*	*	E-7	6.4	4.4	1.4	40 118-88
312	*	*	V-6-4-5	6.2	3.7	1.2	24 118-98
313	*	*	W-6-2	5.5	3.2	1.6	16
314	*	*	W-7	6.5	3.6	1.6	33
315	*	*	W-5	5.6	2.6	0.9	15
316	*	*	W-7	6.7	3.4	1.1	25
317	*	*	W-7	5.1	3.7	1.1	23
318	*	*	W-6-3	6.7	2.7	1.3	21
319	*	*	W-6-3	6.6	2.8	0.9	22
320	*	*	W-6	6.4	3.0	1.6	29
321	*	*	W-6-2	6.5	2.5	1.7	29
322	*	*	W-6-4	7.0	3.6	1.3	29
323	*	*	V-5	6.9	3.3	1.1	29
324	*	*	V-7-5	5.2	4.2	1.5	31
325	*	*	W-6	6.1	2.6	1.0	15
326	*	*	W-7	6.0	3.4	1.4	22
327	*	*	U-6	8.8	5.3	2.3	98 121-122
328	*	*	U-6	10.9	5.8	2.2	108 120-115
329	*	*	W-4	12.1	4.4	2.9	106 120-119
330	*	*	W-6-2	11.7	4.5	2.1	97 120-118
331	*	*	X-4	13.1	6.0	3.3	109 120-126
332	*	*	W-5-1	10.8	6.0	2.7	143 120-123
333	*	*	W-3	11.8	4.8	3.0	105 120-116
334	*	*	V-7	5.4	4.8	0.9	22
335	*	*	W-6	2.3	2.8	0.9	20
336	*	*	V-7	6.5	3.9	2.0	44
337	*	*	X-0	7.3	2.6	1.4	37 118-87
338	*	*	D-8	7.3	3.6	1.3	37 117-83
339	*	*	X-0	5.9	2.6	1.1	1.8 118-91
340	*	*	T-6	11.6	4.0	2.6	125 120-117
341	不定形	H-8	8.4	4.3	3.5	150 117-81	
342	*	*	E-7	6.8	4.3	1.5	67 117-84
343	*	*	D-7	11.4	4.8	1.2	61
344	*	*	W-2	5.0	2.6	0.6	10
345	*	*	V-6-4-5	8.8	6.2	2.6	133

表18 石器計測値(4)

No	種別	出土区	計測値 (cm)		重量 (g)	押印	備考
			長さ	幅			
354	* 不定形	V-6	2.6	1.0	0.4	2	
355	* W-5	7.8	3.0	2.0	52		
356	* W-5	8.1	2.4	1.6	37		
357	* W-7	7.6	2.5	1.7	37		
358	* V-5-7	5.8	3.2	1.0	20		
359	* X-0	5.5	2.7	0.9	12		
360	* V-6	5.0	2.4	0.6	7		
361	* U-6-9	3.9	2.2	0.9	8		
362	* W-5	6.2	2.4	1.1	16		
363	* V-7	6.4	2.1	1.3	18	118-103	R Q147-3
364	* V-7-4	5.7	2.4	1.3	16	118-102	R Q143
365	* X-0	6.7	2.5	1.4	21	118-101	
366	* V-5	8.2	2.4	1.3	23	119-107	
367	* X-4	10.6	2.8	1.8	52	119-105	
368	* T-5	11.5	3.4	1.6	66	119-104	
369	* W-7	11.3	2.7	81	119-106	S K522	
370	* W-7	5.7	2.5	0.9	12	114-6	R Q131
371	* X-0	3.0	2.6	0.4	4		S K307
372	* U-7	9.1	6.7	1.9	114		
373	* U-6-9	10.0	4.9	2.0	93		
374	* W-4	9.1	4.3	2.5	105		
375	* U-6-10	8.1	5.0	1.8	78		
376	* E-4	11.9	6.2	1.8	122	119-109	S K209
377	* V-4	11.3	6.3	2.1	155		
378	* T-5	8.3	5.9	2.4	92	119-112	
379	* V-5	6.3	3.3	1.4	32		
380	* D-5	9.3	5.9	1.7	86	119-111	S K382
381	* D-5	8.1	5.3	2.0	74	119-110	S K382
382	* X-0	8.9	6.0	1.8	85		
383	* V-6-8	14.1	11.2	4.0	373	119-108	
384	* S-6	12.0	7.5	3.3	169	120-113	
385	* X-0	10.7	7.0	1.9	84	120-114	
386	石 斧	W-6	15.3	6.2	4.2	456	121-121
387	* X-0	5.9	3.9	1.6	69		
388	* M-3	7.6	3.8	1.8	57		
389	* M-4	4.4	3.7	2.6	62		S K273
390	* V-7	4.8	3.5	1.5	46		R Q90
391	* C-6	5.8	4.5	2.7	102		
392	* X-0	5.6	4.0	2.1	86		
393	* X-0	7.1	3.7	2.8	106		
394	* E-8	7.8	4.2	2.5	128		
395	* X-0	9.0	3.8	2.6	149		
396	* E-7	11.2	5.0	2.9	245		
397	* R-6	16.1	4.5	3.0	365		
398	* I-6	12.8	4.9	2.9	325		
399	* X-3	11.2	5.1	2.7	258		
400	* W-3	10.9	5.3	3.3	317		
401	* F-7	13.8	5.7	3.1	407		
402	* T-6	12.2	5.2	2.8	262		
403	* V-6-4	7.4	4.0	3.3	118		R Q164
404	* U-6	7.7	4.5	2.3	122		
405	* G-7	3.5	2.8	1.0	11		
406	* H-7	6.6	5.0	2.4	112		
407	* E-8	7.5	5.1	2.9	216		
408	* X-4	7.5	4.5	2.5	129		
409	* U-6	5.8	5.6	2.5	134		
410	* E-7	13.2	5.7	2.5	254		
411	* E-7	4.0	3.2	1.1	26		
412	* V-8	14.5	5.2	2.8	313		R Q76
413	* V-6	5.5	4.0	2.9	82		

表19 石器計測値(5)

No	種別	出土区	計測値 (cm)		重量 (g)	押印	備考
			長さ	幅			
414	石 鏃	X-0	4.4	5.1	3.0	86	
415	* H-7	9.1	5.2	2.8	195		R P171
416	* E-7	7.6	4.6	2.7	149		
417	* X-0	10.9	5.3	3.5	243		
418	* V-6	8.2	5.3	3.3	211		
419	* T-6	8.5	4.7	2.5	141		
420	* U-7	7.7	4.9	2.6	154		
421	* U-7	3.1	2.7	2.1	25		R Q82
422	* G-7	7.8	5.8	3.0	160	121-124	
423	* G-7	9.2	6.4	3.4	345	121-139	R Q45
424	* J-5	5.4	2.0	0.6	10	121-125	S K318
425	* W-6	5.8	2.4	0.8	20	121-126	R Q5
426	* U-5	6.8	2.0	1.0	20	121-127	
427	* H-8	3.0	3.6	0.6	10	121-128	
428	* J-3	18.6	5.4	4.3	640	121-131	RD38, SK168
429	円盤状石器	U-6	10.2	11.7	4.3	924	122-131
430	* V-7	9.4	8.5	1.4	182	122-132	
431	* V-6	6.8	9.1	1.9	167	122-133	
432	* G-7	6.8	7.7	1.4	122	122-134	
433	* W-7	6.3	6.2	2.3	157	122-141	
434	* W-7	5.9	6.6	0.8	46	122-136	
435	* V-7	6.2	7.0	1.9	117	122-138	
436	* V-5	6.2	7.2	1.3	75	122-140	
437	* V-7	5.6	6.9	1.6	87	122-144	
438	* X-3	6.0	6.1	0.8	45	122-138	
439	* V-7	5.7	6.7	1.2	65	122-143	
440	* V-5	6.0	5.7	1.7	63	122-152	
441	* V-7	4.5	5.9	2.8	102	122-153	
442	* W-5	4.0	6.1	1.6	68	122-152	
443	* V-5	5.0	5.4	1.2	54	122-155	
444	* W-3	5.2	5.9	1.3	50	122-167	
445	* U-7	5.3	5.9	1.6	77	122-156	
446	* V-5	4.6	7.3	1.3	55	122-154	
447	* W-4	4.4	5.6	1.9	80	122-157	
448	* W-7	4.7	4.8	1.4	57		
449	* W-4	5.2	6.3	1.3	72	122-151	
450	* V-5	4.9	4.8	1.2	50	122-165	
451	* U-7	2.9	6.2	1.2	32		
452	* W-6	3.8	4.8	1.2	32		
453	* V-5	4.2	3.9	1.1	33		
454	* V-6	3.7	3.9	1.0	25		
455	* W-6	2.1	5.1	1.8	21		
456	* W-5	6.7	7.0	1.3	90	122-137	
457	* W-7	5.7	6.7	2.4	155	122-150	
458	* W-6	5.9	5.9	1.3	70	122-151	
459	* U-5	6.0	6.6	2.0	115	122-142	
460	* W-5	5.5	6.1	2.3	134	122-149	
461	* W-6	6.1	6.3	1.5	107	122-139	
462	* X-0	6.5	6.1	2.2	121	122-146	
463	* V-7	6.0	5.3	2.5	119	122-152	
464	* U-7	6.1	5.5	1.2	61	122-147	
465	* V-6	6.3	6.0	1.5	65	122-159	
466	* V-7	5.8	5.5	1.8	100	122-152	
467	* U-5	5.6	6.1	1.2	57	122-143	
468	* W-6	5.1	5.5	2.5	110	122-154	
469	* V-5	5.4	5.9	2.1	114	122-160	
470	* W-7	4.8	5.4	2.5	101	122-166	
471	* V-6	7.2	8.1	1.7	75	122-168	
472	* V-6	6.1	6.2	1.5	84	122-145	
473	* W-3	6.71	5.0	4.1	174		

No	種別	出土区	計測値 (cm)		重量 (g)	押印	備考
			長さ	幅			
474	円盤状石器	X-3	4.3	5.9	1.3	54	
475	* V-6	5.3	5.5	2.1	85		
476	* W-6	5.7	6.0	2.1	101		
477	* V-7	6.4	5.9	1.6	84		
478	* U-5	5.1	5.5	0.9	38		
479	* U-7	5.2	3.4	1.6	75		
480	* V-6	3.0	3.5	1.6	76		
481	* W-7	5.1	5.5	1.7	74		
482	* V-5	5.5	6.3	1.3	50		
483	* V-6	5.9	5.8	1.3	60		
484	* W-5	5.5	5.2	1.9	99		
485	* V-5	3.3	3.1	1.4	58		
486	* V-5	4.8	3.4	1.0	39		
487	* U-6	5.2	5.1	1.6	77		
488	* V-7	5.8	6.2	1.1	62		
489	* V-6	4.9	5.0	1.8	66		
490	* V-7	5.5	5.1	2.6	126		
491	* V-7	4.9	5.4	2.0	87		
492	* W-7	4.5	5.1	1.7	43		
493	* V-7	4.8	4.8	1.5	64		
494	* U-6	4.5	5.5	0.9	33		
495	* V-7	4.8	5.7	2.1	84		
496	* X-6	5.1	4.8	1.5	58		
497	* V-6	4.6	4.5	1.9	69		
498	* V-5	4.7	4.9	1.5	45		
499	* V-5	4.3	3.5	1.1	25		
500	* V-7	4.8	4.1	1.8	64		
501	* V-6	4.3	4.6	1.5	41		
502	* V-6	4.1	3.9	1.4	32		
503	* V-6	4.0	4.8	1.6	40		
504	* W-7	4.8	4.6	1.7	53		
505	* V-7	4.8	5.5	2.1	74		
506	* V-7	2.9	6.2	2.0	52		
507	* W-7	10.7	10.0	3.3	417		
508	* V-4	7.4	7.9	3.4	380		
509	* U-5	9.5	9.0	3.1	486		
510	* W-6	7.6	8.1	3.9	388		
511	* w-5	7.5	7.8	2.6	255		
512	* V-6	7.2	7.9	3.6	372		
513	* U-5	7.9	8.3	2.0	223		
514	* V-5	7.5	7.2	3.7	323		
515	* V-7	7.7	7.5	2.7	247		
516	* X-0	2.3	2.3	0.5	2		
517	* W-3	7.0	6.6	1.3	115		
518	* W-7	7.3	7.2	2.4	201		
519	* W-6	6.6	7.2	2.8	272		
520	* W-6	6.8	6.9	3.2	253		
521	* V-7	5.9	7.6	2.7	121		
522	* V-6	6.8	7.1	2.8	208		
523	* V-6	6.5	7.5	2.2	154		
524	* V-7	6.4	6.4	2.7	188		
525	* X-6	6.6	7.2	1.7	123		
526	* V-6	6.0	6.7	2.3	176		
527	* V-7	5.8	6.2	2.5	145		
528	* W-7	6.3	6.2	2.1	156		
529	* D-5	7.1	7.6	2.9	249		
530	* F-7	6.6	7.2	3.1	238		
531	* D-7	7.1	7.4	3.3	271		
532	* C-9	6.5	6.1	2.2	136		
533	* X-0	7.4	7.6	1.9	166		
534	円盤状石器	X-0	6.5	6.7	2.2	130	
535	* D-7	6.0	6.5	2.6	165		
536	* G-7	6.1	6.6	1.6	78		
537	* L-2	5.6	7.0	1.4	82		
538							

表20 石器計測値(6)

No	種別	出土区	計測値 (cm)			重量 (g)	押印	備考
			長さ	幅	厚			
594	磨石	V-6	2.5	5.3	1.5	22	-	-
595	*	V-6	3.8	3.9	3.3	56	-	-
596	*	V-7	4.3	5.0	3.9	92	-	-
597	*	X-4	4.3	5.8	4.1	71	-	-
598	*	V-7	4.5	5.4	4.2	113	-	-
599	*	W-7	4.5	5.6	4.2	122	-	-
600	*	W-7	4.1	4.4	2.7	60	-	-
601	*	W-4	3.7	4.2	3.5	67	-	-
602	*	U-7	3.8	4.3	2.8	55	-	-
603	*	V-7	4.0	4.3	3.5	71	-	-
604	*	V-7	4.0	4.3	3.1	62	-	-
605	*	X-5	3.2	3.5	3.4	40	-	-
606	*	U-7	3.4	3.6	3.1	39	-	-
607	*	V-7	3.1	4.0	1.7	16	-	-
608	*	V-5	3.2	3.9	3.2	43	-	-
609	*	W-5	2.8	3.0	1.9	19	-	-
610	*	U-6	6.0	4.7	3.4	-	123-183	-
611	凹石	W-7	6.8	14.8	3.7	538	123-180	-
612	*	X-0	7.8	10.5	3.4	410	-	-
613	*	U-5	8.4	9.7	4.1	399	123-172	-
614	*	X-0	6.8	8.5	6.1	472	-	-
615	*	V-5	7.8	9.2	6.1	482	-	-
616	*	V-5	7.5	8.7	6.1	421	-	-
617	*	X-0	6.7	7.3	4.6	206	-	-
618	*	X-0	7.0	11.0	3.8	280	123-173	-
619	*	V-7	7.2	8.7	5.1	358	-	-
620	*	X-0	7.3	9.2	3.2	286	-	-
621	*	W-6	7.7	9.8	3.4	277	-	-
622	*	U-6	6.8	7.3	5.7	347	-	-
623	*	V-7	4.9	5.5	3.6	108	-	-
624	*	V-6	5.3	5.0	4.3	106	-	-
625	*	K-6	4.3	4.6	3.9	101	-	-
626	*	H-8	7.2	9.6	4.4	375	-	-
627	*	H-8	8.5	9.4	5.7	569	-	-
628	*	X-0	8.5	10.9	5.1	739	-	-
629	*	G-2	9.4	9.0	6.8	787	-	-
630	*	V-5	8.6	10.3	4.0	305	-	-
631	*	O-6	7.3	10.8	4.2	429	123-171	-
632	*	G-7	6.6	8.2	6.7	514	-	-
633	*	G-3	7.4	9.7	5.4	497	-	-
634	*	X-0	9.2	6.7	1.1	98	123-179	-
635	*	V-4	6.4	12.3	1.8	114	123-177	-
636	*	I-3	7.6	8.4	2.2	148	123-175	-
637	*	G-3	7.4	7.7	3.9	284	-	-
638	*	E-7	4.3	6.1	2.6	96	-	-
639	*	G-7	8.4	8.5	6.2	540	-	-
640	*	D-10	7.4	11.2	4.7	596	-	-
641	*	X-0	8.8	10.5	4.4	447	123-170	-
642	*	D-10	7.4	8.0	6.0	509	-	-
643	*	D-8	6.3	10.2	4.0	314	123-176	-
644	*	X-0	6.9	7.2	5.8	328	-	-
645	*	G-7	7.1	7.3	4.9	336	-	-
646	*	E-8	6.4	7.1	4.6	242	-	-
647	*	G-7	6.1	8.8	4.0	283	123-174	-
648	*	G-7	4.8	4.9	2.9	57	-	-
649	*	W-3	9.2	12.8	6.2	821	-	-
650	*	W-6	9.0	9.9	7.2	714	123-169	-
651	*	X-4	9.7	10.2	6.8	961	-	-
652	*	X-5	7.7	10.9	5.2	436	-	-
653	*	U-6	7.2	11.6	4.6	461	-	-

No	種別	出土区	計測値 (cm)			重量 (g)	押印	備考
			長さ	幅	厚			
654	凹石	V-5	6.6	8.7	5.0	446	-	-
655	*	V-7	6.6	9.2	3.0	224	-	-
656	*	V-6	6.0	9.8	4.5	320	-	-
657	*	V-7	5.2	10.4	3.4	280	-	-
658	*	V-6	6.1	9.2	4.1	189	-	-
659	*	W-6	6.7	7.7	3.7	229	-	-
660	*	V-7	6.6	8.6	4.6	238	-	-
661	*	V-7	6.8	8.6	3.5	191	-	-
662	*	W-6	6.5	7.2	2.0	93	123-178	-
663	*	U-7	6.6	8.0	3.2	225	-	-
664	*	U-6	4.8	5.1	3.5	109	-	-
665	*	H-8	9.9	12.9	2.9	649	-	-
666	*	H-8	11.1	13.5	3.0	677	-	-
667	*	X-0	8.8	12.6	3.6	595	-	-
668	*	X-0	6.7	7.0	3.5	234	-	-
669	*	G-7	6.1	6.1	4.1	196	-	-
670	*	G-7	4.2	4.6	4.6	100	-	-
671	*	G-7	5.3	14.3	2.0	240	-	-
672	*	V-9	4.2	6.6	1.1	38	-	-
673	石皿	G-2	26.8	22.6	14.5	7,000	123-184	-

## 8 石製品

宮の前遺跡からは多数の石製品が出土した(挿図124~133)。ここではその代表的なもののみを載せることとする。宮の前遺跡の石製品は主に第1捨場、第2捨場、第3捨場などの捨場から出土した。石棒では捨場の範囲以外の部分からの出土もみうけられたがこれについては後述する。なおここでは挿図124~133までは通しナンバードとしてある。石剣・石刀・石棒類については計測表を載せたので参考にされたい。

なお65に岩版として図化してあるものは天童市在住の高橋良一氏の保管にかかっているが、氏のご厚意によりここに紹介させていただいたものである。

宮の前遺跡の石製品について次に述べたい。宮の前遺跡で出土した石製品の種類は次のとおりである。

## 岩版(図・1~3)

岩版は3点出土した。1は第3捨場の第10層から出土したものである。2と3は第1捨場から出土したものである。1は体部の文様に玉抱き三叉文をもっており縄文時代晩期初頭の時期と思われる。角柱状の礫に人面を彫刻してあり完形品である。2、3は第1捨場からの出土である。いずれも人面を彫刻してあるが、2はうすい扁平な礫を利用しているのに対して、3は軽石を利用している。

## 岩版(図・4~17、65)

岩版はS字文、C字文などをもつもの(4、5、6、7、8、10)。渦巻文をもつもの(9、16、17、19)。数条の孤線をもつもの(11、65)。その他のもの(13、14、15)と分類できよう。11、13、14は熱を受けている。13、14は無文であるが被熱のため文様が消失している可能性がある。65は渦巻きと目の表現が組み合わされている。材質は砂岩、安山岩などである。

## イモ貝状石製品(図・18)

これのみの出土である。中央に貫通孔があり右巻きとなっている。砂質の凝灰岩製。

## 線刻礫(図・20~25)

上部に2条の線を刻んだもの(20)。末端に刻みをもつもの(24、23)。形状の不明なもの(21、22)。扁平な礫に刻んだもの(25)がある。このうち22には再加工の跡がある。砂岩あるいは泥岩などの柔らかい石を使用している。

## 裝飾品(図・26~47)

垂飾品(図・26、27、28、29、30、31)は、26、27はヒスイ製品である。とくに26は石斧とともにS K183墓坑より出土した遺物である。28~31は凝灰岩製品、いずれも緑つぼい石を使用しておりヒスイを意識したものと思われる。また、扁平な石に2連の穴を開けたもの(33~39)などもある。これは安山岩系統の石を使用している。その他のものについては用途は不明であるが、41~47などは貫通孔をもつため裝飾品としておきたい。これもまた安山岩系統の石を使用している。

## 三脚石器 (図・48)

三脚石器は一点のみの出土である。全面磨製によって形を整えている。足はアーチ状に作り出されている。

## 石冠 (図・56~60、62~63)

石冠は、つまみが直線状にあるもの (56、57)、丸いつまみがあるもの (58、59) の上部が4つに刻んであるもの (60、62、63) がある。56、57はいずれも末端から衝撃を受けたような破損を示す。

石垂 (図・61) は中央に一線を持つ。安山岩系統の石を使用している。

## 独鈷石 (図・64)

独鈷石はこれ一点のみの出土である。破損している。材質は安山岩である。

## 石剣・石刀・石棒類 (図・66~133)

宮の前遺跡では、大量の石剣・石刀・石棒類が出土した。その材質は粘板岩製である。完全な形のものについては石剣、石刀あるいは石棒と形式分類ができるが、破片資料になると十分に分類できないことがあるので、完形のもの以外については石剣・石刀・石棒類というように一括しておく。完形で出土あるいは、復元できたものは5点である。

最初に完形品について述べたい。計測値については一覧表を参考にされたい。67は第1捨場の最下層から出土したものであり、第VI群土器に伴件した。断面形は凸レンズ型を呈する。66は第3捨場から出土した。断面形は67とは相違する。いずれも内反石刀であり、長さはほぼ同じである。102、103、104は熊登型といわれる握りを沈線で区画する形の石棒である。102、103は中央付近で2つに折れているものが整理途中で接合したものである。104も同様であるが先端部分は失われてしまっている。破損状態は一撃による破壊である。ほぼ同じ位置で同じような破損を受けていることは、使用の状態を復元するうえで興味深い。102、103、104も出土位置は第1捨場の東側と第2捨場の北側のG-8グリッドを中心とした部分であり、一部第2捨場にかかる資料もあるが、捨場とは別の場所でも石棒はまとまりがあったといえる。熊登型の石棒は106、108、109、127、128、132、133などもある。

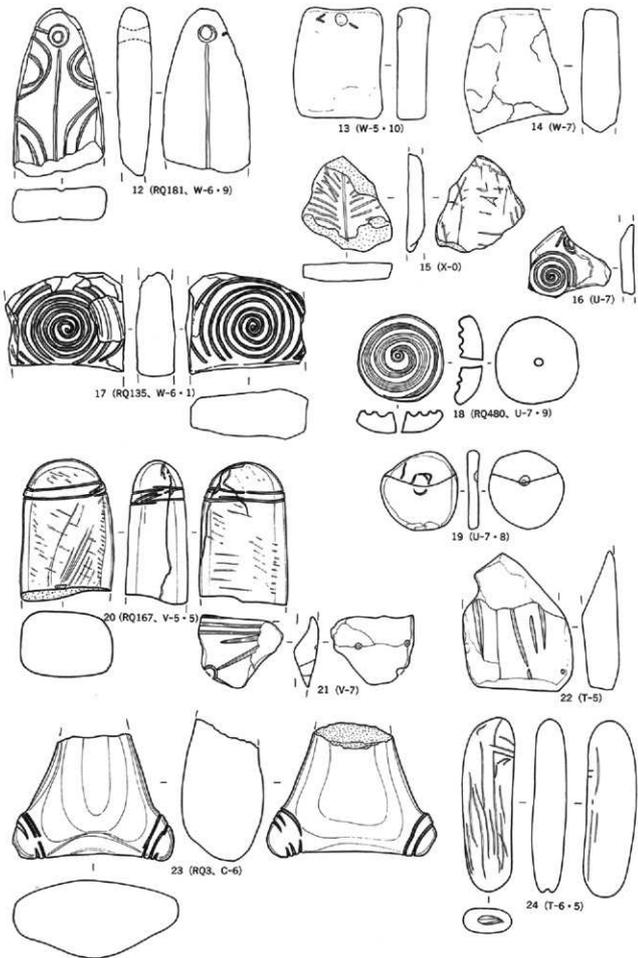
83、84、86、88、105は頭部に装飾があるものである。105は時期としては別であろう。83、84の文様はS字状入組文。86は渦巻き文であろう。88はその他の文様である。83、84のS字状入組文は東北地方北半の影響が強い。95の様に刃部に連続した刻みをもつものもある。

明らかに再加工を施したのものもある。121、122は石棒として破損すると石斧として刃部を付け利用している。破損の状況も興味深いところである。これだけの破片がありながら、接合するものは少数である。破損したものの大きさも大体企画性がありそうである。破損したものは、その破片を上下からたたいているものが多い。再利用なのであろうか。

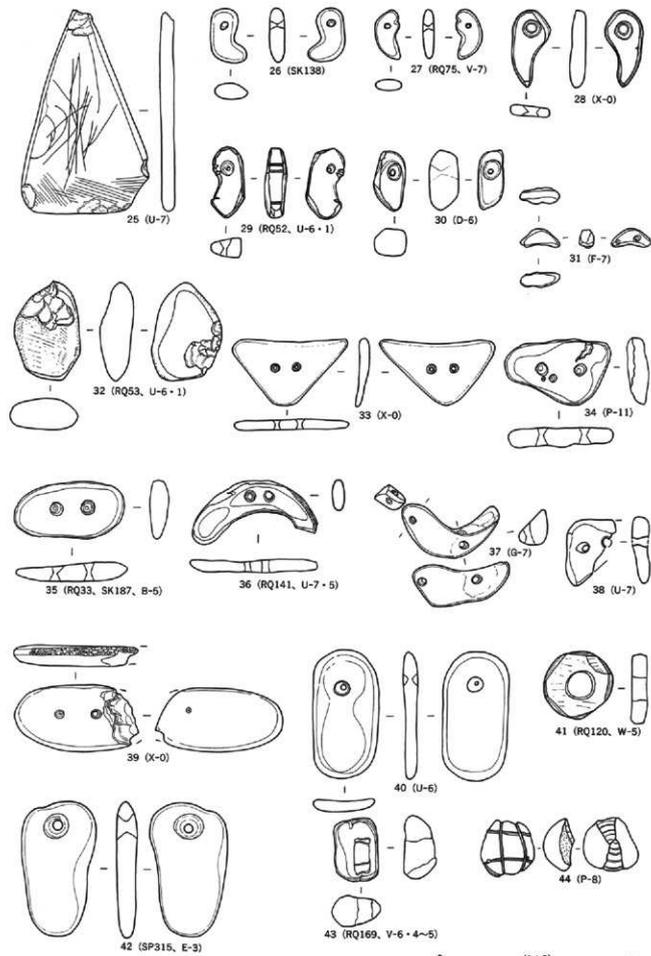
## その他 (図・49~55)

49は磨製の釣り針状の遺物である。50も同じく磨いて成型してあるが、軽石製品である。53、54、55は石を凹ませている遺物である。

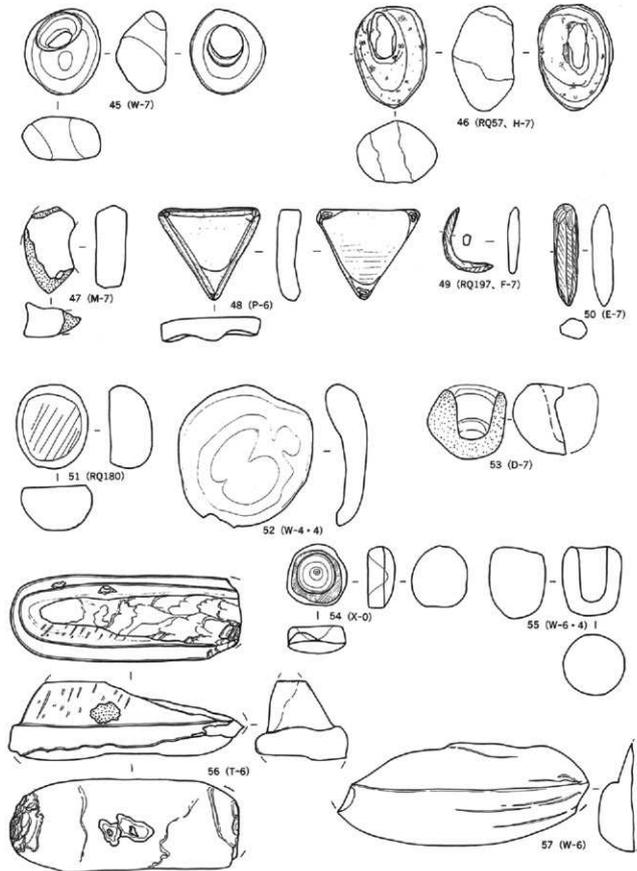




第125図 石製品実測図②

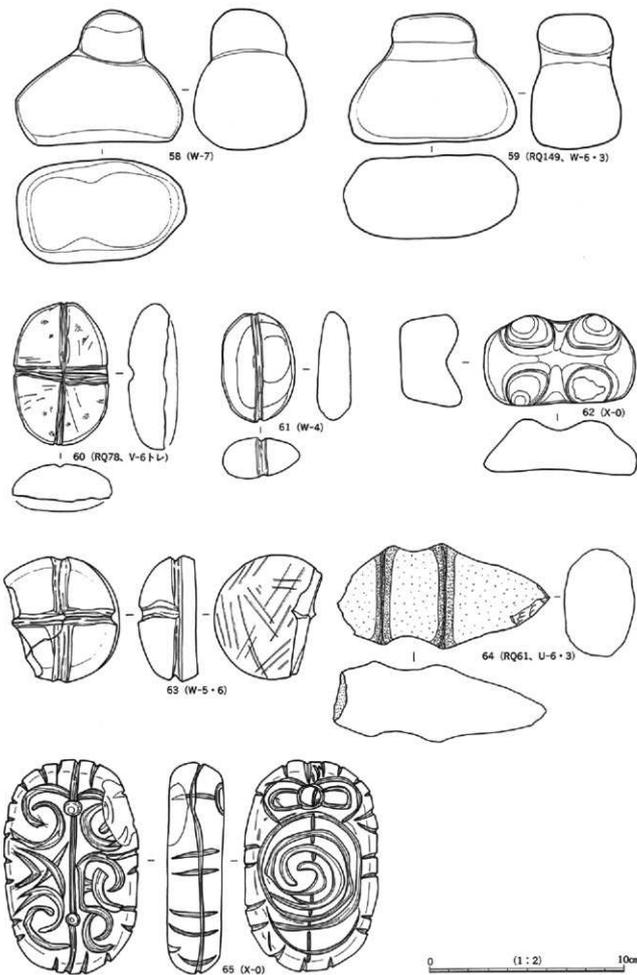


第126図 石製品実測図③



0 (1:2) 10cm

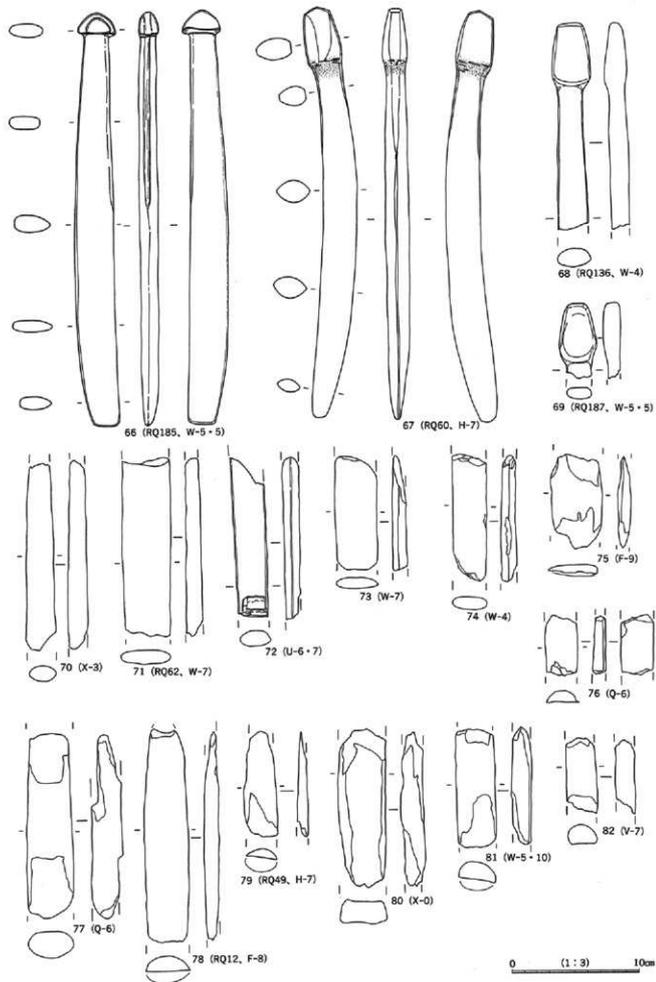
第127図 石製品実測図(4)



0 (1:2) 10cm

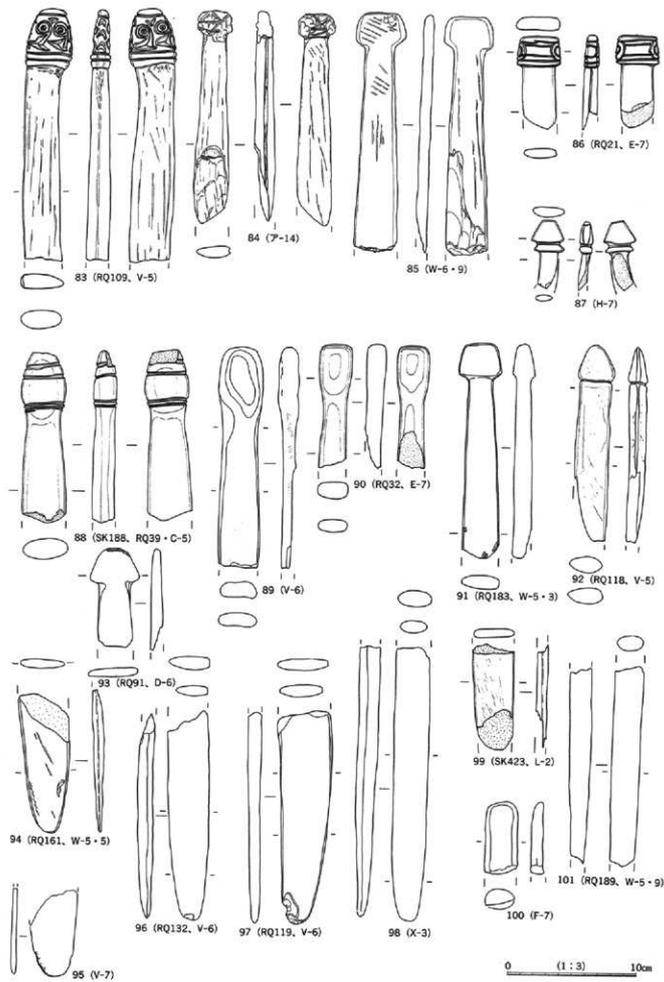
第128図 石製品実測図(5)

IV 出土した遺物

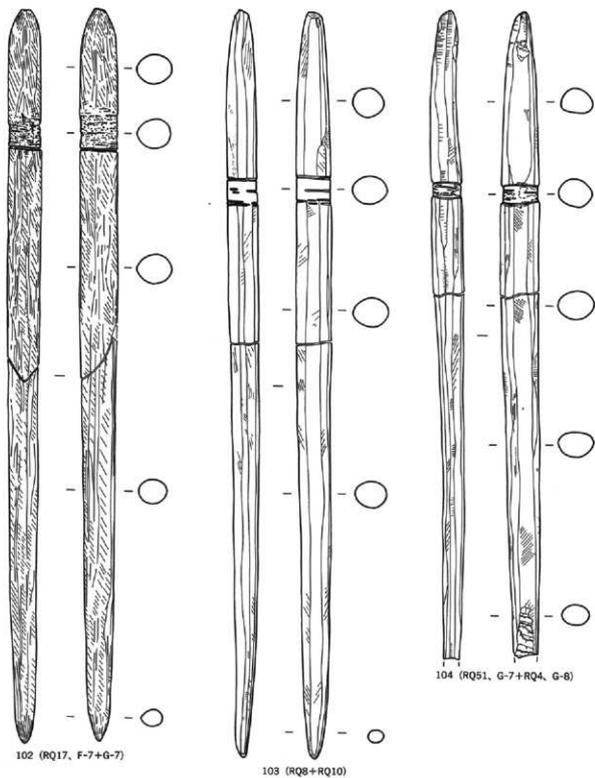


第129図 石製品実測図(6)

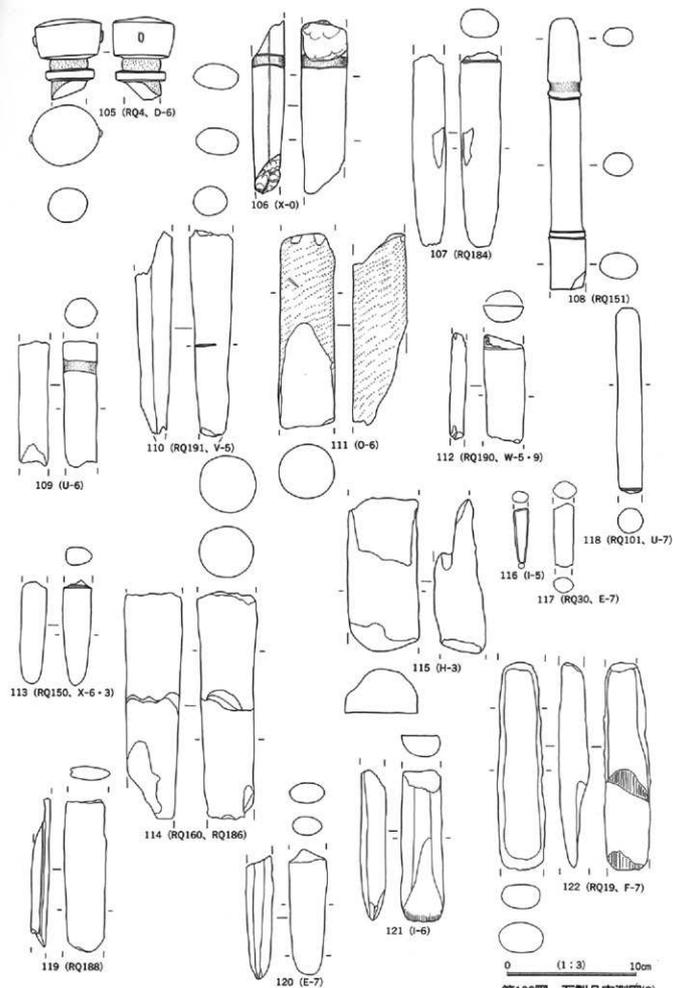
IV 出土した遺物



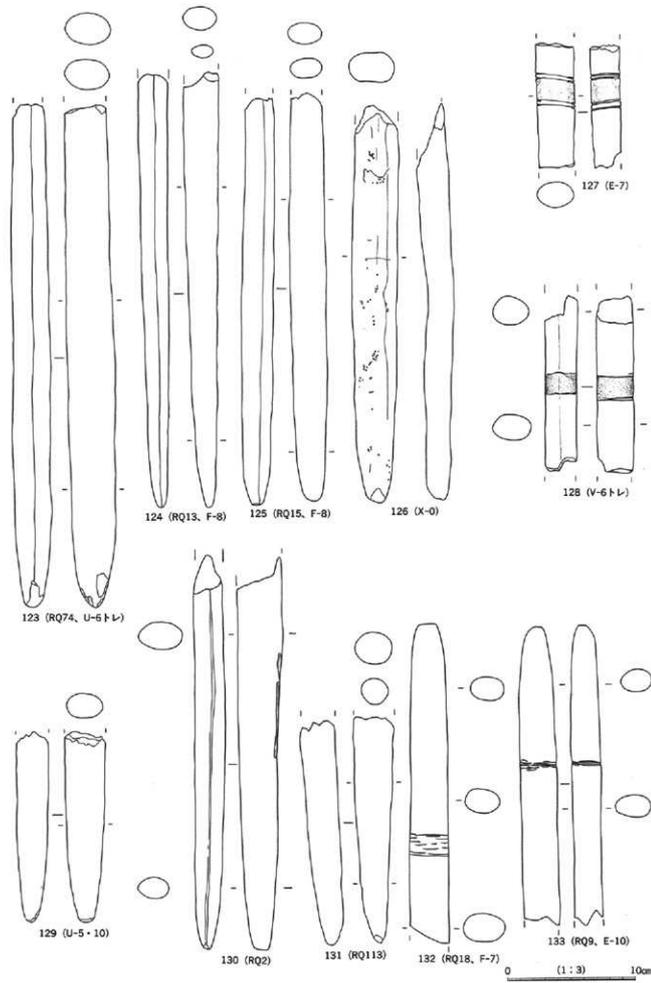
第130図 石製品実測図(7)



第131図 石製品実測図(8)



第132図 石製品実測図(9)



第133図 石製品実測図(10)

- 凡例  
 1. 器種は、1. 石鏃類2. 石剣類3. 石刀類とした。他、小破片あるいは、現在部位のみの出土である場合と器種に入る可判然としない場合もあった。  
 2. 残存部位は、1. 振り鉋2. 中央部3. 両端部と分類した。  
 3. 出土層位が確認出来るものは層位を付記した。W-5・9はW-5グリッドの9層であることを表す。

表21 石棒・石剣・石刀計測値(1)

No	器種	残存部位	出土区	計測値 (cm)		重量 (g)	層位	備考	
				長	幅				
1	1	3	H-7	31.7	3.5	2.3	398	133-130	RQ2
2	1	3	G-8	26.5	2.8	2.4	332	131-103	RQ8 (+RQ10)
3	1	2	G-8	28.7	3.0	2.4	318	132-105	RQ4 (+RQ51)
4	1	1	F-7	29.1	2.9	2.6	382	131-102	RQ17
5	1	1	E-10	28.6	2.9	2.2	276	133-133	RQ9
6	1	1	G-7	22.2	2.9	2.5	271	132-105	RQ51 (+RQ4)
7	1	1	F-7	25.2	3.1	2.7	363	133-132	RQ18
8	1	1	X-3	21.6	2.8	2.1	239	132-108	RQ151
9	1	2	V-6	13.7	3.0	2.4	186	133-128	
10	1	2	X-0	14.1	3.7	2.5	184	132-106	
11	1	3	X-3	5.8	1.8	1.6	20		
12	1	2	V-5	3.8	2.4	0.6	7		
13	1	2	V-5	6.2	2.4	1.0	19		
14	1	3	U-5	39.2	3.8	3.0	834	133-123	RQ74
15	1	3	G-7	31.7	2.6	2.3	266		
16	1	3	F-8	32.7	2.8	2.3	297	131-103	RQ10 (+RQ8)
17	1	3	F-8	31.6	2.7	2.1	378	133-125	RQ15
18	1	3	F-8	34.3	2.8	2.3	313	133-124	RQ13
19	1	3	W-7	17.7	3.1	2.7	174	133-131	RQ112
20	1	2	N-7	12.3	3.4	3.0	209		
21	1	2	V-5	16.2	3.3	2.7	199	132-110	RQ191
22	1	2	X-3	14.6	2.2	1.5	77	129-70	
23	1	3	U-5	15.1	3.2	2.5	183	133-129	
24	1	2	V-7	10.9	2.5	2.2	78		RQ98
25	1	2	U-6	9.7	2.6	2.1	107		
26	1	3	U-6	11.2	2.2	1.5	58		
27	2	2	W-5	15.7	2.2	1.6	99	130-101	RQ189
28	1	2	U-7	14.6	1.9	2.0	104	132-118	RQ101
29	1	3	F-7	5.6	2.5	1.2	30	130-100	
30	1	2	R-5	9.7	2.8	2.1	62		
31	1	2	G-2	7.1	2.4	1.9	52		RQ59
32	1	2	H-7	5.9	2.7	2.2	66		RQ14
33	1	3	X-6	8.0	2.2	1.8	54	132-113	RQ150
34	1	2	Q-6	4.7	2.6	1.0	19	129-76	
35	1	2	U-6	6.3	2.5	0.7	16		
36	1	2	W-5	6.1	2.4	2.0	54		
37	1	2	X-0	7.4	3.2	3.0	121		
38	1	3	X-0	31.0	3.5	2.5	451	133-126	
39	1	2	X-0	10.4	2.2	0.8	33		
40	1	2	H-7	8.3	2.5	0.8	20	129-79	RQ49
41	1	2	X-0	9.6	3.0	1.8	79		
42	1	7	M-7	8.5	3.4	2.5	100		
43	1	2	U-4	8.1	2.6	0.8	36		
44	1	3	I-6	12.1	3.1	1.8	131	132-121	
45	1	2	U-5	9.5	3.0	1.7	88		
46	1	2	C-7	5.7	2.8	2.4	72		
47	1	2	H-7	13.6	2.8	2.0	100		
48	1	2	U-7	5.0	2.5	1.3	30		RQ81
49	1	2	V-7	6.0	2.3	1.5	38		RQ100
50	1	2	V-4	4.5	3.1	1.1	20		
51	1	2	V-7	4.6	2.5	1.8	48		RQ93
52	1	2	W-5	6.2	2.6	1.8	45		RQ132
53	1	2	T-6	6.5	3.5	1.8	69		
54	1	3	F-7	3.9	3.0	2.9	49		
55	1	3	G-7	3.4	3.7	2.8	52		
56	1	2	W-7	14.7	3.8	3.0	262		RQ111
57	1	3	U-7	15.2	3.1	2.3	210	132-107	RQ184
58	1	2	X-0	9.8	3.1	1.3	79		
59	1	2	V-6	6.9	3.2	2.1	40		
60	1	2	R-6	9.9	2.5	2.4	79		
61	1	2	F-8	16.8	3.4	1.1	104	129-78	RQ12
62	1	2	E-7	9.8	3.0	2.3	140	133-127	
63	1	2	W-6	9.5	4.4	4.3	232	132-114	RQ180
64	1	2	X-0	9.8	4.3	4.1	243	132-114	RQ186
65	1	2	Q-6	14.6	3.4	2.7	200	129-77	
66	1	2	O-6	14.9	4.4	4.3	428	132-111	
67	1	2	H-3	12.3	5.6	3.6	360		

表22 石棒・石剣・石刀計測値(2)

No	部 種	残存部位	出土区	計 測 値 (cm)			重量 (g)	採 掘	備 考
				長	幅	厚			
68	1	3	E-7	10.0	2.7	2.0	90	132-120	
69	1	2	W-5	9.3	3.1	1.7	82	129-81	
70	1	2	U-7	15.1	2.2	2.1	110		R Q85
71	2	2	W-5	8.4	3.1	1.2	85	132-112	R Q190
72	1	0	U-6	12.5	3.5	1.4	132	129-80	
73	1	2	F-7	16.5	3.4	2.4	204	132-122	R Q19
74	1	2	V-5	10.3	3.2	2.9	134		
75	1	3	V-6	11.2	2.8	2.5	120		
76	1	2	X-0	7.2	2.4	0.8	18		
77	1	2	W-7	8.2	3.3	0.9	40		
78	1	2	W-3	8.1	2.9	1.7	60		
79	1	2	X-3	7.7	2.6	0.9	30		
80	1	2	W-4	9.0	2.7	2.2	56		
81	1	2	F-6	10.2	3.2	1.2	51		
82	1	2	V-6	10.2	2.7	1.0	42		
83	1	2	U-6	9.2	2.1	0.9	29		
84	1	2	V-4	9.0	2.2	1.5	49		
85	1	2	W-5	6.7	3.6	1.7	59		
86	1	2	X-4	6.8	2.9	1.7	45		
87	1	2	W-4	7.4	2.7	1.7	55		
88	1	2	V-5	5.9	2.0	0.6	10		
89	1	2	W-7	5.1	2.7	0.6	11		
90	1	2	X-0	4.0	3.7	2.1	50		
91	1	2	V-7	4.2	2.6	0.8	10		
92	1	2	U-6	6.0	2.7	1.7	20		
93	1	2	V-4	3.9	2.0	0.5	8		
94	1	2	W-5	4.9	2.7	1.3	12		
95	1	2	X-0	4.1	3.1	0.8	13		
96	1	3	W-6	20.4	4.4	2.5	260		
97	1	3	W-6	23.7	2.3	1.4	80		
98	1	1	O-6	6.1	2.8	2.6	160		
99	1	3	V-7	13.2	3.8	1.7	70		
100	1	2	W-6	6.9	2.5	1.4	41		
101	1	2	R-6	5.5	1.8	1.2	11		
102	1	3	I-5	5.7	1.6	1.4	20	132-116	
103	1	3	E-8	14.8	2.1	1.8	72		
104	1	2	E-7	6.6	2.2	1.8	44	132-117	R Q30
105	3	1	V-6	17.3	3.3	1.5	120		
106	2	1	V-5	15.9	2.8	1.4	133	130-92	R Q118
107	3	3	X-3	21.5	2.8	1.6	155	130-98	
108	2	3	V-6	16.8	4.1	1.2	110	130-97	R Q119
109	3	2	W-7	14.0	3.8	1.4	163	129-71	R Q62
110	2	3	V-6	16.6	3.2	1.2	96	130-96	R Q132
111	2	2	X-5	12.0	3.3	1.4	78	132-119	R Q188
112	3	2	W-4	6.3	3.6	1.9	58		
113	3	2	U-6	8.0	3.3	1.8	85		
114	3	2	V-5	11.0	3.8	1.9	139		R Q108
115	2	2	V-5	9.2	3.4	1.0	36		
116	2	1	X-0	3.6	3.5	1.3	58		
117	2	4	W-5	32.3	3.1	1.5	259	129-66	R Q185
118	2	4	H-7	32.2	2.8	1.9	278	129-67	R Q60
119	2	1	W-4	16.0	2.3	1.6	131	129-68	R Q136
120	2	1	W-5	5.8	3.0	1.4	39	129-69	R Q187
121	2	2	U-6	12.5	2.6	1.3	65	129-72	
122	3	2	W-7	8.9	3.3	1.0	51	129-73	
123	3	2	W-4	10.0	2.7	1.2	56	129-74	
124	2	2	F-9	7.5	3.9	0.9	32	129-75	
125	2	2	U-6	9.7	2.6	2.4	107	132-109	
126	2	2	L-2	8.1	3.1	0.9	30	130-99	S K423
127	2	2	V-7	6.8	3.5	0.6	19	129-82	
128	2	1	V-7	20.0	3.1	1.7	197	130-83	
129	3	1	X-0	16.8	2.8	1.5	90	130-84	R Q106
130	3	1	W-6	18.7	3.3	0.8	90	130-85	
131	3	1	E-7	7.3	2.6	1.1	40	130-86	R Q21
132	2	1	H-7	5.4	1.4	0.7	14	130-87	
133	3	1	C-5	13.2	3.3	1.7	144	130-88	S K118, R Q39
134	3	3	E-7	9.7	2.2	1.3	55	130-90	R Q22
135	3	3	V-6	17.3	3.3	1.5	120	130-89	
136	3	2	W-5	16.7	2.9	1.4	120	130-91	R Q183
137	2	1	W-5	10.9	3.8	0.8	49	130-94	R Q161
138	2	2	V-7	6.8	3.5	0.6	19	130-95	

## V 出土した焼骨(人骨)

宮の前遺跡の第1調査区C-7グリッドから焼骨がまとまって出土した(第16図、図版32・33)。バリノサーベイを通じて歴史民俗博物館の西本豊弘氏に焼骨の種類を同定を依頼した。その結果は以下のとおりである。

## 〈宮の前遺跡出土の人骨について〉

宮の前遺跡で出土した焼骨は、すべて人骨であった。小さな破片となっていたが、頭蓋骨を確認することができた。四肢骨も少量含まれていたが、小さく割れているため、部位を同定できたものはなかった。

骨が焼けると収縮・変形するが、ある程度の収縮を予想しても、頭蓋骨が比較的薄いことから、若年と推測される。性別は不明である。

焼けた獣骨が縄文時代の遺跡から出土することは不思議ではない。炉跡などで出土するものは、食料となつたものの残りであろう。後期以降になると、獣骨が意図的に焼かれることがあるが、人の骨を意図的に焼くようになるのは、晩期になってからである。東北地方や北海道で知られている埋葬儀礼である。その点では、この遺跡出土の人骨もその類例と言えるであろう。なぜ、晩期になって人の遺体が焼かれるのか、また焼く行為が後期まで逆上るのかどうかは不明である。

(西本豊弘)

## VI 理化学分析

宮の前遺跡の出土資料のうち、黒曜石10点について千葉県野田市郷土博物館の金山喜昭氏に分析を依頼した。次の結果が得られた。

## ●分析方法 熱中性子放射化学分析法(鉱地分析)

水和層年代測定法 (年代)

- 分析者 鈴木正男 (立教大学一般教育部)  
 戸村健児 (立教大学原子力研究所)  
 金山喜昭 (野田市郷土博物館)

## ●分析結果

No/Sm · U · Th · Hf · Sc · Fe · La · SOURCE · TOHL · AGE

1	4.86	,759	4.13	4.45	10.1	1,780	19.5	KAMITAGA	1.63	3300
2	3.63	2.87	9.33	2.37	3.03	0.541	19.8	KAMITAGA	2.25	—
3	5.99	3.62	11.2	3.68	3.34	0.413	19.4	HOSIGATO	3.72	3100
4	3.82	2.42	9.22	1.78	2.81	0.527	18.3	GASSAN	2.33	—
5	3.39	3.56	9.28	2.57	2.83	0.527	18.5	GASSAN	2.17	—
6	3.21	2.86	8.17	2.01	2.62	0.485	15.5	GASSAN	2.25	—

7	3.51	3.78	8.94	2.04	2.85	0.547	18.5	GASSAN	2.33	—
8	4.61	4.07	3.60	4.37	10.2	1.870	17.5	KAMITAGA	1.71	3300
9	3.71	3.08	8.76	2.21	2.86	0.530	18.8	GASSAN	2.17	—
10	3.47	2.95	8.81	2.13	2.77	0.554	18.8	GASSAN	2.25	—

分析の結果について金山氏から報告をいただいたのは以上である。

表について補足する。Naの次の(Sm・U・Th・Hf・Sc・Fe・La)は分析資料中の微量元素を表す。(SOURCE)は産地を表す。(AGE)は水和層年代測定法によって得られた年代を表す。

分析結果をまとめれば次のようになろう。

- ・産地は3カ所、KAMITAGA、HOSIGATO、GASSANである。KAMITAGAは上多賀であり所在は静岡県熱海市上多賀町。HOSIGATOは星ヶ塔であり所在は長野県諏訪郡下諏訪町である。GASSANは月山であり所在は山形県の中央部、数十カ所の露頭が知られている。宮の前遺跡出土の黒曜石は月山のみならず伊豆、信州からもたらされたことがわかった。
- ・水和層年代測定法によって得られた年代は縄文時代後期～晩期という宮の前遺跡の主体の年代と調和的である。

## VII まとめ

宮の前遺跡の第2次発掘調査では遺跡範囲約30,000㎡のうち4,500㎡を調査した。縄文時代の竪穴住居跡・土坑・墓坑・4カ所の土器捨場・中世の竪立柱建物・井戸などが検出された。出土遺物は1,111箱を数えそのほとんどは土器であり土器捨場を中心として出土した。遺跡は富並川の河岸段丘上に立地し、段丘に沿って南面している。現川道までは約200m、比高は約10mである。

営まれた時期は断続的であったが縄文時代草創期、縄文時代早期、縄文時代中期、縄文時代後期、縄文時代晩期、平安時代、中世の7時期となり、縄文時代晩期に最大の発展をみせる。各時期について遺物の様相についてまとめれば次のようになろう。

- ・縄文時代草創期の遺物は局部磨製石斧一点のみの出土である。土器などは得られていないため様相は明らかではない。おそらく小規模な活動があったものと思われる。この時期の遺跡は村山盆地周辺では初めての報告となる。
- ・縄文時代早期中葉の貝殻文土器が出土した。この時期の住居跡が一軒検出されている。土坑などの遺構ははっきりしていない。周囲には、宮の前遺跡の東約3kmに赤石遺跡、北約2kmのところ山ノ内遺跡など縄文時代早期の遺跡がある。
- ・縄文時代前期初頭の、胎土に繊維を多量に含んでいる土器が出土した。文様は羽状縄文と爪形文をもつものである。この時期の遺構は明確でなかった。宮の前遺跡の東約3kmに赤石遺跡があり同時期の遺物が得られている。

・縄文時代中期中葉の渦巻き文をもつ土器が出土した。富並川の流域には宮の前遺跡の東南約1kmに西海淵遺跡、また北東1kmのところ古道・中山遺跡がある。西海淵遺跡は集落の構成が分かる大遺跡であった。大型住居や墓坑などが検出されている。宮の前遺跡の縄文時代中期中葉の遺物はあまり充実していない。おそらく、小規模な活動があったのみであろう。

・縄文時代後期中葉の遺物は少量検出されただけであり、小規模な活動があったのみである。

・縄文時代後期末～縄文時代晩期の時期の遺物は宮の前遺跡で最も多量に発見された。出土遺物の大半がこの時期のものである。第1捨場、第2捨場、第3捨場、第4捨場の4つの捨場のほかに、住居跡、墓坑、土坑、埋設土器などの遺構。土器、石器をはじめとする土製品、石製品など多量の遺物がある。

墓坑は山形県内では明確なものとして検出されたことはなかった。わずかに庄内地方羽黒町玉川遺跡において報告例がある。宮の前遺跡では床面に朱が認められた墓坑や、石斧とヒスイ製の垂飾品がともなった墓坑が検出された。平面形の種類も円形と長楕円形がある。大きさは小さきままである。明確な墓坑が検出されたものと評価できよう。土坑は平面形大ききとも様々である。埋設土器は80基余りが検出された。上部には蓋石を持つものと持たないものがある。概して掘り方は小さい。

第1捨場、第2捨場では時期毎に平面的にまとまりをもって土器が出土した。第3捨場では層位的事実を持って大量の土器が出土した。

遺物の交易についても興味深い事実がわかった。ヒスイは新潟県糸魚川市近郊からもたらされているのであろうし、アスファルトなどの交易もなされているものであろう。黒曜石は遠く関東、中部地方から招来されている。これと同様に出土した土器の中にも南関東の安行2式土器や仙台湾の製塩土器がある。この広範な流通は驚くべきものである。土器作成の面からも興味深い事実がわかった。アスファルト容器、漆壺、朱壺の存在はこのムラが土器作りをおこなっていたものであることを示している。また粘土中にくまれる海綿骨針の検出は、土器作成における粘土の供給がどこから行われていたかを分析する手段となる。

・平安時代の遺物は、須恵器坏口機部破片1点のみである。遺構は明確ではなかった。付近にも平安時代の遺跡は見当たらない。

・中世の遺物は、中世陶器の摺鉢底部破片と壺の体部破片が得られている。遺構が第5調査区を中心として検出されたが遺物は少なかった。西海淵遺跡でも中世の片口鉢の破片が得られているので、付近には中世のムラがあったものと思われる。

報告書抄録

ふりがな	みやのまえいせきほつくつちょうさほうこくしょ							
書名	宮の前遺跡第2次発掘調査報告書							
副書名								
巻次								
シリーズ名	山形県埋蔵文化財センター調査報告書							
シリーズ番号	第19集							
編著者名	山口 博之							
編集機関	財団法人 山形県埋蔵文化財センター							
所在地	〒999-31 山形県上山市弁天二丁目15番1号 TEL 0236-72-5301							
発行年月日	西暦 1995年3月31日							
所収遺跡名	所在地	コード		北緯	東経	調査機関	調査面積 ㎡	調査原因
		市町村	遺跡番号					
宮の前	山形県村山市大字萱堂字宮の前	208	615	38度 32分 03秒	140度 20分 30秒	財団法人 山形県埋蔵 文化財セン ター	4,500	県営ほ場整備事業(富並地区)
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項			
宮の前	集落跡	縄文時代 草創期～ 晩期 平安時代 中世	住居跡 土坑 基壇 土坑 土器捨て場 掘立柱建物 井戸	縄文土器 石器 土製品 石製品 中世陶器	4ヵ所の土器捨て場から、層位的に大量の遺物が出土した。床面に朱を敷く基壇が検出された。埋設土器群が検出された。昭和49年第一次発掘調査実施。			

図 版



空中写真全景 (真上)



空中写真全景 (南西より)



空中写真第 1 調査区 (水路布設前)



空中写真第 1 調査区 (水路布設後)



空中写真第 2 調査区 (真上)

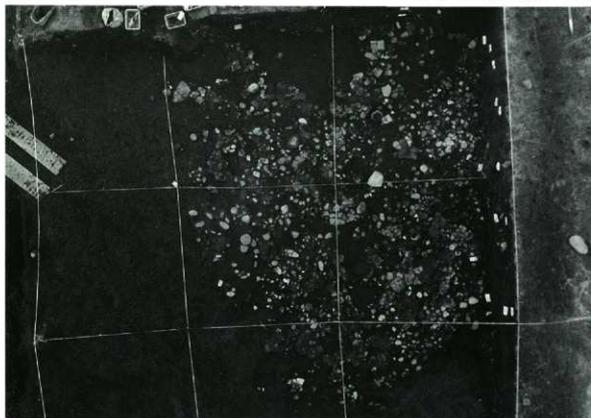


空中写真第 5 調査区 (真上)

図版 4



空中写真第3捨場 (第3~5層)



空中写真第3捨場 (第9層)

図版 5



ST5 整穴住居跡



炉跡 (L-5グリッド)



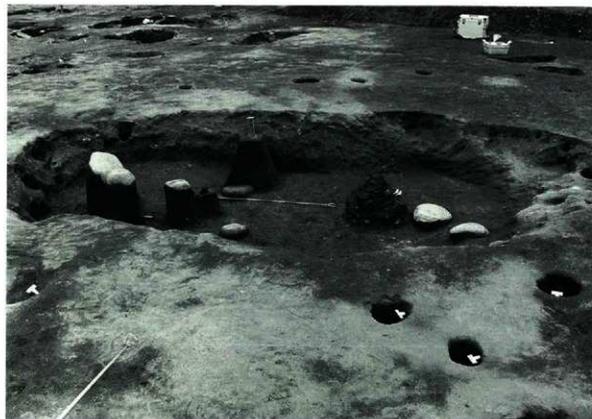
第5調査区調査風景



第2調査区調査風景



現地説明会風景



ST 4 竪穴住居跡



SB 1~5 掘立柱建物



ST 1・2・3 竪穴住居跡



ST 1 竪穴住居跡発掘状況 (西より)



ST 1・2・3 竪穴住居跡 (西より)



ST 1・2・3 竪穴住居跡 (東より)



ST 1 炉跡



第2 捨場 (北より)



第1 捨場 (南より)



第3 捨場発掘状況 (東より)



保存地区捨場分布調査状況



第3 捨場発掘終了状況 (東より)



第1 捨場遺物出土状況



第2 捨場遺物出土状況



第2 捨場遺物出土状況



第3 捨場遺物出土状況



第3 捨場遺物出土状況



第3 捨場遺物出土状況



第3 捨場遺物出土状況



第3 捨場遺物出土状況

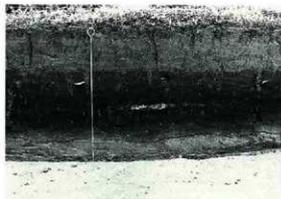
図版10



第3 捨場南北壁



第2 捨場南北壁



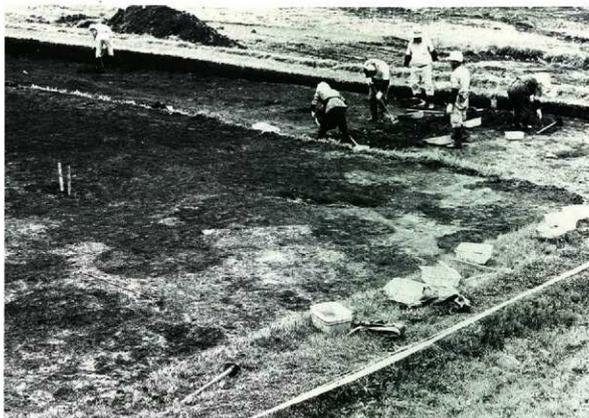
セクション第5 調査東西壁



第1 捨場セクション



第3 捨場南北壁



1区遺構検出状況



1区遺構検出状況 (北より)



1区遺構検出状況 (南より)



5区遺構検出状況 (北より)



4区遺構検出状況 (西より)



墓坑完掘状況 (S K 524)



墓坑完掘状況 (S K 331)



墓坑完掘状況 (S K 527)



墓坑完掘状況 (S K 222)



墓坑完掘状況 (S K 149)



遺構検出状況 ロームマウンド (S K 496)



井戸 (S K 19)



土坑完掘状況 (S K 77)



墓坑検出状況



土坑完掘状況 (S K 437, R Q 24)



土坑完掘状況 (S K 427, R Q 28)



土坑発掘状況 (S K 419)



土坑発掘状況 (S K 341)



埋設土器出土状況 (C群)



埋設土器出土状況 (B群)



埋設土器 (R P 356、357)



埋設土器 (R P 63)



埋設土器 (R P 75)



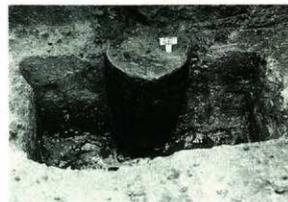
埋設土器 (R P 59)



埋設土器 (R P 127)



埋設土器 (R P 123、80)



埋設土器 (R P 389)



埋設土器 (R P 144、131)



埋設土器 (R P61上面)



埋設土器 (R P61側面)



埋設土器 (R P237)



埋設土器 (R P274)



埋設土器 (R P378)



埋設土器 (R P140)



埋設土器 (R P143)



埋設土器 (R P272)



遺物出土状況 (第3捨場)



遺物出土状況 (石刀)



第2 捨場遺物出土状況



第2 捨場完掘状況



第3 捨場出土状況 (北より)



第3 捨場出土状況 (東より)



第3 捨場出土状況 (北より)



第3 捨場出土状況 (東より)



第3 捨場出土状況 (R P 120)



第3 捨場出土状況 (R P 220、238)



遺物出土状況



遺物出土状況 (R P 240)



遺物出土状況 (R P 116)



遺物出土状況 (R P 514)



遺物出土状況 (R P 506)



遺物出土状況 (R P 382)



遺物出土状況 (R P 441)



遺物出土状況 (R P 506)



遺物出土状況 (R P 404)



遺物出土状況 (R P 412)



遺物出土状況 (R P 463)



遺物出土状況 (R P 435)



遺物出土状況 (R P 429)



遺物出土状況 (R P 448)



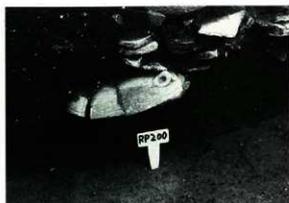
遺物出土状況 (R P 518)



遺物出土状況 (R P 120)



遺物出土状況 (R P 175)



遺物出土状況 (R P 200)



遺物出土状況 (R P 537)



遺物出土状況 (R P 47)



遺物出土状況 (R P 503)



遺物出土状況 (R P 521)



遺物出土状況 (R P 436)



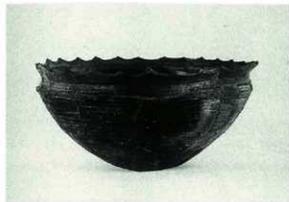
遺物出土状況 (R P 263)



出土土器 (第1 埴埴集)



安行2式土器放大写真



出土土器 V-7 (3~4)



出土土器 (R P 454)



出土土器 (S K 88)



出土土器 E-7



出土土器 (R P 107)



出土土器 (R P 171)



出土土器 (R P 503)



出土土器 V-7 (5)



出土土器 E-7



出土土器 E-7



出土土器 RP48



出土土器 V-5 00



出土土器 RP22



出土土器 T-6



出土土器 F-7



出土土器 E-7



出土土器 RP438



出土土器 X-4



出土土器 W-3



出土土器 W-6 トレ



出土土器 RP526



出土土器 RP529



出土土器 RP509



出土土器 V-5 00



出土土器 U-6 トレ



出土土器 I-8



出土土器 U-6(7)



出土土器 W-5 (4~5)



出土土器 V-7 (3~4)



出土土器 N-8



出土土器 V-6 (5~6)



出土土器 RP308



出土土器 V-7(1)



出土土器 V-5(9)



出土土器 RP305



出土土器 RP473



出土土器 RP200



出土土器 RP147



出土土器 RP175



出土土器 V-6(1)



出土土器 F-7



出土土器 V-7



出土土器 RP328



出土土器 RP199



出土土器 RP116



出土土器 RP104



出土土器 F-7



出土土器 RP504



出土土器 V-6(3)



出土土器 RP519



出土土器 U-6トレ



出土土器 V-6トレ



出土土器 RP358



製塩土器拡大写真



漆容器



同漆容器拡大



アスファルト容器拡大



漆付層土器



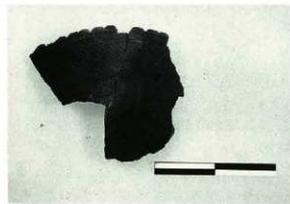
漆付着土器



漆付着土器



海綿骨針含有土器



海綿骨針含有土器

圖版28



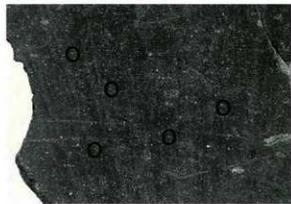
同左拡大



同左拡大



同左裏面拡大 (○印海綿骨針)



同左裏面拡大 (○印海綿骨針)



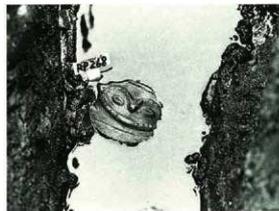
土偶出土状況



R Q 14 出土状況



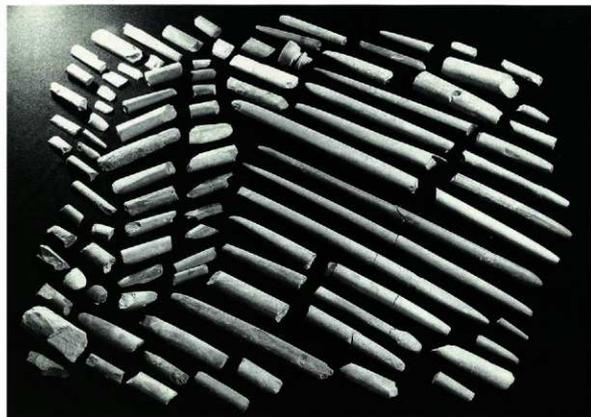
R Q 181 出土状況



R P 268 出土状況

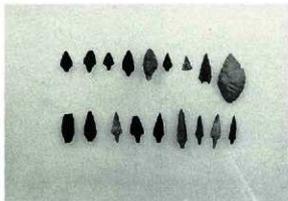


R Q 141 出土状況

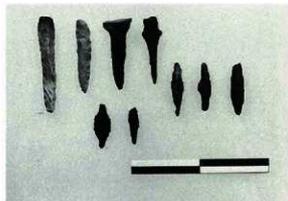


出土石棒群

図版30



出土石器



出土石器



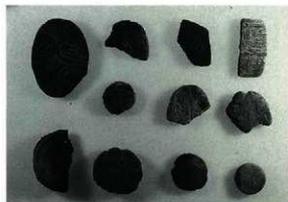
S K 183 出土遺物



出土石器



出土石製品



出土土版



出土石製品



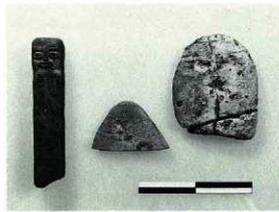
出土石製品



R P 286



出土土偶



出土岩偶



出土土偶



出土石刀群



出土石刀



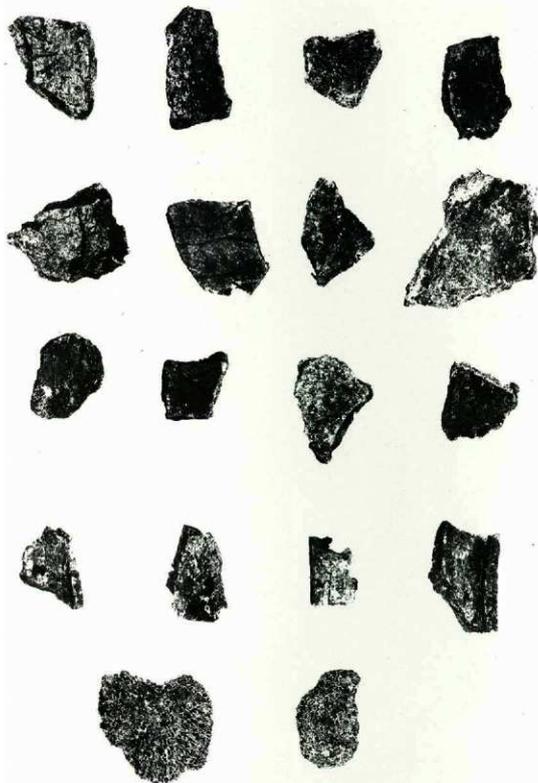
出土黒曜石群



出土クルミ炭化物



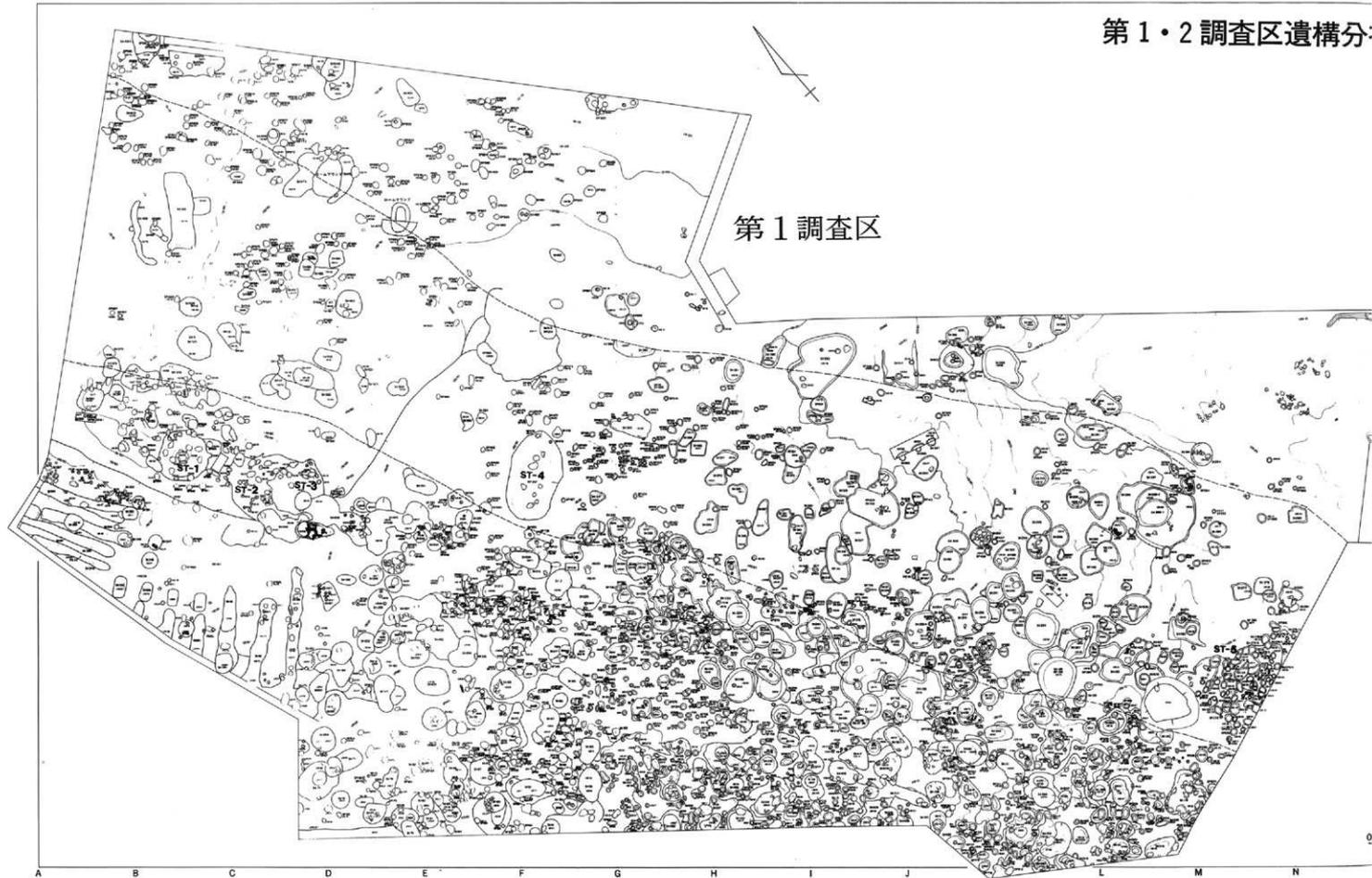
焼骨（人骨）(S X-5)



宮の前遺跡出土の焼骨（人骨）（スケールは約1/1）1～3段までは頭蓋骨、4・5段は四肢骨

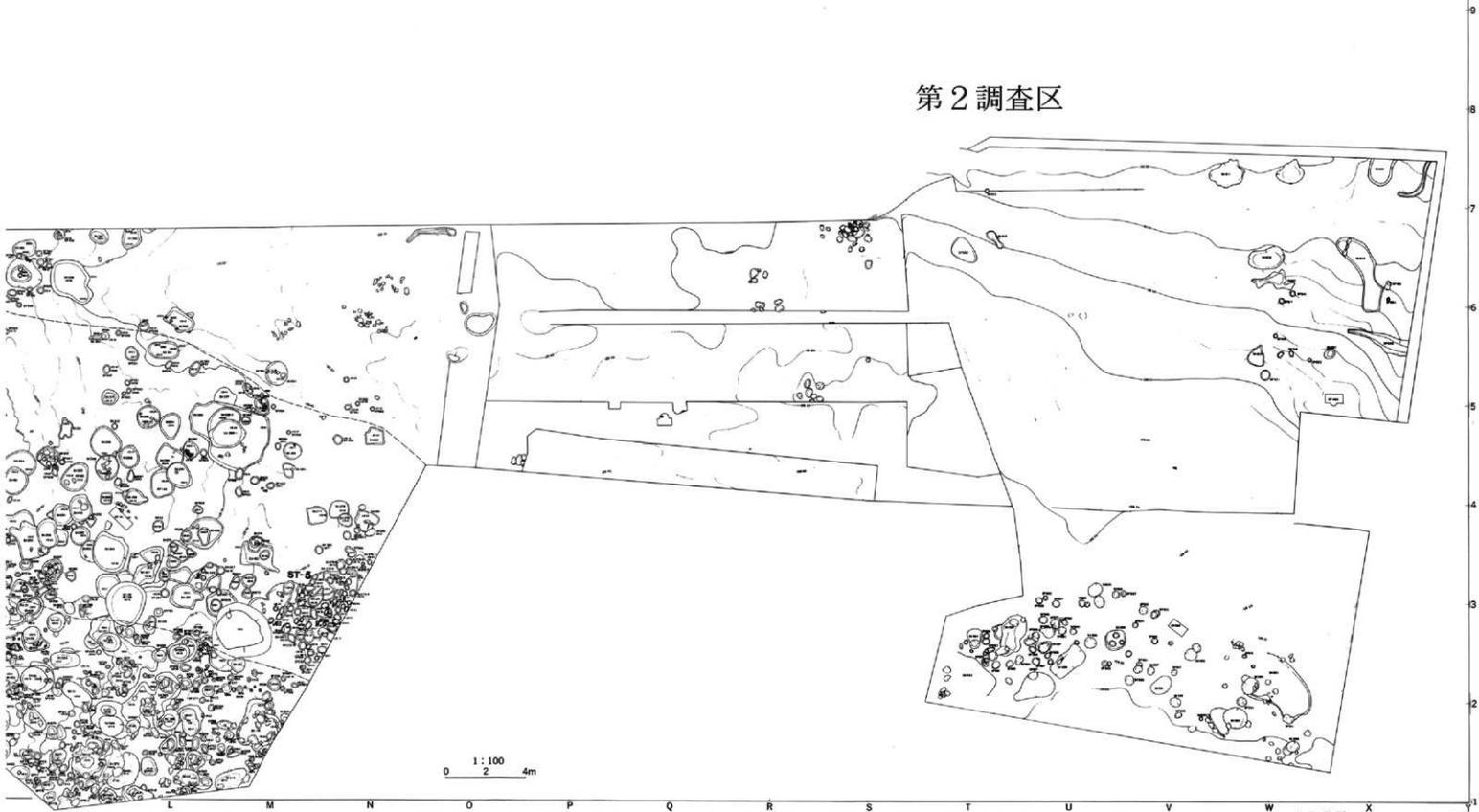
宮の前遺跡付図

第1・2調査区遺構分:



# 第1・2調査区遺構分布図

## 第2調査区



---

山形県埋蔵文化財センター調査報告書第19集

宮の前遺跡  
第2次発掘調査報告書

1995年3月31日 発行

発行 財団法人 山形県埋蔵文化財センター  
〒999-31 山形県上市市弁天二丁目15番1号  
電話 0236-72-5301

印刷 株式会社 大風印刷

---